

ては所謂イムベリアル・ルートの防衛に奔命してゐたが、獨逸の勃發によるヨーロッパに於ける事態の好轉は、大東亞戦争の勃發によつて抹殺された。此の間對立を内包してゐた米英の協調は、イギリスの從屬が決定的になつた爲に一應維持されてゐるもの、却つて内訌は深化させられつゝある。而して東亞敗戦とそれに續く北アフリカの頽勢は、植民地帝國としてのイギリスの悩みを前面に押し出し、相次ぐ軍事的敗退と民族意識の覺醒とは、イギリス外交の足掛りを喪失せしめ、アメリカとソ聯の外交に指導的地位を讓るに至つたのである。

I 軍 備

1 概観 イギリスの軍備は、その基本的目标がその植民地を結ぶ帝國ルートの保全および海外權益の擁護に在り、優勢なる海軍力(二國海軍力標準主義)の保有に力點が置かれて居た。かかるに日米兩海軍國の擡頭があり、他方歐洲情勢の動搖(獨逸の再軍備)植民地返還要求、伊の勃興、スペインの内亂、伊エ戦争を契機とする地中海艦隊の戰略的脆弱性暴露と國際聯盟の無力化等)に直面して、國軍整備の方針に若干變化を來した。その一は東洋におけるアメリカ海軍との協同であり、その二は歐洲におけるフランス陸海軍との提携による大陸前進基地の獲得および對伊地中海防衛である。かくて一九三六年國防調整省を新設して國防充實に乗り出し、一九三七年國防五ヶ年計畫を樹立、本格的再軍備に努めたが、重點は陸軍の機械化および劣

勢空軍の擴充にあつた。國防五ヶ年計畫は、しかし乍ら主として自動車工業の立ち遅れに基づき意圖の如く進捗せず、計畫進行中に第二次大戰の勃發を見た。北歐および西歐における敗戦の結果は、大陸前進基地の喪失、大西洋における敵潜水艦の脅威の増大、英本土制空權の動搖、および地中海の戰略的地位の低下を齎したが、その決定的原因は當局が屢々言明せる如く空軍力の劣弱に基くものであつた。なほ獨逸に對して優勢な海軍力をもつて制海權を一應保持し來つたイギリスは、獨逸開戦の結果、軍の機械化と空軍擴張による軍備編成替の機會を與へられたかに見えたが、大東亞戦争勃發に及んでその海軍力は西南太平洋において痛烈な打撃を蒙つたのである。(このため海軍作戦の全面的變更を餘儀なくされてゐる。)

【國防機構】イギリスの國防は帝國國防委員會を改組した最高軍事會議の統制下で、海陸、空軍を全體の國防といふ見地より統合し國防の最高方針を決定する。内閣總理大臣は職權によりその總裁となる。而して本官たると否を問はず、行政經驗を有する陸海空軍軍人及びその他の人々の出席を要求する權限を持つ。平時、該委員會を構成するメンバーは次の如し。即ち、外務、陸軍、空軍、植民地、大蔵、海軍の各大臣、軍令部長、參謀總長、航空本部長、陸海軍情報部長。なほ一九三六年に至り以上の帝國國防委員會(C. I. D.)の組織は最近の國際政局の不安に對應して強化され、新設の國防調整大臣(Minister for the Coordination of Defence)が軍令

部長、參謀總長、航空本部長より成る C. I. D. の小委員會の議長として帝國國防計畫を統合する。

2 陸軍 【統帥指揮】國軍の統帥權は國王にあり、印度政廳下にあるものを除く全軍の統一指揮權は、陸軍大臣を議長とする軍事會議(Army Council)が有する。陸軍大臣直轄下に、參謀總長、高級副官(Adjutant-General) 募兵、配屬、軍衛生を統括、衛戍司令官、陸軍次官(植民地軍務局長、陸軍會計監督官が同室)、財務官、軍需生産局長、地方軍務局長の各部室がある。地方軍の指揮權は大部分州の機關に屬し、陸軍大臣は間接的に統率する。本國軍、中東軍、濠洲(およびニュー・ジブラント)軍、東阿軍、パレスチン軍、印度軍、東亞軍、マルタ島、ジブラルタル各司令官があり、本國軍司令官の下に、ロンドン、北アイルランドほか六軍管區司令官が居る。なほ大東亞戦争勃發後の一四二年一月三日西南太平洋最高司令官が任命され、東亞の聯合軍と共に東亞軍の指揮に當ることになつたが、印度、濠洲軍の指揮權は分離して居る。

【編成】イギリスの陸軍は、「正規軍」(Regular Army)、「地方軍」(Territorial Army)及び「豫備軍」(Reserve Army)とからなる。正規軍——この正規軍は平時においては本國、インド及びその他の屬領植民地に駐屯してそれ等の守備に任ずる。本國外に駐屯する正規軍は「インド軍」(Indian Army)或は「土人軍」(Native Army)若くは地方軍と區別して、一般に「イギリス軍」(British Army)と稱せらる。正規軍の編成は一九三七年以前には殆んど前大戰の水準を出て居なかつた。一九三七年に從來の騎兵師團に代ふるに機動師團を設置し、翌年その機甲化を行つた。その後における再編成の要點は次の如くである。本國軍二ヶ聯隊を除く騎兵聯隊および在印四騎兵聯隊中二ヶ聯隊の機械化。野砲五ヶ聯隊の對戰車聯隊への改編および海岸防備隊の新設。第一戰歩兵師團、八大隊を重機關銃大隊、四大隊を裝甲自動車大隊に改編、爾餘に輕機關銃を裝備。

一九三九年二月現在の平時編成は歩兵五ヶ師團(一四旅團)、一機動師團(二騎兵旅團および一戰車旅團)、および二對空旅團、一九三九年七月一日の正規軍兵力二二七、七三六(將校を含む)であつて、大戰勃發當時の推定動員兵力二二〇萬であつた。(A. Y. B. 1940. に據る)。

て、歩兵一二師團(三六師團)、五對空師團(二旅團)、一戰車旅團、三騎兵旅團によつて編成されて居た。同年七月一日現在の兵力四〇七、二五七(將校を含む)。(數字は A. Y. B. 1940. に據る)。

3 海軍 【現有勢力】一九三六年以來次から次へと新國防計畫を發表して海軍擴充に狂奔してゐるが、特に國防五ヶ年計畫の一環として一九三八年度において四三隻の新艦艇を就役せしめ、三九年に至つて一、五三億ポンドの老舊艦艇をもつて六〇隻の艦艇就役を計畫した。開戦後は建艦計畫遂行に努力しつゝあるが、船舶の擊沈を補つて行くといふ新たな負擔を課せられて、造船能力の不足は深刻となり、艦艇の不足を補ふため驅逐艦五〇隻を英領大西洋基地と交換にアメリカから譲り受けた。

No.2 主力艦一覽(1942年5月現在)

Table with columns: 艦名, 基準排水量, 標準速力, 主砲および副砲門数, 発射管, 進水一竣工. Lists various British battleships like King George V, Nelson, and Valiant.

備考: *1941年12月10日撃沈さる。なほ建造中の4萬トン級 Lion (1939年7月起工)、Temoaire および King George 型の Duke of York (1937年5月)、Jellicoe (1937年7月)、Beatty がある。資料: A.Y.B. 1939/40 を基礎として作製。

No.3 航空母艦一覽(1942年5月)

Table with columns: 艦名, 基準排水量, 標準速力, 主砲および高角砲門数, 飛行機, 進水一竣工. Lists aircraft carriers like Illustrious, Ark Royal, and Argus.

備考: *1941年11月14日、獨潜水艦攻撃により撃沈せる旨、英海軍省発表。**1942年4月9日セイロン島沖にて日本海軍に撃沈、この他水上機母艦 Albatross (4,800噸、21ノット) があり、建造中なること判明せるもの Fomidable, Indomitable, Victorious および Implacable 四隻、何れも Illustrious 級にして、1939年中に進水せり。資料: A.Y.B. 1939/40 を基礎として作製。

(註) *その内譯はA級巡洋艦一五隻、一四五、六二〇噸、B級巡洋艦五二隻、三二九、〇一五噸である。

【艦隊編成】イギリス海軍の艦隊編成はその國土が廣汎にして全世界に互つて居るため複雑を極めて居るが、その最も有力なものは本國艦隊、地中海艦隊および東亞における緊迫せる情勢に鑑みて支那艦隊と西印度艦隊を統合編成した東洋艦隊である。

その他東印度艦隊、アフリカ艦隊等がある。東洋艦隊は一九四〇年二月一日レバノールと共にフリッツス司令官官坐乗の旗艦プリンス・オブ・ウェールズが撃沈せられたため、當局は二月一日レイトン中將坐乗のA級巡洋艦エディンバラを旗艦として回航せしめた。

(註) *エディンバラは、一九三八年進水、同年竣工、排水量一〇、〇〇〇噸、全長六一・五ノット、八萬馬力の機関を備へ時速三二・五ノット、備砲六インチ砲一二門、四インチ高角砲一二門、二インチ魚雷射管六門を有する。

自治領海軍 以上の本國海軍のほかに、イギリスはその自治領たるオーストラリア、カナダ、ニュー・ジブラント、インドにそれぞれ海軍を持つてゐる。その勢力は大したものでないが、その中でもオーストラリア海軍 (Royal Australian Navy) 及びカナダ海軍 (Royal Canadian Navy) が有力でまたインド海軍 (Royal Indian Navy) も着々整備を進めてゐる(詳しくは各自自治領の「國防」の項参照)。

【海軍基地】その經濟基礎たる世界貿易のための海軍は當然その基地、貯炭油所をもたねばならぬ。イギリス人の言を俟つまでもなく地中海はイギリスの生命線である。殊にイタリヤに對して根據地が設置されてゐる。即ち古くからマルタ、ジブラルタルのそれがあり、新しくキプロス島(ファラマスタ、リマツル、ニコシア)、ペレスチナ(イファ)、エジプト及びスエズ運河地帯(アレキサンドリア、アカバ、ポートサイド)がある。之に對して最近では地中海のほとりに豫備として南阿外廻りが考へられシモンスタウン、ダーバンが強化されてゐる。なほ東亞に二千萬ポンドを要したシンガポール及び香港があつたが、大東亞戰爭勃發するや、はやくも陥落し東亞におけるイギリスの運命も既に時間の問題となつた。

4 空軍 イギリス空軍の歴史は一九一二年五月に「王國飛行隊」(Royal Flying Corps) が編成されたのに始まる。その後、世界大戰によつて飛行機が痛切に感ぜられた結果、一九一八年一月二日、世界最初の「航空省」が創設せられるに至つた。それによつてイギリス帝國空軍の統制權は「陸軍會議」(Army Council) と同様の組織の「航空會議」(Air Council) の手に歸した。航空大臣は國務大臣としての地位を與へられ、航空會議の議長となる。そして同年四月に至り、陸海軍に屬する航空勢力は王國空軍として航空大臣の統制下に歸し、今日に至つてゐる。なほ海上航空勢力の一元的統制は種々困難な

るに鑑み、一九三七年に至り再び海上航空勢力は海軍に移管されるに至つた。

【編制】現在におけるイギリス航空勢力の編制は「王國空軍」(Royal Air Force)、「預備空軍」(Air Force Reserve)、「特別預備空軍」(Auxiliary Air Force)、「補充空軍」(Auxiliary Air Force Reserve)、「地方空軍」(Territorial Air Force) および防空青年隊 (Air Defence Cadet Corps) より成る。

【指揮】本國において爆撃隊司令部、戦闘隊司令部、沿岸司令部、訓練司令部、維持司令部、氣球隊司令部、豫備軍司令部があり海外においては、中東、イラーク、印度、地中海、パレスチナ、東亞の六司令部に分れる。

【現有勢力】一九三九年三月の王國空軍兵員は總計一一八、〇〇〇名(士官を含む)である。一九三九年三月一日現在の本國空軍の現有勢力は正規中隊一五七、補助中隊一九、バルーン中隊四七、第一線機一、七五〇機、一九三九—四〇年度には一九〇中隊(内三〇は海外)への擴張が豫定され、一線機も二、一五〇機へ擴張される豫定であつた。

IV 經濟

A 總論

1 經濟史 産業革命を経て、綿工業が隆昌を見るにいたるまで、一四世紀以來のイギリス産業の中心は羊毛工業であつたが、それは一四世紀の中葉から農民、職人を商業資本の屬僚の下に置く間屋制的家内工業として確立された。フランダーズの羊毛工業の繁榮に伴ふ羊毛價格の騰貴は、イギリスにおいて共同地の牧場化、所謂「圍ひ込み」を惹起し、封建的な農業經濟に決定的な打撃が加へられ、一方には大規模な農民の土地からの分離が、他方には國民的生活資料の資本化が見られた。農奴制の解體の跡に生じた獨立自營農民たるヨーマンは、徐々に商業資本の屬僚から逃れて、いはゞ副業に過ぎなかつた家内工業の規模を擴張し、賃労働を採用し資本制度家内工業を發達させた。かゝる農村的家内工業の廣大な基礎の上に成立した工場制手工業は圍ひ込みの進行と共に生じた浮浪者群を吸収して一六世紀の後半から一八世紀最後の三分の一までの時代に本格的な發展を行つた。此の時期に掠奪的な植民地貿易と企業的海賊によつて蓄積された貨幣財産は産業資本に轉化され、かゝる發展を助長したのであるが、特にエリザベス王朝の保護政策とその後に於ける海外市場の支配權の確立は、農業の近代化に基く國內市場の成立と共に國民經濟の典型的發展を可能ならしめた諸條件とされる。かくて近代的國民經濟への推轉に對する諸障

害も一七世紀の二度の革命を経て撤廃され、工場制手工業の中心をなす機業においてその技術的基礎が變革され（一七三三年のKarlの飛梭、一七六五年のHargreavesの珍妮機、一七六八年のArkwrightの水力紡績機、一七七九年のCromptonのワートル機、一七八五年のCartwrightの力織機等）、これに伴って動力ワットの蒸機機関が發展すれば、かゝる作業機の生産、生産手段の生産部門が成立する。これが所謂産業革命であり、近代的なイギリス國民經濟構造はこゝに確立され、周期的經濟恐慌は一八二五年、三六年、三九年、四七年、五七年と起つて来る。

一九世紀の中葉に自由貿易制度を採用したイギリスは、所謂「世界の工場」として諸國に君臨したのであるが、この獨占的地位は、すでに一九世紀最後の二五間に崩壊した。すなはちアメリカ、ドイツの國民經濟が、保護關稅にまもられて獨占の發展を遂げたからである。かゝる獨占的地位の喪失はさなきだに發展、成熟を遂げたイギリスの國民經濟にとつて、資本の過剰をつくり出した。かくて資本の輸出に拍車を加へられ、一八六二年の三六億フランの資本輸出は、七二年一五〇億八二年二二〇億、九二年六二〇億、一九一四年には七五〇億フランと飛躍的に増大し、その大部分はアメリカおよびイギリス植民地へ投下された。それは國內の獨占と植民地支配に對應するものであり、一八七六年、二五〇萬平方キロ（本國の七〇倍）の植民地は一九一四年には三、三五〇萬平方キロに増大した。一九世紀七〇年代から準備されて二〇

世紀に入るや、イギリスは金融資本の支配と膨大な植民地支配をもつて所謂帝國主義國に轉化したのである。

世界大戰の時期に典型的な軍事景氣を経験したイギリスは、特に軍需工業部門における飛躍的發展を見たのであるが、かゝる畸形的發展は戦後におけるイギリス工業の收拾し難い事態の招來を來した重要なモメントであった。大戰終結に世界貿易の全面的復活の期待を掛けた一九一九―二〇年の投機的ブームは大戦中に日米兩國が地歩を固めて居た東アジア、中南米諸國の市場とヨーロッパの荒廢せる市場とに直面して崩壊した。だが一九二〇―二一年の恐慌は、戦後國民經濟の一般的な衰退過程において、單なる序幕をなしたに過ぎなかつた。景氣の循環的進行は歪められ、生産設備の遊休は慢性化し、失業人口は累積した。戦後の最良の年においてさへ、工業生産高は辛うじて戦前の水準に達し得たに止るのである。繁榮局面の缺除、従つて固定資本の更新と擴大の缺除こそ、一九二九年に開始された恐慌がイギリスにおいて激烈な相貌をとらなかつた窮極の原因であつたが、國民經濟の危機的な停滞から脱出するための公力的な努力が行はれなければならなかつた。

イギリスの經濟にとつて一九三二年は劃期的な時期であつた。こ

No. 4 工業生産指數 (1930=100)

	一般指數	製造工業	鐵鋼業	機械造船業	織工業
ウエイト	100	86.3	9.0	23.3	12.6
1929*	108	109	128	104	124
1930*	100	100	100	100	100
1931*	91	91	74	81	97
1932*	90	92	75	76	107
1933*	95	96	93	82	113
1934	106	109	116	95	113
1935	113	117	126	105	119
1936	124	129	150	123	126
1937	133	138	167	139	130
1938	124	129	132	129	111
1939					
I—III	131	130	149	133	121
IV—VI	133	140	177	137	126

備考：— Board of Trade 指數。*は1924=100とせるものを1930年基準に修正せるもの。1939年7月以降發表せず。
資料：— S.Y.B.L.N. 1934/40.

氣の昂揚を経験し、あらゆる經濟の面に互つて活況を呈するかに見えた。だがこの景氣も三七年を頂點として再び頓挫したのである。この年の秋に始まつた景氣の激甚なる後退は三八年下半年に至つて主として再軍備の進展に伴つて停止し、一九三九年に入るや再び目覚しい上昇を開始した。かゝる過程において第二次大戰は勃發したのである。

戦時編成替のための法律的積杆は既に一九三九年八月の國防全權法によつて與へられて居たが、戦前に存在して居たが戦前に存在して居た大量のストックと遊休資本の動員によつて強權的編成替を行はずに生産の増進を見ることが出来た。しかるに斯様に恵まれた條件も漸次消滅し、特にフランス降伏後の獨軍空襲に悪化せる情勢に當面して、チャーチル内閣の下に戦時體制の本格的確立が急がれるに至つた。しかるに獨占の開發は急迫せる事態の緩和に役立ち、生産編成替の過渡的混亂を是正して長期戰體制を整備する餘裕を與へたのであつて、此處において戦時經濟は新たな段階に這入つたのである。

2 戦時經濟 前項に觸れた如く戦時經濟の本格的段階は、チャーチル内閣の時代に屬するのであるが、斯かる段階への移行は、所謂戦時體制下において準備せられたものである。それは再軍備過程における、軍需工業中心の工業再編成、農業自給率の強化、ストックの擴充、商船隊の増強の線に沿ふものである。第一の工業統計計畫は、一九三六年白書に宣明されたものであつて、軍需工場の擴張統制（工廠の擴張、民間指定工場）の編入、

非軍需工場への註文保證）および附隨的統制（熟練工確保、過大利潤の制限、機構整備）を骨子とする。それは、三七年一應の成立を見た砲彈・航空機製造に於けるシャドウ・プラン、その他の設備擴張、軍需省の新設等において漸次實現された一九三九年の農業發展法および海運補助法案等は、何れも戦時經濟推進の一環をなすものであつた。

獨占協定に依るイギリスの戰意決定は、一九三九年八月二四日國防全權法の成立に導き此處に戦時體制移行の法制的積杆は與へられた。全權法および引つゞいて發布された國防諸規定に依つて、政府は、通信・海運・鐵道の統制を行ひ、生産・貯蔵・配給・消費・價格の規制を行ふべき、權限を獲得したのである。

開戦と同時に爲替・金融統制が實施された（當該項参照）が、統制機構の側には、戦時内閣直屬の二つの關係委員會——經濟政策および優先問題——の設置を見るに至り、經濟政策委員會は、共にスタンプ卿を委員長とする。經濟調査所および文官委員會に依つて輔佐され優先問題委員會は労働・資材・生産力・運輸・工作並に建築の各分科委員會に依つて構成せられて居た。その他經濟關係各省は、それ／＼戦時組織の編成を行つたのであるがイギリスの統制機構の特色とするところは、雇主聯盟および労働組合會議の代表が委員會に参加し、これ等の勞資組織を統制機構内に組み入れて居る點である。

併し乍ら斯様な統制機構は、最も重要な時

（期間においてイギリスは完全に從來の自由主義的傳統を振り捨てたのである。（一）金本位制の放棄と管理通貨本位制の遂行、（二）政府による貨幣および資本市場の厳格な統制、（三）中位の稅率から高位の稅率に至る一般的保護關稅の引上げ、（四）一群の統制部局、法令委員會、監督機關を通じての外國貿易、農業および工業に對する國家の廣汎な干渉、（五）特惠制度等これらの改革によつて、イギリスは世界恐慌からの脱出を企圖した。かくて、これらの諸計畫は、イギリス經濟のその後の發展を大いに促進し、公力的な景

期に戦時體制の確立に失敗した。組織上に優越權を有して居たサイモン蔵相の指導性の缺如、經濟的見透しの貧困、總力戰の無理解を第一の理由として、機構の内部的連絡の不徹底を第二のそれとして、消費規制の手遅れ、労働力轉換の不便等、枚擧に暇なき撞着を惹起したのであるが、それ等は何よりチェンバレン内閣自體の性格に負ふものであつた。實にチェンバレン内閣の保守的性格は、初期のイギリス戦時經濟が多量のストックおよび遊休資本の運轉に依存して居たこと、相互規定的に、産業の戦時編成の急速なる進展を妨げたのであつた。

一九四〇年五月に成立したチャーチル内閣は、六月四日前内閣の組織した統制機構の全面的更改を斷行したが、更に四一年一月七日經濟關係組織に對する非難に應じて再組織を行つたのであつて、現在の構成は此の改組を基礎として漸次修正を加へられたものである。それに従へば戦時内閣直屬の調整委員會の下に、生産・輸入・食糧政策・内政・市民防衛の五行政部（Directorate）があり、その他傍系に中央經濟統計局が附屬して居る。生産行政部は、部員と労働組合會議代表から成る中央聯合諮問委員會によつて補佐され、また輸入行政部との間に優先審判會議（軍需省、労働省と協力する）を持つて居る。この會議は生産力・工場建築・生産資材・労働力・運輸の五分科會によつて、勞資の協力を得て重點主義の實施に當るものである。斯様な組織を以つて、戦時統制經濟の指導が政府を通じて行はれるのであるが、最大の弱點は、軍需品

No. 5 最近の歳出入 (単位ポンド)

Table with 4 columns: 年度, 歳入, 歳出, 差引. Rows from 1913-14 to 1944-42*.

備考: 一数字は國庫收入 (Exchequer Receipts) 所謂 National Revenue および國庫支出 (Exchequer Expenditure) 所謂 National Expenditure の實績を示す。 *は豫算額にして、別途勘定收支 (逓信省および放送局關係) を含まず、歳出額中には武器貸與法下におけるアメリカからの軍需品購入費を含まざる故に前年度とは比較され得ない。 なお歳入中には増税収入を見込む。 資料: -S.A.U.K. 及び E.

たに算よ的の字の試みんとを健全展の向に勃がつ行は性として。 至つる増大の累積も維持せしむるに、尙進速傾共争たつた。

No. 6 軍事國防費支出額 (単位 1,000,000 ポンド)

Table with 8 columns: 年度, 陸軍, 空軍, 海軍, 小計, 市民防空, 信任軍費, 總計, 歳出に對する%. Rows from 1936/37 to 1941/42.

備考: * 國庫支出 (Exchequer Issue) ** 兵器廠支出を含み、1934/40年度以降軍需省關係費を含む。*** 用途を大蔵大臣に一任せる信任臨時費 (Vote of Credit) 中より支辨せられしものにして、内譯は公表されない。 資料: -E. vol. cxi, No. 5, 093.

B 財政

1 概観 イギリスの財政は第一次世界大戦の経過において莫大な國債によつてまかなはれ、かくして戦後國債の償却は財政の痛となつた。しかし全植民地からの利得によつて、一九二〇—二一年度からは赤字を見る事なく、財政は一應の安定を得てゐた。しかし一九二九年に始まる恐慌は一方に直接税に依存する英國財政を歳入の側におびやかすと共に、他方戦後の安定期を通じて漸増しつつあつた失業率はこの際飛躍的な増大をとげ

かくして社會費 (殊に社會保險費) の増大となつて歳出の側におびやかすに至り、財政の問題は社會問題、政治問題にまで發展した。最近では一九三三—三四年度からの軍事費の増大が又新たな問題を提出してゐる。單に名目上軍事費—國防費と云はれてゐる陸海空軍費をとりつら、一九三三—三四年に占める總額は三億四千萬磅、總歳出の三〇%を占めるに至り、その他の項目にある防空費軍事工業補助費、軍事公債等の費用を合する時はその比重は更に高くなることは勿論である。所謂生産的出費の増大は漸次他の社會費を犠

生産が軍部各省および軍需省の間に分割されその統一は專ら人的連絡の均衡に依存するといふ點に存するものとされて居る。 開戦以來資本統制に依る金融重點主義を資本統制に依る原料配給の能率化を計つて來たイギリス戦時經濟も、戦前の遊休生産力が活動するに至つて、本格的な戦時編成を強要されることとなつた。一九四一年三月四日發表の「生産集中計畫」は、斯かる事態に照應するものであつて、「輸出を能く限り維持しつゝ、一方軍需生産に出來得る限り完全に資材を振り當てる」ため、「民需のきびしい削減と、労働、資材および工場をより緊要な目的のために解放すること」を要求する。即ち原料資材の不足に依つて齎された操業短縮は生産力の低下を惹起した計りでなく、コスト高に基づく價格の騰貴を招來し、多くの會社の資本構成を危殆に瀕せしめたのであつて、統制の流通配給部面から生産面への移行は必ずとなり、その意味において、この所謂リットルトン計畫は、イギリス戦時經濟の新段階を劃するものであつた。現實に於てそれは二重の目的を持つ。軍需工業への労働力の再配置および生産と資材配給の爲の能率的な工場と倉庫の獲得である。既に現行規定に依つて配給制限を受けて居る九〇以上の産業が、この計畫に包摂され、集中の中心たる「中核會社」(Keystone firms) は、工場を閉鎖した會社に補償措置を講ずる義務を課せられると同時に、政府注文および原料の配給を保證され、労働者の徵集猶豫の特徴を與へられる會社の自主的の内容とする第一段階は、既

に四一年前半期に一應完了し、約一—二萬の労働者が再配置され、一—六五億平方フィートの工場が工場倉庫管理官の直接的統制下に置かれるに至つた。此處において從來進行しつゝあつた企業集中過程は、公力的に強行され、再生産過程の重心偏倚は全體的規模において促進されることとなつた。生産集中計畫實施後一年を経過せんとする今日(一九四二年三月)、暴露するに至つた英國軍需生産の停滞と混亂とは、過渡的現象であるとはいへ、その必然的結果である。デイリー・エクスプレス紙は「軍需生産に關し英國は未だに二ヶ月以前と同じところに足踏して居る。」と指摘したが、労働規律の崩壊を別とすれば斯かる停滞は軍需工業偏重が齎した基礎産業の労働力不足—特に炭礦業—に基因する原料資材生産の絶對的低下に規定されるものである。 再生産過程の重心偏倚が齎す他の結果たるインフレーションの進行が、國民生活を脅威することを防止する爲の消費規制は、生産編成の進行に追隨して、遅れて強化されたが、食料割當制は、食料自給率の著しく低いのに鑑みて、比較的はやく實施されて居た。開戦後間もなく設置された食糧省は、重要食料品の配給および販賣に對する完全なる統制権を與へられ、自ら年平均六億ポンドに上る取引を行ふ。一九四〇年一月八日から開始された食糧割當配給制は、輸入統制と國內産物の買上げ制に依つて、比較的容易に行はれた。一人當りの割當量は、事情に依つて變動したが、一九四一年初夏に於ては、ペーコン

およびハム・ソーセージ、肉類—シルニペンズ、料理用脂—オンス、バター—オンス、マーガリン—オンス、チーズ—オンス、および茶—二オンスであつた。だが家禽、野禽、兎、罐詰肉および四一年の冬を除いて屠肉、その他多數の制限外食料品の買取りが行はれて、價格の昂騰を結果した。軍人に對する割當量が價格的であつたことは、前線に對する銃後を輕視するものとして轟々たる非難を喚起し、軍部は自發的のその切下げを申し出るに至つたのである。クラブおよびレストランに對する統制の手緩さが批判されるに及んで、一九四一年二月二日以上の提供を禁じたが、酒保やブリテイッシュ・レストラン等の公營食堂を含めて、外食は切符制から除外されて居る。割當量は漸次引締められつつあるが、配給品目も擴大され、一九四一年三月、ジャム、マーレド、シロップ、精密の何れかを限り一人一ヶ月八オンスの割當制の實施を見、五月にはチーズも統制された。五月食糧省は牛乳および雞蛋の配給制限を開始したが、切符制に依るものではない。 衣料切符制は、生産集中の進行が齎す影響として、一九四一年五月三十一日に開始された。一人年六六枚で、うち二〇枚は一九四二年一月一日以降でないと使用し得ない。兒童の點数は成人から區別され、四才以下の幼兒、男女の帽子、古着、労働服その他若干は切符を要しない。但し服地および編糸は點數制である—その他の各種統制に就いては、當該項参照。

No. 8 調達資金分類表 (単位1,000,000ポンド)

Table with columns for periods (自1939年9月1日至1940年3月31日, 自1940年9月1日至1941年2月28日), categories (創出資金, 在外資産収入, etc.), and percentages.

備考: 一* 平衡資金戦前賣却受入高在外資産。 ** 国内投資収入の再投資額。 資料: Sources of War Finance. 1941.

と云ふ見積りはクレディットの創造を考へない限り不可能であらう。既に見た如く(本年鑑前年度版一、一〇八頁第五表)戦争第一年度の創造信用三億と推定されたのに鑑みても此のことは明らかである。従つてインフレーションの再生産論的基礎の問題を暫く措いて單に財政上のギャップに就いて見ても、それが存在しなかつたと見るわけにはゆかぬと思はれる。

六億ポンド、差引赤字二四・二億ポンドである。本豫算の特色は、健全財政維持の目的をもつて、四・二億ポンドの増税を断行し、改正税制中にケインズの所謂強制貯蓄案を採用武器貸與法によるアメリカの援助と相俟つてその目的を達せんとするにある。即ち本年度歳出中には貸與法に基づくアメリカからの軍需品に對する支拂および豫算提出當時既にアメリカに發註済の軍需品購入契約支拂額は含まれて居らず、本年度歳出豫算額が追加計上費を含む前年度改訂豫算額に對し僅か二・二億、實績に對して二・三六億の増加に止まり得た理由は、主として此の點に存する。歳出中、整理基金費の占める割合は六・五%、給與事務費九三・五%であるが、文治、徴稅費その他信任臨時費中より非軍事的用途に支出されるものを一括しても一二・七%に過ぎず、軍需國防費は歳出總額の八〇・八%に上る。本年度歳出の實行成績を檢するに一九四一年一月一日大蔵省發表に係る本年度上半期(四一九月)の支出額は二二・三五億ポンドであるから、この割合を以つてしても本年度實行額は三億ポンド方豫算額を超える筈であるが、大東亞戦争勃發による戦費の絶對的増大と武器貸與法中止による支拂部分の増加とは相俟つて歳出見積りの全面的改訂を必至ならしめるに至つた。即ち一九四一年一月一日使途政府一任の條件を以つて一〇億ポンドの追加豫算を前提、可決したのは、その序幕をなすものであつてかくて本會計年度における信任追加豫算は合計四〇億ポンドに上ることとなつた。なほイギリス政府スポーク

No. 7 戦時財政財源表 (単位1,000,000ポンド)

Table with columns for periods (自1939年9月1日至1940年8月31日, 自1940年9月1日至1941年2月29日), categories (歳出, 創出資金, 稅收, etc.), and totals.

備考: 一*は政府總支出より各省および國庫繰越残高(計各36および35)を差引いた残支出。 ** 市中手持高。 *** 銀行業者預金受入高。 **** スターリング公債發行高。 ***** 内譯は政府・各省豫算外純收入各113および90計203、爲替平衡資金の戦前賣却受入高各184および204、計388。 資料: An Analysis of the Sources of War Finance. 1941.

【最近の歳出入状態】 國防五ヶ年計畫下において軍需國防費の歳出中に占める割合は、第六表に見る如く漸次増大の一途を辿り、ために失はれんとする收支の均衡と公債増加の傾向を増税によつて救済せんとする戦前の意圖は、第二次大戦の勃發によつて根底的に覆へされた。 一九三九—四〇年度以來の豫算は、改訂に改訂を重ねることを餘儀なくされ、かゝる改訂を強要した要因たる軍需國防費の激増は歳出の八〇%を越え、その構成を質的に變化せしめて赤字の累積(第五表参照)を招來し、國防公債法に依存する國防費部分の増加は必至となつた。「健全財政」の立前をなほ、維持せんとする努力は、チェンバレン内閣のサイモン蔵相の消極的財政政策となつて開戦後の豫算は「迷妄豫算」なる批評を浴びたのであるが、それはウッド蔵相提出の一九四〇—四一年度の修正七月豫算に於ても引き繼がれて「臆病豫算」の悪評を受けた。とまれ戦争第一年度の財政が、既に見た如く(本年鑑前年度版一、一〇八頁)一應非インフレーション的方法に依つて賄はれた點は注目し價する事實であつた。しかし乍ら戦費の膨脹は著しく四〇年度七月豫算における臨事事件費見積額二八億ポンドに對しても實際支出額は四・二億ポンド上廻り、歳出實行額は成立當初の見積額に比すれば實に二億ポンド方の膨脹を示したのに鑑みて戦時財政の全面的轉換は絶對的要請となり、増税かインフレーションかの岐路に立つに至つたのである。 第二次大戦下のイギリス戦時財政は、豫算

白書に従へば、第七表の如くであつた。即ち一九四一年二月末日までの歳出合計は四六・七億ポンドに達したのであるが、そのうち四二・六%、一九・八五億が稅收により賄はれ、兩餘の五七・四%は調達資金に俟たねばならなかつた。従つて政府はその大部分、歳

出の四四・八%に當る二〇・九五億をスターリング公債の發行によつて借り入れたのである。これ等の公債消化のため資金の諸形態を豫算白書に於ける内閣直屬中央統計局の推定數字に従つて示せば第八表の如くである。ウッド蔵相は一九四一年四月七日の豫算演説に於て斯かる推定に依る即ち彼によれば「民間の人的物的資源から捻出される財力を超過する政府支出」の不存在を證明せんとしたのであるが、戦争第二年度上半期の實績に就て、国内資産収入が年を通じて八〇%、個人貯蓄が二倍に増加する

No. 10 主要租税収入実績

Table with 6 columns (years 1913-14 to 1940-41) and 10 rows of tax categories including income tax, corporation tax, and excise duties.

備考: *1936-37年度まで道路基金収入(別途勘定)を含む。
資料: -E. Vol. CXL; No. 5093.

雇引上げられた所得税標準率を變更し、これに戦後拂戻制を加味した。従つて現行所得税標準率は一ポンドにつき五〇シリン...

勞所得控除額は最高一五〇ポンドにつきその一〇分の一に引下げ、扶養者控除額(免稅點)は既婚者一四〇ポンド、未婚者八〇ポンド...

同様に軍備五ヶ年計畫の終る一九四二年度までに限られて居た。課税率は基準利潤超過部分に對し六〇%で、軍需品政府納入額年二〇...

No. 9 1941/42年度豫算(前年度對照)

(單位1,000ポンド)

Table with 6 columns (years 1940/41 to 1941/42) and 10 rows of budget categories including domestic income, excise duties, and other taxes.

備考: *追加計上費を含む。** Vote of Credit. 一括して支出の権限を大蔵大臣に附與したもので、臨時軍事費が大部分を占める。***信任臨時費中より1940/41年度8,700, 1941/42年度4,970の支出を追加させる。
資料: -E. Vol. CXL, No. 5094.

スマンの發表に従へば、開戦以來二年四ヶ月間の軍事國防費總額は八三億ポンド(邦貨約一、四一億圓)に達する。
本年度歳入について見るに、賣藥税の廢止(それに基づく本年度八四萬ポンド)、切符制の實施、ウイスキー、茶、砂糖及び煙草等の消費制限等に基づく稅收の減少をカヴァリ...

No. 13 新規発行國債一覽 (現在高) (單位1,000,000ポンド)

Table with 7 columns: 月末現在, 1939年3月, 1940年3月, 1940年7月*, 1940年9月*, 1940年12月*, 1941年3月*. Rows include 三分利國民國防公債, 國民貯蓄證券, 三分利國防債券, 三分利軍事公債, 二分半利國民軍事債券 (1945-47), 二分半利國民軍事債券 (1946-48), 三分利貯蓄債券, その他公債, 大藏省證券, 歳入委員會貸上金, 大藏省預り金, 二分利借換公債, 計.

備考:—1938年3月31日以降發行を見たるもののみ。* 推定、減債基金割當高を考慮せず。資料:—E. Vol. CXL, No. 5093.

5 地方財政 イギリスの地方財政は本來的蓄積の時期に發生した浮浪人、被救恤の人口の救済のために成立した。その後發展經過は、地方行政の權限の擴大と共に、一方において國家からの補助金を通じて中央政府の監督下に服し、地方救濟事業の他に教育、保健、警察、道路および住宅計畫を地方稅收會計で賄ひ、その他公共事業會計を以て水道、電氣、ガス、鐵道等の諸事業を行ふ。

1 概観 一八一六年前には金銀複本位制が行はれて不統一、不完全をきかめてゐた。一八一六年に新貨幣法が發布されて(一)金貨をもつて無制限法貨とし自由鑄造制を認め、(二)銀貨を補助貨幣として、その支拂は四〇シリングを限り強制通用力ある制限法貨として自由鑄造の制度を認めないこととした。當時、ナポレオン戦争のため兌換が停止されてゐたのであるが、兌換の再開が必要となり一八一九年に兌換を開始し、此處に

No. 11 稅收入の構成 (單位1,000,000ポンド)

Table with 5 columns: 年度, 直接稅* (收入額, 比率), 間接稅** (收入額, 收比率). Rows include 1913-14, 1929-30, 1936-37, 1937-38, 1938-39, 1939-40, 1940-41.

備考:—*所得稅、同附加稅、國防稅、超過利得稅、その他内國稅。**關稅、内國消費稅、印紙稅、自動車稅。資料:—E. Vol. CXL, No. 5093.

て居るが、三九一四〇年度關稅收入四億ポンド中財政法關係關稅が八八・五%、保護關稅一・五%である。豫算上の項目たる内國消費稅と關稅の分類をとれば、前者が三四・三%を、後者が六五・七%を占める。四〇一四年度關稅收入は五二・九〇三・九萬ポンド(うち内國消費稅四二・一%で、前年度に比し二・九〇〇・三萬ポンド増であつた。

四 國債 世界大戰前には七・〇八億ポンドにすぎなかつたものが、大戰直後の一九一九年には約一〇倍の七四・八一億ポンドに激増し、その後も依然として國債の増加の傾向やまず、殊に一九三七—三八年からには國防公債法により四年間に四億ポンドの國防公債が發行されることとなり、その發行限度は屢々擴張されて一〇・五億ポンドに達した。これに基づいて發行された公債は三九年末まで約一・九億ポンドであつたが、いはゆる戰時公債は、戦局が停滯的であり、戰費の支出が案外少なかつたため、四〇年三月に至るまで所謂戰時公債の發行は行はれなかつた。この間の戰費は主として大藏省證券によつて賄はれたのである。最近における毎年三月末現在の國債總額は第一二表の如くであるが、三九一四〇年度の內債對前年度増加額六・五二億ポンド中五・六九億(八五%)は短期の浮動公債の増加であることは、此の間の事情による。四〇一四一年度における増加額は二四・八九億ポンドの巨額に上つたが、その内譯は長中期公債一・一六五億(四七%)、短期債一・三二四億(五三%)の増加であつた。

No. 12 國債現在高 (單位1,000,000ポンド)

Table with 7 columns: 3月31日現在, 總額, 内債 (整理公債, 浮動公債), 外債, 財政年度. Rows include 1937, 1938, 1939, 1940, 1941.

備考:—國債委員會の手中にある整理基金公債および相續稅納入に當つて返納されたダイクトリー公債は本表には含まれて居ない。外債は主に對米戰債にして、ロシアおよびフランスからの113,500萬ポンドは、これ等の國に對する英國保有の債權と相殺せるものと見做されるが、本表數字中には含まれて居る。外債は平價にて換算。

資料:—S.Y.B.L.N. 1939/40. M.B.S.L.N. Vol. XXII, 1941, 8.

イギリス金本位制の確立が緒についた。一六九四年既にその創立を見た英蘭銀行は一八四四年、その銀行券發行に關するピール銀行條例に従ふ事となる。すなはち(一)銀行券の發行は集中主義をとり、他の發行銀行が發行權を停止した場合、該銀行券回收額の半だけ保證準備發行額を増加しうる。(二)保證準備發行額は舊來の保證準備發行額の平均から一四四萬ポンドと確定する。(三)發券部と銀行部の分離。(四)毎週その會計報告の公表等がその内容である。かくして一應の確立を見た貨幣制度は金融恐慌の都度、ピール銀行條例を停止した(一八四七年、一八五七年、一八六六年)ことを除き何の變化もなく大戦まで繼續する。大戦始まるや一九一四年八月四日金銀貨並に地金を條件付の戰時禁制品として金の輸出を統制下に置き、八月六日には「通貨ならびに銀行券條例」(Currency and Bank Note Act)を出し、(一)一八四四年のピール條例の停止(二)大藏省による政府紙幣(Currency note)の發行を規定した。かくて金本位制は事實上停止せられ、更に一九二〇年には金銀輸出制限法が獨立法として發布せられた。しかるにこれは貿易の破壊とインフレーションの危険を招來したので幣制再建が日程に上り、一九一八年にカンリツフ委員會が、一九二四年チェンバレン委員會がそれぞれ貨幣制度の調査のため設けられ、兩者共舊平價による金本位への復歸を勸告した。一九二五年四月二八日、金銀輸出禁止法は停止せられ、五月一三日金本位條例(Gold Standard Act)により新金本位の貨幣制度が確立

され(一)英蘭銀行は金一オンスに就き三ポンド一七シリング九ペンスの割で無制限に買入の義務あるも造幣局へは同銀行のみ金地金を持参して金貨鑄造を依頼しうる。(二)英蘭銀行は標準金一オンスにつき三ポンド七シリング一〇ペンス半の割合で全地金を無制限に買入義務を負ふ(一)等が規定せられ、一八二八年の通貨及び銀行券法で政府紙幣は英蘭銀行券に合併せられ、従つて保證發行高を二六、〇〇〇萬ポンドとし、制限外の發行を認め、一般人からの金の強制買入の權利を英蘭銀行に與へた。成立せる貨幣制度は戰前の金流通制度と異つた金本位制で金地金制とも呼ばるべきものである。同時にこの制度は單にイギリスの貨幣制度であるばかりでなく金蓄積劣弱な他國に採用された金爲替本位制がその國の銀行券の保證を外國(主として英、米)の爲替に、従つてロンドンにおける銀行預金に置いた限り、かゝる諸國の貨幣制度の支柱となり、かゝる貨幣制度を從屬させるものであつた。しかるに一九二九年の經濟恐慌の襲來と共にイギリスの國際收支の悪化と外國預金の引き上げにより莫大な金の流出を見、一九三一年九月二日金本位修正條例により金地金の賣出しを中止して金本位を離脱した。かくして一九三六年以來、或は英蘭銀行手持金の増加によるインフレを避けるため、或は平衡資金勘定への金移管を行ふため、保證發行限度は再三擴張されて一九三九年一月四億ポンドとなり、二月再評價されて三億ポンドとなつた。

第二次大戦勃發するや一九三九年九月六

日英蘭銀行はその發券部保有の金二・六三億ポンドの殆んど全部を爲替平衡資金勘定に移管し、保證準備發行限度は一躍五・八億ポンドに引上げられ、銀行券發行高の殆んど全部が保證準備によることになつたが、戰局急轉回に伴つて戰費の激増を見るに及んで、一九四〇年六月一日五、〇〇〇萬ポンドの再擴張を行ひ、八月二日にはドイツ占領地域に死藏されて居る莫大な英蘭銀行券がドイツの手中に陥ることを恐れ、英蘭銀行券の帝國領輸入を禁止した。(なほ法貨の自由持出しは三九年九月五日の爲替管理令により既に禁止されて居る。しかるに戰費膨脹に伴ふ通貨需要は引續いて増大したため一九四一年四月戰後第三次の改正を見、保證發行限度は總額六・八億ポンドとなつたのである。

(註) なほその後再度の改正により、一九四一年末における保證發行限度は七・八億となつた(E金銀、9英蘭銀行の項参照)。

2 本位貨幣・補助貨幣 ソヴリン金貨(Sovereign)は一八一六年新たに金本位制度が創設せられた時、從來のギニー貨にかはつて鑄造されて一ポンドとして通用したに始まり、兌換の行はれない現在では事實上消滅してゐる。その純度〇・九一六六六の金、一二三・二七四グレイン、即ち七・九八八〇五グラムである。従つて同金貨の純金含有量は一一三・〇〇一グレイン、即ち七・三二二四グラムである。シリング銀貨(Shilling)の重量は八七・二七グレイン、即ち五・六五二グラムである。同銀貨の純度は嘗つては〇・九二五であつたが、一九二〇年の鑄貨法(Coinage

Act)によつて〇・五〇〇に引き下げられた。青銅貨は銅、錫、亜鉛の混合物で、ペニイ貨(Penny)の重量は一四五・八三グレイン、即ち九・四五グラムである。三ペニイ貨が一九三七年に發行された。銀貨は四〇シリングまで、青銅貨は一二ペンスまでを法貨とする。五磅以上の英蘭銀行紙幣はイングランド及びウェールズにおいて法貨として通用する。一九二八年の通貨・銀行券條例(Currency and Bank Notes Act)により、英蘭銀行は一ポンド紙幣及び一〇シリング紙幣を發行する權利を附與され、この紙幣はスコットランド及び北アイルランドにおいてもすべての支拂に法貨として認められる。なほ一ポンドは、二〇シリング、すなはち二四〇ペンスである。

D 外國爲替

1 概観 世界經濟、特に國際金融上におけるイギリス國民經濟の優位は、一九世紀から二〇世紀初頭へかけて國際貸借の決済をロンドンに集中せしめ、對英爲替相場は多年各國爲替相場の基準となり、ロンドン爲替市場に、諸國の爲替市場に對する支配的な地位を與へた。第一次大戦當時においてすら、開戰當初各國爲替市場が見出した困難は、後に見られたロンドンに資金を保有することを危惧せることに基つた困難であるよりも、寧ろロンドンに在る資金を手離すことを惜しみ同地間の爲替の賣り手が得られなくなつたことに由來する爲替取引の不圓滑であつた。ロンドン爲替市場は、一定の建物の内ではなく、各銀行と商人の中にブローカーが介在

して取引が行はれる。取引はマーチャント・バンカーと植民地銀行によつて行はれて居たが株式銀行も外國部と海外支店を設立する様になつてから之を行ふ様になつた。爲替取扱銀行は日本の横濱正金、三井、三菱、住友、臺灣、朝鮮の外 Westminister Bank, National City Bank of New York, Barclay's Bank, Carter, Quinn, Cope & Co., Richardson & Fothergill, M. W. Marshall & Co., Lawrence, B. others, Birt, Figgers Duke 等を有力なものとする。取引は午前九時半に開始せられ午後四時半頃を以て終了し、土曜日は正午まで、ある時差は日本に對しては九時間遅く、紐育に對しては五時間早い。

しかるに第一次大戦後におけるイギリス經濟衰退の過程においてイギリスの國際貿易、運輸、金融における比重は漸次低下するに至りロンドン爲替市場の傳統的な地位は、ニューヨークの據頭によつて昔日の輝きを失ひつゝあつたが特に一九三一年の金本位離脱以來その傾向は顯著となつた。一九三二年四月爲替平衡資金設置によつてポンドは間接的に管理されるに至り、爲替ダンピングと云はれる爲替競争場裡における有力な武器としてポンドの上騰を阻止し、對米輸出が促進された。

爲替平衡資金——その主たる目的は爲替スベキエレーションやホット・マネーと稱される國際的に移動する短期資金に對抗してポンドの上騰を防ぐ事にあつて、勿論爲替相場に對する絶對的支配を意味するものではない。この資金は大藏省證券の發行によつて賄はれ

回顧において大戦勃発後の管理下におけるポンドの世界通貨としての地位の喪失に對する序幕をなすものであつた。

2 爲替統制

既に戦前の八月二十五日ロンドン金塊市場における自由取引および平衡資金の流動は停止されたが、開戦と同時に九月三日金および外貨の國有と輸出禁止が發令され、五日爲替相場公定となり對米レート四四二セント賣(パリ向一七四フラン、ブリュッセル向二二ベルガ四二、阿姆斯特ダム向七ギルダ五七、ベルン向一七フラン九三)と決定、同時に英蘭銀行金買上價格は八ポンド九シルとされた。かくて統制下のポンド市場は主要次の如くになつた。即ち外國爲替のすべての取引は大藏省および代理指定銀行(英蘭銀行ほか英系二四行)に集中され、外國系銀行は除外されてマーチャント・バンカーその他の爲替取引専門機關も第一線から後退し爲替ブローカーは全然消滅した。外貨および金に關する一切の取引は、これ等指定機關の許可を要することとなり、また英國居住者所有の金および特定外貨は動員された。なほ植

民地および海外銀行はそれら自國通貨の取引をすることが出来るやうな権限を與へられて居る。

戰時下におけるポンドの賣相場と買相場は次第に狭められて一セントとなつた。戦後の變動は第一四表の如く、四〇三・五セント(賣)に釘付けされた。しかるに四〇年春自由ポンドの下落が顯著となるにおよび六月七日ニューヨーク市場へ出廻るポンドの數量を制限してポンドの安定を計るため新爲替管理令を發布、一三日獨軍の西歐席巻に對し、更に管理を強化した。六月七日の統制令の要旨は、一、ポンド領域外居住者の保有する英證券賣却不可(當分の間)二、米、瑞向輸出品の支拂は公定ポンドもしくは米ドル乃至スイス・フランスたるを要す。三、ポンド領域外および聯合國領域外の諸國に對しても前項同様の効果をすべき方策をとる。四、ベルギー、白領コング、オランダ、蘭領植民地、中南米諸國等特定仕向國に對する特定商品の輸出代金は公定ポンドまたは特定外貨たるを要すとの規

No. 14 ポンド相場の變動 (單位 U.S. セント)

Table with columns: 月、平均, 公定相場, 自由相場. Rows include years 1941, 1940, 1939, 1938 and various months.

備考:—1939年9月以降爲替管理實施。資料:—M.B.S.L.N.

相次ぐ管理強化の結果ポンド貨の浮動は阻止されるに至つたが、その半面ポンド貨は實勢を反映しない公定レートに基く人爲的のものとなつた。

【ポンド自由市場】

爲替管理における所謂E一號形式によるスターリングの外國勘定移轉に基づき合法的に流出したポンドの市場で阿姆斯特ダム、チューリッヒ、ブリュッセルおよび特に集中的にニューヨークにおいて成立する。その取引量はThe Economistの推定に従へば英國全爲替取引の五—一〇%と見られる。自由市場に流入するポンドの源泉は右のほか、戦前から外國人所有のポンドおよびスターリング・ブロック各地から流出するものがあるが、量的にもさして重要ではない。

E一號形式によるものを大別すれば、スターリングでインヴォイスされた英國への輸出代金、英國内へ投資された外國資本の利子お

よび配當金、その他他保險金支拂等である。この形式による爲替許可は上記の如く自由ポンドの主要源泉であるが、その後漸次英國内非居住者に對し嚴重に制限されるに至つた。

自由市場は、英國内にある外國資産を封鎖せぬ立前からは、移動の出口を提供するものであり、國際的金融聯繫の一環の系たるものであるが、此處で買はれる一ポンドはそれだけ外貨の損失を意味すると同時に、此の市場の狹隘性は自由ポンドの浮動性を規定し、スベキユレションの對象となる。従つて戦勝第一主義の見地から政府はその絶滅を企圖し統制の強化によつてその源泉を絶つ(前項参照)と共に、四〇年七月第四次爲替管理の強化によつて、ニューヨーク市場における公定レートの實行方について米側銀行の協定を仰いだ。これによつて第一四表に見る如く自由ポンドの相場は漸次公定レートに接近、自由市場の重要性は殆んど失はれるに至つた。(註) * 英蘭銀行と在英アメリカ銀行との

定の廢止およびポンド・ブロック内の諸國に對する同様の規定も廢止。かくて外國市場のポンド貨減少し英貿易を公定レートに依らしめると共に輸出代金をロスなしに受取り輸入資金に貢獻し得ることとなつた。六月三日の管理強化の要旨は一ポンド貨の對米及び對スイス・フランスは今後直接英蘭銀行の許可を必要とす、二、佛、白、蘭諸國人所有の在英證券、金、外貨のポンド・ブロックおよびこれ等通貨の流通領域外への輸出も英蘭銀行の許可を要す。三、ポンド、ブロック内諸國と關係なき商品のロンドンにおける外貨建取引は一般に不許可とし、かゝる取引に要する外國爲替の賣買は英蘭銀行の許可を要す(除外例、米ドルを以つて購入、轉賣して米ドルを入手する場合)。

一九四〇年七月には非英國内居住者勘定のポンド賣却は一般的に不許可の方針を言明、また自由ポンド絶滅のための第四次管理強化令(次項参照)を發布したが、一月に至つて非英國内居住者に對する商業的性質を有せざる支拂に充てるべき封鎖ポンド勘定を設けた。此の勘定の資金は指定信託證券に投資する場合に限り利用され得る。なほ非英國内居住者の資金動員を徹底させるため、かゝる資金によるスターリング證券の購買には便宜が與へられ、かゝる購買證券の轉賣が可能となりまたそのスターリング手取金は同様の勘定にクレディットされる。

E 金融

爲に登録ポンド勘定を設定、ポンド・ブロックと米英およびその屬領との認可可取引の決済に用ひ、この勘定からの振替は米人相互間またはポンド・ブロックへの振替に限られる。

引受商會は一定の手数をとる。手形振出人は引受商會に對して預金残高を置いてゐるの...

内地の株式などは臨時的なプロモーターによつて發行される。長期信用市場においては資本供給者は投資信託と保險會社を主とする...

No. 15 イギリス銀行の集中過程

Table with columns: 年末, 銀行數, 支店數, 資本金A, 預金B, 當座金C, 百分率. Data points for years 1890-1932.

備考:—イギリスおよびアイルランド。スコットランドにおいては、1890年10行(資本金および積立金14.8)の預金91.6に對し、1932年末8行(30.8)の預金276.5であつた。

資料:—G. Obst: Geld-, Sank- und Börsenwesen, 29. Aufl. 1935.

ロンドン銀行および地方銀行に對するロンドン地方銀行の制覇は戦後に確立されたが、戦前の合併が自己資本の増加よりもむしろ減少を伴つたのに對して、戦後には増加を伴ひ...

の限りに對しては銀行數の變化が集中の進行の適確なる指標たり得なくなつた。海外進出は戦前にも例はあつたが、戦後に至つて顯著となり、理事の参加を通じて海外諸銀行を直接の統轄下に置くに至つた。

なる個人銀行が過度の信用膨脹や、貸出しの結果として恐慌に直面するや破綻續出倒壊せるもの一七九三年の恐慌に一〇〇銀行、一八一四、一六二四〇銀行と云はれてゐる。かくして銀行業に堅實な基礎を與ふべく一八二六年、一八三三年の條例が發布された。之により銀行券の發行權を有する株式銀行が一般に設立される事となる。

No. 18 金利

Table with columns for year (1936-1941), bank type (銀行割引歩合, 市中割引歩合, ロンドン銀行), and interest rate (短資).

備考: 一数字は年平均。*1月以降6月末まで。 ** Statist による。 資料: -E. Vol. CXLL, No. 5108.

銀行に独占せられてより、これらビッグ・ファイブは預金、割引中心の商業銀行としてその巨大な組織と金融力をもつて、なほ形式的には獨立して居る拾餘の諸銀行に君臨して居る。

No. 19 五大銀行

(単位1,000ポンド)

Table with columns for bank name, branch count, assets, and deposits.

備考: -1941年6月30日現在。 資料: -E. 但し支店数は We. A. 1940 に據る。

マナー政策の發展、産業合理化の進行等を基礎として、株式支配によつて産業資本を従屬せしめた銀行資本は、産業と密接な利害關係を結びつゝも、なほ必ずしも直接的投資を行はず、これを指導しつゝその自己金融を助成する方針をとつたのであつて、預金に對する貸出の割合五〇%は、ロンドン組合銀行(當時一〇行)について見れば一九三一年の五二・二%を最後として漸次低下しつゝあつた。

No. 20 ロンドン組合銀行主要勘定 (単位1,000,000ポンド)

Table with columns for year, category (預金等, 現金, コール等, 割引手形, 投資, 貸出等), and value.

備考: -11行各年とも月平均。パークレイ銀行は、1940年1月マンチエスター・ユニオン銀行を合併。括弧内の数字は「預金その他」に對する%。 資料: -St. Vol. CXXXXVIII, No. 3316.

傾向に拍車がかはつたのであるが、第二〇表に明らかな如く、一九四一年上半期末に至つて事態は新たなる段階に入り、組合銀行の貸借對照表の集計において投資は貸出を超過

No. 16 英蘭銀行計算書

(1941年9月24日現在、單位ポンド)

Table with columns for department (I 發行部, II 銀行部) and various financial items like bank notes, government securities, etc.

備考: -*有價証券引當にて發行せるもの。 **17アイン・オン・ス168シリリングで評價。 ***大蔵省・貯金局・國債委員會等を含む。 資料: -St. Vol. CXXXXVIII, No. 3318.

No. 17 英蘭銀行各流通高 (単位1,000,000ポンド)

Table with columns for month/year and circulation amount.

備考: -*12月24日現在(在外電による) 資料: -M.B.S.L.N.

3 金融機關 英蘭銀行 最近における英蘭銀行勘定は第一六表の如くである。まづ發行部に就いて見れば、一九三九年九月六日準備金の殆んど全部(二・七九億ポンド)を爲替平衡資金に振替へたのち金貨および金塊保有高は二四一・五七五億ポンドに止まつて變らなかつた。同時に金融對策としての保證準備發行限

度の擴張が行はれ、一躍五・八億ポンドに引上げられ、銀行券發行高の殆んど全部が保證準備によることとなつた。この擴張においては限外發行は認められて居らず、銀行券發行の弾力性はなくなつて、流通高の増加に一步先んじた保證限度の更改は必至となつた。英蘭銀行券の流通高は、第一七表に明らかな如く四〇年六月に至つて顯著な増大を示した爲保證發行限度は六・三億に擴張されたが、四一年に這入つて流通高の膨脹は漸く加速度の傾向を示し、かくて四月三〇日六・八億へ、八月三〇日七・三億へ、さらに二月二日七・八億ポンドへの保證發行限度の引上げを見るに至つた。流通高は四一年二月二日現在季節的增加を伴つて七・五二億に上り、その大部分は政府證券引當にて發行されたものである。銀行部について證券保有を開戦當時の三九年同期(九月二七日)と比較すれば僅か五・五億ポンドの増加に過ぎず、銀行部準備金(銀行券および硬貨)は六〇・四百萬ポンドで二〇・六百萬の増加を示し、總預金債務(政府預金その他)に對する比率は二二・二%から三〇・六%へ増加して居る。

して銀行資産に優位を占めたのである。
 組合銀行の預金は第二次大戦勃発後の二ヶ年間に二・四五億ポンドから一九・九七億へと三三%の増大を示したが、その増加の大部分は當座預金(六・五九億、三九年八月一四一年七月)であり定期預金の増加は僅少(〇・八六億)であった。斯様に流動性を増加した資金を以つて、銀行の長期政府証券に對する投資が行はれたのである。銀行資産における金融証券の壓倒的支配の基礎には、低金利政策が國防債券の利率二・二分の一分を魅惑的ならしめて居る事實が存在することは言ふまでもない。流動率はしかし乍ら一九四〇年七月の大蔵省貸上金制度の創設による短期投資の増加によつて増大した。手形を除いた、現金、短期貸上金、短期証券の預金に對する流動率は開戦當時一九四〇年四月であつたが、四〇年八月には三五・三%に、四一年七月には四〇%に達した。その後此の水準は若干低下したが、斯様に流動率が顯しく高まつた爲、銀行はその短期資金の可成の部分を長期資金に振向けることが出来ることとなつた。だが斯くして政府証券に對する投資が増加すると共に、政府の金融政策に對する從屬は決定的となりつゝある。

【産業金融】特に流動資金の金融は、長期信用の授與ほど統制を受けて居ないが、多くの場合信用よりも當該事業の活動の性質が基準となる。従つて短期資金の金融も資本統制の線に添つて行はれて居るのである。

既述の如く政府証券への投資によつて利潤の低下を防止せんとする努力にも不拘、預金の

ためにグレンシャムおよびエキティ・マンド・ロー等の生命保険會社は、月掛三ポンド一四年満期の契約を以つて保険金として三分利附貯蓄債券を渡す新業務を創設、「公債の分割購入方法」として宣傳を行つて居る。
 主要會社二九社の火災保險金純受取高は、一九三九年末四、七四一・五萬ポンドで(國外よりの拂込を含む)、七・七三%の増加を示した。
 海上保險は戦時下危険率の増大に鑑み戦時保險料の實施、プール制、および海上保險市場と軍需、食糧省との間の廣汎な協定に依つて新事態に對處し、嘗てない契約高を得たといはれる。行方不明船舶の處理に關しては混合調停委員會が設置された。
 【信託】一般財産管理制度としての信託は一九世紀の終りに至るまで何等法律の拘束を受ける事なく、私人の間で無報償主義によつて行はれて居た。一八九三年の條例によつて統一的法規が與へられたが、一九二五年の「受託者條例」(二六年一月一日より發効)によつて信託投資の範圍が限定され、特定のステアリング証券(一八に分類される)が對象として規定された。「官選信託者條例」は一八九六年に公布され、委託者が適當な受託者を得ざりし場合、又遺言をもつて受託者を指定しない場合、裁判所によつて之を選任し、之に相當な報酬を許す事になつた。官選受託者條例の缺點を除くため官選受託者なる單獨法人を受託者とする「官選受託者條例」(一九〇六年)の公布を見るに至つた。これによれば事務費は國庫の支辨として、前には報酬

の激増による資金のコストの増大に對して利率の低い大蔵省証券や大蔵省貸上金への投資が増大すること、外國取引業務の利潤激減、諸費用の増加および特に税の加重等の悪條件異積のため、銀行収益は減少傾向をとり、一九四〇年において既に五大銀行の純益計七八五・七萬ポンドで前年に比し八九・九萬ポンド一%の減少を見て居るが、斯かる傾向は不可避的に増大するであらう。
 一九四〇年における手形交換高は第二一表の如くであつた。ロンドン手形交換高が前年

No. 21 定手形交換高 (單位1,000ポンド)

	ロンドン	地方*
1940 IV (四半期)	8,088,951	345,133
III	9,210,701	344,209
II	10,558,512	350,803
I	11,260,619	307,605
1940 (合計)	44,018,783	1,407,755
1939	36,641,873	1,269,496
1938	39,610,229	1,258,237

備考：* バーミンガム、ブラッドフォード、ブリストル、ハル、リーズ、レスター(Leicester)、リヴァプール、マンチエスター、ニューキャッスル、ノッティンガムおよびシェフィールドの11地方。
 資料：—The Times, 1941. 1. 9.

に比し九・二%方増加した主要な原因は、從來他の經路を通じて居た手形、小切手が交換所を通るに至つたと云ふ消極的性質のものである。地方交換高は四〇年度に一〇・八%方増加したが、リーズを除く一〇地方の四一年九月二〇日迄の交換高は一、〇二四、一七五千ポ

ンドで前年同期に比し二・九%の増加に止まつた。即ち四〇年度の増加は産業金融の地方分散の進行に負ふところが多いと見られる。地方手形交換高に反映された産業の分散を見ればハル、ノッティンガム、ニューキャッスルの減少顯著なるに對しブリストル、リヴァプールの増加は、英國産業が東部海岸から西部海岸へと移動して居ることを示して居る。
 【保險】開戦以來戦時災害の保險契約から除外は一般的傾向となつたが、戦時補償に關する幾多の計畫が政府の實施するところとなり、種々の經驗に鑑みて整備されつゝある一九四〇年八月現在において更改された契約條件による被保險商品の總価格は一二億ポンドに達した。
 戦時金融の要請に應じて保險會社の公債應募は増加したが種々の賦制購買方法による代理應募は、國民貯蓄運動の進展のため行き詰りの氣配が見えるに至つた。しかし乍ら軍事公債募集運動の強化は、保險料受取額一ポンドに對して三シル六ペンスの割戻しを認められたもの、所得税の全面的増徴が行はれたのと相俟つて、生命保險會社の新規契約高の激減を齎らした。即ち一九四〇年に於ける契約高は一〇一億ポンド(四四社)で、前年に比し五、八九七萬ポンドの減少であつた。また相續税の増税と共に、證券價值の下落は相續被保險證券の分散に關する論議を惹起したが、資本價格には殆んど影響を及ぼさなかつた。
 公債募集運動に喰ひ込まれるのを防止する

であつたものが僅少の手數料をもつてする事となつた。斯く英國の信託業務は個人受託者と官設受託者の協同的活動によつてゐる。他方信託を見るに極めて量的に少く、多く銀行業、保險業の副業となつてゐて、米國と著しい對照をなす。今官設受託者の活動を見るに、一九三八年三月現在受託財産價額が四一五萬萬ポンドである。

【投資信託】一八六二年の會社法 (Company Act) によつて有限責任會社組織が認められるや飛躍的發展をとげ、一方に普通株、優先株社債による資金の吸収と他方分散投資の方法による多種類の内外證券への投資をもつてその營業を構成してゐる最近の主要八〇信託會社の資金状態を見れば普通株三千二百萬ポンド、優先株三千四百萬ポンドに及び、約二〇〇會社の受託資金三二億ポンドに上る。一九三一年三月より新しくユニット (Unit) 投資信託なるものが形成せられた。其の特徴とするところは最初に確定した投資證券の種類を原則として動かさぬ事にある。従つ

て投資證券の構成によりユニット(A)或はユニット(B)などの如く順次に新投資團が形成されてゆく。一九三八年の夏までに八一のユニット・トラストが成立し、二五の會社が管理してゐる。
 【郵便貯金】郵便貯金の歴史を見ると遙かに一八〇七年ホワイトブレッドの提案に遡る。之は未だ國民所得の低位のため議會の否決するところとなつたが、一八六一年 C. W. Zings により議會に提出され、同年九月より實施された。その内容を調べると貯金最高額には制限なく、たゞ一年間に五〇〇ポンドを超えない事を原則とする。一度の預入最低額制限は一シリリング、利率は年につき二・五%で、一月計算である。一九三九年一月三十一日には一、二二萬人の貯金があり、その金額は五・五億ポンドに達してゐる。英國に於ては郵便貯金は之を總て國債に放棄し、國家財政の目的のために専らこれを使用してゐる。戦時下國民貯蓄運動の強化と共に郵便貯金の増加は目覺しく、その趨勢は第二二表の如くである。

No. 22 郵便貯金 (單位1,000,000ポンド)

年	郵貯	便貯	國貯	民貯
1938	747.3	382.1		
1939	800.5	398.9		
1940	857.7	480.3		
1940 6	838.9	475.7		
7	855.1	492.5		
8	868.6	503.5		
9	887.3	513.9		
10	903.7	526.6		
11	920.6	543.0		
12	930.6	556.6		
1941 1	949.3	569.1		
2	968.3	585.6		
3	989.8	603.3		
4	1,007.9	618.8		
5	1,032.4	648.8		
6	1,047.0	664.0		

備考：—貯蓄銀行預金 (1938年238.0; 39年249.2)

資料：—M.B.S.L.N.
 【その他の金融機關】相互貯蓄銀行 (Trustee Saving Bank) は一九世紀の初頭創立されたもので、資本金を株式による事なく預金に求め利潤を預金者に配當する組織であつてイギリス、アメリカに發達してゐる。即ち、共済組合の書記官の保證

した規則ならびに議会の法律にその義務が掲げられてあるところの志願受託管理人がその経営に任じ、他方政府の監督に服するのである。一九三八年一月、該銀行数は一〇一でその総預金は二三八、八四七、〇四〇ポンド、その預金口数は二、九〇〇、五三八に達する。なほこれと並んで最近擡頭してきた貯蓄機關は都市における消費組合の銀行部、農村における農業信用組合、建築組合等があり、相互主義に基き營利を排斥してある。又英國と植民地との間の取引を金融する機關として植民地銀行が特許法に依り設立され、或は本店をロンドンに、或は植民地においてある。なほこの外前述の産業助成會社、農業地方救済機關としての農業金融會社、長期貿易信用を與へる機關としての大英貿易會社等がある。要するに之を英蘭銀行と五大銀行とに較べるとその意義は極めて小さい。

F 資本

1 概観 世界資本市場におけるイギリスの位置を歴史的に見ると、一九一九—二三年間におけるイギリスの資本輸出は四億九千萬ポンドで全發行高の四三%を占めるに對し北米合衆國は四億六千萬ポンドで全發行高の一三%にすぎなかつた。一九二二—二九年間を見るときイギリス六億一千萬ポンド(四五・六%)に對し合衆國は二億六千萬ポンド(一八%)を輸出した。大戰前までは資本の輸入國であつた合衆國の事を考へると世界資本市場における合衆國の決定的優位とその競争者たるイギリスの敗北が理解される。かくてイ

No. 23 起債高(I) (單位1,000,000ポンド)

Table with 5 columns: Year, Domestic, British Empire, Foreign, Total. Rows for 1941(1-6), 1940, 1939, 1938.

備考:一次表参照。

資本發行高(II) (單位1,000,000ポンド)

Table with 5 columns: Year, Bonds, Preferred Shares, Common Shares, Total. Rows for 1941(1-6), 1940, 1939, 1938.

備考:一數字は新基準(取引所經由賣却を含む)。括弧内の數字は舊基準(直接公募起債のみ)による。借換を含みます。資料:—E.Vol. CXL, N.5080. および Vol. CXLI. No. 5107.

九三〇年において海外投資總額三七・三億ポンドのうち、英帝國屬領は五八・七%で、その主なものは印度およびセイロン(一四・五%)、カナダ(一四・一%)およびオーストラリア(一三・三%)、英帝國外においてはラテン・アメリカに二二・四%、ヨーロッパ七・九%、合衆國五・四%、その他五・六%で、對ラテン・アメリカ投資の大半はアルゼンチン(二二・一%)に投資されて居た。イギリス資本市場における起債額は、直接公募起債のみを採る舊基準を基礎とする the Economist の指數に依れば、一九二八年一〇〇に對して三一年の恐慌下において二八に激減し、爾來三四年の四六を最低、三六年六九を最高に停滞的傾向をとり、三八年四九、三九年二五と再度の低下によつて恐慌當時最低水準を突破した。一九三九年の英本國政府、自治團體、產業會社の起債總額一・一五億ポンド(新基準以下同機)は三八年の半分、三一年の恐慌水準に比較されるべきものであるが、帝國諸屬領の起債高の減少と外國に屬する發行の消滅が

これに拍車を加へたのであつた。政府の大規模な起債が行はれなかつたことが主要な原因ではあるが、自治團體の起債は引緊められ、政治的な不安定が產業會の半ば思惑的な發行を崩壊させたことも考慮されなければならぬ。産業資本の自己金融は、資本統制の實施によつて益々顯著となつた。

2 資本統制

公債發行を容易ならしめるため英國政府は夙に間接的統制を行つて居たが、開戦と同時に爲替管理および金、外貨證券の動員と併行して、國防全權法に基づく國防金融令による資本發行の統制を開始した。即ち原則として新資本の發行および期限の借替を行ふには大藏省の同意を得て、その指定する條件に従ふことを要する旨規定され、その施行手續は、從來外國證券の發行統制に當つて居た外國取引諮問委員會の機構を踏襲せる「資本發行諮問委員會」の審議に俟つて許可を決定することとなつて居る。

(註) * 印より詳細に述べれば次の如くである。

- (1) 新規資本發行は、國內外の企業に對するものを通じて、國家にとつて有益と認むる限り、大藏省が許可する。
(2) 大藏省證券または帝國屬領、外國政府、自治團體、會社、鐵道またはその他の企業の短期債務借換發行は許可申請を要するが、大藏省は一般に制限を附さない。
(4) 長期債務の借換發行に關しては特別の考慮を拂ふ。
(5) 三九年九月三日以前引受の手形の決済のためには、ロンドン手形引受業者に對

して英蘭銀行は資金を前貸する。この前貸金の利息は、六%以下、英蘭銀行割引歩合より二%高いものを最低限とする。

(5) 前貸金および利息については英蘭銀行は優先債権を有す。引受人は可及的迅速なる資金回収の義務を負ふも、回収不能なる金額に對しては戦後半ケ年は返済を要求せず。

例外、證券發行代金年一萬萬ポンド(三九年一二月以降、それ以前は五、〇〇〇ポンド)を超過せざる場合、既發行證券の額面變更の場合、會社合併の場合、戦前債務に關する證券發行等は許可を要しない。かくて資本統制實施以來三九年度九月以降四ヶ月間の資本發行高は、前年同期に比し九〇方減少を示したが、本國政府公債の發行増加を見るに及んで一九四〇年度一〇・八八七億、四一年度(前半期)七・九三億と逐年増加を見るに至つたが、外國證券の發行および植民地政府公債の發行は皆無であつた。一九四〇年一月以降四一年六月末に至る期間において、起債額の九八・八%(一八・五七九億ポンド)は政府の募集に依り占められた。爾餘の二、一四・一億ポンドが即ち第三表に示された資本發行額であるが、そのうち主なる發行(同期間六〇萬ポンド以上)借換を含み、製造工業その他(一、一五八・八萬ポンド)、南阿を除く鑛山業(七六六・六)、瓦斯水道(一七五・三)、倉庫業(一二五・〇)、電燈・電信(八〇・一)、鐵鋼業(六四・九)であつた。これらの株式社債の大部分は増資令であるが、社債および優先株式の直接

公募は殆んど姿を消すに至つた。以上明らかなる如く、外國債、植民地公債、鐵道債等の起債はれず新資本發行が極度に抑制された結果、資本市場の機能は擧げて政府の借入遂行に動員されたかの觀を呈して居る。

G 企業形態

1 概観 イギリス國民經濟が一九世紀において保持して居た世界經濟における優位は、産業資本の確立がこの世紀の初頭に行はれたことに基づく國民資本構成の低位と相俟つて利潤低下傾向の現象化を制肘し、カルテル、トラスト、コンツェルンの發達を緩慢ならしめた。しかし乍ら一九世紀最後の二五年間に此の優位が崩壊するや資本形成の一般的法則の自己貫徹の結果として進行しつゝあつた資本の集積と集中の過程の上で、産業利潤の擁護を目的とする防衛的な企業集積が顕在化した。一八九〇年代に進展した銀行の集中は、産業の手中に促進され、またそれを促進して、電氣化學工業を先導とする一連の鍵鑰産業にトラスト化が行はれたのであるが、米獨に比較すれば斯かる進行は著しく遅れて居た。第一次大戰前の一時的鎮靜期を経て、大戰を通過し、戦後の國民經濟的危機に直面して、英國における企業集積は始めて本格的段階に這入つたのである。以下生産部門の指標たる鐵鋼業、消費財部門の指標たる棉業、および新興産業の指標たる化學工業に就いて概観するが、此の時期において特殊會社による企業金融的支配は一般化したのである(生産集中計畫については統制經濟の項參

照)。なほ他の産業部門に就いて一言すれば、農業においては一九二四年にイングランドおよびウェールズで経営数の三・一%を占める三〇〇エーカー以上の農場が全耕地面積の二二・九%を經營し、一〇〇エーカー以上を取れば經營数の一九・五%に當る農場が實に全耕地面積の六六・七%を經營して居るが、英國國民經濟構造の確立に當つて定着された此の型制は慢性的農業恐慌化にその發展が停滞して居る。商業部門は分散性の最も顯著なる部分であるが、I.ohs.の推定に従へば、小賣商店の九一・三%を占める個人商店が取引の六一%を取扱ひ、五・三%を占めるチェーン・ストアが一八%を、三・二%を占める購買組合賣店が一二%を、〇・二%を占める百貨店が九%を扱つて居る。

2 鐵鋼業 鐵鋼業はその勞働過程の技術的性質上、縱斷的結合の迅速なる發展を見る部門であることは獨米の明らかに示すところであるにも拘らず、一九世紀の鍊鐵工業の段階において躍進を示した英國鐵鋼業は鐵鋼的基礎への移行に困難を感じ、特殊的には炭坑業の分散性、鐵鋼資源の自然的分散、自由貿易のため海外原料の低廉・ダンピング、従つて原料を容易に購買し得るための小經營の存続等の原因に基づいて、縱斷的結合の發達程度が低く、Bolchov Vaughan, Bell Brothers等の製鐵會社が大戦前夜において集中傾向を明らかにし來つたに過ぎなかつた。この大戦前夜における集中の顯在化は、基本的には資本形成の一般的法則の自己貫徹の過程である。

No. 24 鐵鋼業工場規模

雇傭労働者数	工場		生産額	
	工場数	%	1,000ポンド	%
鑄 鐵 爐	11—99	12	220	5.6
	100—299	29	985	24.9
	300—499	18	1,214	30.8
	500 以上	9	1,529	38.7
	計	68	3,948	100.0
精 練・壓 延	11—99	106	921	3.7
	100—499	119	5,679	22.2
	500—999	39	5,194	20.1
	1,000 以上	39	13,783	54.0
	計	303	25,577	100.0

備考：一数字は Board of Trade: Final Reports on the 4th Census of Production に基づく、1930年現在。
資料：一Compton and Eott: British Industry, Its Changing Structure in Peace and War.

と共に、獨米鐵鋼業の激烈なる競争下に國際的地位の相對的低落の餘儀なきに至つた英國鐵鋼業の轉換策の結果であつた。しかるに大戦中の技術的編成替と官民勞働混合管理統制組織の經驗とは、一方には生産規模の擴大他方には企業統制の系統化を齎らし、戦後の産業的停滞からの活路として集中と獨占の顯著なる發展を見るに至つたのである。

【企業集中】 バルフォア委員会の報告（一九二八年）は既に鋼生産額の六〇%および鉄生産額の五〇%が一〇大企業集團の手中に集中されて居ることを明らかにして居るが、

その後斯かる傾向は著しく促進され Dorman Long および Bolchov Vaughan が、他の若干會社を加へて合併し、Richard Thomas もまた Edw. Vale 炭鐵鋼株式會社の資産の大部分を獲得した爲、巨大鐵鋼産業集團の数は八社に減少した。これ等産業集團の一に從屬する Colvilles Ltd. は Allied Iron Foundries の支配して居る鑄造用鐵鋼を除いてスコットランドにおける實質的獨占を確保して居る。Scottish Iron and Steel Co. は、唯一の獨立會社で資本金七五萬ポンドを有して居たが、最近 W. Baird & Co. と合同して、強化された。なほランカシアの獨立諸會社は Lancashire Steel Corporation に吸収されるに至つて、鐵鋼業界の鳥瞰は次の如くなつたのである。即ち北東部では Dorman Long が獨占的地位を占め、獨立の大會社たる Consett Iron は特殊な船舶汽罐用鋼板に専門化して居り、南ウェールズの重工業は、賦力生産額の四〇%と相當な鐵鋼生産額を持つ Richard Thomas を除いては、British Guest, Ke-

en & Baldwin) Iron and Steel Co. に殆んど獨占され、スコットランドにおいては鑄鐵を除いては重要なもの二社（特に Colvilles）リンカーンシアおよび西部沿岸には United Steel Co. が獨占的地位に立ち、他に若干の特殊會社（鑄造の Firth & Brown 鐵鋼の Millen & Askom Hematite および Barrow Hematite）を残すのみであり、爾餘の地方においては鋼管 Stanton Coal, Iron and Tube Investments Ltd. (Stewarts & Lloyds の合併) 鑄鐵の Slavelly および Sheepsbridge、兩炭鐵會社 Vickers に屬する機械工業用鐵鋼の English Steel Corporation が數へられるに過ぎない。縱斷的結合については、バルフォア委員会は鐵鋼會社は、その石炭の六二%、コークスの五五%を自己所有の炭山から得て居ると推定して居るが、一九二九年には鐵鋼會社はその鐵鋼の六五%を、最近では七〇%を支配して居る。合併は生産行程の段階の異なる會社の間に行はれたが、原料の供給を支配する以外に、若干の鐵鋼會社は仕上部門の會社を統括し、或は統括されて居る。造船會社たる Harland & Wolff Ltd. は前掲の Colvilles を統括して居り、本來は機械工業會社たる John & Brown および Vickers は、それぞれ Firth & Brown および English Steel Corporation に關係して居るか、Guest, Keen & Nettelfolds は、ホルト、ナットおよび螺旋の工場を有する鐵鋼業者のコンツェルンである等、その例は枚擧に暇がない。第二四表は工場規模を示すものであるが、經營上から見れば、集中度は表に示されて居る状態を遙かに

超えるものであること、言ふまでもない。

【カルテル】 獨米鐵鋼業に挾撃されて一九三二年四月三三%三分の一の鐵鋼保護關稅を實施したが、それは國內鐵鋼業合理化を行ふといふ條件附であつた。輸入關稅諮問委員會の要請に基づいて三四年四月發表された英國鐵鋼業改造五ヶ年計畫と同時に英國鐵鋼聯盟 (The British Iron and Steel Federation) がコンツェルンおよび各商社の參加の下に成立し、市場分割、合同促進、設備の近代化を計り、輸入制限および海外市場協定のために國際鐵鋼カルテルに參加した。だが群小鐵鋼會社は聯盟に參加して居らず、また鋼管部門は未組織であつて、最近合同を見た Stewarts & Lloyds および Stanton Coal, Iron and Tube Investments Ltd. の二大會社もアウトサイダーである。加盟諸社は價格協定、生産統制、プール制の實施を行つて居るが、カルテル統制は比較的嚴格でない。British Iron and Steel Corporation は聯盟の販賣機關である。大戦勃發後、國際カルテルの機能は停止されたが鐵鋼聯盟はイギリス戰時鐵鋼政策遂行の中心的機關となつて居る。

利益協同體について一言すれば、Baldwins および Guest, Keen & Nettelfold は British Iron and Steel Co. なる利益協同體を有するが Colvilles は Harland & Wolff および Ladgows Ltd に船舶用鐵鋼の獨占的供給權を有して居り William Beardmore と相互取引協定を Barron Hematite とは鐵鋼生産型に關する協定を締結して居る。Firth & Brown と English Steel Corporation は Firth

Vickers Stainless Steel Ltd. を支配して居り Stewarts & Lloyds は Tube Investments と緊密に提携して居る。最近銀行團から Richard Thomas に借款が與へられたのを契機として、統制委員會が設けられ、聯盟關係から二人が重役陣に加はつた。鐵鋼業に對する金融的援助は、英蘭銀行、證券投資トラスト銀行團産業伸張會社等に依つて與へられて居たが、この最後のものは一九四〇年二月に至つて資本金を一〇%に縮小した。

2 綿業 英國の鐵鋼工業は、一般的に言つて小規模經營の分散と市場のアナーキーに依つて特徴付けられるのであつて、現存する若干の三大コンツェルンは、その低廉なるコストを基礎としてこの混沌たる激甚なる競争を、緩和せしめるよりもむしろ激化せしめて居る。獨占は主として、中間的工程ではなく綿業部門においては、一〇〇餘の棉花輸入商社中の一〇社が輸入量の七五%を取扱ひ四乃至五のブローカーが取引の四分の一を行つて居る。紡織業は機業に比して企業集中の程度は進んで居るが、企業聯合および縱斷的結合は例外的であるに過ぎない。一、八〇〇萬の紡錘を有する細番手紡績部門が、その點では一番進歩して居る部門である。一八九八年一社を結成した The Fine Cotton Spinners' and Doublers' Association は現在では三五〇萬紡錘を統制する持株會社となつて居り、三四工場を統括する Continous Egyptian Mills は三〇〇萬の紡錘をその支配下に置き、一九二〇年創立の Crosses and Winkworth Con-

solimated Mills Ltd. は一三〇萬以上の紡錘を支配して居る。一九二九年に一四三商社(うち八〇は整理されねばならなかつた)を統合して成立した Lancashire Cotton Corporation の勢力は現在では四〇會社を超え、五二五萬紡錘に上つて居る。一九二〇年以來紡績業が未曾有の苦境に立つに至り、Federation of Master Cotton Spinners' Associations が生産價格統制に乗り出したが成功せず、二六年創設された Cotton Yarn Association も間もなく解體の運命に陥つた。だが一九三四年以來幾多の價格協定が出来、一九三八年の The Economist の推定によれば生産綿糸の五五%は斯かる協定に基づいて取引され、米棉ミュール部門の紡錘の四二・五%(八五〇萬)、エヂプト棉ミュール部門の紡錘の一五・八%(八〇〇萬)が斯かるカルテルの統制下にあつた。一九三八年末には、これ等のカルテルの大部分が崩壊し、うち約四五〇萬紡錘を包括する若干のカルテルは再建され、棉業助成案の通過に依つてカルテル機構の再編成が準備されつゝあつたが、戦争の勃發に依つて中断されるに至つた。

此處に擧げるに足る程のものはない。3 化學工業 一九世紀後半に發達を開始した化學工業には、第一次大戦前既に顯著な獨占化の傾向を示し、アルカリ工業における Brunner & Mond のアムモニア・ソーダ法導入(一八七二年)を契機として、ルブラン法を用ひて居た多數の會社の合同たる United Alkali Co. が成立し、石鹼工業における Lever Combina や火薬工業における Nobel Dynamite Trust 等も既に成立を見て居た。これが、戦時下に政府が直面した状態は特に染料工業が戦時の要求に應ずべき何等の準備もなかつたことであつた。かくて戦後の化學工業は「國防上緊要の部門」とされた染料工業の發達助成、合成窒素工業、石炭液化の發達といふ方向を探り、政府の金融的援助と相俟つて、ドイツ化學工業に對抗して企業集中心が急速に行はれた。即ち一八八二年ニ九會社を結合して Nobel が成立したのを始め、一九年には戦争中設立された二個の半官製會社を合併せる British Dyestuffs Corporation が全國生産高の七五%を支配し Brunner, Mond & Co., United Alkali Co. と共に聳立するに至つたが、一九二六年に集中過程は最高潮に達して是等四大トラストを結合せる I. C. I. (Imperial Chemical Industries Ltd.) が五、七〇〇萬ポンドの資本金を以つて出現した。I. C. I. は政府の金融的援助を受けて化學工業部門を獨占し、特に染料、火薬、工業鹽、窒素肥料工業を地盤として居る。その傘下にある合成肥料會社のビリンガム工場はベ

ルギウス法に依る石炭液化を行つて年産一〇萬トンの輕油を生産し、また The Salt Union は鹽業聯盟の生産高の九〇%を占めて居る。種々の形で I. C. I. と提携して居るが、なほ獨立して居る他の大トラストとしては石鹼およびソーダの生産を獨占して居る。Ever Bros. および Unilever Ltd. があり、漁業および食糧品配給にも關係を持ち、The British Oxygen Co. は酸素工業部門に君臨して居る。

H 生産

1 概観 イギリス職業別人口統計によると一九三一年に於てその農業人口六・四%に對し工業(鑛業・水産業・交通業を含む)人口は四五%に達してゐる。國民經濟の發達と共に農業と工業との分業は發展し、農業人口は絶えずその相對的比重を減じ行くものであるが、このイギリスに見られる兩部門人口の隔絶は世界的に云つて極めて高度のものである。かゝる農業人口の相對的減少は植民地確保、自由貿易の下において原料及び食料資源の大部分を海外市場に仰ぐ事により可能にされたもので、この事はイギリスの輸入額の四分の三をば農作物、農業原料品及び鑛業原料品が占めてゐる事からもうかがはれる。更に各部門が産業におきてもうかがはれる。更に時、勿論國民經濟の發達した國として工業の占める比重は壓倒的である。試みに一九三五年における工業生産を他の産業部門と比較すれば前者は一・二億ポンド(イングランドとウェールズ)で、例へば農業及び園藝の生産

No. 25 國民生産物の構成 (單位1,000,000ポンド)

Table with 4 columns: Year (1924, 1935), Absolute Production (純生産額), and Rank (順位). Rows list various industries like Iron, Steel, Shipbuilding, etc.

額(同)の二・五億ポンド、鑛業生産物(イギリス)の一・六五億ポンドとの隔絶は注目し値ひする。

が注目される。政府關係事業が生産高において躍進し、三五年既に第二位を占めるに至つたことも注意されねばならない。

2 工業

イギリス工業において最も古い歴史を持つものは織維工業と造船業とである。産業革命はまづ織維工業の部面で始り(一八世紀中葉)、ついで豊富なか炭、鐵資源を開發して機械工業が確立し、産業革命が完了した。産業革命後、織維、造船工業と並んで製鐵、機械工業が急速に發達し、一九世紀最後の四半期に至るまではイギリスはこれ等四つの基礎工業において世界をリードし、世界經濟に

なほ第二五表に明らかな如く國民生産物の構成は、産業構成の高度化を示す變化を漸次示しつつあるが、米獨に比して織維工業が極めて高い比重を有して居る點および分散的な金屬加工業が最大の地位を占めて居り、重工業の基礎たる鐵鋼業の比重が相對的に低い點

において獨占的地位を占めて居たが、爾來米獨によつてその地歩を侵蝕されるに至つた。イギリスは永年の工業獨占時代を通じて外國市場を制覇し、従つてその工業は斯様な條件の下に一定の組織水準および技術水準に固定せざるを得なかつた。ために技術的改良は

後進國に比して著しく緩慢に進行し、生産組織の強大化とその獨占的支配形態、即ちトラスト、カルテル、コンツェルンへの集中は新興國に比して立ち遅れて居たが、第一次大戦後の經濟的行き詰りに直面して、合理化が行はれると共に企業集中も著しく進展した。第二次世界大戦の切迫と共に開始した生産擴充と工業再編成は、その後顯著な進展を示し特に一九四〇年夏は一興隆點を形成したものと推定される。戦時下の諸問題については「戦時經濟」の項で述べたので、以下數字としては最後のものである戦前の統計に基づいて若干の基礎的考察を行ふ。

No. 27 自動車生産高 (単位1,000臺)

Table with 4 columns: Year, Passenger cars, Trucks/Other, Total. Rows from 1929 to 1938.

備考: 海外で組立られる部分品を含む。輸入部分品に依る組立を含まず。*トラクターを含む。

資料: S.Y.B.L.N.

場聯合の報告)であり、現在においてもそれから極端な変化はないと思はれる。イギリスの機械製造はその国民経済の先進性を反映して一九世紀の前半においては世界に冠絶し、蒸気機関、機関車、造船、紡織機械等にすばらしい発展をとげた。しかるに一九世紀の後半から大戦にかけて発展して来た自動車、航空機等の内燃機関及び電気機械等の製造はイギリスにおいて充分の発展をとげる事が出来なかつた。廣義機械を分類して狭義の機械、學術器(測量器、顕微鏡等)、航空機、車輛、船舶、電気機械とし、その生産額の上の比率を見ると一九三五年には狭義機械三四・〇%、車輛(自動車も入る)三一・八%、電機二二・一%、學術器三・二%、航空機二・八%、船舶七・二%となる。

は年々増加の大勢を辿り、大戦前の世界一年間の建造總噸二七〇餘萬噸のうち、六〇%までイギリス一國によつて供給されてゐた。その後現在に至るまで、この大勢は他の諸工業部門では新興諸國にその優位を譲れるも造船業においては多少の低減こそあれ相變らず世界第一位を占めてゐる。これを最近のイギリス及び世界の一〇〇噸以上の船舶建造統計に求むれば、別表の如し。併しながらかかる優位の一面イギリス造船業における衰退を指示するものは、大戦後支配的となりつつあるデーゼルエンジン(燃料重油)モーター船の製造に於て低位にある事である。一九二八年と一九三三年を比較するにその低落率(一九三三を一九二八で割つて算出す)はイギリスの汽船において八%、同モーター船において一一%であるに對して世界汽船において九%、同モーター船において約三〇%を示し、イギリスのモーター船建造業の恐慌をのりきる力がいかに貧弱であつたかを示してゐる。この事は一九三七年にイギリスのモーター船建造が未だ二八年の水準に恢復せぬに對して世界モーター船建造は遙かに水準を超へてゐる事からも理解せられる。

噸であつた(尙後出L1項参照)。【紡績業】イギリスにおける紡績業は最も古い歴史を持つものである。然し植民地的買銀を基礎とした印度の勃興(大戦中)、日本の興隆(二〇世紀初頭より)、高い技術の合衆國の發展等はイギリスの有力な競争者となつた。今世界におけるイギリス紡績業の地位を見る。その棉花消費量の一九三八年二月一三九年一月の額をみると、米棉一、〇八〇千俵、棉三〇五千俵、埃及棉二、九四千俵、計二、二一三、〇〇〇俵で、世界棉花消費高の一割弱にすぎず、アメリカ、印度、日本、ソ聯に次ぐ世界第五位である。又紡績數を見るに第二九

No. 28 最近の船舶建造狀況 (単位1,000噸)

Table with 6 columns: Year, UK Steamships, UK Motorships, World Steamships, World Motorships, World Total. Rows from 1928 to 1939.

備考: 一、アイルランドを含む。100噸以上の進水數。* 1月-6月のみ。資料: S.Y.B.L.N.

No. 26 鐵鋼に関する若干の數字

Large table with multiple columns: Raw materials (Iron ore, Coal), Iron production, Steel production, Imports/Exports. Rows from 1913 to 1938.

備考: 一、*マンガン鐵鋼その他を含む。**月別數字は合金鐵を含む。*** 合金鐵を含む。資料: 一、鐵鋼聯盟(日本): 鐵鋼聯盟調査月報。

ジーマンス・マルチン爐の發展に伴ひ、屑鐵の使用が増大した。この屑鐵も始めは内國産を使用して居たが、その後屑鐵輸入の激増を見るに至つた。一九三八年度において平爐鋼生産額は、鋼生産額の七六%を占めて居る。熔鐵爐規模も漸次増大しつつあることは既に見た如くであるが、(本年鑑前年度版「イギリス・ブロック」三五二頁第六表)、週生産能力一、〇〇〇噸未満のものも全基數の四二%を占め、一、五〇〇噸以上のものは二五%を占めるに過ぎない。製鋼爐については一九三六年の産業國勢調査當時に總基數四四〇、うち約四七%は週五〇一七五噸の中型で、一〇〇噸以上のものは八・四%、二五噸未満のものは七・〇%であつた。Iron Age に従へば鋼鐵生産高は一九三九年一、五一・九萬噸に増大したが、一九四〇年四月以降漸期的な鋼鐵配給法を實施して、優先配給體系の確立を計つたにも拘らず、四〇年には一、五〇〇・〇萬噸に減少した。鐵鋼の深刻な不足は國內價格の昂騰を惹起し、開戦當時に比較すれば、四〇年一二月には月平均價格において鑄物用鐵は二八%、マーチヤント・パイ一五%、シツプ・プレート四七%の騰貴を示した。【機械製造業】イギリス工業の重要部門であつて一九三五年イギリス國勢調査の結果によると狭義の機械と造船、車輛を合せて廣義の機械とする時その總計は四七三萬萬ポンドで工業生産の約一三%を占め同年輸出額は五三萬萬ポンドである。更にイギリス機械生産の世界的地位を見るに材料は古いが一九二五年において一三・六%(ドイツ機械製作工

No.29 世界紡績錠数

(単位1,000)

Table with 4 columns: 国別 (Country), ミューン (Mills), リンア錠 (Spindles), 総計 (Total). Rows include イギリス (UK), 日本 (Japan), 米印 (India), 世界計 (World Total).

備考: 1939年1月現在。資料: 紡績聯合會月報。

表によつて明白な如く紡績においてイギリスは第一位にある。しかもその現在数も一九二二年の五、五〇〇萬錠に比すると著しい減少を示してゐる。この紡績と棉花消費量のギヤップはイギリス製品の高級度(高番手、細糸)を示すと共に機械の性能の劣等、労働時間少く労働能率の低い事を現はす。なほ機械においてミューン機の多き事は機械の近代化の劣れる事に外ならぬ。

【化学工業】染料・火薬工業の指標として

ベンゾール生産高、また一般化学工業発展の指標として硫酸をとるに、前者は一九三八年合衆国二四・七萬噸、ドイツ五六・〇萬噸に對してイギリスは、一一・九萬噸、後者は合衆国三六・二九萬噸、ドイツ二〇・五〇萬噸(三七〇年)に對してイギリスは九五・五萬噸の對比で、軍事工業の一基礎をなす化学工業にお

No.30 化学工業生産高

(単位1,000噸)

Table with 3 columns: 硫酸 (Sulfuric Acid), ベンゾール (Benzene), 年 (Year). Rows include 1930, 1931, 1932, 1933, 1934, 1935, 1936, 1937, 1938.

備考: *推定数。資料: S.Y.B.L.N.

るイギリスの低位は明瞭である。

5 鑛業

重工業の基礎産業たる鑛業に關しては、イギリスは石炭と鐵鑛の豊富な資源を持つことに依つて、産業革命以後の發展を可能ならしめた。

【石炭】

現在イギリスの炭坑業は既に老衰期に入つてゐる。世界石炭生産において、イギリスは一九〇〇年の三二・三%から、戦争直前の一九一三年には二四%に減少し、それは更に一九二五年の二〇・九%、三二年の二〇・六%、三八年には一八・九%に下落してゐる。大戦直前の一九一三年の産出高は二・八七億噸、輸出九、八〇〇萬噸に達してゐたのに、一九三八年に至つては、産出高二、二八億噸、輸出三、八〇〇萬噸である。即ち國民經濟的危機の時期に入つてよりイギリス炭坑業は絶對的減少をすら見た事になる。その果市場の側から見ると、生産額の二四%(一九

Richard Thomas と合同した Amalgamated Anthracite Co. が生産の六〇%を占めて居り Lancaster Collieries 及び Manchester Associated Collieries に屬する Wigan Coal Corporation はか二者が獨立し、ノーザンブランドでは出炭高の七〇%が四つのトラストの支配下に、サウス・ヨークシャー、ノッチンガムシャー及びダービーシャーでは四%が七つのコンツェルンの支配下に這入つて居る。ノース・スタッフオードシャーでは三つの會社が出炭高の八〇%を占めて居る。これらの巨大會社の多くは鐵鋼會社と結合して居るのである。

【鐵鑛】その鐵鑛の産地は古くからアイルランドに多く、世界的大産地として有名である。これ等の鑛石は最初木炭で製鍊されて居たが石炭の發見と共に製鍊業が發達して、過去のイギリス經濟の發展の基礎を形成した。一九三八年における鐵鑛産出高は一、一八六・四萬噸で、その四三・五%に當る五一六・七萬噸の鑛石輸入がある。鐵鑛輸入先の主なるものは、スエーデンで、その他ノールウェー、スペイン、フランスおよびアメリカであつた。前出第二六表に明らかな如く、一九三七年の昂揚期にさへも、鐵鑛生産は戦前の水準に及ばなかつた。

主要な鐵鑛産地は北東イングランドのクリダラントと北西イングランドのフアーネットスとであつて、主として石炭の産地と地域的に非常に接近してゐる。その上、鐵鑛の媒熔劑たる石灰石の産地がこれに接近してゐるため、製鍊上一層便利である。

No. 31 主要穀物生産高

Table with 3 columns: 作附面積 (1,000ヘクタール), 生産高 (1,000,000キントナル), 年 (Year). Rows include 小麦 (Wheat), 大麦 (Barley), 燕麦 (Oats).

備考: 各期間年平均。資料: W.T.A.P., Rome, 1940.

No. 32 主要穀物供給高

Table with 5 columns: 生産高A, 純輸入**, 供給総額B***, A/B%, 年 (Year). Rows include 1924-28(年平均), 1929-33("), 1934, 1935, 1936, 1937, 1938.

備考: *小麦、大麦、燕麦、玉蜀黍。**小麦に換算された小麦粉を含む。***貯蔵を除く。資料: W.T.A.P., Rome, 1940.

な如く純輸入の占める地位は重要である。一九三九年に於ける主要農産物生産高(單位一、〇〇〇キントナル)は、小麦一六、六八〇(うちスコットランド八八〇、オーストラリア九、〇四〇、九七〇)、燕麦一七、六一〇(六、二四〇)、馬鈴薯四、四二〇(一、〇五七)、甜菜約八〇〇(七四〇)、ホップ一、三三三(三三八年度、スコットランドなし)であつた。なほイングランドおよびウェールズにおける農場經營規模は第二九表

重要農産物たる石油はほとんど産出せず、輸入に仰いで居る。石油の輸入高は一九三七年八、七八五萬バレル、一九三八年九、一六五萬バレル、約三五%は舊蘭印、二〇%はイランからであつた。(日本國際問題調査會編「列國資源動向の現勢」一九〇頁、第一三二表参照)。

延に過ぎなかつた。同年度の輸入は二五・八八萬噸である(前掲書、一一八頁、第七一表参照)。

4 農業

耕地面積は總面積の約二六%(一九三八年)で、農業人口は有業者中約五・六%を占めるに過ぎず、イギリス産業ではその有する意義はすくない。主要穀物の生産高は第二七表の如くであるが、それは國內需要の約六五%を満すのみで、第二八表に明らか

戦後企業集中が進展した時代にも、炭業は群小企業の激甚なる競争の舞臺となつて居り、一九二六年の鑛業法(Mining Industry Act)および一九三〇年の炭鑛法(Coal Mines Act)による上からの合同促進も見るべき成果を齎らさなかつたが、世界恐慌下の自發的な資本の集中の結果、今日では比較的大規模な合同企業存在を見るに至つた。一九三八年の炭鑛法もなほ強制合同を企圖して居るが、業界は寧ろ自發的なそれを希望して、強制的な合同に對しては批判的である。

イギリスの石炭は無煙炭であつて、良質を以つて世界に名高い。殊にカーブ炭の如きは最も良質である。またイギリス炭田は地域的に鐵鑛の産地と密接な場所にあることによつて益々その重要性を高めて來た。

重要な石炭の産地にはそれ、大トラストが成立して居る。サウス・ウェールズにおいては、九三坑を有して英國第一の産出高を持つ Powell Duffryn and Associated Collieries

No.33 農場經營數 (4月6日現在)

Table with 3 columns: 1931, 1938, and categories like 5エーカー未満, 5-20, 20-50, 50-100, 100-300, 300エーカー以上, 計.

備考: *牧場を除く。總面積12,413, 191エーカー。**うち1,000エーカー以上のもの334。資料: I.Y.B.A.S., Rome, 1940.

の如くである。 5 畜産業 イギリスにおいては既に一四世紀に牧羊業が盛んに行はれた。ヨークシャーが古來その中心地である。前項の農業において述べた如く、イギリスの農業は新大陸の低廉な穀物との競争に耐えず良質の牧畜、高価な蔬菜栽培及び園藝の方向に向つて發達して來た。その結果、牧羊、酪業、養豚業が非常に發達した。常用牧場はイングランドにおいて總面積の約四二%に及び、粗牧地を合すれば約五四%に及ぶ。之に反してスコットランドでは常用牧場は極めて少く粗牧場の占める%は大きい。次に一九三九年度のイングランド、ウェールズ、スコットランド別の牧畜統計表を示せば別表の如し。家畜および家畜製品の産額はイングランドおよびウェールズにおいて、約一・五億ポンド

No. 35 最近漁獲高

(單位噸およびポンド)

Table with 4 columns: イングランドおよびウェールズ, スコットランド, 合計, and rows for 数量 (1935, 1936, 1937, 1938) and 價格 (1935, 1936, 1937, 1938).

備考: 一甲殼類(價格それぞれ 494,413; 533,593; 534,297; 488,490)を含みます。資料: S.Y.B. 1941.

I 物價 開戦後四ヶ月は、卸賣物價の急激な騰貴と、小賣物價の漸騰に依つて

No 34 1939年度家畜

Table with 3 columns: イングランド, スコットランド, 合計 and rows for 馬, 牛, 羊, 豚.

備考: 一6月現在。資料: S.Y.B. 1940-41.

にして、農業生産物總價格の二倍にあたる。 牧羊業の中心地はヨークシャーを以て丘陵地帯を中心とし、東部および南部イングランドにも大牧場を見られる。その毛質は良好ではないが、国内需要の四分の一を供給する。豚の飼育は

羊に及ばないが、イングランド産のものは良質で、主として西部に産する。馬は農耕に使用するが、騎乗用として世界屈指である。 6 水産業 北海に面するイギリスは近海は所謂大陸棚に属し、その廣きこと世界無比大漁場をなしてゐる。そしてその殆ど多くは二〇〇米以下の淺海であり、殊に北海中央部にあるドッカー岩礁は僅か一〇米乃至二〇米に過ぎず、魚類に好適な繁殖地を與へてゐる。漁獲物はノルウェー海に鱈、北海に鱈、ヘドック南海に鯖、ビルチャード大西洋方面はえび、かれひ等に富む。殊に北海の鱈はイギリス漁業の中心であり、東海岸の漁民には最も重要である。また漁港は北海方面のグリムズビー、ハル、セーマウス、アバーデーン、及びイギリス海峡に面するプリマス等がその主要なるものである。中でもハムバリー河口のグリムズビーはイギリス第一の漁業の基地である。イギリスの漁民はこれ等の根據地より北はグリーンランド、ノルウェー、南はモロッコ邊にまで出漁する。之等漁業は多く汽船漁業で汽船及び發動機船は一九三七年に九、二一〇隻でその總噸數は二五二、九八六であつた。その定期及臨時漁夫總數は一九三七年において五一、八九八人を算する。

特徴付けられた。既に見た如く(本年鑑前年度版一、一八頁商品別卸賣物價指數参照)、卸賣物價指數は此の期間に一六ポイント騰貴したのに対して、小賣物價は、總指數についても食料品についても五ポイント上向いたのに過ぎなかつた。それは何よりも、戦前の恐慌的狀態から戦時經濟への顯著な生産の回復に伴ふものであつたが、それは原料品が二七ポイント上昇して居ることに端的に示される。財政金融的に所謂「非インフレーション的方法」が採られたにも拘らず、卸賣物價は其後引續いて漸騰して熾まなかつたのであつた。その主要な原因をなすものは、生産の戦時編成替と原料その他の輸入品の價格騰貴であると思はれる。合衆國との比較に於て、紙幣流通高は、イギリスでは一九三九年七月に對して、四〇年七月には一九%、四一年五月には二三%方膨脹し、卸賣物價は四〇年七月には四二%、四一年五月には五三%の騰貴を示したのに對して、合衆國では流通高の膨脹が四〇年七月には一二%、四一年五月には三三%も増大せるに不拘、卸賣物價は四〇年七月には僅か四%、四一年五月には一三%上昇して居るに過ぎない。

他の交戦國に比して物價の昂騰が比較的抑制されて來たこと、裏には生産の戦時再編成の進行が緩慢であつたといふ事實を看過し得ないものであるが、開戦以來二ヶ年を経て斯かる編成替が一應完了し財政金融的にも増税が飽和點に達したものと見られる現在、大東亞戦争勃發による戦費の激増に對する創造信用の不可避的な増大と、輸入の絶對的減少とは價格統制機構の整備にも不拘、再生産過程と基礎を置くインフレーションの發展を、い

No. 36 物價指數

Table with 4 columns: 卸賣物價 (A*, B), 小賣物價* (C), and rows for years 1937, 1938, 1939, 1940, 1940 10, 1941 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10.

備考: 一Aは Board of Trade, 1929=100 Bは Economist, 1927=100 Cは Ministry of Labour, 1929=100 *食料品のみ。資料: M.B.S.L.N. および E.

やめ大英帝國といふ關稅障壁によりとりまかれたプロットの中へ逃避し、屬領に高價な製造品を強制するといふ政策の中に血路を見出した。イギリスはほぼ二〇世紀に入ると共に入超へ轉化したのであるが、この入超部分は國際收支の上からは對外投資の利子收入によつて補はれてゐるのである。大戦後のイギリス外國貿易は一九二五年を絶頂としてゐるが一九二五年の額を一九一三年の額に比較すると輸入額において七二%も増大したのに反し

三月に至つては食糧品の輸入が一齊に許可制となつた。開戦當初の價格統制商品調査機關から、四〇年八月の地方食糧品價格調査委員會に至る統制機構の整備に伴つて、開戦以來ジリ押しに上向して居た小賣物價も四一年には低落の徴さへ示した。この低落の直接的原因は、年一億ポンドに上る主要食料品に對する食糧省の補助金授與である點は注意せねばならぬ。

J 外國貿易

まや切迫せる問題と化するに至つたのである。 1 概観 一九世紀の末葉、新興工業國の猛烈な競争によつて、イギリス工業生産品の世界市場における獨占的優越性は著しい減退の傾向を辿つた。今指標として全生産に對する輸出額の比率を見ると、一九一三年に二七%を占めたものが一九二四年には二五%、一九三〇年には二〇%、一九三四年には一六%となつてゐる。かかる危機においてはイギリス國民經濟は自由通商の下に世界市場の一環として競争を續ける事を

No. 38 輸出入現況

(単位1,000ポンド)

Table with columns for Year (1939-1940), Import (輸入), Export (輸出), and Balance (入超). Sub-columns for Export include Total (総額), British Goods (英國品), and Re-export (再輸出).

備考: *は修正済の総額。資料: -S.; S.Y.B.

は総額において四・三九億ポンド、前年に比し九・五%を減少したので、入超は六五・二%を増加して六・六〇億ポンドに達した。

斯かる減少を齎らした原因の一つは、疑ひもなくドイツの逆封鎖の成功であるが、輸出産業の生産余力の低下、市場戦におけるアメリカの攻勢の積極化等に依る市場の喪失も可成の影響を與へて居ることは争はれない事實である。

No. 39 地域別輸出入 (%)

Table showing regional trade percentages for 1929-1938 across categories: ヨロップ (Europe), 北アメリカ (North America), ラテンアメリカ (Latin America), アジア (Asia), 太平洋 (Pacific), アフリカ (Africa).

備考: *アラスカを含む合衆国、カナダ、ニューファンドランド、グリーンランドおよびサンピエール、ミクロン島。資料: -R.W.T.L.N.

年五〇萬ポンドの政府出資を以てユナイテッド・キングダム通商會社を設立して、ヨーロッパおよび西アジアにおける覇権の確立を企圖したのであるが、相次ぐドイツの軍事的攻勢と共に、ヨーロッパ貿易の大半を失ひ地中海覇権の動搖と共に西アジアの經濟的意義を喪失するに至つた。

No. 37 最近の輸出入状況

(単位ポンド)

Table with columns for Year (1913-1940), Total Import (總輸入額), Total Export (總輸出額), and Balance (出入超).

備考: 輸入は C.I.F. 價格。輸出は F.O.B. 價格。資料: -S.A.U.K.; S.Y.B.

輸出額の増加は四六%に止まり、一方におけるイギリス輸出工業の停滞と立ち遅れを示すと共に、イギリス海外投資の累増と利子への寄生を物語つてゐる。

増を相殺する再準備の要求に基く原料需要の増大と、世界市場に於ける原料價格の昂騰によつて破綻した。そして第二次大戦の勃發は斯かる事態を決定的なものとしたのである。

一九三九年一月から六月までの期間に Base Index 調査の原料輸入指数(一九三五年=100)は、九八から一三〇・五に増加し、製品輸出は一〇二から一〇五・五に増加し、製品輸入は一〇一に低落した。原料輸入價格の低廉が、此の時期においては、大量の輸入にも拘らず、入超額を僅かながら減少せしめさせしめた。

だ不足して居ないにも拘らず、統制機構は我國の輸出貿易に摩擦を惹起したのである。第三七表に明らかな如く、一九四〇年に至つて、前年度においては底流として現れて居た傾向は表面化し、輸出の減少と輸入の激増は、貿易収支を悪化せしめた。それが必然的に齎らす金および外貨資産の減少を防止する爲に、戦前のドイツが、中南米、地中海諸國アジア、合衆國に有して居た市場を獲得して輸出の振興を計らんとしたイギリスの努力は一九三八年のドイツからの輸出五・八億ラヒヒスマルク(約〇・三億ポンド)を有する中南米において米國の利害と衝突した。二ヶ月餘に互る曲折の結果、一九四一年九月九日成立した英米貿易調整協定は、中南米へ貨物物資を輸出して貨價法の悪用を行つて居るとの米國側の非難に鑑みて締結されたものであるが、對米依存の餘儀なきに至つたイギリスは、輸出市場における角逐においても、またアメリカに屈するの餘儀なきに至つたのである。

No. 40 合衆國輸出に占める%

Table with 5 columns (1939, 1940, 1941) and 5 rows (I-VI, 本ナ, 英カ, 計). Shows percentages of US exports in different periods.

資料:—World Economic Survey, 1939/41. L.N.

達した。一九四〇年度におけるアメリカの對英輸出額は、戦前の三八年に比して四七八・七百萬ドルを増加して九百九十二・七百萬ドル、公定レート(四〇三・五セント)で換算して二二・一・二百萬ポンドに上り、英國輸入額が全額として増加した爲、年輸入額の二〇%に止まつたが、月別数字を基礎とすれば、下半期においては三二%を占めるに至つたのである。

貿易における對米依存は、イギリスの好むところと好まざるものとに拘らず増大した。即ち第四〇表の如く合衆國の輸出に於ける地位は戦前の一六%に對し、四〇年下半期には三三%、四一年上半期には三〇%に

No. 41 貿易の構成

Table I: 輸入 (Imports). Columns: 1938, 1939, 1940. Rows: 食料・飲料・煙草原料及成品, 飲料・煙草半製品, 煙草製品, 計. Includes price and percentage data.

Table II: 輸出 (Exports). Columns: 1938, 1939, 1940. Rows: 食料・飲料・煙草原料及成品, 飲料・煙草半製品, 煙草製品, 計. Includes price and percentage data.

備考:—總計は年總額にして類別は商品別累計に基づき非食用家畜および小包郵便を含まざるため、その儘では一致しない。資料:—M.B.S.L.N., E.

第四一表の如く、輸入においては平時四〇・一五%を飲食料品が占め、爾餘をほゞ等しい割合で、原料品および完成品が占めて居り、輸出においては完成品の地位が壓制的であつて、残る二〇%以下を飲食料品および完成品が占める。

既に見た如く(本年鑑前年度版三六三頁)、輸入における完成品の地位は逐年高まりつゝあり完成品の輸入が漸次原料輸入に代替して漸増しつつあつた。第二次大戦が齎らした影響は、一九四〇年度において、原料および完成品の輸入が増大して飲食料品の地位は四〇%以下に低下を見た。輸出においては、原料の輸出が相對的にも低下して、その相對的低下は完成品の輸出の増加に依つてカ

ヴァーイされた。前年度に比して、著しく増加したものは輸出に於ては、飲料、絹及人絹製品、紙及カーボン、化學藥品、輸入に於ては小麦及小麦粉、食用畜類、肉類その他食料品、礦物、鐵類、金物類、棉花、羊毛、生糸、油脂、ゴム、鐵

鋼及び同製品、機械類、織物類、機關車、船舶、飛行機であり、減少の著しいものとして輸出に於ては、食料品、石炭、礦物、羊毛、鐵鋼及び同製品、機械類、油脂製品、船舶、飛行機、輸入に於ては、バター、果實、野菜、煙草、木材、陶器、毛織物、および人絹製品、衣服類であつた。

主要輸入品—一九四〇年度に於て、穀物および小麦粉その他九三・八六(百萬ポンド)、食用家畜および肉類一〇七・九七、酪農生産物六二・六二、羊毛および屑毛六七・一〇、棉花および屑綿四九・九五、種油および工業油四四・七二、原鐵石およびスクラップ四一・一七、石油その他精製油七二・八九、非鐵金屬および同製品五七・四三、鐵鋼および同製品四五・三五であつた。

主要輸出品—一九四〇年度において、綿糸および綿布四九・三三(百萬ポンド)、機械器具三六・五八、車輛三二・七四、鐵鋼および同製品三一・〇五、毛糸および羊毛製品二八・六九、化學藥品二七・六七であつた。

4 貿易政策 戦時下イギリスの貿易政策は、戦時必要物資の輸入を確保し、在外資産の枯渇を防退して、戦時下の事情の許す限り從來の販路を維持するにあり、此の目的を以つて資本逃避の防止を兼ねて貿易統制必須の手段たる爲替管理を行ふと同時に、國防全權法に依據して一九三九年八月二六日および九月六日に商務省令を公布して廣汎な輸出入品目を許可制の下に置いた。

輸出増進策としては、まづ關係各省と有力貿易業者を網羅して、四〇年三月輸出貿易評

議會を組織し、イギリス品の海外進出を計るとともに各國と戦時通商協定ないしはバーター協定を締結すべく乗出したほか、アメリカに對して特に積極的に働きかけたのは勿論、或は南米への進出を目指して特別通商使節を派遣、或は東南歐諸國との密接化を狙ひ、四月にはユナイテッド・キングダム商會社を設立するなど、目覚ましい活躍を示した。また輸出業者、特に鐵鋼並びに纖維産業において輸出向生産が優遇され、各産業部門に對する軍需および輸出優先體系が設定された。また戦時下の輸入については軍需資材の確保、輸出品のための原料供給の見地から種々たる輸入制限、輸出制限策が強化された。

かくて、輸入制限輸出増進のために、國內消費は制限される一方、直接的な民需削減の手段が執られた。食糧の割當制はこの典型的なものであつた。一九四一年春、議會におけるリトルトン商相の言明に依ればその輸出振興策なるものは「一、重要物資の輸入に必要な外國爲替資金の獲得若しくは節約に資するが如き輸出、二、ポンド・ブロック乃至聯合國向けの輸出にして當該輸入國にとつて重要不可欠なもの、三、輸出品の價額が輸入原料價格に比し高額に上るもの、四、競争目的遂行に影響を及ぼさざる物資の輸出助長であつて「要するに事情の許す限り、可能な廣範圍に販路を維持するのが政府の方針である。」かかる貿易は、政府が一般的指示を與へて輸出組合の指導に委ね、また輸出向製品の製造に必要な勞働力および原料資材の円滑な供給については、商務省が關係各省との連絡

No. 42 最近の國際收支 (單位百萬ポンド)

Table with 5 columns (1929, 1936, 1937, 1938) and 7 rows of international收支 items. Includes data for imports, exports, and balance of payments.

資料:—B.P. (L.N.)

その後三六三七年に又逆轉してある。イギリスの國際收支の構成は老大な貿易上の入超を海外からの利潤と廣汎なる海運網による海運収入により補充し尙著大なる受取超過を見

に當つて居る。

K 國際收支

イギリスの國際收支を概観するに一九二七—二九年の間は四億から五億ポンドの受取超過を示してゐたが三〇年以後急速に悪化し、三一年には一〇四百萬ポンドの支拂超過を見るに至つた。その後支拂超過額も漸減し、一九三五年には僅かに受取超過に再轉したが、

No. 44 ポンド領域の對米收支

(單位1,000,000ドル)

Table with columns for '自1939. 9. 1 至1940. 12. 31' and '1941(推定)'. Rows include 'I 支拂勘定' (Payments) and 'II 受取勘定' (Receipts) with sub-categories like '英帝國對米支拂高' and '輸出商品'.

交通運輸 世界の商船界におけるイギリスの地位は甚だ大きい。しかしながらこゝにも

イギリス經濟の衰退過程が現はれ、世界商船總噸數中に占めるイギリスの百分比は低下した。すなはちイギリス商船保有量は一九一三年一八・三三萬噸、一九二九年二〇百萬噸、

たのである。【海運統制】 大戰勃發の直前、國防全權法に基いて英船籍船の所有權および擔保權の轉移は、當時の管轄當局たる商務省の許可な

備考：一*年末現在の輸出港にある在荷および英帝國勘定でカナダその他へ輸出された商品を含む。***40年中の政府註文分の支拂高。****現實支拂額500マイナス受取額50。****南阿聯邦および濠洲の金輸出額。資料：一W.E.S.L.N. 1941.

一九三六年一七・七百萬噸であり、二九年には一三年よりも約二〇〇萬噸の増加を見せ、二九年の水準を凌駕したのであるが、他方では二九年以來、如何なる年も一三年の水準以下には下らなかつた。二九年以後出入船舶噸數の増加には顯著な傾向が現はれ、此の年を轉期として入港船舶噸數は出港噸數を凌駕するに至つた。大戰の勃發は、戰前の恐慌的見透しに沈滞して居た業界に全く異つた困難を齎らし、喪失船舶の激増は戰時經濟遂行に對する死活的な課題となつ

No. 43 イギリスの金及びドル貨資産

(單位1,000,000ドル)

Table with columns for '1939年 8月末', '1940年 12月末', and '減少額'. Rows include '金', 'ドル貨資産', and '計'.

備考：一*市場價格にて評價。資料：一W.E.S.L.N. 1941.

てゐる。しかるに恐慌が世界を支配し始めるや貿易のマイナスと貿易外收支のプラスとの平衡が海外投資の利潤の低下によつてやぶれた。之が金本位制度の存続をおびやかす、短期過剰資金のロンドンからの引き上げは遂にイギリスの金本位の崩壊を惹起した。恐慌以後加速度的に減少を見た海外投資からの利子収入の減少が停止した事、又同様に減少を示してゐた海運収入が好況期に入ると共に漸増し始めた事は相俟つて一九三二年より國際收支の改善へ影響し始め、一九三三年に始まる貿易戻の改善は一九三五年遂に國際收支をプラスに轉化した。

第二次大戰下におけるイギリスの國際收支の算定は困難であるが、輸入資材の獲得に最大の意義を有する對米關係におけるドル貨資産の變動は第四三表の如くである。一九四一年一月二日米國財務省の下院に提出せる報告書に依れば、一九四〇年末英國政府保有の金二・九二億ドル中、〇・三億ドルは當面移動不可能な場所保管されて居り、〇・二億ドルは既に使途決定を見て居る爲、恐らくは爲替平衡資金勘定に屬して居ると思はれる殘高は二・四一億ドル(〇・六億ドル)である。ドル爲替勘定殘高中、三・〇五億ドルは私的勘定に屬し、餘りも當面の取引に必要なものと見られるものであつて、従つて第四三表記載の四〇年末保有資産中における利用される純殘高は一八・一億ドル(四・四九億ポンド)と推定される。上掲表における四つの資産項目の減少額の割合は、それぞれの流動性に依存する。本國における證券動員の結果動員された額は巨額に上ると見られるが、これ等證券の處分は短期間に行ひ得るが、この報告に依れば、右の期間に處分せられた證券の全部が資本市場(銀行、ブローカー、取引人)を通じて處分せられたのではなくして

可成の部分が合衆國內の投資者へ直接に賣却されて居る。金及びドル貨資産の減少額二・三・一六億ドルは、勿論對米支拂超過額を示すものであるが、併し乍ら現行の爲替管理體制の下では、此の正確な算定の爲には更にポンド領域を考慮の裡に入れなければならない。蓋し Fund of Reserve Bulletin (Feb. 1941) の指適する如く、此の體制下において、英帝國は、ドル爲替取引に當面支拂超過となる可能性を持つ他のポンド領域諸國にも、此の勘定を利用せしめるに至つた一方、これ等の諸國が一時的に獲得した金とドル爲替の受取超過および金の場合には、これ等の國で生産若しくは動員(discharging)された金を英帝國側が利用し得ることとしたが故である。従つて英帝國を含めて全ポンド領域の對米收支を一括して示せば第四四表の如くである。この數字を基礎とすれば、開戦以來一六ヶ月間に於ける英帝國の受取超過額は、ポンド領域の他の諸國の支拂超過額四・二七億ドルに依つて軽減されて居ることが明らかとなる。資本逃避額七・三五億ドル中には、中立法の現金・自國船條項の爲に必要とされたクレジット辨濟額二億ドルおよびドル先物取引の清算資金二・三五億を含むものであつて、殘る三億ドルが米人その他に依つて自由ポンドの市場を通じて引上げられた逃避資本である。

No. 45 出入港船舶噸數 (單位1,000噸)

	海外貿易從事の噸數		運賃率指數 1913=100
	入港(貨物積)	出港(貨物積)	
1913	49,064	67,820	100
1929	62,701	68,680	96.8
1937	70,420	61,390	128.3
1938	68,372	58,679	97.6
1938・1-8月	45,722	38,845	95.7*
1939・1-8月	45,826	40,481	91.6*

備考：-* 月別指數 8月現在。
資料：-E.

き限り禁止されるに至つたが、大戦勃發と共に遠洋航路の出港を許可制とし、また海運省を新設して海運事務を専管させ、前大戦の經驗に基づき先づ食糧省輸入穀物輸送の爲北大西洋航路に就航する船舶を徵用した。この徵用は、その後漸次擴大されて、一九四〇年初頭には、油用種子、砂糖、鐵礦その他重要金屬の輸送船舶に及んだが、かくて不定期貨物船の四分の一が徵用されるに至つたのである。而るに四〇年二月一日を期して、英帝國および屬領の船籍を有する全定期貨物船にも徵用制が適用され、一〇月には近海および沿岸航路就航船、一九四一年一月には遠洋航路

タンカーにも擴大されることとなつた。これ等の徵用船舶は海運省の手で、運航され、船主に對しては運賃率と五%の資本利子ならびに減價償却費五% (タンカー六%) が支拂はれる。

船員の不足は、ドイツ潜水艦の攻撃が活潑となるに及んでその補充問題が重要視され、一九四一年五月一滯上勤務準備員プール制が實施された。即ち五月二六日現在の官民乗艦船員、四月二八日以降下船せる者、一八才以上六〇才未満の男子にして一九三六年一月一日以降海運關係に従事したる者 (但しその後漁業に轉じたものを除く) の登録が行はれ臨時動員されることとなつた。

造船も亦統制下に置かれ、一九四〇年二月以降、凡ゆる船舶の建造および修繕は海運省の管轄するところとなり、その特別許可なき限り民間註文の船舶の建造は禁止された。最大造船能力は既述の如く (日造船業の項) であるが、現在爆撃による被害、經濟上の種々の摩擦、修理船舶の激増等に鑑み、その五〇%程度が實現されて居るに過ぎぬものと推定される。

【海運狀況】 イギリスは大戦勃發前二、一〇〇萬噸の商船を保有して居た。その後一九四一年六月までの造船噸數は一五〇萬噸と推定され、その他にアメリカからの購入船舶八〇萬噸、獨伊側より拿捕せるもの七〇〇萬噸に上る。しかるにドイツ潜水艦およびフォルケ・ウルフ長距離爆撃機に依る被撃沈船舶はイギリス海軍省の月別數字 (四一年七月以降發表停止) によれば開戦以來四一年六月まで

に七、一八、一二二噸 (英側船舶を含む) であつて、ドイツ側の數字に依れば一二、四三〇、〇〇〇噸となつて居る。若し兩者に二三割の増引ありとすれば、この二つの數字は九〇〇萬噸前後で一致するので、これを推定喪失噸數とすれば、一九四一年六月現在の保有噸數は約二、一三〇萬噸と推定される。即ち大戦開戦當時の水準を維持して居る譯である。併し乍ら損傷船舶の修理、護送船團制に依る出港率の減退を考慮に入れると右の保有船舶の能率は一、二〇〇萬噸程度と云はれて居るが、イギリスが物資輸送に絶對的に確保せねばならぬとされて居る商船數一、五〇〇萬噸の數字を省るならば、船舶の不足は顯著なものがあると言はねばならない。

そのみではない。ルーズヴェルトは四一年五月末の演説に於て被撃沈英國船舶の數はイギリス造船能力の三倍を越えたと述べたが上述の計算に従へば、五・一倍に上るのである。斯かる状態にして尙辛うじて今日の條件を維持し得たのは、拿捕船舶に依る補充に基くものであつて、たとへ獨ソ戦後の大西洋小艦隊を現出したとはいへ、今後において事態は急速に深刻となるであらう。

海運統制、特に所有權の移轉と民間建造の事實上の禁止は、被撃沈船舶が増加すると共に、業界に深刻な影響を齎らし、政府保有船舶の民間讓渡を要する聲が高まりつゝあるのである。

2 道路 イギリスは極めて發達せる道路を有して居る。一九三八年度における公道はイングランドおよびウェールズが一五三、

七五七マイル、スコットランド二五、八七三マイル合計一七九、六三〇マイルの延長を有し、うち二七、二五九マイルが一級國道であつて、一七、〇三七マイルが二級に屬する。

3 鐵道 機關車の發明、鐵道の建設において世界最初の歴史を持つイギリスでは一八三〇年既にリヴァプールとマンチエスタの間鐵道が開通し一八四五年から一〇數年の間に鐵道熱の勃興を見て、今日の基幹線の建設が行はれた。一九三九年一月一日における延長哩程は二〇、一六二マイルで、資本金一・二七億ポンドに達する。一九二一年の鐵道法に依つて、ロンドン・ミッドランド・スコットランド、ロンドン・北東部、西部、南部の四區に區分されて居る。

戰爭勃發二日前から交通相は鐵道幹線、ロンドン・トランスポートその他の五大鐵道會社の管理を實施し、同時に鐵道執行委員會を任命した。また九月三日鐵道事情報告も停止された。

九月以後、商品輸送の巨大な増加が行はれ八月終りまで三四週間の四幹線會社の運賃収入は三八年同期よりも二・五%高かつた。この輸送増加は殆んど三七年の収入状態を恢復した。この増加は石炭の輸出減退によつて或る程度影響された。

鐵道運輸は、爆撃に依る直接の被害は左程重大ではなかつたが、運行能率は可成の影響を受けた。ロンドンを起點とする幹線六線、走行延長一、二五六マイルに就て一九三八年一〇月と一九四〇年一二月とを比較すれば、運行回数において約二三%を減少し、所要時

間は二五%の増加を見て居る。

管理會社はプール制となつて居るが、一九四〇年の収入は、旅客一〇四、七八五千ポンド、貨物一四〇、四九八千ポンド、その他二、七〇九千ポンド、合計二四七、九九二千ポンドで、プールの純益四二、七六三千ポンドであつた。

4 空運 一九三八年現在においてイムピリアル・エアウェイを除く一八定期航空路が、國內および本國大陸間に開かれて居り延長一〇、二六二マイル、就航延長五、三七三マイル、旅客一七〇、八七五人、貨物三、一五〇噸を輸送した。イムピリアル・ルートを加算すれば、就航延長一四、三三二マイル、有料乗客二二二、二〇〇人、貨物五、九八〇噸となる。開戦以來その大部分の航路は、或は閉ざされ、或は不定期となつた。

5 自動車 一九三七年一月末日現在に於ける自動車數 (乗用車、トラックの他にオートバイ等の免許を要するものを含む) は二、七二〇、四九一臺であつた。

M 度量衡

現在イギリスにおいて使用されてゐる度量衡は次の如し。即ち、長さの單位はヤード (Yard)、重量の單位はポンド (Pound) 一七、〇〇〇グレイン (Grain)、容積の單位は標準ガロン (Standard Gallon) とする。而して一ガロンは攝氏六二度、氣壓計三〇インチに於ける蒸溜水一〇常衡ポンド (Pound Avoirdupois) を含むものとする。その他、イギリスにおいて使用されてゐるすべての度量衡はこ

れ等の單位を基準としてゐる。

V 社會 A 社會構成

1 身分關係 イギリスの貴族は公爵(Duke)侯爵(Marquis)伯爵(Baron)子爵(Viscount)男爵(Baron)の五級に分れてゐる。これ等のうち男爵はイギリス貴族のうち貴族院に議席を有する最低の爵位にして、そのうちで Baron by prescription は昔より世襲的に貴族院に列したるもの、Baron of Patent は國王より一代に限りて與へられたるもの、共に Right Honourable 又は Lord の稱號を受ける。これ等は Baron of Patent を除き、すべて世襲的爵位にして、イギリス上院に列席する權利を有してゐる(これ等の貴族の上院に列席する權利に就いては「立法」の項を参照)。なほ以上、公、侯、伯、子、男爵の外に從男爵(Baronet)及びナイト(Knight)といふ爵位が設けられてゐるが、眞正の意味での貴族ではなく、従つて貴族院に出席する權利を持たない。從男爵はナイトの上位にして、ナイトは 5th の稱號を受ける。

No. 46 職業別人口構成 (單位1,000人)

Table with 5 columns: 職業, 1921年, 同百分比, 1931年, 同百分比. Rows include 計業, 農業, 漁業, 工業, 運輸, 公務, 家事, etc.

備考:一國勢調査に依る。イギリスにおよびウェールズ。資料:—S.Y.B.L.N. 1934/35.

(Anglo-Saxon)に壓迫せられて、交通不便な山地、島嶼に多く住むも、その数は極めて少数である。ウエールズ山地のウェールズ人、マン島のマンクス人、スコットランド北部高地の西部よりヘブリス諸島に住むスコットランド高地人等が原住民族たるケルト族に屬する。これ等のケルト人はアングロ・サクソン人が新教を奉ずると異り、舊教を奉じてゐる。

B 労働

1 概観 軍需生産の擴張と動員に依つて、再軍備の進展は労働市場に顯著な影響を及ぼした。前大戦後の時期を通じて一〇〇萬の水準にあつた失業人口は一九三二年第四半期の最高二八四・三萬から一九三七年第四半期の一三七・六萬へ低下したが、恐慌接近の見透しの下に一九三九年一月には二〇三・九萬へ再び増加した。開戦は轉換點を形成し、生産の編成替と一般的に通常取引の分解に依つて一時的な失業の増加(一九三九年八月一、二九四、八〇五から一二月四四〇、九二二)を惹起した後、急速に労働準備軍の減少傾向を示した。特に動員に基因する一時的な生産力の低下に對する對策を直接の契機として、ビーズイン労働相は労働條件に對する諸制限を撤廢し、緩和したのであるが、斯くして團體契約中の労働條件に對する規約は緩和され、婦人および未成年の對照をなしてゐる。即ちイギリスの職業別人口構成はアメリカ合衆國と同型であつて工業人口の比重の大きいと莫大な海外からの利潤に依存する人口部分の相對的大いさを示すものである。更にこれを歴史的に見る時百分比において減少を見てゐるものは農、漁、鑛、工業等の生産業人口でこれに對して増大を示してゐる最大のもは商業人口、家事用人、事務員であつて、大戦後から大恐慌に至る一〇年間の主要資本主義國の人口構成における一般の傾向を典型的に示してゐる。

ある對照をなしてゐる。即ちイギリスの職業別人口構成はアメリカ合衆國と同型であつて工業人口の比重の大きいと莫大な海外からの利潤に依存する人口部分の相對的大いさを示すものである。更にこれを歴史的に見る時百分比において減少を見てゐるものは農、漁、鑛、工業等の生産業人口でこれに對して増大を示してゐる最大のもは商業人口、家事用人、事務員であつて、大戦後から大恐慌に至る一〇年間の主要資本主義國の人口構成における一般の傾向を典型的に示してゐる。

3 民族關係 原住民族はケルト族のブリトン人(Britons)にして、支配民族たるチェルトン民族に屬するアングロ・サクソン人

No. 47 産業別労働人口

Table with 5 columns: 雇主および独立労働者**, 労働者***, 家族協働者****, 合計. Rows include 農業, 漁業, 運輸, 商業, 公務, 国防, 自由, 家事, etc.

備考:—1931年國勢調査に依る。*給仕、洗濯人、清掃夫、等を含む。**支配人・監督を含む。***サラリーマンおよび農業家内協働者を含む。****失業者を含む。資料:—Y.B.L.S., International Labour Office, 1940.

年労働者の最大労働時間の制限は週四八時間に延長され、一九三九年一月から四四時間に制限されることになつて居た三十七年の工場法規定は空文化した。多數の飛行機工場では週七〇—八〇時間の労働が行はれ、五〇—六〇

最低賃銀は從前の州委員の平均約三二シリングから四八シリング(約四一・四圓、日給五・七圓)に公定され、ドック労働者のそれは八二シリングに定められた。かゝる最低賃銀の引上げは特に一九四〇年初頭の勞

働争議の頻發に依つて決定されたものであつた。開戦以來の賃銀の増加は第四八表の如くであるが、それは地域および産業の異なるにつれて著しい不均勢を示した。ボーレー指数に依れば、一九三九年九月から四一年三月までに、總指數は一八・五%増加し、農業労働の三九・二%、綿業の三二・五%から印刷植字工の七・七%に至つて居る。軍需産業では賃銀の引上げと時間外手当とが結び付いて、疑ひもなく労働所得の絕對額は増加して居るが、一般的に賃銀は名目賃銀の増加に背反する傾向を示した。労働省發表の指數に依れば、一九三九年九月から四〇年三月に至る期間に、名目賃銀は一四・八%増加したが實質賃銀は五・四%の低下を示して居る。婦人等の未就業者の動員に關聯して、労働組合は組合員の優先就職および優待待遇を主張し、その結果、例へば一九四〇年の機械工業部門の協定では就職婦人は、最初の三二週間見習賃銀を受け、それ以後獨立に仕事を遂行する限り平等の賃銀を支拂はれることとなり、運輸業では原則として男子賃銀の九〇%を下らざる初給賃銀の支給を受けることとなつた。労働時間は原則的に四七時間若しくは四八時間であつたが、軍需關係工場では五〇—六〇時間の労働が通常化されるに至つて居る。

3 生計費指數 労働省發表の生計費指數は第四九表の如くである。生計費關係物價の昂騰を抑制せんとする公定價格制度および配

No.48 賃銀指數

Table with columns for year/month and index value. Data points range from 1929 to 1941, showing fluctuations in wage indices.

備考：—労働省発表名目賃銀。*は1924=100とするボレー指数。資料：—E.

No.49 生計費指數

Table with columns for year/month, total index, and food index. Data points range from 1929 to 1941, showing the cost of living and food prices.

備考：—労働省発表、24—509都市。總指數は食料品、光熱費、衣服、住宅費、その他の支出を含む。資料：—E.; M.B.S.L.N.

給制度の發展と共に一九四一年に入つて生計費指數の表面上の上昇は抑制され、部分的には低下を示した。だが一九三九年八月に比すれば四年六月の總指數は二七・三%、食料品指數は二〇・〇%の騰貴であつた。それは勞賃の増加を遙に上廻るものである。

一九四一年に入つて、多くの失業者が産業に動員されたが、失業者数の減少は、産業集中計畫の進展に伴ふ不急産業の閉鎖と平和産業の縮小に依つて、更に緩漫化された。四月五日の報告に依る西北地區の失業者が一ヶ月間に一、二〇三八増加したといふ事實は、斯様な轉失業者の存在を物語るものである。右の報告に依れば、婦人失業者一四八、三二八の内、通常勞働に不適當なるものは僅か四、〇二一であつた。

六歳乃至四歳の獨身婦人七九・五萬が登録され七種の勤務に服務することになつて居る。なほ三月の市民防衛軍、四月の女子に對する地方補助軍および補助空軍への徵募規定も、勞務動員の一環をなして居る。

No.50 失業人口 (單位1,000人)

Table with columns for month/year, total unemployment, and partial unemployment. Data points range from 1938 to 1941, showing unemployment figures.

備考：—*農業を含む。強制失業保險統計に依る。**職業紹介所統計。資料：—M.B.S.L.N.

れ、年二〇萬人の送り出しが目標となつたが設備と教師の不足に妨げられた。民間の訓練所も次第に増加しつゝ、あつて、國立訓練所の標準待遇は男子二一歳以上は賄、宿舎、週八シリングの手當を給與され、家族あるものは家族手當を

イギリス勞働組合は、一世紀以上の歴史を有する自由主義的イデオロギーと廣大な植民地に依存する超過利潤の現象形態たる勞働貴族の存在に依つて、一、一〇〇餘に上る組合の分立と穩和的態度に依つて特徴づけられ、前大戦後プロフィンテールの影響を蒙つて居る。前大戦後プロフィンテールの影響を蒙つて居る。前大戦後プロフィンテールの影響を蒙つて居る。前大戦後プロフィンテールの影響を蒙つて居る。

C 勞働組合

場合通常の勞働組合の慣行條件に背馳する時は、その記録が要求される。勞務動員の進行が緩慢であつたことは、軍需工業生産力の擴充が停滯的であつたことを示すものであるが、チェムバレン内閣が此の領域で行つたことは「兵役免除職業」の決定と産業雇傭調査に依る勞働再配置に過ぎなかつた。なほ可成りの失業の存在にも不拘、熟練勞働の不足は、戰爭の初期から尖鋭化し、その對策たる軍需工業勞働者訓練所は、チャール内閣の下で四〇箇所三交代制に擴大さ

與へられる。強制勞務動員の法制的基礎は、既に國防法規定第五八條Aに於て與へられ、勞働相は、指名、勤務指定、勤務條件に關する廣汎な條件を與へられて居たが、一九四一年に至つて遂にその發動を見るに至つた。市民の強制的登録および緊急産業勞働者移動禁止の原則は、ピーヴリン勞働相が一月二二日に闡明したのに續いて、二月二四日の造船業關係勞務者の登録を端緒として、男女共、種々の職業および年齢に及ぼされた。女子に就いては、一

勞働組合會議は、國際勞働組合聯盟の加盟團體で、シトライン卿 (Sir Walter Gifford, K.F.E.) を書記長として居る。一九三九年大會の直前に今次大戰が勃發したが、九月四

五日ブリドリントンで開催された此の大会で、戦争支持を決議し、戦時経済の遂行に當つて全面的に政府と協力するに至つた。しかるに斯かる態度は、必ずしも加緊労働者の全幅的支持を得なかつたのであつて、獨り戦開始後の新情勢は、その統一に有利に作用する傾向を生じた。一九四一年九月二日エデンバラに開かれた大会に於て、合同機械工組合長ジャック・ターナーが、航空機製作相ムーア・ブラバソンの言を引いて、政治上層部に獨り戦が共倒れに終ることを希望する空気があることを指し、「斯かる態度は危険千萬であり、此の國およびロシアの民衆に對する犯罪であることは、何人も認められるところであらう」(The Times, Sept. 3, 1941)と述べたの一端を發し、首脳部の態度は積極派の不滿を買つた。此の大会は、英ソ労働組合混合委員会の設置を可決し、使節團の交換を決定した。唯一の反對派たる共產黨系少數派は、開戦當初の宣言を除外し、四一年六月の獨り開戦まで、終始一貫戦争に反對し來り、一九四一年一月二日ロンドンに國民大會を開催「人民の平和」とソ聯との友好を決議し、労働大衆の總意の表現と稱したが、労働組合・消費組合・労働黨はそれ／＼正式にこれを否認し、二一日に至つてモリソン内相はその機關紙デイリー・ウーワーカーおよび週刊紙ウィークを發禁に處した。しかるに獨り開戦後は反つて積極政策に轉じ、政府の援手の不徹底を論難、モスカウからの第二戰線結成の要請に應じて、大陸作戦の遂行を主張し、斯かる

主張は労働組合會議傘下の労働者その他に著しい影響を及ぼし、政府の政治的立場を困難ならしめた。

2 労働争議 戦時下に於ける労働争議は比較的小規模であり、多くは賃銀の増額に關するものであつた。一九四〇年の争議件數九

No.51 労働争議 (單位1,000日)

年	月	平均	喪失労働日
1929	1	676	676
	2	541	541
	3	285	285
	4	110	110
	5	107	107
1930	1	108	108
	2	168	168
	3	165	165
	4	82	82
	5	91	91
1931	1	14	14
	2	33	33
	3	13	13
	4	52	52
	5	87	87
1932	1	48	48
	2	50	50
	3	24	24
	4	23	23
	5	285	285
1933	1	187	187
	2	74	74
	3		
	4		
	5		

備考：—1940年の争議件數914、参加人員30萬人(うち直接22萬7千) 資料：—E.

四件は一九三七年の、一二九件に及ばなかつたとしても、前年の九四〇件に次いで最近一〇年間に於ける第三位を占める。しかるに喪失労働日數が九四萬日で一八九〇年の労働者統計開始以來の最低記録を示したのは、大部分の争議が一工場に過ぎず、しかも短期であつたことに基づく。参加人員は三〇萬であつたが、その約五分の三、記録された争議の五分の二が炭坑争議であつて、しかもその大部分は個人企業のものであつた。機械工業、織維工業、建築業および土木公企業が炭業に次いで喪失労働日數の多大の部分に占め、ペルファストのリンネル工場に於ける長期の罷業が織維産業喪失労働の四分の三を占める。

罷業防遏の爲に設置された調停審判所は、一九四一年三月までに、イングランドおよび

D 協同組合

1 生産組合 協同組合運動の思想的父たるロバート・オウエンを有つイギリスに於て、生産組合運動は産業革命時代の職工の間に發生したが、資本家の収取なき新社會の建設の理想は其の空想性の故に容易に成功する事が出来なかつた。資本の不足と經營の拙劣とは、近代的産業に追隨することを困難ならしめたが故である。しかも尙、イギリスは斯かる運動の先進國であつて、所謂C.W.S. (Co-operative Wholesale Society Ltd.) およびS.C.W.S. (Scottish C.W.S. Ltd.) が中央機關たる地位を占めて居る。

C.W.S. は、一八六四年創業以來漸次發展を遂げ、一九三九年には、株主組合員六、七六五、一九四名、株式資本一四、七三四、八二六ポンド、純益二、八九一、四八五ポンドの業績を有し、平均四ペンス配當の外に組合製品販賣一ポンドにつき三ペンスの割戻しを行つた五五種の産業に互つて一九二二工場を經營し、一九三八年度の生産額四六、八〇六、九五〇ポンド、雇傭労働者四八、六六九人であつた。資本は、株式と組合貯蓄とであつて、組合員の株式保有は一八二〇〇ポンド以下に限定されて居る。

S.C.W.S. は、一九三八年末に於て總資本(株式、貯蓄、積立金等を含む)一三、二〇七、五〇三ポンドを擁し、三〇種五九工場を經營、年生産八、九一九、一一〇ポンドであつた。

協同組合の現勢は第五二表の如くであるが協同組合の年生産が、國民生産中に占める割合は一九三〇年に於て一・五四%、一九三五年に於て一・六一%に過ぎず、比較的優勢な商業部門に於て、組合ストアの取扱ひ高はドブプスの推定に依れば總取引の二二%、ニールの推定に依れば二二・一五%である。なほ生産販賣の他に、C.W.S.の銀行部は、預金および當座預金三九一、三五五、〇〇〇ポンドを以つて、世界最大の預金を擁するミッドランド銀行の四九六、二九六、三七八ポンド(一九三八年五月)と比肩して居る。協同組合銀行は、協同組合のみでなく労働組合に相當の地盤を持つて、長期資本市場に獨自の地位を

No. 52 協同組合現勢 (單位ポンド)

組合數	加盟團體數	株式資本額	販賣額
1,018	8,241,632	152,871,908	257,772,698
20	171	168,444	2,319,599
84	17,460	1,991,682	6,969,897
15	6,862	87,987	827,341
4	1,626	17,213,324	161,779,767
1	2	26,250	9,058,751
1,142	8,267,753	172,359,595	438,773,053

備考：—1938年末現在、協同組合中央聯盟加盟のもの。*印刷、宣傳、その他。 資料：—P.Y.B. 1940.

保つて居る。その他協同アレス會社、協同プリンティング組合、協同齒科組合等が、利用組合として發展し、協同購買組合は、農漁業に可成の發達を遂げて居る。

2 消費組合 一八四四年のロッチデール公正開拓者組合成立を起源とするイギリス消費組合運動は、協同組合運動の主流をなすに至つて居る。その基本的な立前は、利子を差引いた餘剩利益を、購買に應じて購買者へと

E 社會政策

1 概観 近代的國民經濟の先進國として典型的發展をとげたイギリスは、社會政策の分野においても亦先驅たる光榮を擔つて居る。綿絲紡績従業徒の一二時間を超える労働日を禁止、徒弟の夜業を廢止した一八〇二年の「徒弟の健康及び徳性法」(Health and Morals of Apprentices Act)を端緒として、一八一九年の成立から一八三三年の一般的规定に至る「工場法」の發展—九歳未満の兒童の製絲工場従業を禁止した工場法から「紡績及び一般工場内兒童(九—一三歳)及び年少者(一三—一八歳)の労働取締法」(所謂シャフツベリー法)に至るそれ、—さらに婦人兒童の保護に關する一八四二年のアッシュレー卿の「鑛山法」から労働時間制限に於ける劃期をなした一八四七年の「工場内年少者婦人労働時間制限法」に至る發展は、幼少年の雇傭最低年齢、婦女子の労働時間制限を内容とするものであつて、列國が慈惠的「社會政策」の

範圍を出ず、否斯かるものさへ充分行はれて居なかつた時に於て、國民資本の再生産過程に從屬する嚴密な意味の社會政策の實現を見た所以は産業資本の着實なる發達が齎らした労働の自主的性格に由來するところである。その後、産業資本の順當なる發達による資本の集積と集中とは労働力の統一、結集を來し、このことは労働組合の普及と集中とに容觀化され、上から與へられた労働力保全は下から確保されることになり、社會政策はかゝつて労働組合の公認にあることになつた。一八七一年の労働組合法は歴史的回顧に於ては、この先驅をなすものであるが、單に労働組合の法制的確認に過ぎぬ此の法律が、斯く考へられる理由は、その後間もなく世界經濟における優位と膨大なる植民地領有に依つて特徴を與へられるイギリス國民經濟の有する労働勢力の特殊な構成が、労働組合指導者層の穩和な立場を規定し、労働組合が社會政策の負擔者たる資格に於て進出することを可能ならしめたが故である。一九〇六年の労働組合法の出現に依り同盟罷業權およびその爲の團結權及びビケットの權利が公認され、更に一九一三年の労働組合法は労働組合の政治化を或る限度に認めた。總罷業の結果一九二七年には保守黨内閣により労働組合法が提出され、總罷業の制限・政治化の制限、ビケット權の制限を規定した。一九一一年に國民保險が立法化された後、失業保險制度が立法された(一九一一年の國民保險法の第二編)。一九三〇年の恐

慌以後社會政策は世界的規模で衰退し始め、イギリスも三一年度から社會政策費の節約が始まり、一九三七年には發疾保險給付額削減が行はれ、又失業手当受領者の範圍が制限された。最近においては労働時間に関して一九三四年の板硝子工場に関する國際條約の批准が成立した。店舗營業制限法が三六年に裁可され日曜日に營業することは許されない。婦人労働保護に關しては一切の種類の鐵山の地下労働における婦人の僱使に關する條約が一九三六年五月イギリスで批准された。夜間における婦人の僱使に關する條約は一九三七年一月批准を終つた。一九三六年婦人労働者僱使法は午前六時午後一〇時間の交替制により婦人年少者を僱使する許可の權限を内務大臣に與へた。一九三六年四月失業保險制度を農業労働者に擴張する法案が成立し、實施された。一九三八年を通じて青年法を主要なものとする四つの社會政策立法が成立した。即ち青年法では一六―一八歳の青年の週四八時間以上の労働を禁止した。パン製造業法では夜間労働の制限を設け、路面交通従業員賃銀法では賃銀規制のための中央賃銀委員会の構成を與へ、國民保險法では小學校卒業から一六歳までの少年男女に對して醫療上の利益を與へた。

モン聲明および開戦直後のワイア卿の報告書において、戦後に事情の許す限り十分の補償を與へるといふ基本方針が示されたが、空襲の現實は意外に深刻な社會問題を惹起し、急速な補償法の實施を強要した。即ち一九四一年六月三〇日現在の市民の空襲に依る被害は死者四一、四八八名、負傷者五三、四九八名であつたが、死傷者の數に比して家族が家庭と財産とを喪失することは、最も重大な問題となつた。斯かる場合即時補償を行ふ規則が設けられた。収入四〇〇ポンド以下の世帯者もしくは衣類を失つたもので二五〇ポンド以下の者(扶養家族を有する場合には四〇〇ポンド以下)に對しては、補償が與へられる。このほか道具を失つた職人、商品を失つた商人に對しても補償が行はれ、政府は諸機關と協力して應急的援助を行つて居る。

部門は、生産設備その他營業用の動産施設で價格一〇〇ポンド以下は強制的ではない。寄附金は一〇〇ポンドに付き一〇シリングで、三ヶ年間支拂はれ、この財源を以つて矢張戰爭開始以來二ヶ年の損害を補償する。第三部門は自發的で家具その他個人の所有物一切に互り、一、五〇〇ポンドを限つて、一年間の保險が行はれ、此の金額は自動車オートバイに對しては五〇〇ポンドだけ酌量して擴張される。その他、人的損害に對しては、軍人に非ざる市民および防空勤務員に關して一九三九年九月一日の死傷法 Personal Injuries (Enemy Provisions) Act. 【社會保障計畫】その第一は失業保險である。一九二〇年の失業保險法に依つて擴大された戦後の失業保險法は、一九二七年には遂にその効果を問はれるに至り、その後頻繁な更改を加へられるに至つたが、失業者扶助制度と共に、一九四〇年七月に擴大されて、年收二五ポンド以上四二〇ポンド以下の頭腦労働者にも適用されることとなつた。二〇歳以上の男子に對する特典は、週一七シリングから一ポンドに、女子には一五シリングから一八シリングに増額され、年少労働者に對してはその比例で増額された。一九三四年以來労働黨の反對を受けて來た「世帯所得テスト」は申請者に對して扶助料の支給を行ふべきか否かに當つて世帯の財源を斟酌するものであつたが、一九四一年に入つて廢止され、扶助制度に關する嚴格な規定の多くを緩和した。該當者一、六〇〇萬人である。

第二は、一九一一年に成立を見た健康保險法は、一九一九年および一九二一年の重要な更改を経て國民健康保險法として發展せるものであるが、手工労働者または手工労働以外の労働に従事し年收二五〇ポンド以下の者一四歳以上六五歳までの男女二、〇〇〇萬に對し強制的に加入を命じ、疾病に依つて毎週の現金支拂不能の者に、治療、醫藥、分娩扶助料を供する。この計畫は、一九四一年四月に擴大され、二五〇ポンド以上四二〇ポンドの年收を有する非手工労働者約五〇萬人を包括するに至つた。

第三の老齡・寡婦・孤兒年金制度は、一九二六年に制定されたものであるが、健康保險の適用される人々を對象とし、六五歳の男子および四〇年二月の改正に依つて六〇歳の女子には、必要な場合年金の外に、附加年金を支給する。一九〇六年以來の労働者補償法 (Workmen's Compensation Acts) は、一九四〇年八月の擴張に依つて、出費を三〇%、九〇〇萬ポンド増加した。

VI 文 化

A 總 論

イギリスの世界史的開始は、一五八八年のスペイン無敵艦隊撃破に象徴される。爾來一七・一八・一九の各世紀においてオランダ、フランス、ロシア、ドイツをそれらに制して一九世紀末の極盛期を誇つたが、前大戦を契機としてその黄金時代は去り、大東亞戰以前に於て已に新興アメリカに一籌を輸し、僅かにアングロ・サクソンによる世界制覇を稱して第二次ヨーロッパ大戦に臨んだのである。獨逸開戦による撓降は辛くも英國の崩壊をその前夜において食止め得たが、アメリカの驕尾に付して日本への重壓は、一六世紀以來の東洋侵略によつて英帝國發展の原動力となつたインドその他のアジア植民地ならびにオーストラリアを一舉にして喪失するの機運を招來した。イギリスの巧妙なる世界政策は、他國との聯合において最も強力なる對立國を打破するにあり、この方策はアメリカ獨立戰役に孤立するの失敗を演じた他は常に成功を見せ「名譽の孤立」は決して眞の孤立ではなかつた。ロシアの勢力打破のために成立せしめ得た「日英同盟」は、その目的の果された後に於て弊履の如く打棄せられ、東亞の盟主たる日本の世界的地位を打破すべくアメリカと提携して今日に至つたのである。イギリス文化の消長も畢竟かゝる政治的動向の反映たるに外ならず、産業革命の發祥地としての光榮は、資本主義文明の先達として

そのヨーロッパ世界の支配と、従つてヨーロッパ的世界の覇權を意味した。しかし同時にその國民性の特徴と稱される實際性、功利性は、グイクトリア朝下の最盛時に於てすら尙ヨーロッパ文化の本道をフランスに譲るの情態にあつたが、その場合文化の質と量との問題は世界史的見地の上からも十分考慮せらるべく、一九世紀から二〇世紀にかけての民主主義、自由主義あるは個人主義等の言葉に代表される物質文化は、イギリスにその最大の牙城を見出したのである。

始祖アングロ・サクソンの民族詩として傳へられた「ベオウルフ」(Beowulf)以來、キリスト教文化或はギリシア・ラテン文化の交流の上に樹立せられたイギリス文化は、一六世紀エリザベス朝以後漸く獨自の性格を具へるに至り、フランス・ペーコンの歸納的經驗論はホップス、ヒューム、ロック等を経てベンサム、ミルの功利主義體系に展開される一方、産業革命後のイギリスの發展はアダム・スミスの個人主義的自由主義的經濟理論により裏付けられ、他方ダーウインの實證的思想はスペンサーに至つて大成する。かゝる理論づけの上に確立されたイギリス近代の民主主義、議會主義はその獲得した經濟上の支配的地位の故にイギリスをして必然的に保守的たらしめ、更にイギリス國民性の常軌的保守性はこの傳統をしいよく牢固たらしめる。他面それらの凡俗的實利主義に對しては常に批判の眼が向けられ、殊に文學においてバロン、シエリー、キーツらの貴族的ロマンチズムの反抗、ドイツ觀念論の影響をうけ

たカーライルの攻撃、更にワイルド、G.B. ショー等の近代的反逆など、すべて方向こそ異なれ、いはゆる英國的なるものに對する暴露的憤懣であつた。この批判、反逆の精神は現在も文學の主流をなしてイギリス思想の傳統的大勢と相契しつゝ、畢竟一種の自己否定として發展して行く。

已にグイクトリア女王の末年において始まつたイギリス文化の凋落は、他のヨーロッパ諸國の資本主義化によつてその政治的・經濟的繁榮が脅かされるに至つたのと同様にして露呈せざるを得なかつた。前大戦を契機とするアメリカの世界的擡頭は文化の領域においてさへ顯著であり、「ヨーロッパの世界」の指導者の位置をアメリカに譲つた後のイギリスの苦難は、今次大戦の勃發によつて一層深刻となり、更に大東亞戰爭の開始によつてその没落は必須の事實となつた。イギリス文化の傳統としての物質文化への偏倚は、今日それ自體の凋落によつて愈々その決定的な批判を受けることとなつたのである。

B 科 學

1 哲學 イギリス哲學の特質は通常ロジャア・ペーコン (Cruscan 190) に始まる實證主義、經驗論 (Empiricism) を以て知られる。素より合理主義哲學を缺いた譯ではなく、たゞフランス・ペーコン (1561-1629) トーマス・ホップス (1588-1679) を經てジョン・ロック (1632-1704) に至つて大成される正統的イギリス哲學は、ヨーロッパ大陸の合理論哲學に對して經驗論の名に於てこれ

と對立し、また大きな影響を與へたのである。しかしてバークレー (1685-1753) の觀念論、ヒューム (1711-76) の懷疑説また常識學派の創始者リード (1710-96) を經て、一九世紀を迎へると共にドイツ哲學の支配時代に入るが、カント哲學を中心にシエリング、フイヒテ、ヘーゲルの影響はT.H.グリーン (1836-82)、E.ケアー (1835-1908) 等によつてイギリスの傳統的地盤に立つヒューム哲學に對立するに至つた。一方ダーウイン (1809-82) に示された科學の重視は、スペンサー (1820-1903) における進化原理の適用に基く綜合哲學 (Synthetic Philosophy) となり、ヒューム的現象論の擴大を企てると共にイギリス哲學史上特記すべき哲學體系を樹立した。ホップス、ロック、ヒュームの哲學の目的は人間の幸福であり、實際生活への適用乃至寄與にあつた。功利なる概念を以て一切の價值判斷の基準とするこの主張はJ.ベンサム (1748-1832) の名によつても知られるが、J.S.ミル (1806-73)、H.シヂウイク (1838-96) も同様の系統に屬する。ミルは經驗論哲學を發展させると共に歸納法の完成により論理學史上不朽の名を残した。

【現勢】 (一) 哲學的自然主義——ダーウインの流れを汲み自然科學の立場から哲學を見るこの派にはO.ロッチ、J.A.トムソン、E.W.ホブソン、F.ソッデイ、J.ハックステイ等があり、科學と哲學との交流に起つものであり、純粹な哲學的立場としては實在論に屬する。

(二) 觀念論——ドリリーに始まるスコットラ

ンド學派を轉機としてドイツ哲學特にヘーゲル哲學の影響下に發展し、F.H.ブラッドリー (1846-1924)、B.ボーンキート (1848-1923) によつて絶對的觀念論にまで昂められた。R.B.ホールデン (1857-1928)、C.ジョンズ、J.S.マッケンジー、N.K.スミス等は何れも觀念論派に屬し、J.A.スミスの如きはクロチエ、ジェンティールのイタリア理想主義の影響下にある。(尚J.ウオード (1843-1923)、A.J.バルフォア、A.E.テイラー、W.テンブル等に代表される有神論 (Theism) の一派があり、ウオードは絶對的觀念論を支持するが、B.イソングにおいては世界は精神と物質との統一體であるとの折衷論がとられる。)

(三) 實用主義——アメリカのプラグマティズムとは異なるものであるが、多分にその影響を受け、絶對的觀念論に對立するF.C.S.シラー「の『人本主義』を代表とする(この場合の「人本主義」は「ヒューマニズム」の一傾向を現すものと見なければならぬ)ものと、功利主義はイギリスの概念の最も特徴的なものであり、世界の一切の眞理、一切の知識が人間の要求と目的ならびに活動によつて生産され、規定される」との観方は當然合理主義の烈しい非難を浴びなければならなかつた。この派にはシヂウイク (Alfred Sidgwick)、ピーアソン (Karl Pearson)、マンイ (Daniel Alexander Murray) 等がある。

(四) 實在論——カント的ヘーゲルの觀念論に對立し、またプラグマティズムの極端な相

對主義を排する新實在論(批判的實在論の名において素朴的實在論とは區別せられる)G.E.ムーアにより唱へられ、S.アレキサンダー、A.N.ホワイトヘッド、B.ラッセル(一九三八年來アメリカに渡り、A.ハックステイ等と共にロスマンジュエルズ近郊に住んでゐる)三九年來シカゴ大學に出で、四〇年にはカリフォルニア大學へ出講し、四〇年二月のニウヨーク市立大學教授任命事件は結局大審院の判決で否決されて終つた)等に代表されつゝ、イギリス哲學の傳統を堅持して、現代イギリス哲學の主流をなすもので、ホワイトヘッドとラッセルの共著になる「數學原理」(Principia Mathematica, 1910-13) は單に此の派の主張を知る上に止まらず、世界哲學史上注目すべきものである。

尙純粹な哲學者とは稱し得ないが近代的國家の研究と批判に獨自の境地を開拓せるH.J.ラスキー (1893-)、文豪としてまた思想家として凡そ非イギリス的存在であるG.B.ショウ (1861-)、また科學的人道主義者としての文明批評家H.G.ウェルズ (1866-) の如きはイギリスが世界に誇る存在といへよう。

2 自然科學 近世自然科學の發達はルネッサンス期以後の實證的知識への要求に基くものであるが、イギリスにおいては已に一三世紀ロジャア・ペーコンを發見し得る。エリザベス治下における「イギリスのルネッサンス」において、F.ペーコンを始めヘーヴェイ、ギルバートによつて著しき進歩を見たが、實際的に最も大きな影響を與へたのはニ

ニュートン (Newton) である。彼はコペルニクス、ガリレイ以来の力学に見事な数学的形式を興へると共に、これによつて自然科学の方法を確立して自然科学の始祖の一人となつたのである。一七世紀に於て今一つの注目すべき現象は一六六二年のボイル等によるロンドンのロイアル・ソサイエティ (王立協会) の創立である。ニュートンの影響はフランス哲学における機械論に發展した如く、イギリス哲学の経験的偏向への一の原因となつてゐるが、同時に夫はイギリス科学自身の實際的面への重視を齎したことは否めない。一八世紀末におけるワット (Watt) の蒸氣機関改良はかゝる傾向の産物ではあるが世界科学史上特筆すべきもので、「産業革命」の結果として機械産業の勃興を齎すと共に、逆に自然科学の實驗的技術の上に大きな進歩を興へるものであつた。「電氣文明の世界」を現出せしめた一九世紀における電氣學の發達はボルタの電池の發明、デヴィーの電解法によるナトリウム、カリウムの分解、エルステットの實驗からアラデーの感應電氣についての發見に至つて一切の電氣學の基礎を興へることとなつた。一方原子論の研究はドルトンの原子説を始め、ゲーリキック、アボガドロの定比例法則發見を生み、またヤングによつてフイゲンスの光線波動説が復活せられ、その他ジュール、ケルビンの活躍を見たのである。しかしして一九世紀におけるダーウイン (Darwin) の出現はイギリスの最大の誇でなければならなかつた。彼の努力は進化の事實の立證とその原因に向けられ、「自然淘汰」と

「生存競争」を説くことによつて中世以来の神學を打破すると共に従來の生物學の觀念論的解釋を訂正せしめたのである。

エネルギー恒存の理論と共に一九世紀物理学における頂點をなすものはマクスウェルの光の電磁説、即ち電氣と力学光學理論結合である。ヘルツは彼の理論に實驗的根據をあつた。マクスウェルは、銀橋のキヤベンテイツン研究所を創設し、以來同研究所は世界物理学界の權威となり、イギリス物理学の成果はおほむねこの研究所から得られた。第二代所長ロード・レヴィはラムゼーとともに空中からアルゴンを發見し、また音響學についての古典的大著を有する。三代目の所長 J. J. トムソン (一九〇六年度ノーベル物理学賞受賞者) は陽極線分析によつてエレクトロンを研究して、二〇世紀最初の十年を「エレクトロン期」ならしめた。トムソンについて所長となつたラザフォード (一九三七年死す) は原子構造から更に一步を進めて原子核の構造の研究に入り、引續き現代世界物理学界の先達を勤めて來た。彼は一九世紀末の「放射線期」において放射性物質の崩壊現象を研究して、これに一定の法則をあつた、その後原子模型をつくつた。また F. W. アストン (一九二二年ノーベル化学賞受賞者) は同位元素の發見によつて原子量決定に貢献し、O. T. R. ウイルソン (一九二七年度ノーベル物理学賞受賞者) は霧函の實驗を行つた。ラザフォードの原子模型はボーアによつて修正されて最近まで保持された。ブラッグ父子は X 線によつて結晶體構造を研究し

た。

【現勢】世界の物理学の急速な發展變遷、とくに量子力学の革新期にあつてイギリス物理学界を先導し、キヤベンデイツン研究所の榮譽をまもるものとして、理論方面に P. A. M. ディラック (1891-1933) 年度ノーベル物理学賞受賞者、實驗方面に J. J. トムソンの子 G. P. トムソンがある。G. P. トムソンはアメリカの C. J. ダヴィソンとのエレクトロンの共同研究によつて、一九三七年ノーベル物理学賞を、またパーミンガム大学の W. N. ハワースはダイヤモンドと炭水化物の研究によつて同年の化學賞を得た。

一九三八年度において最も興味ある發展は一九三六年に S. H. ネッダーマイヤー及び C. D. アンダーソンによつて發見された「重電子 (Heavy Electron) の研究である。五月二六日のロイアル・ソサイエティの集會においても、フロリツヒ、ハイトラ、オイラー、ハイゼンベルグ等によつて論議された。Klein 等においても最も活潑な議論の對象となつた。一九三九年における最大事件は所謂「超ウラン元素」問題の解決であり、一九三四年フェルミによつて見出されたこの元素は、三七年までにマイトナー、ハーソン及びシュトラースマンによつて六個、更に一九三八年キュリー、サヴィツチ、ハーソン及びシュトラースマンにより三個發見されたのである。

天文学の領域では、一九三八年 S. B. ニコルソンはパサデナに於て一〇〇吋の反射鏡

を用ゐてジュピター星の新しい衛星を發見した (JX 及び JY)。ジャックソンによれば JX の軌道を發見し得なかつたが、JY では二つを發見した。何れもその偏心率は太陽系において見出された如何なるものよりも大であり、JX はある時は衛星であり、ある時は小衛星であり得るが、その直徑は一〇哩以内であるとされる。

一九四〇年において特に重要な進歩を見られず、科學者達は専ら國防科學の研究に當り、研究所の移轉ないし閉鎖の已むなきに至つたものも少くなかつた。大戰の勃發に伴ふ科學者の國家動員は、イギリスにおいて早くから行はれ、また労働省では戰時科學的研究事業の衰退の恐れあるにより王室學會その他の下に科學技能者の専門的行政的資格登録を行つた。八六、〇〇〇名の登録者中研究繼續可能なものは僅かに七、〇〇〇名内外に過ぎず、研究所の閉鎖せるものも多く、長期に亘る研究は概ね中止され、また技術者の需給調節も不十分である。政府は原則として科學者に對し個人としての全的自由を認め研究團體に對して國家の必要とする問題を提示し、その完成に當らせる方針をとつてゐる。

一九四〇年一月一日の政府發表によれば、イギリスは「國民の戰爭努力について科學者の充分なる協力を求めるがため、王室學會と協議して、「科學諮問委員會」 (Scientific Advisory Council) を設置する事になつた。右はランカスター公領尚書ハンケイ卿を委員長に、W. ブラッグ (王室學會會長)、E. V. アップルトン (科學工業調査局 Department

of Scientific and Industrial Research) 、E. マランゴイ (醫學調査會—Medical Research Council) 、O. V. ヨル (王室學會物理学部) 、E. バトラー (農業調査會—Agricultural Research Council) 、A. C. エガートン (王室學會生物學部) よりなり、その目的とするところは、(一) 諮問を受けたる學術上の諸問題への建築、(二) 特殊部門の研究又は科學者が必要とする委員會の選、(三) 戰爭に必要となつた學術上又は技術上の發展に關する進言を爲すにあり、個人的・團體的知能の國家奉仕と一般學者の諸提案の吟味、検討を行ふべき中心機關である。戰時において國內資源開發と共に代用資源の研究はイギリスに於ても早くから行はれてゐるが、石炭液化に關し一九三七年四月國防調整大臣の命によりファルマウス卿 (Lord Falkland) を委員長とする所謂「ファルマウス委員會」が設立され、エガートンもその三名の委員の一人であつた。右委員會は、國産ガソリンに對する特惠を存続すると共に更に特惠額 (ガロン當り八ペンス) の倍額増加を進言し、また低溫乾溜設備の正式検査を無料にて施行する科學産業調査院所屬施設の存続並にその事業の擴大を提言した。右委員會は年産二萬ないし三萬噸の生産能力を有する、フィッシャー法による一工場の新設をも要請した。石炭液化工業 (ガス工業・コークス製造業・低溫乾溜) 並びに水素添加工業による石油生産費が輸入石油に比し著るしく高價なる點に關しては一例へば帝國化學工業株式會社のピリンガム工場の事業擴張計畫に於て問題となつた—未だ結論ないし

これが打開を爲すに至つてゐない。

戰時における理論科學者の應用分野への動員が基礎科學の研究への障害を伴ふ一方、逆に戰時下の實際問題が、一の理論的寄與を爲す場合が少くない。イギリス殊にロンドン等の都市に於て空襲によつて一種の神經病の流行を見ることが考へられたが、實質的な意味でそのために精神病院に收容されたものは一二月中に於て二八名に過ぎず、この數字は實際に空襲の始まつた以前の數字より遙かに少いことが注目される。建築物の擬裝、爆彈の破裂の際生じる爆風の影響等は、治療醫學における戰傷手當、輸血法、新しい武器の研究或は國民の榮養—特にミルク乃至ビタミンの問題—等に關する廣汎なる領域において、新しい問題が續々と提出される結果、これらの解決は科學者達の一層の精進を要求してゐる。

一九四一年九月二六—二八日、ロンドンでイギリス科學振興會の主催の下に「科學と世界秩序に關する國際會議」が開催された。この會議は樞軸陣營に對する文化的攻勢の一種として行はれた観があり、駐英アメリカ大使ワインランド、ソ聯大使マイスキイ等も出席したと傳へられる。この會議で問題となつたのは「科學の自立性」といふ言葉であつて、この言葉は已に英米の自由主義的科學者によつて樞軸陣、特にドイツの科學攻撃に屢々用ゐられたものであるが、その自立性なるものが問題とならざるを得ない點に、イギリスないし所謂民主國家のアナクロニズムと弱點とが曝露されたものといはざるを得ない。

3 社會科學 「社會科學」の發達は封建的國家に對する市民的社會の成長、發展と結びつく近代的現象である。殊にイギリスの場合、それ自身が市民的社會の最も典型的發展を見せたのであり、その歴史的特殊性はそこに個人を原理とする國家ないし社會の概念を生んだのであり、政治上の議會制、責任内閣制は經濟の領域においてアダム・スミス(1723-1802)以來長くレッセフェアの國たらしめて來たし、自由主義の國イギリスにおいてベンサム、ミルの功利主義はいはゞ最もイギリス的な概念であつた。一六・七世紀に於てヨーロッパを風靡したマーカントイリズムはイギリスにおいても一七世紀前半にトーマス・マン、後半にバーボン、チャイルドを出し、一八世紀に入つてJ・スチュアートを持つ。

その批判者としてのW・ベティはD・ノースと共に、スミスによつて代表される所謂正統學派ないし古典學派の先蹤となつた。正統派經濟學は「國富論」(一七七六)に始まり、D・リカルド、T・R・マルサス、J・ミル、J・S・ミル或はJ・E・ケアンズ等を總稱するが、リカルドは反對者マルサスを得てその學說の體系化を爲し得たのであり、彼等の合理的經濟秩序への信仰は畢竟時代精神の端的表現であり、自由競争と私有財産制度はその秩序の基礎を爲すものであつた。資本主義の發展の結果かゝる秩序の矛盾が現れるに至つて、これが批判者として歴史學派、限界效用學派等を生むので、前者においてイギリスはドイツのそれ程に理論的にまた方法的

に進んだものではなかつたが尚ロジャース(1823-90)、『スクリー』(1827-82)、イングラム(1833-1907)を持ち、後者はW・S・シェヴァンズ(1835-93)によつて代表される。最近のイギリス經濟學において最も注目すべきものは、正統學派の復活としての所謂ケンブリッジ學派である。マーシャル(Alfred Marshall, 1832-1924)がArthur Cecil Pigou(ケインズ)John Maynard Keynes等の現代學者を含むこの派は限界效用學派の主眼主義をとり入れて、新しい生命を正統學派に吹込んだものと見るべく、ピグーにおける厚生經濟學の思想はある程度資本主義社會の矛盾を承認し、その故に厚生を増進を目標として經濟理論の活用を計るのである。「印度の通貨及び金融」によつてその名を知られるに至つたケインズは、第一次大戦中及びその後において國家的活躍を爲すと共に賠償債金問題に名を擧げた(「平和の經濟的歸結」)が、『貨幣論』(一九三〇)による管理通貨の主張は最も有名である。その他、歴史派にアシレイ(1860-1927)、カンニングガム(1829-1919)、分配論のキアナン(1861-)またフェビアン派社會主義のウエツズ、或は「多元的國家論」においていはゆる社會學的國家觀の上にイギリス獨自の發展を齎したラスキー、コッセル等がある。

1 概観 既述の如くイギリスにおいてその功利的實際的傾向は、文化の領域において

C 藝術

でも著しく、繪畫にダヴィンチを持たず、彫刻にロダンを出さないイギリスが、音樂に劃期的天才を持たないことは當然といふべく、僅かにシエクスピア、ミルトンによつて代表される文學において、またその大陸への影響或はバイロン、シェリイ、ワットワース等によつて知られる詩の世界においてのみ、世界的水準に達し得たと云ひ得る。

2 音樂 わづかに民謡(イングランド、スコットランド及びアイルランドの三地方による三系統がある)、教會音樂の斷續的隆盛を見るばかりで、一般に他國に比して不振をきかぬ、著名な作曲家としては一七世紀後半に出たヘンリー・パーセルをあげざるのみで、一八世紀後半からいはゆるイギリス音樂のルネッサンス期に入り、現代においてはV・ウイリアムズ、F・デリウス、C・グレインガー、E・グゼンズ、A・ボックス、F・ブリッジ、E・エルガー及びG・パンツック等を出してゐる。

【現勢】 一九三八年初めにおいてイギリス音樂界の話題はシェンマンのヴァイオリン競奏曲の初演に集中された。一方T・ビッチアム指揮のロンドン・フィルハーモニック管絃樂團(L.P.O.)、H・ウッド指揮のB.B.C.管絃樂團及びロンドン・交響樂團(L.S.O.)の三者は依然健在であつた。

外國からは一月二日及び二三日クイーンズ・ホールとアルバート・ホールでフルトヴェンゲラー指揮のベルリン・フィルハーモニック管絃樂團の演奏並びに一月R・クペリック指揮のブライグ・フィルハーモニック管

弦樂團の來演を見た。また六月一七-二四日、ロンドンに開かれた國際現代音樂協會の第一六年次大會に當り、ハルトマン(獨)、ウエバイン(舊埃)、ヘンデミット(獨)等の訪英によつて多くの刺戟が與へられた。一〇月五日ウッドの指揮者としての五〇年記念慈善音樂會がアルバート・ホールに開かれ、その収入はロンドン病院の音樂家用ベツッドに捧げられ、またこれより早く九月二六日ウッドの胸像除幕式が行はれ、王立音樂家協會は二百年記念祭を行つた。

一九三九年に於てイギリス音樂界はロンドン音樂祭及空襲により明暗二筋道を描いた。前半期はプロツホのヴァイオリン競奏曲の初演(ヴァイオリンはシゲツテイ、指揮はビッチアム)及ヘンデミットの「畫家マチス」の全曲上演(指揮はC・レイボールド)に賑はひ、五月三日-六月二日のロンドン音樂祭は例年になく大規模に行はれ、クイーンズ・ホールにおける九回の演奏の中七回をトスカニーニが指揮した。しかしして戦争の勃發は一切の活動の停止となり、凡ての來るべきシーゾンのプログラムは放棄せられた。その結果職業的音樂家の多數は失業することとなり、何等かの新方面の打開が策せられるに至つた。即ち音樂會ないしオペラの晝間演奏で、ビッチアムの日曜コンサートは一〇月二九日より開始され、ロンドン交響樂團もC・ハムブルグ指揮の下に一〇月八日より演奏を始めたが、かゝる時間的制限は尙そ、多くの努力が拂はれたにも拘らず、單に晝の上に於てのみならず質的な低下を齎さざるを得なかつた。

四〇年に入つて空襲によつて直接破壊を受けなかつたとはいへ、音樂家の生計の困難は著しく、四〇年初めビッチアムは、個人的援助の停止、契約の全般的解消によりL.P.O.の解散の危機を宣言した(當局の努力により資金を得てこの危機は避けられた)。春より夏にかけてL.P.O.は、ヒルトンの努力により戦時音樂の新企劃により諸契約を得、映畫館等における地方公演によつてその活動を續け得たが、四〇年末において尙その財政的基礎は強固たり得なかつた。故にL.S.O.へのド)或はカーネギー財團の援助等により政府助成金の倍額増加と相俟つて、音樂界のため一〇萬ポンドが提供されることとなつた。またマクミリアン卿を委員長に Council for the Encouragement of Music and Arts (C.E.M.A.)が設立され、(一)軍需工場等における晝間コンサートの開始、(二)L.P.O.及びL.S.O.の地方公演、(三)地方音樂の振興のための技能者の雇傭、(四)戦後の再建ないし改善等の新企劃が爲されるに至つた。しかしこれ等は音樂家の失業ないし困窮の問題には觸れる暇なく、放浪ないし音樂の機械化による轉換期の問題と共に未解決のまま持越されたのである。空襲による困難は單に演奏會の時間丈の問題でなく樂手自身の應召の外に、演奏會が地下室において行はれる結果として收容人員の激減(例へばナショナル・ギアライイにおいて一、五〇〇から四〇〇〇)に基く財政上の困難は晝間における演奏會に於ても著しかつた。八月一〇日一

○月四日に行はれる管であつたクイーンズ・ホールの第四大次プロムナード・コンサートは五月初めに繰上げられ、これが指揮に當つたウッドは恐らくこれがロンドンにおける最後の演奏とならうと述べた。また四月から五月にかけて行はれる管であつた一〇回のコンサートを含む英佛合同音樂祭はフランス軍の危機の切迫により三回行はれたに止まつた。八月二六日の二四人の新人の作品の演奏會は空襲によつて九月二日に延期され、また九月七日以後コンサートは開かれなくなつた。

3 美術

【繪畫】 イギリスの美術は一二の點を除いて常に大陸の影響下に沈吟する。従つてその現代美術もフランス、ドイツにおける如き世界的傾向を代表するものではなく、同じく大陸の後塵を拜せざるを得ない状態である。

イギリスの國民的繪畫の端初は一八世紀初頭の歴史畫家J・ソーンホル(C1696-1733)に現れるが、未だ大陸の影響を脱しきれず一八世紀後半に出たレイノルズ(1733-92)、ゲーンズボロー(1727-88)、ロムネー(1734-1802)によつて確立する。一九世紀にはラスキンの推賞するところとなり、近代繪畫の先驅者としてコンスタンブル(C1776-1821)と共にフランス畫壇の注目を受け、印象派繪畫派生の一因となつた。さらに一八四八年「ラファエル前派」が結成され、特にD・G・ロセツテイを中心としてB・ジョンズ、ワツテイ、M・ブラウン等により新中世紀主義繪畫の創造となる。その後フ

ランス印象主義の影響のもとにA・ジョーン、オーレン、クローゼンらは一八八六年に新イギリス美術倶楽部を組織し、ジョーンはブランケンとともに現在畫壇の重鎮をなしてゐる。ほかに立體派のネヴィンソンがある。

【現勢】一九三八年はロイヤル・アカデミー(R・A)における一七世紀西歐美術展覧會(一月三日—三月二日)を以て始まつた。レンブラント、ヴェラスケス、ルーベンス、ヴァンダイク等を始め、彫刻、工藝品に互つてその刺戟は大なるものがあつた。

またR・Aの夏季展覧會は油繪五、〇二七點(前年より一八〇點減)、水彩三、四五九點(同一〇七點減)の撤入を見たが、優秀なるものは極めて少かつた。F・O・サルステリイ及びC・テイラーのジョージ六世冠式の圖等はこの年度において最も注目すべき作品であつた。一九三九年に入り一月六日からR・Aの冬期展覧會が開催され、G・シェイムソン、A・ラムゼイ、M・ライト、レバイン等一六世紀以後のスコットランド畫家の作品が飾られた。バステル・ソサイアテイの第四〇回展覧會またマチソン・ガラリイにおけるヴェネチア派傑作展覧會等は春の話題の的となつた。

R・Aの展覧會は總數一〇、五七六點の中一、三二五點が入選したが、その多くは會員の作品であつた。大戦の勃發による影響は自ら不可避なものであつた。四〇年において藝術關係者自身は平時と大差なき旨述べてゐるが博物館・美術

E・ゼル、G・レッドワオード等の努力は藝術を少數者の手から大衆へ解放する一現象としての彫刻資材の擴大といふ一般的傾向に資すると共に大理石に代るイギリス石の普及に貢献した。新しいノールウィッチの市役所を飾つたA・ハーティマン、J・ウツドフォードの作品は新傾向を代表するものとして注目し、またアバディーンによつて示された公園等の彫刻の進出は、新しき分野を開拓するものとして、時宜を得なかつた。グラスゴウ展覧會の失敗を償ふものといへる。木彫家には古典派にG・ギボン、現代派にW・C・H・キング、H・J・ヤングマン及びA・J・オークリイ等がある。

4 建築 ローマ時代建築はその遺跡を見ず、五世紀からアングロ・サクソン建築があらはれる。即ち、ウォース教會堂、バーナク教會堂等はこれであつて、一方ノルマン人の侵入によるノルマン文化はイギリス・ロマネスク建築をうんだ。また一三世紀頃から初期イギリス建築たるランセット式があらはれ、テムプル教會堂、ヨーク寺院などを残した。エドワード二世、三世時代は一四世紀式(文飾式)とよばれ、華麗な外觀を呈する(リオンカーン寺院)。一五世紀はランカスター式、一六世紀はチユードル式とよばれ、一七世紀はイタリア・ルネッサンスの典型化たるアングロ・クラシック式であり、C・レンの名によつて知られる(ロンドンの聖ポール寺院)。一八世紀は女王アン式といはれ、簡素な小住宅に多く示される。

【近代建築】一九世紀以來、大陸の影響特

館の一部は閉鎖され(四〇年に入りブリテイッシュ博物館等は部分的にはあるが再開した)、美術家訪問委員會の推薦でM・ボネ、J・Nash, E. Ravilious(海軍)、E. Adrizon, E. Bawden, R. G. Eves, B. Freedmann, A. Goss(陸軍)、K. Henderson, P. Nash(空軍)等が従軍畫家として出發し、その第一回の作品は三月ナショナル・ガラリイに開催された。R・Aと、他の二四の美術團體との聯合による冬季展覧會は一月五日よりバーリントン・ハウスで開かれたが、これこそ現代イギリス美術各界の諸傾向を代表するものであり、投票による一〇大通俗畫家の筆頭はGolden GirlのLaura Knightで、その他A. John, A. Christie, O. Birley, G. Price, W. Russett, A. Thomson等がこれに續いた。二月及び四月末から五月にかけてフィンランド救援資金のための小展覧會が開催され、R・Aの夏季展覧會も例年通り五月の第一月曜日から開かれたが、秋に入つて空襲の激化に伴ひ展覧會の延期または閉鎖を見、イギリス美術の中心はロンドンを逃避して、グラスゴウ、ブリストル、ケンブリッジ、ウエイクフィールド等に散開されるに至つた。

空襲による美術領域の被害は次の如くである。(一)寺院・教會—St. Paul's Cathedral, Westminster Abbey, Canterbury Cathedral, Llantharf Cathedral, Coventry Cathedral, St. Andrew (Worship), St. Bride(Piscot Street), St. Clement(Eastcheap), St. James(Piccadilly)等。(二)宮殿—Buckingham Palace, Kensington Palace, Lambeth Palace, King(John's)

に強く、一九世紀初頭を初期ヴィクトリア式といひ、古典主義ではスマーグの大英博物館、浪漫主義ではイギリス國會議事堂が代表的な建築である。現代建築はジョン・ラスキンの思想をもつウィリアム・モリスの工運運動が示すやうな新精神によつて構築され、歐洲の各國にその新様式が傳播したが、本國においては寧ろ發達しなかつた。

保守的を稱されるイギリス建築に於ても時代の影響は必須である。嘗て大邸宅に集中されたその關心は今や新しい庶民のために向けられなければならなかつたし、空襲による影響は更に深刻であつた。三八年頃からの國際政局の動きは建築界にとつても決して有利なものであるといふことは出来なかつた。建築のナショナルリズムに對してその誇る傳統は限られた地盤によるものであり、國防と空襲の脅威に對しその安全を保證するものでもなかつた。工場、病院ないしアパートメントの建築に示された如く、新しい建築はライトのロマンティシズムとは對蹠的に複雑な構成美からは遠ざかつて寧ろ直線的な單純さを現してゐる。獨伊における如き民族的矜持を表現する記念碑等の建築において復古的傾向は自然であるが、アカデミズムの多分に殘存するイギリスに於て傳統とは屋根のスロップと小さななしかも隔離された窓とを意味し、かゝる形式はその本質においてイギリスの新建築様式にも現れざるを得ない。勿論イギリスの場合においても、單純な直線的様式が流行するが、しかもシメトリイを失はない(テクトンの作品)。部屋數及び窓を多くすることは現

Palace, (Hallのみ)(三)歴史的建築物—Tower of London, Whitehall, Haberdashers' Hall, Westminster Hall, Middle Temple Hall, Somerset House, Burlington House, Radnor House (EC)博物館・美術館—British Museum, Tate Gallery, Wallace Collection, Imperial War Museum, Birmingham Art Gallery, Bristol Museum.

定期刊行物たるAp. Jlo, Barington Magazine, Connoisseur, Studio等は紙數は減少したが依然發行を續けてゐる。

【彫刻】一般に不振をきはめ、わづかに特色ある作家として一カ世紀にG・A・ステダンス、G・H・フォレー、T・ウーリナーがある。現代に於てはアメリカに生れたヤコブ・エプスタインがその表現主義的構想をもつて著名である。工藝界においては一八六一年特異な理論をもつて工運美術刷新の運動をおこしたウィリアム・モリスをあげ得る。最近において古い傳統的形式への復歸に伴ひ彫刻への一般の關心が増して來た。フランス等においては、依然アキベンコ式の超モダニズムが勢力を持つてゐるが、これらの革新派の影響を通して採り上げられた古典的形式の新しい息吹は、少くともイギリスにおいて最も支配的である。地方の記念碑またテート・ガラリイにおける新彫刻館の設立によつて引起された論議は、イギリスにおける一般の彫刻への關心の何よりの證であり、かゝるロンドン第一のガラリイの開設によつて今後への刺戟なり影響が期待されたのであ

代建築の最初に果すべき義務であり、かゝる機能主義と構成美との調和はその最大の關心事である。しかしてノールウィッチの市役所建築において示されたものは、傳統をあくまで生かさんとする新古典主義の採用であつた。資材においても第一に夫自身の廉價であること、次いで労働コストの少額なること、しかも尙裝飾的意義をも失はないことが要求されたのである。

5 文學 古く「ベオウルフ」が始まるイギリス文學は通例イギリスのルネッサンスを代表する「チヨウサー」を始祖とし、シエクスピアを経て、クローンウエル下の清教徒時代(ミルトン、バンヤン)に入り、その反動期たる所謂擬古典主義時代(ドライデン、ポープ、ジョンソン)から一八世紀後半の浪漫主義期に移る。こゝでは市民社會の勃興に基き自我の擴張と理想と感情とが交錯して、一九世紀前半の繁榮期を現出する(ブレイク、スコット、ワアツワイス、コルリツチ、バイロン、シェリー、キーツ)。一九世紀後半のヴィクトリア朝期に入つてイギリスの世界制覇が實現しかける頃にはロマンはロマンとしてのみ生きられなくなつて來る。詩も依然優勢である(アラウニング、テニスン、ロセツテイ)が、ディッケンズ、サツカレイにおける寫實的傾向はエリオット、メレディス、ハーディ等と共に文學の本道を小説に取戻したといへよう。

今世紀初頭から現在にかけて活躍した作家には、J・コンラッド、ウエルズ、A・ペンネット、D・H・ローレンス、A・ハックス

リ、K・マンスフィールド、V・ウルフ、劇壇に、H・A・ジョーンズ、A・ボネロ、ジョウ、S・ホートン、J・ガルスワージー、J・M・バリ、N・カワード、C・ティン、S・オーケーシー、E・ワイルボッツ、M・ヒューレット、A・ホープ、H・ウォールポール及びG・キアナン等がある。

【現勢】 文學が物質的目的の下に隷屬されたといふことが最近頻りにいはれたが、啓蒙的役割をさへ失つた文學は単に娯樂として、そこに眞の自身の批判をも失ふに至つてゐる。かゝる意味において三八年度において論ぜられた作家の不遇も、作品自身の詰らなさも三九年に入つて何等解決せらるべきものではなく、問題は遙かに本質的なのである「書籍」の項参照。

一九三九年に於て先づ注目すべき作品は「ユリシース」以来一七年振りて更に一層前人未踏の境地を描き、その故に一層難解である「J・ジョイスの Finnegans Wake (フイニガンのお通夜)及び「ワナム」の How Green was my Valley (我が谷の如何に緑なり) (アメリカ文學)の項参照)が、ついで W. Faulkner の The Wild Palms, A. Huxley の After Many a Summer, A. Bell の The Shepherd's Farm, N. Jacob の This Porcelain Clay, H. Chesterman の Penny World, E. M. Delafeld の Three Marriages, 東亞に關しては V. Baum の Nanking Road, A. Bridge の Four Part Setting, M. Collis の Sandra Mala, 歴史物では M. Irwin の The Bride, F. Heckett の Queen Anne Boleyn,

短篇では H. E. Bates の The Flying Goat, C. G. Lacey の Physicians Fare, 翻譯ものでは一九三七年度ノーベル文學賞を得た作品である R. Martin du Gard の The Thibaults, 外に R. Peltaine の The Conquest of Life, G. Duhamel の Days of Delight, J. Romain の Verlain 等が主なものである。

四〇年に入つて 戦争による影響は深刻となつたが、言論の自由の擁護と戦争目的の論議のみ盛んであつて、戦争による傑出した文學を生むに至らなかつた。I・ユヴァンヌは今次大戦が文學を生み得ない理由として、戦争の若さが作家の感情を未だ結晶せしめるに至つてゐない點と空襲等による環境の不利を指摘してゐるが、前大戦に於てもイギリスはよく戦争文學を持つたであらうか。戦時下純文學の衰頹は新刊書の激減にも現れ「書籍」の項参照)一方質的にも優れたものは極めて少しかつた。新人は未だ現れなかつたが、四〇年になつて最も活躍を示したのは詩の世界であつた。E. Sitwell の New and Old, T. S. Eliot の East Coker, W. H. Auden の 譯詩集 Another Time, I, Mac Neice の The Last Ditch, H. Read の Thirty-Five Poemes, E. H. W. Meyerstein の Eclogues, J. Str. ther の The Glass-Blower and Other Poems, 時代を渡りながら J. L. Whistler の In Time of Suspense, F. R. Higgins の The Cap of Brightness 等がある。

小説は四〇年になつて一四五三種の新刊を生んだが、主なものは G. Greene の The Power and the Glory (一〇年前におけるメキシ

コのキリスト教弾壓に際して逃亡せる一牧師の捕はれるまでの物語で、單に冒険小説といふよりは人間の魂を描いて特記すべきものとされる) G. Mergin の The Voyage (E. E. Rantall 記念賞を得た) H. G. Wells の Babes in the Darkling Wood (エドモンド・ケラーの進取、北歐戦線を背景にウエズベールの意味的な樂觀主義と生命力を描いてゐる) D. Charlques の Time's Harvest (農業革命に基く一八三〇年代の田園の没落を描く) B. Cabell の Handet Had an Uncle (シヤタスユアの近代的解釋であり、「ロンドン」に戲畫化した喜劇である) R. Maunlay の And No Man's Wit, R. C. Hutchison の The Fire and the World, M. Sautier の Fanny by Gaslight, W. J. Blake の The Painter and the Lady, N. Simate の Landfall, H. S. King の Fame is the Spur, R. P. Warren の Night Rider, 歴史物では J. Massfield の Basilissa, R. Grave の Sergeant Lamb of the Ninth, H. Walpole の The Bright Pavilions, 東亞に關しては H. E. Bate の The Beauty of the Deal, R. Hecht の A Book of Miracles, 翻譯では H. M. S. の 譯詩集 G. Duhamel の 譯詩集 Cécile Among the Pasquiers, Jules Romain の Aftermath (エドモンド・ケラーの進取) Thomas Mann の I ote in Weimar 等がある。

【アイルランドの文學】 アイルランド文學はイギリス文學において特殊な地位を占めてゐるが、特に注目すべき作家にはオズカー・ワイルド、アイエーン・ショー、ジョ・モア、シヤン、

ジェームス・ジョイス (一九四一年一月一日ニチエーリッヒで死んだ。享年六〇) などがあつた。

【アメリカの影響】 戦争の勃發と其後の嚴重な爲替管理及び紙の不足によつて、またイギリス文學のナショナルリズムに伴ふ愛國精神の發揚によつて一時衰へたアメリカ文學の流行は、アメリカの對英援助強化と共に再び復活して來た。先づヘミングウェイの「誰がために死の鐘は鳴る」は讀物としての面白さ故に相當の評判とはなつたが、アメリカにおける如き劃期的な熱議を博すに至らなかつた。M・グットリッチの「テリラ」、K・マツキエラーズの「心は孤獨なる獵人」、P・バーツの「孤獨で歩む者」、「國民の書」賞を受けたR・ウォーレンの「礎石」、T・コルドウェルの「大地は主のもの」等凡そアメリカに於て人氣のあつた主要作品は悉くイギリスに移され、「風と共に去りぬ」、「怒りの葡萄」等の人氣と共に文學の領域においても對米移存の状態に陥らんとしつゝある。

四〇年九月、ロンドンで第一七回國際ペンクラブ大會が開催された。アメリカからはT・ワイルド、J・ドス・パス、R・シアークツド等が出席した外、三〇ヶ國(西半球を除けばその殆んど全部が亡命國である)の作家、思想家、ジャーナリストが集つた。元來政治とは無關係を誇るこの大會であつたが、ロンドンの場合ウエズベの反對にも拘らず反樞軸的色彩は濃厚であり、反樞軸攻勢の宣傳の一機關に過ぎないことを明かにしたが、更に反樞軸内部における米英の支配態勢、英佛並

びに英米の對立を表面化する事によつてその無統一性を暴露した。會長ジュール・ロマンへの攻撃とその罷免(ロマン自身はアメリカへ亡命後、ニューヨークで「アメリカ・ヨーロッパペンクラブ」を組織しその議長となつて居り、ロンドン大會を否認してゐる)後、ワイルド(S・ジョイスの反對)、ウエズベ(辭退)案を経て戦争繼續中は五人の委員制がとられることになつた。即ちソントン・ワイルド、トーマス・マン(大會缺席)、ジヤック・マリマン(缺席)、H・G・ウエズベ、ハーモン・オールドである。

6 演劇 エリザベス朝以後イギリスの演劇は浪漫劇の全盛期を現し、ロンドン市外に始めて劇場の創設をみ、シヤクスピアを始めとし、ベン・ジョンソン等の多くのすぐれた劇作家を輩出したが、一九世紀後半イブセンの影響によつて起つた新劇運動は、今世紀初頭にかけてイギリス演壇を隆盛に導き、ショウを始め、ガルスワージー、バリーや、また多くの名優を出して近代演劇は確立された。

【現勢】 大戦の勃發により一九三九年九月四日以後凡ての劇場はその機能を停止した。二週日後映畫館の一部は再開されるに至つたが、劇場は依然休止状態を續け、マチネーを以てして観客を集めることは困難であり、前大戦開始後最初の六ヶ月の経験は劇場經營者をして極めて小心にした。しかるにやがてこの新しい戦は燈火管制を除いてさしたる劇烈さを伴はない事實が明かにされ、加ふるに人の明るさへの期待が演劇の再開を要求した結果、ロンドンに於てウエスト・エンドの興

行者達は當局と協議の上六時間制を採用し、各劇場はそれらの時間に於て開場することとなつた。唯問題はそれの際上演されたものの大部分が質的に極めて劣悪であり、レンジー、茶番の如きものに過ぎないことであつた。勿論道化芝居にも French for Love (一〇月三十一日よりクリテリオン座にて上演)の如き賢明な傑技を示したのもあり、ウエスト・エンド以外のウエストミンスター座に行はれた(一〇月一〇日より) J・B・プリーストリーの「夜の管樂」の如きは已に前年度に於て好評を博せる作品であつたが、また喝采を得た。後者の成功も劇場の狭き観客の特殊層である事實に鑑みれば、決してよき作品への希望の證しと見ることは出来ない。クリスマスには六の劇場を除いて凡て開演され、量的には平時の状態に立歸つたといひ得る。

注目すべき作品は「キールグッド」の The Importance of Being Earnest 及び「E・ウエズベ」の The Corn is Green の再演であつた。戦争勃發以前の三九年上半期に於てすら政治的不安を反映して企畫の貧弱さが嘆かれたので、モウアの In Good King Charles's Golden Days (「セント・メア」の第三幕程評判とならず、プリーストリーの Johnson Over Jordan も作者自身「最良の作品」と稱したにも拘らず、詩的貧困と上演に要する多額の経費は結局失敗に終らざるを得なかつた。その他 J. S. Eliot の Family Reunion, I. Novello の The Dancing Years, I. Hay の Little Ladyship, K. Winter の We at the Cross Roads 等も成功せず、僅かに D・M・セイナーの「ソム

「ワスト」を現代化する The Devil to Pay, M. カトリーの They Walk Alone が好評を博した程度であった。八月大戦の前夜に於て辛うじて行ひ得たマルヴァーン祭には、シヨウの前記作品の外、James Britton, Robert Vanstuart, Alexander Knox 等一流作家五人の新作が上演されたが、失望の二字に盡きる。その他新進劇作家たる Adrian Payne, Ruth Ford Mayne, Lesley Storm, Jack Jones 等も振はず、前記ギールグッドの作品に匹敵すべくは N. カワットの "Design for Living" 検閲保留を食つた作品で三九年度の作品とはいへないであり、外國物ではスタインベックの Of Mice and Men, C. ブースの The Woman, K. ナブマックの The Mother が好評であつた。歴史的なリセイラム (Lyceum) 劇場の閉鎖もまた三九年度の一件であつた。

一九四〇年はイギリス演劇界にとつて未曾有の年であつた。當初のクリスマス季において、ウエスト・エンドでは約三〇劇場が開演した。ロンドンには絶えず空襲の脅威化にあるとはいへ未だその實驗を経ず、市民は漸く戦時状態に慣れて明るさを求めてゐたのであるが、唯優秀なる俳優等の出征また近年稀なる嚴寒下において興行成績は凡々の域を出なかつた。五月に入り、ドイツの攻撃的攻勢は開始され、ロンドンにおいても娯樂を要求するものはその影を絶つた。ダンケルク戦後フランス遂に陥り、八月一日のドイツの對英和平提唱によつて俄然活氣付いたかに見られた興行界は、九月九日以後のロンドン大

空襲により窒息するに至つた。ウインドミル小劇場のヴァライアテイのみが僅かに演ぜられ、他には若干のマナーが行はれたに過ぎなかつた。従つて四〇年度の上演作品もまた寥々たるもので、R. アーデンの "The Hundred Rook, E. ヴァイツマンの The Light of Heart (二月プロモ座上演)、C. テーンの Cousin Muriel (三月グロブ座) 等であつた。この他出版物としては Sean O'Casey の The Star turns Red を推すべく、他に D. モルガンの A House in the Square, A. スチンハートの Jamie 及び C. ブースの Margin for the Error 等があつた。

一九一九年に二、七五〇の團體を統合して成立した British Drama League は現在 Lord Howard Walden を總裁に、月刊誌 Drama を發行してゐる。

7 映畫 イギリスは前大戦までは世界映畫市場の中心であつた。その後アメリカの進出によつて國內の映畫事業は一時沈滞に陥つたが、一九二五年の映畫覺醒運動、ついで二八年映畫保護法の發布によつて再び昔日の隆盛をとりかへし、現在配給事業においてはアメリカについて世界第二位の販路を獲得してゐる。

おもな製作會社としてアレキサンダー・コルダの主宰するロンドン・フィルム、ゴームン・ブリテイツシユ、アルビオン、アストラ・ナショナル、ゲインズボロウ等がある。

【現勢】燈火管制ないし空襲にも拘らず大衆娯樂たる映畫への魅力は依然たるものがあつた。一週の観客數二三百萬、映畫館收入年

No. 1 イギリス映畫上映數 (3,000 フィート以上のもの)

	英國	外國	合計
1939	103	535	638
1940	108	399	507

備考：一年次は三月末までの一年間。
資料：—Economist, 1940, 7-27, P.115。
少は當然行はるべくして行はれず、アメリカ業者は依然イギリスを、その第二の世界市場としてのみならず、

今やイギリスのみがヨーロッパにおける唯一の輸出相手國となつたのである。別表の如く四〇年に入つてアメリカよりの輸入は著しく減退し、實際にはクォータ法(本年鑑一九四〇年版参照)による制限で必ずしも實際の輸入本數と合致しない。一方自國映畫の上映數は法定の最低限二〇%に對し、一五・七八%に上つた(一九三八年は法定の一五%に對し二一・三であつた)。しかし三九年度において登録されたイギリス映畫の割當は八一八、〇三三フィートで前年に比し、却つて五二、八七一フィートの減少を示した。戰爭の勃發後着手されたのは登録數一〇八中の僅か一五であり、その後半年を経て尙四四に過ぎなかつた。映畫製作費も一九三七年度において公式發表によれば五百萬ポンドに上つたが(三千フィート以上のもの)實際は四・六三五百萬ポンドと見られる(一九三八年年度には二・八二五、三九年度は二・〇八、四〇年度は一・五百萬ポンドに著減した)。

一九三八年は一九二六年以來の不況を見せた。當初に於て製作を行つてゐたのは四社に過ぎず、一三は全然停止してゐたし、七五〇名の技術者中六〇〇名は失業状態にあつた。それは映畫法の詳細が不明な結果で、四月の該法の公布まで續いた。しかしてこの映畫法によれば映畫一本につき一・五萬ポンドが規定せられ、その結果質的下落は必須であつたし、しかも映寫時間の短縮並に入場料の高騰を齎さざるを得なかつた。しかし實際に於てスター・システムと巨額な製作費のみが觀客を吸收する譯ではなく、S. ボウエル及び

G. フォーリンベインによつて示された成功は企劃の大膽さと賢明さを要請するものであり、その結果は Bank Holiday, Owd Bob, Young and Innocent 等の出現となつた。L. ホワード及び W. ヒラーはシヨウの Pygmalion の映畫化によつて知識層を刺戟した。アメリカからは Stage Door, Hurricane 等が齎され、Snow White and the Seven Dwarfs (白雪姫) がアメリカにおけると同様に壓倒的人氣を博した。

一九三九年は最も波瀾に富んだ年といふことが出来る。

一九三六年に建設されたエルズツリーのスタジオが J. マッククセルによつて再開されるとの噂は三〇%余に及ぶ映畫關係失業者を欣喜させたが、條件合はずして實現しなかつた。しかし業界の不況は労働時間及び條件の協定の成立、又は製作所の事業開始(イムペラテリオ(H. ウイルコックを總指揮者として年六本を撮ることとなつた)アアルフイ、クラフトン等)により次第に改善されつゝあつた。時局の緊迫につれ、映畫の國家への奉仕を行ふ特殊部門が労働省内に設置され、B. ウォラスがその企畫を擔當することとなつた。宣傳映畫「ナチ・スパイの告白」が上映を許可されるに至つた。セルロイドへの課税案は業者特にニュース業者の反對により撤回された。ニュース映畫はトピックを特に重視した。そして戰爭は始まつた。凡ての映畫館は閉鎖され、ニュース以外の製作は停止された。やがて業者の請願によつて時間的制限の下に再開されたが、暗闇の下に於て極めて不利な立場におかれた。「クォータ法の停止が叫ばれたが一月に至り一九四〇年三月末まで繼續される旨發表され、再開された製作の計畫は、喜劇に集中された。注目すべき戦時映畫として The Lion Has Wings が完成された。他に三九年度の作品としては、メトロ・ゴールドウインの資金と R. ドナット、R. リチャードソンの英國的才能の結晶たる "Petals" (城砦)、色彩と音楽との交響詩 Mr. Kado 及び Dawn Patrol、漫畫「ガリヴァー旅行記」等が人氣の中心であつた。

一九四〇年は業界が「大戦」と戦つて稍々平常化に向つた年である。二月興行者とメトロ・ゴールドウインとの間に「風と共に去りぬ」の上映條件を巡つて紛争が惹起された。メトロはこの四時間映畫に對し最低料金畫間三シリング六ペンス、夜間四シリング六ペンスを要求し、興行者へはその収入の七割以上を以て上映されたこの「冗長な」映畫は、一般封切に際し料金並に歩合においてイギリス側の勝利に終つた。四月から「クォータ法」は廢止された。戰爭にも拘らず依然アメリカ物の輸入は相當行はれたが、その中で最も人氣を博したのはチャップリンの最初のトーキー「獨裁者」であつた。製作企劃の傾向としては俳優より脚本に重心が移つたことが注目され、「怒りの葡萄」「黄金児」の如き、また明るいものでは「誇りと偏見」の如き古典的映畫化までに至つた。三九年度に於て優勢だつた傳記映畫は下り坂となつた。(四〇年末)

ギルグッドはデイスレーイ傳たる Prime Minister の大作にとりかゝつた。イギリスの場合、量より質への移行は The Proud Valley, Convoy, Contrahand, Gaslight の如き作品となつて現れ、ハリウッドに赴いた A・ピチロツクは Rebecca と Foreign Correspondent を完成した。宣傳映畫の發達は稍々遲延を餘儀なくされたが、やがて Fangerous Comment, All Hms, Partle, Balloon Barrage, Victims 等續々製作されるに至つた。

D 宗教

1 概観 イギリスにおける福音傳道は、紀元一世紀におけるローマ文明の洗禮以後である。ついで五世紀初頭、ベラギアス出で、自由意志説を稱へ、中世において教會と國家の對立は大陸におけると同様であつて、ジョン王 (1199-1216) のローマ法王イノセント三世による破門事件に至つて最高潮に達する。一四世紀に入るや宗教改革の先驅者としてのウイクリフ出で、ニコラス・ヘレフォードと共に全譯英語聖書を完成し、更にジェームス一世に至り諸學者を網羅して「欽定譯聖書」(1611) が上梓された。イギリスの宗教改革は國王對法王の軋轢の結果によつたもので、ヘンリー八世は皇后カタリナを廢し、アン・ボレインと結婚せんと欲したが、法王の允許を得なかつた爲め、法王と絶縁し、自ら英國國教會の首長として臨み、こゝに英國國教會の基礎は確立した。その教義は新教的なるも、儀式及び教會制度は、舊教的傾向著しく、しかも非國教派への彈壓はメリー、エ

リザベスを廻る血の争ひによつて激化せられ、清教徒の「エクサダス」となつた。その後長老主義が支配的勢力を占めたが、クロムウエルの出現による(一六四〇年、清教徒革命を見るに至つたが、彼の死後王政復古と共に國教も亦回復せられ、教會と國家との關係もほゞ従前に復したが、一八二九年の「審査律」(一六七三)の廢止により國教徒のみに與へられてきた政治的社會的特權は非國教徒のすべてに許されることになり、こゝに始めて國民は宗教的に平等の權利義務を賦與されたのである。

2 各宗派現勢

【イングランド及びウェールズ】イギリス國教たるイングランド教會(Established Church of England)はプロテスタント・エビスコーバル(Protestant Episcopal)即ち新教の監督派である。而してイギリス國王は法律上イングランドにおける教會の最高權威者であり、イングランドには二名の大司教(カンタベリー及びヨーク)、四名の司教、三九名の副司教がある。一九三八年において、ウェールズを除き教區數一二、六八三、僧職にあるもの一七、一三三名で、寄附その他による収入は一九三九年に五、八八七、九四九ポンドに上つた。ローマ・カトリックは一九三七年において二、三六一、五〇四名、四名の樞機卿、四名の司教、約四千の牧師、二、一九六の教會を有する。またユニテリアンズは三五〇、新イエルサレム派は七五の教會を持ち、「救世團」は三五千の士官等と一、八四〇の支部を持ち、ユダヤ教徒は三〇萬、クエーカー教徒は約二萬を數へる。

【スコットランド】スコットランド教會(Church of Scotland)は新教の長老派(Presbyterian)にして、一五六〇年に設定され、一六八八年に確認されたものである。同教會に屬する牧師はすべて同格である。一九二九年一月二日、スコットランド教會とスコットランド聯合自由教會(United Free Church of Scotland)は再合同してスコットランド教會となつた。その他スコットランドにおいて勢力を有する宗派には、監督教(信徒數六一、五四七、牧師數三四七、教會數四〇四)及びローマ・カトリック派(信徒數六一四、〇二二、牧師數七五三、教會數四五〇)があり、また數多のプレスビテリアン分派、少數のバプテイスト、コングレガティシヨナリスト、メソヂイスト、ユニテリアン等を數へる。一九三八年における各教會の結婚式數は、スコットランド教會が全體の六二%、聯合自由教會が〇・九%、ローマ・カトリック教會が一・二三%、監督教會が二・七%、その他七・九%、教會の手續によらざるもの一四・二%であつた。大戦の勃發によつて、イギリス宗教界の受けた影響は有形的に無形的に多大なものがある。しかしイギリスの場合宗教的見地からする反戰的平和運動の聲はきかれず、打倒獨裁主義の名においてこの大戦を支持しようとするので、銃後の社會奉仕に向つて専らその努力が爲されてゐる。四一年五月、宗教團體の凡てを團結して、ドイツに對する精神的戦ひと戦後における平和樹立の計畫の確立を期せんとする S. O. S. (Sword of the Spirit) なる大聯合の成立が報せられたが、この一六世

No. 3 イギリス綜合大學 (1939-40年度)

大 學	教授數	學生數	大 學	教授數	學生數
イングランド			スコットランド		
オックスフォード(1249)	450	5,023	セント・アンドウ		
ケンブリッジ(1284)	405	5,904	ルース (1411)	177	893
ダラム(1831)	253	1,537	グラスゴウ(1450)	317	3,836
ロンドン(1836)	1,367	14,587	アバデーン(1494)	193	1,139
マンチェスター(1880)	322	2,237	エディンバラ(1582)	400	2,712
パーミンガム(1900)	313	1,484			
リヴァプール(1903)	340	2,501	小 計	1,087	8,580
リーズ(1904)	400	1,729			
シェフィールド(1908)	208	1,470	ウェールズ(1903)	447	2,881
ブリストル(1909)	283	806			
リーディング(1926)	160	1,470	總 計	6,076	45,660
小 計	4,501	30,432			

備考：一括弧は創立年。
資料：—S. Y. B. 1941. Whitaker's Almanack. 1940.

No. 4 イギリス初等教育 (1938-39)

	學校數	兒童數	教師數	特殊學校數	特殊兒童數	教育費(ポンド)
イングランド	29,244	5,091,975	166,674**	609	59,768	{ 72,976,554 (74,970,611)* }
ウェールズ						
スコットランド	2,899	604,977	19,463	120	14,435	{ 13,993,203 (14,348,639)* }

備考：—*1939-40の豫算。 **1937-38(男子—48,687; 女子—117,987)
資料：—S. Y. B. 1941. The People's Year Book. 1940.

No. 2 イギリス宗教統計

宗 派 別	信 徒 數	牧 師 數	地 方 教 者 數	日 曜 學 校 數
Methodist.	1,262,596	5,695	46,728	183,957
Independent Methodist.	10,388	400	—	3,000
Wesleyan Reform Union.	13,198	30	472	2,400
Congregational.	494,199	2,890	4,886	67,542
Baptist.	383,373	2,045	4,871	53,319
Presbyterian.	81,715	360	—	7,400
Calvinistic Methodist.	261,287	1,075	208	18,173
Moravian.	3,210	40	2	600
Lady Huntingdon's Connexion.	1,700	27	46	300
Churches of Christ.	14,000	—	2,000	1,700
Society of Friends.	19,000	—	—	2,000
Anglican.	2,294,000	—	—	171,000
United Church (Scotland).	1,285,011	—	—	37,438

資料：— S. Y. B. 1941.

No. 5 イギリスの初等教育費 (1937-38)

Table with 5 main columns: 地域別, 生徒一人當り維持費, 合計. Sub-columns include 教師給料, 維持債費, 經營費, 其の他. Rows for 州都市, ロンドン, 平均.

資料: -The People's Year Book. 1940.

No. 6 イギリス中等教育

Table with 5 main columns: 校数, 政府の補助を受ける學校数, 生徒数 (男子, 女子, 計), 教員数. Rows for 1934-35, 1935-36, 1936-37, 1937-38.

備考: -イングランド及びウェールズ.

資料: -S.Y.B. 1941.

紀以來始めての新舊教徒の團結がS.O.Sを叫ぶに至らずんば幸である。空襲による教會の破壊は、四一年三月末までに全潰七一四、破損一、九四五に及んでゐる。

E 教育

1 概観 イギリスの教育は國家の補助干渉によらず多く宗教的な私立機關として發達して來たものであるため、教育の内容、形式も多種多様をきはめて居り、一九世紀以來國家による教育制度統一をみたにもかゝはず、事實はバブリック・スクールの如く國家よりも教會によつて傳統的に制約をうけてゐるものが大部分である。

2 教育制度 國家の教育中心機關として一八八九年に創立をみた文部省があるが、事實上の學校行政權は一九〇二年の教育條例によつて地方教育當局 (Local Education Authorities) に委ねられ、郡參事會、特別市參事會、市參事會がこれに當つてゐる。現在初等教育當局三一八、高等教育當局一四五を數へ、各地方當局は常設の教育委員會を任命し、これに廣汎な權能を賦與して各自自治體の教育行政を直接に擔任せしめる。初・中・高等教育等に就ては本年鑑一九四〇年版参照。

【現勢】 大戰の勃發により、三九年九月政府は教育(緊急)法を發布し、一九三六年の教育法(學齡の終了期を四歳より一五歳に引上げる)の實施を停止せしめ(スコットランドにおいても同様處置をとつた)また學童のロンドン立退を命令するに至り、同時に立退兒童の宿料の全額または一部を父兄に負擔せしめることとなつた。

こゝにおいて富裕なる家庭の兒童は別荘ないしホテルに赴き、一般家庭の兒童は市當局が各地方當局者と連絡の上各學校單位に避難を開始し、また學齡未滿の兒童を持つ母親に對しては團體的にそれら地方行きを斡旋することとなつた。避難地に就ては最初カナダ・アメリカをも含めることとなり、約四千人が大西洋を渡つたが、四〇年末二隻の避難船が擧げられるに至つて中止された。一方戦前より提唱せられた野外テント案は、開戦に當り約三〇が造營せられたに過ぎず、大部分は地方家庭に分宿する方法がとられ、兒童一五名に一名の割の付添母親は助手となり、

その費用として親は一週ハシラゲ六ペンスを負担し、また兩親の避難兒童訪問に對し交通料金の特別割引を行ふこととなつた。大戰開始當時ロンドン市内に二五・一萬の小學兒童の中、四〇年八月に至つて尙一六萬が残り、これ等兒童のため當局は一日二、三時間の授業を行つたが、出席率は二〇%前後に過ぎないと傳へられる。しかし時日の経過と共に却つてこれ等避難兒童の復歸問題が重大視せられ、三九年末に於て避難兒童數は四七・二萬であつたが、四〇年四月には三〇萬に減少し、其後ドイツ軍の攻勢によつて六二萬となり、四一年八月には四五萬に減じたがこの數字は以上の事實が示すごとくドイツ軍の攻撃が開始されれば再び増加すべく、かゝる避難兒童の増減と浮遊性はイギリス教育界の當面する最も重大な問題でなければならなかつた。またドイツ軍の空襲によりロンドンでは夜間避難所における夜學校が開始された。その數は四一年六月において五百餘に及び、教師並びに生徒の大部分は女子であり従つて學課目も裁縫・手藝・應急手當法の如き實用的なもので、一方避難所内に貸本圖書館が設けられ五萬冊の書籍が準備されたと傳へられる。

一方戦時下の人的資源・勞働力不足に對する補ひとして學童ないし學生・生徒の動員はデモクラシイイギリスに於ても必至であつた。戦前において所謂勞働奉仕制なるものがイギリスに存在したといふことは出來ないが、それでもこれに類似する個々の團體ないし集團は散在した。それは單なる失業救済のための事業であり、例へば一九三一年に開始された「國際有志勤勞團」(International Voluntary Service)の如き、一九三三年に始まつた「グリニッシュ・カレッジ」(Grith Pyrd)の如き、また政府の事業としての「全國社會奉仕評議會」(National Council of Social Service)の組織、「教育所」(Instructional Centres)ないし「訓練所」(Training Centre)の設置の如き、その動機に於て異なり、雖も何れも勞働奉仕制の一の試みといふことが出来る。一方古く勞働を尊貴することにより教會勢力の羈絆を脱し、清新なる宗教運動の中心となつた修道院の努力は現在尚イギリスにおいて女子を中心とする一種の勞働奉仕道場を提供してゐるのである。しかし戦時下學童の勞働負擔の強化に伴ひ、四〇年春イギリス内務省はランカシア州の教育委員に對し次の如き警告を發した。「法律により學童に與へる保護は尊重さるべきで兒童に與へられる農耕事業(都市においては新聞・牛乳の配達等)は通學せざる場合に於てもなほ通常四時間を超えてはならない。時局柄兒童が應分の作業を爲すことは當然であるが、その際過勞に陥る弊は極力避けられなければならない。此に對しランカシア州委員會は、凡ての農業勞働者の兵役免除、一二歳以上の男子の半日勞働の強制を決議した。

F 言語

英語はインド・ヨーロッパ語の一支族たるゲルマン系統に屬し、第五世紀以後にイングランドに侵入した民族の言語が先住民たるケルト人のケルト語、後のノルマンのフランス語、ノルマン語、フレイミング語等と接觸して變化したものである。時代的に古代英語(紀元八世紀から一〇〇〇年頃まで)、中世英語(一一〇〇年から一五〇〇年まで)及びそれ以後の近代英語に分たれる。近代英語の初期はルネッサンスの時期に相當し、ラテン語、ギリシア語の影響を多く受け、聖書やシエクスピアの作品によつて文學的基礎を得たものである。一九世紀におよんで國語に對する國民の關心も次第に深まり、Philological Society of London, English Association などの創立を見、一八九三年には Society for Pure English が設立されるなど國語保護運動が盛んになつた。地方語としてのアイルランドのゲール語、マン島のマンクス語、スコットランド高地のゲール語等は古ケルトのゴイデル語に屬し、ウェールズ南部のブリトン語、ウェールズの方言(今日使用されず)等はケルトのブリソニス語に屬する。

G 風俗

大戰の勃發は衣食住に互つて多くの變化を齎すに至つた。世界第一の植民帝國として國民生活資材の多くを國外に仰がざるを得ないイギリスにとつて、七つの海の支配はその第一の生存條件であり、今や僅かに大西洋の制海權を維持するに過ぎない結果に立至つて、その國民生活への影響は甚大なるものがある。已に一九三九年八月一七日、イギリス當局は戦時に際し國民登録制、施行に關する準備

No. 8 イギリス食料品割當表

(一週一人當り、單位オンス)

Table with columns for date (年月日), sugar (砂糖), corn (コーン), meat (肉), tea (紅茶), butter (バター), margarine (マーガリン), and oil (マーガリン又は料理用油脂). Rows show data for 1940 from Jan 8 to Feb 17.

備考：* 同じく6オンスなるもバターは4以下、また9月30日-3月9日までは2以下と規定された。

資料：-Times; 欧米調査資料(日銀調査局)。

No. 9 イギリス衣類切符點數

Table with columns for item (品目), adult (大人), and child (子供). Lists clothing items like coats, shirts, and trousers with their respective points.

備考：一括弧内數字は女子。* 毛織製品、**その他製品、***女子用ソックスは1枚。

資料：-Times. 1941.6.2.

No. 7 イギリス市民防空勤務従事員數

(1939年5月31日現在)

Table showing the number of civilian air defense workers by gender (男, 女) and occupation (勤務, 警務, 義勇, etc.). Total count is 2,060,000.

計畫を整備した旨公表した。元來一九四一年の國勢調査施行を期して実施せらるる際定であつた國民登録は一九一五年の國民登録法に比しその内容が廣汎且つ詳細に互り、また國民奉仕制、留保指定職業規定の已に實施せられてゐる事實によつて状態は、極めて容易にこれが効力を發生せしめるものと考へられた。その目的は國防目的への國民の利用、身許調査票によつて國民の避難ないし復歸、食糧配當計畫を容易ならしめるにあり、しかして四

一年三月一四日公布せられた「雇傭登録令」(Registration for Employment Order)は英國臣民にして男子にありては國防軍以外の軍隊の兵員または聖職者、女子にありては女子海軍奉仕團、補助技術奉仕團、女子空軍補助團の専屬員たるもの又は看護業務に従事するものを除き、その全部に適用されるもので、登録は先づ四一四二歳の男子(四二四年四月を期し行はれる)一尙同時に男子の義務労働年限を四一歳より四五歳まで延長した二〇一二一歳の女子に行はれることとなり、後者に就ては先づ二〇歳の女子につき四一四年四月一九日午前九時から全國一齊に登録を開始するに至つた。しかして五月一五日までにその數は四二九、八二〇名に達し、また五月三〇日に登録した二一歳の女性數は二八一、九六一名で、これ等の中己に従業せるもの、在學中のもの或は幼兒を有するものを除き赤十字看護婦、在郷軍並に女子空軍部隊その他産業戦線に徵用されることとなつた。即ち一月二七日政府は下院に對し全國女子徵用法案を提出、婦人の労働徵用年齢を四〇歳までと規定し、更に一月九日の勅令を以て二〇一三〇歳の婦人の國家に對する強制奉仕法を公布するに至つた。

國防任務の運用に就ても、尙その方法につき更に研究改正の余地あることが論ぜられた。食料問題に就ては前大戰の経験により、已に一九三九年四月當局はこれが準備にかゝり八千萬枚以上の食料割當カードを作成したが、戦時における食料計畫は三七年頃より完成されたと思はれ、食糧局の新設、並びにその食糧省への昇格(開戦直後)は當然の歸結であり、また國內各地に食糧の大貯蔵庫が建設されてきたことも周知の事實である。しかして食料品の配給割當制は別表の如く一九四〇年一月八日より開始され、漸次強化された(戦時經濟の項参照)。實際に於て肉類の如き割當品においても出廻りは良好でなく、果實・野菜の如き割當外品目に於ては一層甚しかつた。これに關しエコノミスト誌は次の如く述べてゐる(四〇年一〇月五日號)。「イギリスが必要とする果實、野菜類の中約二五萬噸はこれを輸入に仰がざるを得ず、しかも現在これ等産地がドイツの支配下にある結果、重要な影響を及ぼすに至つた。しかしてこれが對策として考へられる耕地の増加も結局全イギリス國民所要野菜の一〇%以上を生産することは困難であり、殘余の九〇%は専ら従來の耕作地より得なければならず、一方玉葱等における如く價格の昂騰、(四倍以上)により一般市民の食卓に供し得ざる事實と共に、政府は速かにこれが對策を樹立すべきである。」

ロンドンのレストラントにおけるメニューは、戦前(三九年三月)一九八品目を數へたが、四〇年三月には八三、九月には五一に激

到、古着屋の暴利が甚だしいといふので七月一日衣料切符の改正で古着の最高価格が決定されるに至つた。燈火管制用黒布・労働者用仕事着等がある。敵の作戦行為によつて衣類を喪失せるものには、二年分たる一三二枚が與へられ、一部喪失者はそれだけ補填される。

これに對しイギリスの評者はドイツと比較することによつてドイツの場合男子用被服一組は一年間の切符の五三%を要するに對しイギリスでは四八%であり、婦人服は二五%に對し一八%である等その寛大さとその原因としての経済力の強固さを主張すると共に、割當制は戦時経済の重要な手段に過ぎず、困難の結果にあらざることを強調してゐる。ドイツが開戦と殆んど同時に衣料制限を實行したのに對して、開戦後約二ヶ年半にして始めて實施せられたのは、その潤澤さを意味するといふよりは、戦争準備の不足を裏書するものである。しかし尙注目すべき點はこの切符制ないし供給上の跛行現象を防止せんとする政策がやがてミルク、鶏卵等の新領域へ擴大されんとしつゝあることである。同時に食糧割當制の場合と異つて價格の公定が行はれてゐない事實は、この公平を理由とする切符制度が決して公平たり得ないものであることを證明するであらうし、一品目の割當は當然他の割當を招き、一品種の價格統制は更に他の統制を齎さざるを得ない事實と、從つて配給問題は品目による個々別々のものでなく全體としてあくまで不可分の關係にあることを深く認識しなければならぬ。

一九四二年六月一日以後一般織物生産を二五%減らして五萬人の職工を軍需工場に移動せしむることになるや、三月一七日政府は第二次衣料制限を行ふ旨發表した。これによれば六月一日以後衣料割當は五一點となり、しかも六月一〇月間は二〇點のみしか使用し得ない。三月三日陸相マーシャッソンは軍服のポケットに襪をつくるべからざる旨命令したが、一般に於ても兩前の上着、ズボンの折返し、袖のボタンは禁止され、婦人のスカートの襪も廢止され且つ地上から一七インチを適當とされるに至り、已に第一回の制限によつてノー・ストッキングの流行を必須としたイギリス風俗の危機は、正にイギリス庶民制の危機を象徴する。

「住」の問題に就て最も大きい影響を與へたのは云ふまでもなく空襲であつた。四〇年九月來四一年七月に至る被害は、死者四一、六〇〇名、傷者五一、四〇〇名、合計九三、〇〇〇名で、内子供は八、四〇〇名であつた。空襲への対策はイギリスの場合先づ逃げることにあつた。地方への避難者の数は平均して約一五〇萬と推定される。しかししてこの避難に伴ひ幾多の社會問題が発生したが、四〇年一〇月までは避難は各個人の自由意志により、其後保健相の命令により大ロンドンに住む一四歳以下の兒童で空襲により肉體的に精神的に苦痛を受けると思はれる者に避難を命ずることになつたが、實際には政府機關、各會社等の地方へ移つたものも少くなかつた。避難地の社會施設の不備或は都會人と地方人との意志の疎通に基く困難なる問題の解決のため、四一年一月には各避難民收容地域に五一八の親睦機關、二六五の共同給養機關、四四三の職業クラブ、五〇一の細民兒童收容所等が設立され、避難先における正規の授業は兒童の八一・七%に對して行はれたと傳へられる。

ロンドンに於て最大の防空壕は地下鐵で、四〇年九月に於て毎夜平均一四・五萬名を容れたが、一年後に於てその收容力は二五萬に増加した。空襲による破壊に對し、政府はジョン・レイトを土木相に任じ、同時に二つの委員會を設立して再建のため鋭意努力中であるが、戦時下資材並びに勞働力の不足は恒久的且つ根本的な計畫の實施を極めて困難にしてゐる。ロンドンの場合已に一六六六年の大火の經驗はその再建の上に大きな示唆を與へるものであるが、當時にあつても、ロンドンの異常なる努力にも拘らずロンドンの根本的都市計畫は實現を見ず、狹隘且つ屈曲せる道路の多數と家屋の密集とによつて、決して生活にも勞働にも快適な都市たり得ずして今日に至つたのである。この失敗に鑑みるも現在必要なのは強力なる統制力であつてレイトを以てしてこの希望に十分に答へしめ得るや否や甚だ疑問とされてゐる。再建に要する費用としては國營空襲保險法 (Government's Property Insurance Bill) によるものと信ぜられるが、一般家財のみならず空襲による被害に對して政府は、人命保險、無料治療、生活補助、年金給與等の方法をとつてゐる(戰時社會政策の項参照)。

五月からのロンドンには午前五時過ぎには已

に明るく、夜の九時過ぎまで續くのである。従つて戦時下において實行されて來たサマー・タイムは、四一年五月四日から八月九日まで三ヶ月間、更に一時間延長して「ダブル・サマー・タイム」が實施せられた。この結果グリニッチの標準時から二時間早いこととなり日本との時差は七時間になつた譯であるが、乳牛の關係から農民は從來のサマー・タイムを守ることをなつた。

H 新聞

1 概観 一六二一年に發行された *Courtant* と稱するパンフレット型の新聞が翌二二一年 *The Weekly News From Italy, Germany & Co.* となつて週刊として發刊されたのを嚆矢とする。その後殆んど政黨機關紙として利用されるにすぎなかつたが、一八世紀にいたつて時事評論を内容とする *Essay Paper* の時代となり、特に *D. デフォー* の創刊した *Weekly Review* は全く政黨色なく近代新聞の模範となつた。同時に最初の日刊紙、夕刊紙も發刊され、さらに世紀後半多くの大新聞の發生をみ、その後一世紀後半ロンドンに從來の四分の一の低い値段で所謂 *ペニー・プレス* の發刊をみ、更に一八九六年には *ノースクリフ* によつて、*ペニーの Daily Mail* が發刊されて、數年ならずして發行部數百萬をこえ、イギリス新聞界に覇を唱へるに至つた。

No. 10 イギリス主要日刊新聞現況

新聞名	發行地	傾向	發行部數
Daily Express(1)	London	獨立(保守黨系)	2,557,963
Daily Herald	"	勞働黨(1)黨	2,000,000
Daily Mail(3)	"	保守黨	1,526,560
Daily Telegraph & Morning Post	"	獨立(保守黨系)	884,602
Daily Worker	"	共產黨機關紙	825,000
Evening News(3)	"	獨立(保守黨系)	384,419
Evening Standard(1)	"	"	"
Financial News	"	獨立	1,312,048
Financial Times(2)	"	"	534,650
News Chronicle	"	自由黨	200,000
Star (夕刊)	"	"	"
Times	"	獨立	"
Birmingham Post	Birmingham	保守黨	"
Yorkshire Observer	Bradford	自由黨	"
Western Mail	Cardiff	保守黨	"
Yorkshire Post	Leeds	"	"
Liverpool Post & Mercury	Liverpool	獨立(自由黨系)	"
Daily Dispatch	Manchester	保守黨	"
Manchester Guardian	"	進步的	"
Newcastle Journal & North Mail	Newcastle	保守黨	"
Western Morning News	Plymouth	獨立	"
Sheffield Telegraph & Independent(2)	Sheffield	保守黨	"
Yorkshire Herald	York	"	"
Aberdeen Press & Journal(2)	Aberdeen	"	"
Scotsman	Edinburgh	"	"
Daily Record & Mail(2)	Glasgow	獨立(保守黨系)	"
Glasgow Herald	"	"	"

備考: (1) ヒーヴァーブルック系。
(2) ペリイ系。
(3) ノースクリフ系。

資料: -Political Handbook of the World. 1941.

【現勢】「デイリー・メール」の發刊に象徴されるごとく、イギリス新聞界が完全に資本主義企業化の下にあることは云ふまでもないが、現在大資本による企業経営の有力な集團として、Rothermere Group, Harmsworth Group, Berry Group, Beaverbrook Group, Daily News Group, Oldham Press Group 等がある。

2 通信社 British United Press, Central News Exchange Telegraph, Press Association

No. 13 イギリス主要定期刊行物

Table with 4 columns: Title, Author, Orientation, and Category. Lists major UK periodicals like Economist, Guardian, Sunday Times, etc.

備考: (1) 隔週刊, (2) 季刊。資料: Political Handbook of the World, 1941.

大戦の勃發により新聞界もまた多くの影響を受けなければならなかつた。已に検閲の峻厳化は一九三八年來の話題であり、報道の自由を主張する業者にとつて Official Secrets Act の公布はその集中攻撃の対象であつたが、一九三九年二月に至り記者聯盟(National Union of Journalists)の努力は奏效してホリア内相は該法の修正を約するに至つたのである。

No. 12 國內頒布禁止の新聞雜誌

Table with 2 columns: Title and Prohibition Date. Lists publications like Daily Worker, Action Week, etc.

備考: -1940年の通信統制令(第三)による。資料: -Times, 1940.6.3.

業の合理化は大戦の勃發により一層促進せしめられることとなつたが、平時に於て企業家は新聞の収入が販賣それ自身よりも廣告に依存するといふこと及び發行部數擴大のための失費の影響に就て誤つた考へ方をしてゐた。戦争は先づこの相互の競争に基く失費一十萬ポンドに上る一を必要とした。その結果彼等は「勸誘」が新聞の發行部

No. 11 イギリス新聞の利益

Table with 5 columns: Newspaper Name, Total Profit (1936-1939). Lists profits for various newspapers like Daily Worker, etc.

備考: 一括孤内はそれぞれの年度末を現す。資料: -Economist, 1940.23.

イリ・インデペンデント(一八一九)と、「サセックス・エクスプレス」(一八三七)は「サセックス・カウンティ・ヘラルド」(一八七〇)と、「サリ・ウィーク」(一八五五)は「サリ・ウィーク」(一九〇〇)と、「シアックリン・ガゼット」(一八九九)は「マイル・オブ・ワイト・ガーディアン」(一八八三)とそれと合併した。三八年春、ロザミアは「デイリー・ミラー」また「サンデー・ピクトリアル」の全權をその子E・ハムスワース(已にデイリー・メールの社長となつてゐた)に一切譲渡する旨聲明した。また四月ビーヴァーブルックが「イヴニング・スタンダード」の持株を「デイリー・エクスプレス」の所有者である「ロンドン・エクスプレス社」に譲渡の旨發表したことは兩紙の合同を預告するものであつた。時局の進展に伴ふ新聞企業

(P.A.)及びReutersなどがあり、この中、ロイテルは最も有名であるが、四一年二月、一九一五年來の社長であるR・ジョーンズは辭職し、P・A・理事S・ストリーが後任となつた。一〇月末に至り、關係者と情報・大藏兩當局と談合の結果、從來P・A・通信社が全部所有してゐたロイテルの株を、半分だけ新聞所有者聯合へ賣却することとなり、かくてイギリス新聞社が全體として新ロイテルを所有し、新ロイテル・ストラスを結成、新ロイテルの一部のものを獨占ないしニユー・スの獨立、自由を守ることとなつた。尙兩聯合から同數の理事が任命され、理事長は外部から迎へることとなり、前ロイテル通信社長ストリーは辭任した。

I 通信

1 郵便 イギリス本國(北アイルランドを含む)における郵便に就ての統計は下表の如くである。

【電信】一九三九年三月三一日に於ける電信、電話、同線備線延長マイル數は空中一、四八〇、七二七、海底二四、八二三、地下一三、七九三、二〇四計一五、二九八、七四四マイルである。四〇年三月末における電信局數は一四、〇〇六、無線電信局數四九(ほかに非常時用五局)を數へる。

【電話】一九三九年三月三一日現在に於て内國電話幹線一、九九〇本、國際電話線二〇六本(アメリカへの五本と、アルゼンチン、オーストラリア、ニュー・ジブラント、ブラジル、カナダ、エジプト、アイスランド、印

り獨占するところとなつた。一九三七年初めより現在の制度に移つたが、財源は聴取料と出版物により、前者は一年一〇シリング、後者の収入は年額三五—五〇萬ポンドに上つてゐる。プログラムは、全國向のナショナル・プログラムと地域別のリヂョナル・プログラムとに分れ、前者はドワイトウイツチ、(長波)、ロンドン、ノーススコットランド(中波)の放送局から、後者は各地方放送局から放送される。B・B・Cは戦時に入つても戦況ニユース、海外宣傳放送等において多くの非難を浴びせられたが、四一年一月の放送縮出し事件は有力な藝術家の脱退問題を引き起し、これに對しチャーチルは「政府は俳優や音楽家をその政治的見解の如何によつて放送禁止を命ずるつもりはないが、反戰的講演を放送させることは許せない」と聲明した。尙四一年七月「勝利のV」字運動の開始に際し、そのイニシアチヴをとつたのはB・B・Cであつた。

海外放送——中短波による對外放送は今次大戰前より政治的にきつて重要視され、植民地と本國ならびに海外同胞と母國との連繫結合のみの意味をこえて、文化擴張を目的として文化政策的に大いに利用されてゐたが、戰爭勃發後はプロパガンダ戰に必要不可欠からざる武器として感、その重要性を増した。イギリスでは一九二七年一月から試験放送が行はれ一九三二年二月定時放送として帝國放送(エムパイア・サーヴイス)が開始された。短波放送所はダヴェントリイにあり、使用語は英、獨、佛、伊(以上一九三

No. 14 イギリス郵便統計

Table with 4 columns: Year (1937-38, 1938-39, 1939-40), Mail (郵便), Post (郵便), Telegraph (電話), and other categories. Includes sub-rows for 'Number of items' and 'Total revenue'.

備考：—(1) 38年3月末日現在, (2) 39年3月末日, (3) 40年3月末日。資料：—S. Y. B. 1940; 1941.

度、日本、ケニア、ポルトガル、南アフリカへの諸線を含む)郵便局所屬の電話線總延長マイル數(交換局所屬の空中線を除く)二、二九八、二八四マイルに上る。四〇年三月末におけるロンドン交換局は二五〇交換局、一五五、〇九三個の電話を含み、地方交換網は交換局五、四七三、電話二、一八三、八三六個を含む。電話の普及は人口二四人當りに一個の割合である(日本は九〇人當り一個)。

2 無線

一八五〇年英佛海峡に最初の海底電線が敷設されて以來、全世界にわたる植民地の所有者たるイギリスは大々的に海底電線の企業を計畫し、第一次大戰前までは絶對的王座を占めてゐた。その後無線電の出現(殊に一九二六年のビーム式無線電の採用)は多くの點で海底電線を壓倒したが、なほ軍事的な秘密通信の點で海底電線は重要視されてゐる。イギリスでは一九二九年に本國政府及び屬領諸政府の共同管理の下に海底電線、無線の兩者を併せた一私設會社を設け(帝國國際通信會社)その下に諸私設會社の合併を見た。主なる無線電信局は一九〇九年マルコム一會社及びロイド會社から政府の手に移つた一〇の船舶及び海岸無線局と、政府の有する大陸向のリーフイルド局、ラグビイ局、帝國國際通信會社所屬のビーム式及び總局を有してゐた。

3 ラジオ イギリスの放送事業は初め英國放送會社の手にあつたが、一九二七年一月一日から現在の英國放送協會(B・B・C The British Broadcasting Corporation)によ

No. 15 出版圖書統計(1938年度)

Table with 4 columns: Category (種目別), Number of publications (出版數), Category (種目別), Number of publications (出版數). Lists various subjects like Law, Science, Literature, etc.

資料：—Whitakers Almanack. 1940.

八年九月より)、ポルトガル、スペイン(一九三八年五月より)、アラビア(一九三八年一月より)アフリカ(一九三九年五月より)の各語にわたり、放送地域も全世界に互つてゐる。一九三九年七月において五〇KW三臺、

B・Cは植民地や自治領の各放送局をして帝國放送の再放送をさせており、これによつて聴取者は著しく擴大されてゐると見られる。プログラムは音楽が大部分を占めるが、最近はニュース放送の放送時間がはめて多くな

二〇KW及び一〇KW二臺、他に強力な送信機を使用し、放送時間は一九三八年に於いて三二、八時間、四六時間、平均九〇分、一日時間以上つたが、その後ますます増加して聴取者の正確な數字は不明であるが、B・

つてゐる。
ラジオを單に報道ないし宣傳機關たるに止めしめず、新しい武器としてこれを活用せしめることが頻りに考へられてゐるが、一九三五年W・ワットの發明によるラジオ探知機はその後著々改善を加へられるに至つた。これは極短波を送つて飛行機の接近・方向・動き等を探知するもので四〇年九月來の獨逸の空襲に對して多大の貢獻を爲したといはれる。テレビジョンに關しては、J・ペアドが天然色テレビジョンの實驗に成功した(四年二月)と傳へられる程度である。

J 書籍・雜誌

イギリスの雜誌は多く週刊の形式で發行される。現在最も廣く讀まれる大衆雜誌は一八四一年創刊の諷刺雜誌 Punch で、これにつぐものに Truth や世界的運動雜誌 Field がある。その他 John Bull, London Opinion 一般週刊誌として著名である。またこれらの大衆雜誌と異なる高級な評論誌としては Spectator, Nation & Athenaeum があり、經濟誌には Economist, Statist, Economic Journal がある。そのほか獨立労働系黨の New Leader, フォブソン派の New Statesman & Nation も知られてゐる。月刊雜誌としては保守的な National Review, English Review, 自由主義的な Contemporary Review が知られ、そのほか Forthrightly Review, 世界政治關係方面の雜誌として Nineteenth Century & After, Foreign Affairs, (月刊); International Affairs (隔月刊) Bulletin of International

News (半月刊) などが有名である。帝國主義的政治誌には Great Britain & the Far East, United Empire, Round Table そのほか國內政治評論誌には労働黨派の Labour, 進歩的な Political Quarterly, 保守的な Politician Review, Quarterly Review などがある。

【現勢】曩に Criterion の廢刊によつて打撃を受けた文藝界は三九年またその代表的雜誌を失ふに至つた。即ち四月 London Mercury は二〇年の苦闘史を經つて Life & Letters Today に併合されたので、Chronicle も亦廢刊した。新雜誌としては三九年十二月に Horizon, Noter & Quises, 四〇年に入つて Music Review (二月), France & Britain, La France Libre (二月) 等が現れたが、「ホライズン」は第一線の有力者を動員し、戦後に現れた唯一の文化財として創造的役割を務めんとする。

出版界は時局を反映して國際情勢に關する書籍の洪水を見たが、玉石混濁といふ處でありまた個々の内容に終始してゐる。翻譯・パンフレット・再版を含めた出版總数は三九年度において一四、九一三種(宗教・紀行・詩・戯曲・小説の減少が著しく、増加したのは前記の外軍事・科學・農業の各部門である)、四〇年度において一〇、七三三種で、一八一の減の中、新刊書は二、六九一の著減を見た。軍事に關するもの以外は等しく減少の傾向にあり、最も著減を見たのは兒童物、教育物であった。書籍自身の賣行は良好であるが紙の制限による困難は重大化しつつある。即ち開戦によつて前大戰時における如き

紙飢饉の到來が豫想されたが、四〇年三月政府は製紙業者に對し政府の特別の許可ある場合の外、本年三月三日一六月一日の紙の配給量を昨年同期におけるその六割に制限すべきことを命令した。しかして六月一日以後更に細目に互る嚴重な統制が行はれるものと考へられた。一方イギリス出版協會は四〇年一月戦時における諸物價の値上りを理由に、今後出版されるべき書籍の値段を約一割(例へば七シリング六ペンスのものは八シリング三ペンスに、八シリング六ペンスのものは九シリング六ペンスに)引上げる旨規定した。右規定は一齊に實行されなかつたが、「文庫本」に代表される廉價版の流行は已に世界的現象であり、こゝにも出版業者の當面する第二の困難な問題があるので、新しい出版社ギルドの會員たるケープ、カッセル、コリンズ、デント、ハイネマン等の九大出版社は對抗上共同して自身六ペンス、九ペンスないし一シリングの廉價本の出版を決定したと傳へられる。

註* イギリスの文庫本には著名な「エヴリマンズ・ライブラリー」(一九〇六年J・M・デントによつて企劃され、現在まで約千種を發行し四一年に至る三五年間に三百万部を賣つたと傳へられる)、「コリンズ」(イラス・トレイテッド・ポケット)、「クラシックス」(一九〇三年創刊)、「ネルソン・クラシックス」(「ワールド・クラシックス」等から六ペンス(平價換算四三錢)の廉價で知られる)「スギン叢書」(「ハリカン叢書」)「アメリカの」(「ポケット・ブック」)に當る一がある。

K 文化施設

1 圖書館 イギリスの近代圖書館の發達は一八五〇年の圖書館令公布以後のことである。一八七七年ヴィクトリア女王の即位五〇年の祝典に際し公共圖書館建設が一時期を劃し、後にカーネギー財團の援助によりイングランド、スコットランドに大いに發達した。特に著名なものとしてロンドンの大英博物館圖書館(British Museum Library)は國立圖書館として早くも一七五九年に開館せられ、藏書は四百萬をこえ、その豊富なる資料において世界有數である。その外に大學圖書館として著名なるものにケムブリッジ、オックスフォードの兩圖書館があり、エジンバラ、マンチェスターの兩公共圖書館もまた有名である。

2 文化團體 イギリスの主な公共的文化團體としては次の如きものがあげられる。

【Royal Society of London for Improving Natural Knowledge】—英國最古の權威ある學術團體で一六六〇年に主として自然科学の知識獎勵を目的に恒久的學術團體となり、六二年正式に法人組織となつた。政府から學術に關係した國家的施設を設立する時にはつねに諮問をうけ、また學術獎勵の多數の年金を國庫から委託されて交附するほか數多の賞牌を受與してゐる(「自然科学」の項参照)。

【Royal Academy of Arts】(王立美術院) —一七六六年ジョージ三世によつて繪畫、彫刻、建築などの振興研究を目的として創立されたもので範をアカデミー・フランセーズに

とり、會員四〇名、會友三〇名を以て定員とする。主として美術學校の經營、定期展覽會(年一回)の開催、貧窮作家やその家族の援助などを行つてゐる。展覽會の陳列作品はいはゆるアカデミックなものが多く、進歩的作家の作品は容れられない。

【Royal Society of British Artists】(王立イギリス藝術家協會) —一八二三年ロンドンに創設された美術家の展覽會團體。

【Royal Society of Literature】(文藝協會) —文學を獎勵する目的で一八二三年創設され、一八二五年法人組織となつたもので、主な事業としては一〇月から五月にわたる八ヶ月間に英文學に關する數回の講演會を開き、Essays by Divers Hands といふ小論文集を毎年刊行するほか、臨時著作の出版をなし、又優秀詩歌その他に對する賞牌授與の規定もある。正會員は Fellow と稱し E. R. S. I. の稱號を授けられる。

尚一九三九年に London Scientific Film Society 及び Institute of Economic and Social Research なる注目すべき二團體が誕生した。

No. 2 大英帝國の面積・人口

(1931年現在)

Table with 4 columns: Region, Area (square miles), Population (thousands), and Sub-regions. Rows include Great Britain, various Commonwealth territories, and a total sum.

備考: (1)1931-32年、(2)1932年、(3)概算数。*大東亞戦争により日本領に歸した。

自然

A 總論

イギリス群島は、北東に北海を控へ、東はドブアー海峡、英佛海峡を隔て、ヨーロッパ大陸に面し、西は大西洋を遙にこえて新大陸アメリカをみる要關の地を扼する。イギリス群島はグレート・ブリテン (Great Britain) とアイルランド (Ireland) の二大島の外、マニ島、オークニー、シエットランド、ヘブリデス、チャネルなどの諸小群島を含む。このうちアイルランド島の北アイルランドを除く部分は最近エール共和国として獨立を認められたため、大英帝國の根幹をなすものはグレート・ブリテン島で、地理的にイングランド (England)、ウェールズ (Wales)、スコットランド (Scotland) の三區劃にわけられてゐる。イングランドは南北に走るベンニン山脈に二分され、その東側はテムス河に貫かれ、地味豊沃でまた石炭、鐵に富む工業地帯となつてゐる。ウェールズは一體に低い山地多く石炭に富み、牧畜が盛んである。スコットランドは高原地帯であるが中央部の低地帯は地味も肥え、また水運の便にとんでゐる。

B 地勢

1 山系 ベンニン山脈はイングランド中央を南北に走り、北端スコットランドの境でチエヴィオット丘陵に續く、カムブリア丘陵はベンニンの北面にあつて所謂湖水地方を示す。更にベンニンの東方にヨーク・ムーア

山地、その南方にリンカーン丘陵がある。イングランド南西部に突出するコーンウォール・デヴォン半島は中央部にダートムーア山地、北東部にエクスムーア・ブレンドン丘陵を持つ。ウェールズ一體の山脈はウェールズ山脈と稱し、パーウイン、ロング、ブラツクの諸山系を含む。グランピア山脈はスコットランドの中央を東西に走り、イギリスの最も高峻な山岳地方で千内外の山々が分立し、就中ベン・ネヴィス山は一、三、四二米で最高峰をなす。グランピア以北の山地はノース・ムーア、ムーアアフリート、パントランドなどの諸丘陵を含む南部高地となる。

2 水系

イングランドにおいて東流する河川はテムス、大ウイス、ネン、ハムバ1、テエズ、タイン、西流するものはエディン、マリス、デイ、ウイ、セヴァリンで最大のテムス河も全長四〇五キロに過ぎぬが平野を流れるため水運の便多くセヴァリンもまた水運に富む。ウェールズは山地が多いため大きな河川なく東流して多くはモヴァリンに合する。スコットランドには東流するものトウイード、フォリス、テイ、モレイ、西流するものロチイ、クライドで、クライドはスコットランド中央低地帯を形成する。

3 平野

ベンニン山脈以南ロンドン以北に廣く開ける平野はイングランド平野と概稱され、ヨーク平野、東部平野、ロンドン盆地、サリスベリイ平野、西部平野、中央平野等を含む。またスコットランドの中央部は中央低地帯なる盆地が横断し、グラスゴー、エ

No. 1 面積・人口統計 (1931年4月27日の國勢調査)

Table with 5 columns: Region, Area (square miles), Male, Female, Total. Rows include England, Wales, Scotland, Channel Islands, and a total sum.

備考: -イングランドには Monmouthshire を含む。またスコットランドは概算数による。

C 氣候

その緯度を見ると略々カムチャツカ附近と同一で、非常に北偏してゐるにも拘らず、イギリス諸島沿岸を西から北へと洗ふメキシコ灣暖流の影響を受けて、その南部は勿論、そ

の北部に於いてさへも一年中何れの月も平均気温が零度以下に降ることなく、冬暖夏涼の天恵の地である。例へば、首都ロンドンの気温を見るに、一月平均気温三・六度、七月平均気温一六・六度で、これを東京の一月平均気温三・一度、七月平均気温二四度に比較すれば、遙かに凌ぎ易い。

【雨量】 比較的恵まれ、特に西北岸、ウェールズに多く、イングランドの東部、南部に少い。これはグレート・ブリテン島において山脈が西側に偏在するため暖流の影響が東方に及ぶこと少いためで、一二月においてスコットランドのコモ湖附近で三六六ミリを示す一方フォース湾、ティムス河口は六〇ミリに達せず、夏季も一般的に減少を見せるのみである。

D 面積・人口

總面積は八九、〇四一方哩、人口は、一九三一年四月二七日に行はれた國勢調査によれば、四四、九三七、四四四人に及び、一方哩に付き人口五〇四人で、世界においてオランダに次いで人口密度の多い國である。殊にイングランドは一方哩の人口密度が七四二人に及び、世界で最も人口の稠密な地方である。なほ一九三八年六月三〇日現在の概算人口は四六、二〇〇、三〇〇人である。

また人口増加数は少く一〇年毎に行はれる國勢調査によつてみると、最近は年々僅々二〇萬即ち千人につき四人強の増加であり、また全人口のうち別表の如く女子が男子より多く、女子一一三人に對して男子一〇〇人に過

ぎない。

E 植民地

大英帝國 (British Empire) は前記英本國のほか、インド、諸自治領 (Dominions)、諸植民地 (Colonies)、諸保護領 (Protectorates)、諸屬領 (Dependencies) から構成され、自治領にはカナダ、オーストラリア聯邦、南アフリカ聯邦、ニュー・ジブラルドル、ニューファウンドランドがある。そのほか大戦の結果ドイツ植民地でイギリスの委任統治地となつたものも尠大な地域にのぼつてゐる。

總面積一、三二〇萬平方哩をこえ、總人口四八九五〇〇〇萬にのぼり、全世界陸地の四分の一をしめ、全世界人口の四分の一を抱擁する。

F 都市

イギリスにおいては都市の發達著しく、都市人口は極めて大きい。イングランドおよびウェールズに於て農村人口は全人口の二〇%にすぎず、八〇%は都市居住者である (一九三一年)。

一九三一年度において人口百萬以上の都市三 (ロンドン四三九七、〇〇三人、マンチンガム一、〇二一、六〇三人、グラスゴウ一、〇八八、四一七人)、五〇萬以上百萬以下の都市三 (リヴァプール八五五、六八八人、マンチンスター七六六、三七八人、シェフィールド五一、七五七人)、二〇萬以上五〇萬までの都市一〇、一〇萬以上二〇萬までの都市三〇、三萬以上一〇萬までの都市八一を數へる。

— 參考文獻 —

Administration Report, Annual.
Annual Blue Books of the various Colonies, and Reports thereon.
Annual Register. A Review of Public Events, London.
Annual Statement of the Trade of the United Kingdom.
Benham (F.), Great Britain, 1941.
Bruce (M.), British Foreign Policy, 1939.
Brunns (V.), Der Britische Wirtschaftskrieg und das geltende Seekriegsrecht, 1940.
Carr (E. H.), Britain, 1939.
Catherwood and Gannett, Industrial and Labour Relations, 1939.
Clark and Timms, Our food problem, 1939.
Colonial Report, Annual, London.
Compton and Bott, British Industry, 1940.
Conference, The British Commonwealth and the Future, 1938.
Crookshank, Finance Accounts of the U. K. 1939.
Diets, Political and Social History of England, 1937.
Green (J. R.), History of the English People.
Hancock (W. K.), Survey of British Commonwealth Affairs, 1940.
Handbook of Commercial Treaties with Foreign Powers, 1931.
Juge (D.), England, 1938.

Jennings (W.), Parliament, London, 1939.
Mess (H. A.), Social Groups in Modern England, 1940.
Phelan (J.), Churchill can unite Ireland, 1940.
Political and Strategic Interests of the U. K., Royal Institute of International Affairs, 1939.
Political and Economic Planning, Report on the Location of Industry in Great Britain.
Richardson (J. H.), Industrial Relations in Great Britain, 1938.
Royal Institute, Monetary Policy and the Depression, 1933.
Smellie (K. B.), A Hundred Years of English Government, London, 1937.
Statistical Abstract for the U. K.
Stewart (R. B.), Treaty Relations of the British Commonwealth of Nations. New York, 1939.
Thompson (M. A.), A Constitutional History of England, London, 1933.
Webb (S. & B.), History of Trade-Unionism. Collingwood (R. G.) and Myres (J. N. I.), Roman Britain. Oxford, 1938.
Laski (Harold J.), Parliamentary Government in England, London, 1938.
Keith (A. B.), The British Cabinet System, 1830-1938. London, 1939.
Royal Institute of International Affairs, Survey of British Commonwealth Affairs.

London, 1940.
マンデル・ローブ「英國史」
今井登志喜「英國と世界の對立」
カー(原田譯)「イギリス最近の外交政策」
ハート「英帝國崩壊の眞因」
岡田譯「英帝國の政略と戦略」
「イギリス經濟及經濟政策」(慶應義塾各國經濟研究會)
岡倉古志郎「イギリス計畫經濟」
長守善「英國經濟の衰頹過程」
「大英帝國當面の諸問題」(昭和十三年)
外務省調査部「英國の自治領、印度、植民地等との法律的關係」(昭和十年)
同上「英國の經濟機構と農業」(昭和十年)
協調會「戰時社會政策」(イギリス篇)(昭和十五年)
慶應義塾各國經濟研究會「大英ハロッツ經濟及經濟政策」(昭和十一年)
土方成美「英國の戰時財政經濟」(昭和十四年)
スヴェンマー「英國史」(中村祐吉譯、昭和十七年)
ケネディー「眠れる英國」(篠原武英譯、昭和十七年)

イタリア

REGNO D'ITALIA
(英—Italy)
(獨—Italien)
(佛—Italie)

I 歴史概観

古代イタリアに於て、北部にエトルスカ、中部にサムニター、南部にギリシア等の各民族あつてそれ、勢力を争つたが、トロイ戦争の勇士エネアスの後裔と傳へられるロムルスに率ゐられるラテン人は、前七五三年バラチヌスの丘に據つてローマを建國し、前三世紀に至つて、イタリア半島を統一した。次いでポエニ戰役(前二六四—前一四六)によつてカルタゴを破つて地中海を制し、前一世紀共和制を廢して三大大陸に跨る「世界帝國」を現出した。しかしヘレニズムの侵潤と中等層の喪失に伴ひ剛健なるローマ精神の萎微衰頹するに至つて、外敵の侵寇次第に加はり、そのキリスト教との妥協も遂に如何ともなし得ず、東西分裂後百年にして西ローマ帝國先づ滅んだ(四七六年)。

その後ローマは精神文化方面に於てはローマ法王を中心として全世界に依然君臨し、殊に一二、三世紀に至つてはローマ帝國の後繼者としてキリスト教帝國を現出、一方東方ト

ルコの勃興(一四九二年)に至つて東ローマ帝國を亡す、十字軍の遠征に伴ふ東洋貿易の發達によりヴェネツィア等の隆盛は初期商業資本主義の發展を示すに至つた。斯くてこの間ローマは法王敎權と共に其の燦然たるルネッサンスにより世界精神指導者として君臨してゐた。しかし政治的には分裂状態にあり、一五世紀には南伊は大體ナポリ王國に統一され、中伊にはローマ法王がローマに據り、更にその北方にはフィレンツェがあり、北伊にはミラノ侯國とヴェネツィア共和國とが對立してゐた。そしてそれ等大勢力の間に無數の小諸侯、小共和都市國家が介在してゐた。

上述の如きイタリア諸地方の分裂抗争は歐洲諸國家の政治軍事干渉を誘致し、イタリアの全土は殆ど外國君主の利權擴大の犠牲に供せられた。一時ナポレオンによりイタリア王國の統一を見たが、雖て自由獨立に對する國民的意識の昂揚に伴ひ、此の要望に向つて最も盡力したのはサルデーニヤ王カール・アルベルトであつた。然し結局獨立軍はオーストリア軍の爲クストツアとノヴァラの兩戰役に敗れたが、その子ヴィットリオ・エマヌエル二世は一八五二年以來カヴル、ガリバルディ或はマツツイニ等の努力により、遂に一八六一年イタリア王國の成立を見、一八七〇年ローマを併せて統一を完成した。

統一後のイタリアの發展は植民地獲得競争と相俟つてフランスとプロシアとの關係に於

て複雜を極め、一八八二年五月には獨、奧、伊三國同盟が締結されたが、一九一四年歐洲大戰勃發するや、イタリア王國は奧國從來の態度に對する不滿と英國との條約の關係上、中立を宣言した。中立伊太利を繞つて獨逸と聯合國側との間に激しい外交戰を展開したが、遂に一九一五年四月のロンドン密約によりイタリアは聯合國側に加擔するに至つた。大戰はイタリアをも戰勝國としたが、平和會議に於いてロンドン密約は履行せられず、甚だしい財政難と國民經濟の窮乏と且つ之に乗じて熾烈を極めた赤化運動によつて社會的に政治的に大混亂を來した。然し此の秋、ムツソリーニはファシスト黨をミラノに結黨し(一九一九年)、一九二二年政權を獲得、以來獨裁するに至つたが、三三年ドイツにおいてナチスが政權を掌握し、ヴェルサイユ體制打破に向つて邁進するやムツソリーニはドイツとフランスとの對立に乗じてダニエーブルカ諸國に勢力を伸展せしめ、一九三五年のエチオピア遠征、同三六年以來のスペイン内亂によつて獨伊樞軸を強化する一方、東亞の盟主日本と同盟を結んだ。

今次大戰の勃發に際し始め中立を守つて英佛を牽制したが四〇年六月遂に參戰、フランスを降し、アルバニア、ギリシアに勢力を擴大した。一方エチオピアに於ては英軍の攻撃に屈し、遂にこれを失ふの己むなきに至つたが、北アフリカ戦線に於ては獨軍と協力、一九四二年八月に至つてアレキサンドリアに迫らんとした。また大東亞戰爭の勃發によつてアメリカとも開戦して今日に至つてゐる。



元 首

國 王

ウイットリオ・エマヌエーレ三世(Vittorio Emanuele III) 御名稱 フヘルディナンド・ベリイア・シエンナロ (Berthand-Marie Ferdinand) イタリア國王兼アルバニア國王、エチオピア皇帝 (Re d'Italia e d'Albania, Imperatore d'Etiopia) 一八六九年十一月一日、イタリア王ウムベルト一世 (Re Umberto I) とベルゲリータ王妃 (Regina Margherita) との唯一の皇子としてナポリにて御誕生、一九〇〇年七月二十九日、父王の崩御と同時に王位を繼承、一八九六年一〇月二十四日、モンテネグロの王女エレナ姫 (Elena) と御結婚、王妃との間に一王子、四王女を儲けらる。

王 族

王妃 エリナ (Principessa Petrovic-Négas del Montenegro) イタリア國及アルバニア國王妃兼エチオピア皇后、モンテネグロ王ニコラス (Nicholas) の王女、一八七三年一月八日御誕生。

皇太子 ウムベルト (Umberto) 御名稱 ニコラ・トマソ・シヨヴァンニ・マリイア (Nicola-Tomaso-Giovanni-Maria) 稱號 ヲモント公 (Principe di Isonzo) 一九〇四年九月十五日ラコニジにて御誕生、一九三〇年一月八日ベルギーの王女マリイア姫 (Marina-Jose-Carlotta-Sofia-Amelia-Erichetta-Gabriella) 一九〇六年八月四日御誕生と御結婚、一九

三四年九月二十四日マリイア・ユア姫 (Principessa Maria Pia) 一九三七年二月二十二日ウイットリオ・エマヌエーレ (Vittorio Emanuele) 稱號ナポリ公 (Principessa Juliana) を儲けらる。

【第一王女】 ヨランダ姫 (Principessa Isabella) 一九〇一年六月一日御誕生、一九三三年四月九日、ベルゴロ伯 (Conte Giorgio Carlo Calvi di Bergolo) に嫁し、一男三女を儲く。

【第二王女】 ヲファルダ姫 (Principessa Sofia) 一九〇二年一月十九日御誕生、一九二五年一月三日、アツシア公 (Principessa di Assia) に嫁し、二男を儲く。

【第三王女】 ショヴァンナ姫 (Principessa Giovanna) 一九〇七年一月二三日御誕生、一九三〇年一〇月二五日ブルガリア國王ボリス (Re Boris di Bulgaria) に嫁し、一王子、一王女を儲く。

【第四王女】 ヲリイア姫 (Principessa Maria) 一九一四年二月二十六日御誕生、一九三九年一月二三日ブルボン家のパルマ公 (Principe di Parma) に嫁す。

王位繼承法

王位は女子を除外する登極令に従ひ世襲である。傍系親屬に對しては直系卑屬に優先權が附與され、又同一系に於ては長子に優先權がある。故に王位繼承は唯嫡出子の後裔で王統に屬する者、即ち王家に屬するものみに許される。次に王冠の繼承であるが、之は國王の崩御に次いで即時行はれる。國王が王位

に登る時は開院せる兩院の前にて忠實に憲法を遵奉する旨の宣誓を行はれる。國王が健康上、若しくは法律上君主の諸權力を行使する事能はざる状態に在す時には攝政職 (Reggenza) の制度が設けられる。而して憲法又は法律には規定が無いが慣例 (Consuetudine) として國王御自身に依り代理職 (Rogolanza) なるものが任命されるが、之は國王が行使する職務の一部を代理する爲に任命されるのである。

III 政治

A 總論

1 政治史 一八四八年から七〇年にかけてマツツイニ、カヴール、ガリバルディ等の愛國者によつて戦はれたイタリア統一運動はイタリアに近代國家としての基礎を與へ、一八六一年二月一八日トリノに開かれた第一次イタリア議會が三月一七日ヴェイトリオ・エマヌエーレ二世を伊國王と宣した。一方一八五九年一月ロムバルディアをオーストリアから奪還し、六六年ヴェネツィアを合併し、七〇年にフランス軍を法王領より撤退せしめ、七一年エマヌエーレ二世國都をローマに定め、上下二院制より成る近代的國家の形態を整へるに至つた。併し統一後日なほ淺く、半封建的、地方的感情は國民の腦裏から全く消え去らないので、その議會政治は徒らに小黨分裂して個人の政争に没頭し、政權の安定する處がなかつた。選挙權を有する者は國民の一小部分にすぎず、かくて議會制は容易に國民的基礎を確立し得ず早くして批判の對象となつてゐた。この間近代産業の勃興に伴つて階級的對立が漸く著しくなり、一方に社會黨その他社會主義的政黨の結成があり、他方には民族黨その他無数の國粹主義團體を發生せしめた。

この對立は第一次大戦を過つて參戰派と非參戰派の對立に發展し、戰後平和會議に於ける屈辱的待遇、社會的經濟的危機に當面するや、非參戰派たる社會主義諸勢力は民衆の反

ミリタリズムの風潮に乗じて全國を風靡するに至つた。

一九一九年の總選挙に於て社會黨は一躍三倍の一五二議席を獲得して第一黨となり、二〇年及び二二年労働總同盟の指導下に工場占領、總罷業が決定され政情の不安はその極に達した。これに對抗するため參戰派及び歸還軍人等よりなる一派はムツツリニの下にファシスト黨を結成し、各地方に民兵を組織して罷業破りを決行、一九二二年社會黨がその内部的な統一を暴露して惨敗を喫した後著しく勢力を増大した。かくて二二年一〇月政權獲得を目指して所謂ローマ進軍を開始し、ムツツリニを首班とし、ファシスト黨以外の閣員若干を混えた新内閣を成立せしめた。一九二三年選挙法改正によつてファシスト黨は議會に絕對多數を獲得し、二六年政黨解散令を發布して一黨獨裁制を確立、一切の反對派組織、労働組合を解散した。一方新たに勞資別同業組合を組織して經濟問題、労働問題の調整にあたると共に、一九二八年の新選挙法はこの組合を母胎として下院議員候補者を選出することを規定し、かくて従来の議會制度は一變し、議會權力は無力化した。更に同年ファシスト大評議會の立憲化が成り、黨と國家の合體による獨裁制は名實共に完成を見た。政權確立後ファシスト政府は國內の矛盾行詰を打開するため對外的成功を企圖し、殊に世界恐慌以後は積極的に對外進出を計り、遂に一九三五年エチオピアに進出し、翌年伊領東アフリカの創設を宣言した。この結果國際聯盟の對伊制裁を受けるに至るや、その對

外政策を一轉し、(一)英佛との協調によるドイツ包圍策を放棄して、獨伊接近を計り、(二)中欧進出策を中止して専ら地中海制覇の方針に轉換した。かくてイタリアは獨逸合邦ドイツのチエコスロバキア併合等を支持し、スペイン干渉、アルバニア併合にはドイツの支持を受けた。獨伊樞軸は日獨伊防共協定に發展し、相携へてヴェルサイユ平和條約の桎梏を打破すべく共通の世界政策を遂行しつつある。獨伊樞軸の成立は又イタリアの對内政治に變化を與へ、(一)戰爭に備へて大規模な軍備擴張を強行し、(二)從來の自由主義的殘滓を一掃して國內統制を強化するに至つた。

その第一の現はれは議會制度の改革である。戰時體制の強化と共に國家の政治的基礎構造たるファシスト黨と經濟的基礎構造たる組合とはその活動を一體化する必要があり、かくて從來組合を母胎として選出せられた下院議員に代つて、全國ファシスト黨會議と全國組合評議會とを合體し、議員六〇〇名を以て新たにファツジョ組合院を創設することとなつた。その第二の現はれは民族主義の強調である。元來ファシズムは民族主義をその基本的イデオロギーとするが、エチオピア戰後はこの傾向が一層尖鋭化し、一九三八年ファシスト大評議會はイタリア民族の純血に關する宣言を採擇した。これに附隨してドイツの例に倣つてユダヤ人排斥運動が開始され、多數のユダヤ人を國外追放に處した。かくてイタリアはその對内的、對外的政策を通じて徐々に國際的地位を強化し、ローマ帝國の再興に向つて着々成功を収めつゝ、第二次大戦を迎へ

た。

2 戰時體制 【國防最高委員會】 ファシスト政權確立以來、イタリアに於ては國民の對戰時準備が開始された。その第一階梯は一九二三年二月二日附勅令に依る「最高國防委員會」(Commissione suprema di difesa)の設置である。本委員會の任務は戰爭に必要な機關の準備及び組織並びに國防上緊要なる各種の國家的活動力の整理をなすにある。(一九二五年一月四日附、二八年一月八日附勅令の規定) 國防最高委員會は審議委員會及諮問機關より成る。總動員の國防最高委員會は特別目的を有する二機關を設置する。(一)總動員委員會(戰爭に必要な資源の準備、組織及利用、全國民活動に關する問題に對する最高委員會の諮問機關とする)。(二)工業監督事務局(技術的機關にして總動員委員會の研究に協力し且研究結果の實施に當る。又國家の各種産業の生産活動を監視すると共に國家産業の動員計畫を秘密に立案する)。

【總動員機構】 一九二五年六月八日戰時國家組織法(Organizzazione della Nazione Per La Guerra)が公布せられ、更に一九三一年一月二日附「戰時規律に關する法律」は右組織法を詳細に規定してゐる。戰時國家組織法第二條に依れば國家動員とは國家組織を平時目的より戰時目的に適するやうに組織すること、これをいふのであり、軍部動員と軍部外動員とよりなる。政府は必要と認むる程度に應じて男女を問はず人民並に一切の團體をして祖國補助の義務に服せしめ、且之をして戰時規律に服せしむ(同法三條)。従つて政府は動

員の場合、軍民の需要に應ずるため、次に掲ぐるものの徵發を命ずることを得(同法九條)。(イ)人民たる個人及團體の祖國補助勞務。(ロ)國內に存するカルテル、コーポレーション及其他團體の勞務。(ハ)特に免除せられたるものを除くほか、國に存する動産、不動産又は伊太利國人に屬する動産。戰時國家組織法は更に動員に際し次の指導機關の創設を定めた。(イ)軍需及民需に應ずる原料輸入に關する監視機關。(ロ)戰時資材の製造、原料及工業製品の配給、官民營工場統制を防護する機關。(ハ)食糧の補給、購入及配給に任ずる機關。(ニ)内外に對する宣傳、出征軍人及歸國移民家族の救護、戰爭による廢疾者の救助に戰時扶助料の支給に任ずる機關。以上の諸機關は前述の總動員委員會及工業監督事務局と共に國防最高委員會の統轄下に置かれる。

【國土防衛組織】 總動員に關しては國土防衛組織を完備し、以て外敵の侵入並に内部策動に對し、人的、物的要素を保護し、國家戰力を確保することが緊要である。これが爲、一九三五年附法律第九三〇號及一九三八年九月五日附緊急勅令第一五五五號を以て陸軍參謀總長の轄下に國土防衛參謀次長の職を設け、國土の軍事的編成(防衛)地區、消極的防衛、積極的防衛、海岸防衛(海軍管轄の分を除く)を管掌することとした。即ち國土を二八箇の防衛地區に分割し、從來軍團及師團に委ねられてゐた國內治安に關する事項は、國土防衛參謀次長の所管となつた。防衛地區は一五の地區防衛司令官により管掌せられる。

國土防衛參謀次長は防空義勇軍の指揮及防空中央委員會及防空國民聯盟を主宰する外、陸軍化驗部、軍隊、救濟團體其他と連絡する。國土防衛の基本機關たる國土防衛司令部及地區防衛司令部は消極的防衛、積極的防衛、海岸防衛及主要交通路及工場防衛組織と緊密に指揮連絡を實施し得る如く配置されてゐる。

3 統治機構 表面上は尙ほ一八四八年憲法に基く立憲君主機の諸機構を殘存してゐるが、實質的にはムツツリニを黨首とするファシスト黨の完全な獨裁制である。現實機構の中樞は唯一獨裁黨と地方政府及官吏のヒラルキーと組合統制組織にあり反議會政治的なのが特色である。黨はヒラルキー組織に結ばるゝ黨員より成り、法律上國家の公機關であるが、黨と國家は同一體をなし、黨の最高機關たるファシズム大評議會は同時憲法上最高權限を有する國家の最高機關である。地方政府と官吏も同様のヒラルキーで獨裁者の絕對的支配を保障し執行權の各段階に議會が附屬するも、議員は選挙權によるものではなく、中央地方を通じて議會は本質的に唯獨裁執行權に從屬する影の制度にすぎぬ。組合統制組織は職業組合と協同組合との二つのヒラルキー組織により構成され、凡ゆる經濟生活を統制するのみならず、國家の立法・行政組織と密接に結合する。ムツツリニは上述諸ヒラルキーの集中する頂點に坐して國民の政治・社會・經濟全生活を統轄し、同時に全軍隊及び學術・文教の總帥である。以上ファシスト黨の獨裁を合理化せる重要法規は、(一)一九二

五年の政府首席の権限に關する法律、(二)一九二六年の執行權に關する法律、(三)一九二六年の職業組合に關する法規及び同上施行令、(四)一九二七年の勞働憲章、(五)一九二八年の下院新選舉法の制定、(六)一九二八年のフアッシスト大評議會の構成法、(七)一九三〇年の協同組合全國會議構成法、(八)一九三四年の協同組合法、(九)一九三九年の下院廢止に代るべきフアッシスト組合代議院の創設、等々に見られる。

【フアッシスト大評議會】一九二八年二月九日フアッシスト大評議會の立憲化の結果、フアッシスト黨の機關は全部國家の公器となる。大評議會は黨務及びフアッシスト・レジーム統制の最高機關であり、同會は法律により規定せられた諸項に關し討議の權能を有し、政府首長より諮問せらるべき政治、經濟および社會の諸問題につき意見を答申する。而して政府の首長は同時に大評議會の議長であり、彼が必要と認むる場合、大評議會を召集し得るものとする。

【大評議會の権限は次の如し。】
(一) (イ)下院議員候補者名簿の選定。
(ロ)フアッシスト黨の綱領、細則及び政治方針の決定。(ハ)フアッシスト黨幹事長及び幹部委員の任命。

(二) 憲法的法律に就いては必ず政府の諮問を受ける。即ち次の七項である。(イ)王位繼承、國王の特權及び大權。(ロ)大評議會、上院及び下院の構成並びに権限。(ハ)政府首長、内閣總理大臣の特權及び権限。(ニ)司法的の法令發布に關する政府の権限。(ホ)シンジ

イケート及びコーポラチアに關する規則。(ハ)法王廳との關係。(ト)イタリア本國と植民地に變更を齎し、又は領土の取得現業に關する國際條約。

(三) 首相の缺員の場合、これが選任のため國王に捧呈すべき人名表の作製および準備する權限ならびに國務大臣の場合もこれと同じ。

【大評議會は最初、五〇數名の議員を以つて構成されてゐたが、ムッソリーニ首相はこれが人員過多なるを以て二〇名程度に削減するの必要を感じ、一九二九年九月二日召集の大評議會にこの改革案を提出し、満場一致可決する。同案によれば、大評議會は次の三種の議員を以つて構成せられる。

(一) 任期終身のもの。即ち「ローマ進軍」の際における「四頭目」(Quadriviri)

(二) 官職によりその議員たる資格を有するもの。即ち、上院議長、下院議長、外務大臣、内務大臣、司法大臣、大藏大臣、文部大臣、農林大臣、協同組合大臣、イタリヤ・アカデミー院長、フアッシスト黨書記長、副書記長二名、フアッシスト國民軍總司令官、國防特別法院院長、雇傭主及び被傭者全國組合の會長二名。

(三) 國家及びフアッシスト革命に特に功勞あるものに對しては、政府首長は任期三ヶ年を以つて大評議會の議員に任命することが出来るものとする。

【憲法】現行イタリア憲法は一八四八年三月四日、サルディニア國王チャールス・アルベルト(Charles Albert)制定の欽定憲法

身と規定されてゐる。また「無任所大臣」(Ministri senza Portafoglio)は如何なる省にも屬せず、暫定的に或は異常時の場合にその職務をとるものである。「國務次官」(Sottosegretario di Stato)は大臣が職務の都合またはその他の理由にて出席し得ない場合は同國務次官が代理する事になつてゐるが、かかる場合通常國務次官の權限は議會活動又は各省緊急事務に限られてゐる。

【現内閣】現内閣は一九三九年一月三十一日の大改選以來のままである。一九四〇年一月ムウタイ・フアッシスト黨幹事長の辭任(伊希戰に参加のため)に伴ひ、後任としてセラ・ナ・土木相が就任し、土木相の位置には、顔觸れは次の通りである。

Table listing cabinet members: 首相兼内相 陸相 Benito Mussolini, 外相 Galeazzo Ciano di Corralizzo, 伊領アフリカ相 Ottilio Terruzzi, 組合相 Renato Riale, 文相 Giuseppe Bottai, 農林相 Giuseppe Tassinari, 蔵相 Paolo Thaon di Revel, 法相 Dino Granati di Montano, 交通相 Giovanni Host Venturi, 文化宣傳相 Alessandro Pavolini, 貿易相 Finisio pe Gorla, 土木相 Raffaele Riccardi, 無任所相 Adelchi Serena, 内閣閣議副議長 Ettore Coni, Luigi Russo

たる「王國基礎條令」(Statuto Fondamentale del Regno)である。而して同條令は前述の如くムッソリーニのフアッシズムの精神に則り一九二五年二月二四日、二七年四月二一日、二八年五月一七日、二八年二月九日(一九二九年一月四日修正)、三〇年三月二〇日、三四年二月五日の六回に互つて擴充せられて今日に至つてゐる。同條令に依ればイタリヤはサポイ家(House of Savoy)を戴く立憲君主國にして、國家の全權は國王にあり、立法・司法・行政の三權分立制が採用せられてゐる。

B 行政

【概観】自由主義を基調とする従来の三權分立主義に對して、フアッシストレジームに於ては行政の權限が著しく強化擴大された。一九二六年の執行權に關する法律はその法的根據である。同法は豫算關係、司法關係會計検査院關係等に關する事項を除き、從來の勅令に依る場合の外尚、行政組織、公法人地方團體、公益業に關するものも勅令を以て規定する事を得べく、又從來立法機關の參與を必要とせる國家の締結する諸契約も法律に依らずして勅令を以て規定し得べしとなし、更に緊急且絕對の必要ある場合に於ては政府は法律に代るべき命令(Cadogo Decreto Legislativo)を發し得る事となつた。

C 立法

1 議會 上下二院制なる形式に於ては近代民主主義國家の制度と酷似してゐるが、フアッシスト獨裁以來、その權力は著しく縮小された。一九二五年の「政府首席の權限に關する法律」によれば、上下兩院は政府首席の承認なくしては、如何なる議事をも日程に上すことを得ず、兩院で否決された法案も、三ヶ月後には再提出が可能となり、この時は討議をなさず秘密投票による。更新の要求と共に、政府から修正案が提出された場合、同案の審査及び討論は修正點にのみ限定せられ、秘密投票による。一九二六年の「執行權に關する法律」によれば議會が法律によつて一定の期間内、政府に法律に代るべき命令を發布し得る權限を與へるときは、政府はその許容せられた期間内、法律的效力ある命令を發布し、議會協賛權を制限する立法權を獲得し得る。かくて現在議會に残された立法權は、フアッシスト組合創設法に依れば、(一)憲法的性質を有する法律案。(二)一般的性質の立法代理權。(三)豫算案。(四)國家及び國家の自治企業團體の收支計算書。(五)國家豫算を以て補助せられてゐる、國家的重要性を帯びた一切の行政自治團體等である。これらの事項に關しては、兩院各々の總會に於て關係主管委員會の報告に基いて討議及び表決が行はれる。その他の法律案は兩院の立法委員會が専ら審査に當る。

2 下院(元老院) Il Senato 二一歳以上の皇族および三五歳以上にして國王から終身

の二種に分類される。中央行政機關として國王、國王政府、政府首長、各省大臣、參事院、會計検査院等が擧げられ、地方行政機關としては、府縣知事、副知事、府縣會、府縣參事會、市町村長、市町村書記官、ロー都廳等がある。

【内閣制度】内閣(Presidenza del Consiglio dei Ministri)は行政組織の基礎的機關である。即ち宮内省、上下兩院、國民フアッシスト黨、陸海軍總參謀長等との關係を維持し、參事院、會計検査院、政府辯護職、統計局、王立イタリヤ學士院、全國資源局、最高國防委員會、國民總動員委員會、護國義勇軍、穀物常置委員會、移民ならびに植民委員會、紋章局、在郷軍事教育監督部等の機關と公に行政、文化活動を「次官局」の補助を以て果すものである。閣議(Cil Consiglio dei Ministri)は定期的に政府首長及び諸大臣の集合により行はれる。此の閣議は國家全般に關する事務及び諸省共通の事項に就き決議する。此の場合政府首長から指示された政治方針の統一を十分に維持する方法にて上記の諸事務を決議するものである。フアッシスト成立以前は内閣議長は單に内閣を主宰してゐたのみであるが、現在は政府首長はフアッシストの統帥と政府首長の二重の資格に於て國家活動上の諸種の權能を行使してゐる。

大臣は國務次官より補佐せられ大臣の爲したる専門的性質の施設について政府首長に對して責任を有するものである。右の外憲法第四條三十三項に規定する處に従つて「大臣禮遇」(I Ministri di Stato)であつて當大臣は終

の勅選を受けた平民及び貴族よりなる。官吏、軍人、科擧藝術その他學術上國家に貢獻せる者も亦首相の推薦によりて勅選せらる。上院議員は一九三九年六月には五三五名である。上院は原憲法の制度がそのまま存置せられてゐる。現在上院は完全にムツソリーニ政府の左右するところであるが、なほ下院におけるが如くファシスト黨員によつて獨占されてゐず、唯一の反政府派の根據地となつてゐる。然し公然の反對は許されぬが、一部の議員は缺席してその反對の意向を示してゐる。殊にその傾向は知識階級の間に顯著で、その指導的地位にあるものと見られるものに Croca; Ricci; Storza; Ruffini 等の上院議員があげられる。

3 下院 (ファシスト組合法院) (Camera dei Fasci e delle Corporazioni) 以上の一九二八年の選挙法による下院の組合主義化を更に徹底するために、ファシスト政府は一九三六年一月八日ファシスト代表議會の任命せる議會改選委員會をして立案せしめて來たが、三七年三月八日、ファシスト大評議會はその答申書に基いて下院議長コンスタンツォ・チアノ提督(チアノ外相の父)に對して二月以内に職能代表議會案を作成する權限を附與した。かくて一九三八年一月七日の大評議會はチアノ提督の作成せる原案に基いて大體次の如きファシスト組合法院創設法案を採擇し、こゝに組合主義のより一層の徹底が行はれ、一九三四年選挙の下院任期終了の三九年を以つて下院は廢止され、これに代ふるにファシスト組合法院が創立され、イタ

リア議會制度の劃期的變が革爲されるに至つた。

(一) ファシスト組合法院を構成する議員 (國家參事官 *Consiglieri Nazionali* と稱す) は選挙に據らず、ファシスト黨全國評議會及び組合全國會議の構成員がこれに就任する。ファシスト黨首、政府首長及びファシスト黨大評議會の會員も亦當然これに就任する。

(二) 國家參事官は憲法によりて下院議員に關し既に規定しある特權を享受す。

(三) ファシスト組合法院の議長(一名)及び副議長(數名)は、勅令を以て任命せられ、議長は議院規則に規定する諸事務の執行者を任命する。

(四) ファシスト組合法院は總會、豫算總委員會及び立法委員會の全體會議によりその機能を行ふ。特定の主題に關しては、右の他に常設及び特殊委員會を創設し得。

(五) ファシスト組合法院の議決は公開投票による。

(一) ファシスト組合法院並びに上院で採擇されたる法案は政府首長たるムツソリーニ首相の許に回付され、國王の裁可を経た後發布する。

(二) 上院とファシスト組合法院の任期は二會期とし、各會期の召集期日、閉會期日はムツソリーニ首相提議の下に勅令を以てこれを定む。

現議員數は一九三九年三月二三日の第一回開院式當時に於て、ファシスト黨全國評議會の構成員一五〇名及び組合全國會議の構成員五〇〇名より成る。

D 司法

【普通裁判所】首都ローマに大審院 (*Corte di Cassazione*) が設けられ、全國一八の控訴院 (六分院あり) と一三八の地方裁判所がある。これらは更に下級裁判所に分けられ、所長によつて管理される。その數九八四に上る。その他九一の巡回裁判所があり、また民事事件には上述の裁判所のほか調停官 (*Conciliatore*) が小事件に對して裁判權を有する。

【特別裁判所】上院高等法院、國防特別裁判所、勞働裁判所等がある。

【犯罪者數】有罪者總數は一九三七年には五三七、一四五人、一九三八年には六八四、三三一人である。一九三八年一月末現在には未決監一、〇〇〇、監獄六四、懲治監四二があつた。その囚人數は未決監が男囚三六、六八四人、女囚四、三三七人、監獄は男囚二、七六〇人、女囚九八一人、懲治監は男囚六、九五二人、女囚五二八人である。

E 地方行政

一九一五年の法律によるイタリアの地方自治制はファシズム治下に於て逐次變革を受け (一九二二、一九二六、一九二八) 地方自治制は廢棄されつゝある。而して、この地方制度のうちにもファシスト黨の地方組織が編み込まれ、地方行政の指導力は、むしろこの黨の地方組織によつて握られてゐることは見逃し得ない。即ち、イタリアの現在のファシスト的地方行政組織は次の三系統の綜合組織である。

(一) ファシスト黨の指導的組織——黨首領 (ムツソリーニ) ↓ 黨總幹事長 ↓ 各州黨幹事長 ↓ 各地區黨幹事。この各州黨幹事長が實力上の各縣の行政の指導者であり、各地區黨幹事長が、各市、各町村行政の事實上の指導者である。

(二) 政府の行政系統に屬する組織——政府首長 (ムツソリーニ) ↓ 各州知事 ↓ 各市長及び町村長。

(三) 組合の經濟的綜合組織——全國組合會議 ↓ 各州組合經濟委員會 ↓ 産業組合及び文化團體。

ファシスト黨は右の第二系統に向つては、黨の地方フラクションを通じ、まだ第三系統に對しては、組合フラクションを通じて、それぞれの内面的な指導を遂行することが出来る。

全國は九四州 (*Province*) に分たれ、更に一九三七年末には七三四の *コムーネ* (*Comuni*) に細分する。州の行政は勅令により任命せられる知事によつて執行せらる。各州には *Giunta Provinciale Amministrativa* が設置され、下級自治體たる *Comune* 及び *Opere Pie* を統制して、且つその裁判權を執行する。また協調組合各州會議 (*Consiglio Provinciale delle Corporazioni*) は州の生産的活動を統制し、その發展に協力し、而してその利益を代表する。コムーネの長は *Podestà* 即ち市長にして、市長は勅令により任命され、その任期は五ヶ年にして、嘗て自由主義政權時代に民選市會が執行してゐた權力を掌握して

ゐる。たゞしローマには都長が置かれ、特別區制が行はれてゐる。すべての州の首府および人口一萬以上を有するコムーネにおいては、一〇名乃至四〇名より成る參事會 (*Consiglio*) があり、各參事會委員は地方職業組合聯合會より任命されたものうちより州知事によつて選任せられる。同參事會はたゞ勸告機能を有するに過ぎぬが、豫算の承認並びに租税の賦課に當つては、必ずその勸告を必要とする。

F 植民地行政

一九四一年五月三日バルカン戰爭の結果イタリアはスロヴェニア地方併合を宣言す。この地は新にルビアナと改稱され、ムツソリーニ首相任命の高等事務官がその統治に當る。その下にスロベニア各産業界を代表する一四名の委員を設け、同地方の人的地理的事情並に地方的要求を充分考慮して自治制を布く管である。而して舊スロヴェニア人に對しては強制徴兵を行はず、初等教育はスロヴェニア語を用ひ、中等教育に對しては隨意課目としてのイタリア語、公文書にはスロヴェニア語、イタリア語併用。

(なほ植民地リビア、伊領東アフリカ、伊領エリテリア諸島、アルベニア等の行政については各項及び年鑑一九四〇年版参照。)

G 民族ファシスタ黨

一九一九年三月二三日、ムツソリーニを首領とする「革命ファシスト」 *Fasci d'Azione Rivoluzionaria* 成立、これは直接行動の綱領を

有する團體で政黨ではなく、むしろ一種の政黨消滅運動であつた。然るに一九二二年一月八日の第三回ローマ大會に於て、「戰闘者ファシスト」 (*Fasci di Combattimento*) を組織し、*「Azione」* 即ち運動は政黨 (*Partito*) へ發展した。共產黨との決死的闘争を行つて遂に勝利を獲得、イタリアの社會的紛亂を解決するため、ファクタ内閣の總辭職、議會解散を要求し、遂に一九二二年九月三日、ムツソリーニはミラノより義勇兵を以て所謂「ローマ進軍」を行つた。かくてムツソリーニは政權を獲得したが未だ完全なるファシスト内閣ではなく、一九二三年二月、「ファシスタ黨」は貴族、上層階級、保守的インテリゲンチヤ勢力を代表する「民族黨」と合併して勢力を伸長し、こゝに「民族ファシスタ黨」 (*Partito Nazionale Fascista*) が成立するに至つた。一九二四年春の下院選挙に絕對多數を確保、一九二六年一月二六日の政黨解散令によつてファシスタ黨以外の政黨を禁絶し、議會に一黨主義を確立した。斯くて黨の機能は一九二六年ファシスト大評議會によつて規定せられ、更に一九二九年、三二年に改正を見、益々その權力を擴大整備して現在に至つた。

【組織】ファシスタ黨の組織に關しては三七箇條より成る黨規に詳細規定されてゐるが、大略左の通りである。

先づ中央に黨首領たるムツソリーニをめぐつて、ファシスト大評議會があり、黨首領の下に黨幹事長がある。黨幹事長をめぐつて黨全國會議 (*Il Direttorio Nazionale del P. N. F.*) があり黨全國評議會 (*Il Consiglio naz-*

No.11 各国外交使節 (ローマ駐劄)

Table with columns: 國別 (Country), 官職別 (Rank), 氏名 (Name), 信任狀捧呈年・月・日 (Date of Accreditation). Lists ambassadors for various countries like France, Germany, Spain, etc.

資料: - A. G.

るにあらが、これに對する最後の障礙たるソ聯勢力の驅逐は英國敗退後の當面の問題となつた。六月三日、ヒトラー、總理、ムツソリニ首相は各々外相及び軍首腦を帶同して第一〇回の會談を行つ

て注目を惹いたが、この會談の動向は六月二日の獨ソ開戦によつて明らかになされた。かくて獨伊を中心とする歐洲の反ソ十字軍結成はこの會談をめぐつて活潑に展開せられるに至つた(なほ戦前の關係については、本年昭和十五年版参照)。

Onate del P. N. F.) がある。地方機關は、地方幹事と地方會議とから成つてゐる。實際上最も重要な地位を占めてゐるのは、黨幹事長 (Il Segretario del P. N. F.) であつて、彼はファシシヨ的ならゆる團體の中心的な地位を占め、ファシズム的組織の運営の全體的綜合者である。

るものとして待遇され、ファシズム諸團體も亦國家公認の下に國家の保護助成を享有する。

H 外交

1 概観 ファシスト外交政策は第一次世界大戰後のイタリア經濟の諸變化によつて決定されてゐた。戦後急速に發達した工業は狭隘な國內市場や貧弱な原料資源の制約を脱するに必要があつた。同時にイタリアは年々七〇萬に上る人口増加の對策として新領土を求めてゐる。この欲望を充たすためイタリアは獨・英・佛の對立關係を交互に利用した。殊にナチス・ドイツの勃興に伴ひこれら諸國間の對立が激化するや、イタリアはこの間隙に乗じてエチオピア征服を敢行するに至つた。伊・英・佛の對立關係の對伊制裁を受けるや、イタリアは轉じてドイツと結び、獨伊樞軸といふ新しい外交形式の下に地中海制覇に進んでゐる。かくてスペイン内亂干渉、英伊地中協定、チュニス、コルシカ等の佛植民地の割讓要求、アルバニア占領等の一聯の事件を経てイタリアの地中海に於ける地位は強化されつゝある。今やイタリアの現状打破主義は今大戦下に日獨伊三國同盟を支柱とする世界新秩序の建設に發展し、その志向する地中海帝國の實現に向つて闘争を續けてゐる。

等の交換につき各種の協定を成立せしめてゐたが、戦局の發展に伴ひ、四〇年一〇月兩國經濟大臣の間に於て、(一)歐洲經濟ブロックの完成、(二)獨伊による歐洲貿易、爲替及び通貨の管理等の問題が討議せられ、歐洲に於ける凡ゆる經濟問題は、一切獨伊兩國を中心として決定する原則的諒解に達したと言はれる。而してこの基礎たるべき兩國經濟關係の強化については更に兩國經濟代表團の間に於て協定が行はれ、三六日間の折衝を経て一九四一年二月二六日、新なる獨伊戰時通商協定の成立を見るに至つた。本協定は三四の個別協定から成り、その概要は次の如くである。

の獨占するところとなつた。その後稍々勢力を回復し、一九三七年イタリヤはユーゴとの間に友好條約を結び、自國の國防上の脆弱點を補強することが出来た。フランスのヘゲモニーに對抗して、イタリヤはオーストリア及びハンガリーを中心とするローマ・プロットを結成し、一九三四年のローマ議定書、バルカンに覇をとなへんとしたが獨逸合邦によつてこのプロットも破壊せられ、ドイツにバルカン進出の鍵を與へるに至つた。併し個別的にはイタリヤは現状打破主義國家であるハンガリー及びブルガリアと友好關係を維持してゐる。一九三九年イタリヤはアルバニアを占領し、失はれたバルカンに對する勢力を回復するための基地を得た。この行爲によりユーゴは完全に獨逸の包圍圈内に入り、驚愕したギリシアは英國の同國に對する獨立保障宣言を受諾した。第二次歐洲大戰に直向して動搖するバルカンに對するイタリヤの最初の目標はバルカンの現状維持にあつた。そのためイタリヤはバルカン諸國間の紛争を調整し、また自己を盟主とするバルカン中立プロットを結成せんと企てた。イタリヤはベルグラードで開催されたバルカン協商國外相會議を支援し、ハンガリーのルーマニアに對する失地回復要求を差控へしめた。一方個別的にバルカン諸國との友好關係を増進するため經濟工作を開始し、一九三九年二月から四〇年初にかけてユーゴスラヴィア、ブルガリア、ハンガリー、ルーマニア、トルコの各國と通商協定を締結し、ギリシアとの間には友好條約を結び、ギリシア、アルバニア國境の

相互撤兵を約した。英佛獨逸のバルカン工作に對しては深甚な注意を拂ひ、殊にソ聯の南下には露骨な反ソ的態度を示した。斯の如くイタリヤは獨逸の立場からバルカン政策を遂行してきたが一九四〇年三月一八日の獨逸ブレネル會議を契機として兩國はバルカンに於ても共同政策を執るに至つた。イギリスの攪亂策に加へて、ソ聯のベッサラヴィア進駐により騒然たるバルカンに對し、獨逸は對英戰の背後を固めソ聯の進出に防壁を築くため調停に乗出し、一擧にこれを解決した。即ち獨逸はルーマニアに壓力を加へて洪、勃二國の失地回復要求を満足せしめ、八月三〇日の四國會議に刺戟後の國境確定を約し、ルーマニア新國境線の不可侵を約すると共に同國の親英色彩を一掃した。これに續いてイタリヤはギリシアに對してその親英政策の清算、樞軸國協力を要求したがギリシアの拒否するところとなり兩國關係は極度に悪化し絶へざる國境紛争の後全而的戰爭状態に發展した（一〇月二八日）イタリヤが對希臘に腐心してゐる間ドイツのバルカン工作は着々進展し、ハンガリー、ルーマニア、スロバキヤ、ブルガリアは相次いで三國同盟に加入し、ユーゴスラヴィアも亦四一年三月二五日ウィーンに於て三國同盟參加議定書に調印するに至つた。然るに同二七日ユーゴに起つたクーデターは樞軸のバルカン工作に一頓坐を生ぜしめ、こゝに獨逸はバルカン鎮壓のための對希、ユ共同作戦を開始するの餘儀なきに至つた（詳細はドイツの項参照）。右作戦に併行して獨逸間にバルカン新秩序案が討議せられ、その結

果イタリヤはそのフランスに對するユルシカ、チニス等の返還要求を撤廢する代償としてユーゴ、ギリシアに對する支配權を認められた。斯くてイタリヤは全タルマテアを自國領土に編入し、舊モンテネグロを軍政下に置き、クロアチアは四月一〇日獨立、伊國サヴォイア家のスポレット公を迎えて王國を建設し一五日獨逸より夫々承認された。新セルビア政府も同二二日に成立し、その他ハンガリー、ブルガリアの國境調整も所定の如く處理された。

4 日伊關係 兩國は日獨伊防共協定によつて緊密に結ばれてゐたが、それは世界情勢の進展に伴つて日獨伊三國同盟に發展し、日本は獨逸の歐洲に於ける新秩序建設に關し指導的地位を認め（三國同盟條約第一條）、獨逸は日本の大東亞に於ける新秩序建設に關し指導的地位を認め（同第二條）、相携へて世界の新秩序建設に邁進しつゝある。昭和一六年三月、松岡外相渡歐の際イタリヤ胡野の示した熱烈な歡迎は兩國國民の純粋な友情を實證するものである（詳細は本年鑑昭和十五年版参照）。

I 軍 備

1 概 觀 國防の自然的條件について言へば三方は海に圍まれ、一方が陸続きで大陸に接續してをり、しかも海、地中海に於ては英佛等の勢力と對峙し、陸地に於ては佛國及びドイツと境を接してゐる。陸地に關する限りアルプス山脈が自然的城壁を構成し、他

の列強に比べてさほど不利ではなく、また從來比較的脆弱であつたユーゴスラヴィアとの國境は最近ユーゴが崩壊しクロアチアが獨立した爲著しく安全感を増大した。併し海と空に於てはイタリヤの地位は餘り芳しくない。主要原料の大部分を海外に依存し、しかもこれらの原料を海路によつて輸入せねばならないイタリヤは、ジブラルタル、マルタ、スエズ等の英海軍根據地によつて完全にその通路を支配されてゐる。ムッソリーニは地中海制覇政策に乗出して、この弱點を克服せんと努めてゐるが未だ成功してゐない（地中海をめぐる戰略地點の配備については年鑑昭和十五年版参照）。またイタリヤの主要工業都市は悉く北方からの爆撃圈内にある。

かゝる條件の下に於てイタリヤ國防軍の特徴は一體に即戰即決を戰爭の指導原理とし、陸軍の訓練、兵器の準備配給等この旨を主として行はれてゐる。海軍は地中海を主眼とし、大艦主義ではなく高速力の輕巡洋艦その他の小型艦種を大量に製造して總噸數上の劣勢を補つてゐる。地中海を活動舞臺とする伊海軍として蓋し當然である。空軍は今日世界一流であることは疑ひない。

國防の最高權力は國王の下に政府首長たるムッソリーニ首相の一身に集中されてゐる。國防軍は陸・海・空軍に分たれ、ムッソリーニ首相は軍部各大臣を兼攝し、命令系統の統一を計り、今や軍の活動力は最高單一の指揮の下に完全に統制されてゐる。而して陸、海、空の三軍の作戦を統一協力せしむる機關として、首相の下に總參謀總長を置き、別に

最高國防會議を設けてゐる。陸、海、空の各軍には夫々軍令部長が設けられ、當該軍の作戦に關する事項を擔任するが各軍令部長は總參謀總長の命令を受けるものとする。なほムッソリーニ首相は一九三九年、嘗てのナポレオンの如くイタリヤ國防軍の最高元帥に就任した。

2 陸 軍 兵役は陸、海、空軍共に國民皆兵主義にして、義務徵兵制による。國民の兵役義務年限は二歳より五歳に至る。國民の軍役は各兵科共に一般に一八ヶ月と定められ、この現役義務を終了せし者は豫備役に編入され、五五歳まで豫備軍を構成する。

【本國軍】 陸軍は本國軍と植民地軍とに分たれ、前者は陸軍大臣の管轄下に、後者は植民地大臣の管轄下に置かれてゐる。本國軍は一三軍團に編成せられ、平時兵力は二六萬であるが即時動員可能な第一線部隊は九〇萬である。今次大戰勃發後の實兵力はこれ以上で一九三九年九月には一八〇萬以上の兵力が動員されたと言はれる。

【護國義勇軍】 正規軍のほかに國家保安のための護國義勇軍が一九二四年八月四日の法律によつて編成されてゐる。これは嘗てのファシスト黨義勇軍を改編したもので、ローマに總司令部を置き、各地區に黒シャツ隊司令部がある。歐洲戰爭の危機に備へて一九四〇年三月一日一三二の黒シャツ義勇軍が正規軍に編入された。

【植民地軍】 イタリヤの植民地軍は植民地を單位として編成され、義勇軍及び土着人軍より成る。歐洲戰爭勃發來植民地軍の強化が積極的に行はれ、一九三九年にはリビアに

三・五萬、アビシニア及び伊領ソマリランドに六萬、伊領モーゲ海諸島に三萬であつたが一九四〇年夏にはリビアに約二五萬、伊領東アフリカに約一〇萬、アルバニアも約一〇萬に増強された。

【憲兵隊】 正規軍よりの選抜と志願制度によつて充員せられ、一九三八年の現勢力は五二、〇〇〇であつた。

2 空 軍 一九三三年一月の勅令により航空最高委員會を設け、陸、海軍及び植民地航空を統轄する制度を立て、次で一九二五年空軍省を設置して空軍を獨立せしめた。空軍は獨立的に作戰する外、作戰の推移に應じ、陸、海軍に協力するように定められてゐる。即ち空軍直轄部隊と陸軍直轄部隊と海軍直轄部隊とがあり、その比率は六四、二三、一三の割合である。空軍管區は全國に四あり、この他支區がシシリヤ島、サルヂニア島、ユーゲ海諸島、リビア、伊領東アフリカに設けられてゐる。一九三七年の空軍勢力は飛行中隊一九〇、飛行船中隊二で、機数は第一線機約一、五〇〇、豫備機約四〇〇、空軍將士約二五、九〇〇人であつたが一九四〇年五月現在に於ては重爆撃機約一、六〇〇、追撃機約一、二〇〇、双發戰鬥機約一、〇〇〇、輕爆撃機約六五〇、豫備機約一、九〇〇、合計五、四五〇と推定されてゐる。一九四〇一四一年度空軍豫算は三、二八六・六百萬リレである。

3 海 軍 一九四〇年末現在の艦艇勢力は、戰艦六隻、巡洋艦二〇隻、驅逐艦五二隻、哨戒艇六五隻、潜水艦九〇隻である。而して目下建造中の艦艇は戰艦ローマ號及びイ

No. 2 イタリア艦艇現有勢力

	竣 工 年 度		
	1938末	1939末	1940末
戦艦	4	6	6
巡洋艦	22	22	20
駆逐艦	56	61	52(1)
哨戒艇	72	71	95(1)
潜水艦	105	105	90(1)

資料：— S. Y. B. 1941。
備考：— (1)は喪失艦艇を除外せる数字。

ムベロ號(共に三五、〇〇〇噸級にして一五五
ンチ砲九門備付、一九四一年末竣工の豫定)
のほか、三、三六二噸級巡洋艦八隻、八、〇〇
〇噸級巡洋艦二隻、驅逐艦八隻、哨戒艇四隻、
潜水艦一六隻である。
【編制配備】海軍最高行政は海軍大臣が掌
握し、全海岸線は各管區總司令の管轄下に置
かれ、その本部はスベチア、ナポリ、ベニ
ス及びタラントにある。若干の戦略的重要地
域、例へば Pola, Ta Mardalena, Brindisi,
Messina, Tero には夫々要塞司令部が置かれ
てゐる。海軍人員は一九四〇年現在に於て、
將校四、一三九、下士官兵七五、〇〇〇。

IV 經 濟

A 總 論

1 經濟史 イタリアは國土狭小、資源貧
弱、人口過多といふ極めて不利な條件の上に
國民經濟の發達が列強に遅れた爲、蓄積資本
も少なく、立國の基礎は極めて悪かつた。しか
も一九世紀に於ける西歐列強の植民地獲得熱
の旺盛なる時に當り、イタリアはなほ國內統
一の業に忙しく漸く統一成つて力を海外に延
ばし得る時に到るや、有望な植民地は列強に
よつて既に分割し盡されてゐた。従つてイタ
リアの植民地は沙漠にあらずんば露瀾の地
で、植民地領有は名のみならず、それによ
つてうける利益は殆ど皆無であつた。これが
ため國民經濟の發達は益々振はず、前大戦後
に至るまでこの國の主たる産業は農業にあり
財政は年々赤字を續け、公債は増加し、近代
工業は微々として發達せず、大戦後に經濟力
は列強中最も貧弱なものであつた。加ふるに
戦後の經濟的疲弊に伴つて社會主義、共產主
義の勢力いよいよ強く、イタリアは正に混亂
の極に達し國家的破滅をすら豫想せしめらる
ものがあつた。かくて一九二二年政權を獲得せ
るファシストはその所謂組合經濟組織の下に
銳意經濟建設に努力してきた。
政權樹立の初期におけるファシスト經濟政
策は一般にイタリア經濟の健全なる資本家的
發展を目標とし、この見地から比較的自由主
義的政策をとり、個人の資本蓄積を阻害する
租稅の免除、企業の新設擴張を奨勵、外資導

入による國內産業の育成、外國の援助による
財政の整理等に努めた。この結果經濟建設も
着々成功し、經濟界は戦後に於ける相對的安
定期の好況に乗り、一九二五、六年はファシ
スト政策の最も讚美されたる時期である。然
るに一九二九年に始まつた世界恐慌はこの國
をもその渦中に巻き込んで觀光客收入、移民
送金は激減し、外國貿易も大打撃をうけ、産
業構成の脆弱性と俟つて恐慌の影響は最も深
刻を極め、遂には金融梗塞して一九三一年に
は金融恐慌を惹起し、殆ど收拾し能はざるま
でに至つた。こゝにおいてファシスト政府は
從來の放任主義を一掃して積極的保護政策に
出で、企業の新設擴張を以て、保護關稅、爲替管
理、輸出入割當制等を実施して國內産業の沈
滞を防止する手段をとつた。同時に政府は金
融機關の一大整理を斷行して金融界を國家の
管理下に置き、半官的金融機關(I. M. I.,
I. R. I. 等)を設立して倒壊に瀕せる諸企
業を國家資本によつて救済した。かくて恐慌
を通じて政府の經濟各部門に對する支配權は
著しく擴大強化せられ、政府は經濟界をリ
ドして大規模な公共事業や軍備擴張による恐
慌克服を試みるに至つた。恐慌による國內諸
矛盾の激化は亦イタリアを驅つてエチオピア
遠征に赴かしめ、その結果國際聯盟の經濟制
裁はさらだに窮迫せるイタリア經濟に更に
一層の打撃を與へた。
併し經濟制裁はムツソリーニによれば「イ
タリアの歴史に新紀元を劃したものであり、
これを契機としてイタリアの經濟機構は戰時

體制への移行を餘儀なくされ、ファシスト經
濟政策の目標に一大轉換が齎されるに至つ
た。その基本的特徴はアウタルキー政策の強
行に求めることが出来る。即ち經濟制裁は、
原料の大部分を海外に依存するイタリアに、
自給自足の要を痛感せしめたのであるが、更
に國際情勢の悪化に對應すべき國防經濟確立
の要請は一層軍需資源の確保を當面の最大急
務たらしめた。かくて各種の代用資源の利
用、國內資源の開發が採算を度外視して強行
せられ、またエチオピアその他植民地の資源
開發が大々的に計畫せられ實行に移された。
アウタルキー政策は同時に巨額の政府支出を
伴つて、國家資本と經濟諸部門の抱合を一層
緊密ならしめた。既に恐慌時代を通じて著
しく進展した國家の經濟干渉は一段と強化せら
れ、爲替・貿易は完全に國家の管理に歸し、
造船、石油、石炭等の如き重要企業は國家の
獨占するところとなつた。その他幾多の國防
上重要な諸要素に於ても、或は國家の資本的
統制が行はれ、或は半官的的特殊會社が經營に
當つてゐる。かくて從來の組合中心主義的な
經濟統制は今や國家の直接的統制にとつて代
はられ、イタリア經濟は著しく國家資本主義
へ變貌するに至つた。この結果は經濟統制に
於ける官僚的指導的役割を大ならしめる所以
で、一九三八年下院の廢止に代つて、新たに
ファシスト黨の代表者及び組合協同體の代表
者を以て構成されるファツシヨ組合院が創設
されたことは、かかる事情を物語るものであ
ると解される。一方アウタルキー及び軍備擴
充によつて増大する支出は國家財政を壓迫

し、巨額の公債發行と租稅の新設、増徴を不
可避ならしめた。一九三四年から三八年最初
の九ヶ月までに財産稅、資本稅或は公債の借
換へ等によつて政府が獲得した金額は三六〇
億リレに達し、これが通貨膨張や物價騰貴を
通じてインフレーションの懸念を濃厚ならし
めてゐることは顯著な事實である。この結果
公債消化、物價及び貨銀統制等の問題が重大
化し、イタリア統制經濟はますます擴大綜合
化の方向を辿つてゐる。要するにイタリアは
エチオピア戰爭以來、國を擧げて戰時經濟へ
の再編成を強行してきた。イタリアに於て
「平時經濟」と戰時經濟を區別することは無意
味である」とは第二次歐洲戰爭勃發直後の一
九三九年一月、ムツソリーニの言つた言葉
である。
2 統制經濟 イタリアの經濟統制は恐慌
時代を通じて進展し、伊エ戰を契機として飛
躍的に強化せられ、以來着々と戰時態勢の下
に編成されてきた。戰爭勃發の直後、イタリ
ア經濟統制の當面の目標として政府當局の公
示する諸點は次の如くである。一は消費の制
限及び節約、二は廢品の減少並にその徹底的
回收、三は代用資材の利用、四はストックの
強化。以上の線に沿ひ戰時經濟措置は數々の
規定によつて整備された。その主眼は要する
にこの國の工業的自給といふ點にあるが、こ
れがためには物資の面からのみならず、資金
の側からの統制も必要であり、また特に資材
不足に關聯して價格騰貴の傾向が著しいこと
から物價對策は當面の重要問題となりつつあ
る。

【物價統制】 イタリアの物價政策は急激な
増稅と他方におけるアウタルキー政策とに
よつて著しく複雑化され、困難化されてゐ
る。一九四〇年一月新たに物價、コスト、貨
銀相互の均衡の全面的檢討を旨して廣汎な
る權限を有する關係各省の委員會が設けら
れ、三月九日の價格停止令によつて一切の物
價は翌年三月末まで釘付けにされることとな
つたが、四月六月參議院を決議するや、右停止
令は戰爭終了後まで延長されるに至つた。併
しこれで問題が解決せられた譯では決して無
い。戰爭の繼續と共に原價の昂騰は必至であ
り、これが對策として、一般的な價格停止よ
りも各條件の調和に重點を置かんとしてゐ
る。
最近作成されるに至つた多數農産物・工業
製品の棚卸規定と其他商品に對する原價統制
を以て問題解決の鍵となしてゐることはこれ
を示唆するものとして注目される。
【割當制】 以上物價政策の進展とともに、
インフレーション防止の一手段として重要な
役割を演ずるに至つたのは食糧品の割當制と
生活必需品の規格化である。食糧品割當制の
實施準備は既に三九年獨逸戰開始前に着手せ
られ屠肉業者、小賣商および卸賣商にそれぞ
れの組合を作らしめ、共同販賣及び共同購入
を企圖してゐる。食糧品割當符制は一九四
〇年二月から砂糖、コーヒーに對して實施せ
られ、一〇月にはバター其他油脂、一二月に
はミエストラ、パン粉、米等に實施された。
肉類、上級麵類、菓子、水の販賣は一週三日
に制限されてゐる(間接的割當制)。生活必需

品の規格化としては、四〇年五月の石鹼製造販賣規則があげられるが、靴その他皮革製品の規格化が準備されてをり、同時にその切符制が考慮されてゐるといはれる。

【物資統制】右の割當制に並んで重要物資の市場 制はその戦時動員策が講ぜられるに至り、一九四〇年に入つて一聯の経済立法により、殆ど完璧の進展を示した。農業方面では家畜飼料の市場統制及貯蔵(二月)、油脂の現在高申告義務(五月)等が規定せられ、一九三一年以来主要穀物に對して實施されてきたアマツシ(American)組織、即ち強制的買上貯蔵及管理の制度は八月以降燕麦にも適用せられることとなつた。同様にこの制度は家畜類にも擴張せられ、牛類(七月)及び豚類(九月)の自由處分が禁止されるに至つた。最も注目すべきことは四〇年一月二月二八日の「戦時に於ける糧秣供給、食糧品配給並に消費取締及びその關係服務規律」を公布し、食糧品全部の管理を農務省に統括したことがある。これにより總ての食糧品は生産から消費に至るまで、軍需民需たるを問はず配給統制が農務省の下に一元的に實施されるに至り、その結果統一的消費規正が可能となつた。鑛工業方面の措置は極めて廣汎である。アウタルキー確立の趣旨から鐵鋼、石灰、アルミニウム等の大増産計畫が一九四〇年初に樹立されたが、これと並んでその消費の分野に於ても強力な制限措置が講ぜられた。その他銅製品引渡に關する法令(八月)、鐵屑現在高の申告義務に關する法令(五月)、鐵屑回收組織の整備、鐵屑の鐵鋼工場への割當(六月)

固體及び液體燃料現在高の申告義務(七月)、罐詰用ブリキの使用制限(四月)、暖房用電氣ガス、ストーブの新設禁止等各種の措置が實施されてゐる。織維工業方面に於ては羊毛及棉花の現在高申告義務(五月)、國民服の製造準備、國內綿製品へ國産織維の強制混入等があげられる。

【資金統制】新規の投資は國防上重要な企業の場合にのみ許可せられる状態にある。イタリヤの如く游休設備の殆どなく、労働豫備軍は家内工業的低能率の就業の形で存在する條件の下では、大規模な信用創設による資金供與は不可能である。従つて資金統制の基調は、貯蓄預金は直接の財政的需要のために残り、生擔資金は先づ企業自身の自己金融を以て充當し、資本市場の供與資金は國債消化と企業の債券發行とに折半するといふことが根本方針とされてきた。併し自己資金のみにて間に合はない場合直接國家の資金供與や特定會社から資金供與がなされる。I・R・I、I・M・I等は其の供與機關である。

No. 3 最近の歳出入 (單位10億リ)

Table with 5 columns: Year (1937, 1938, 1939, 1940), Income (歳入), Expenditure (歳出), Difference (差引), Special Expenditure (特別支出), and Balance (差引赤字). Values are in billions of Lira.

資料: E. 1940. 4. 備考: △印は1939年5月23日歳相の行つた修正推定數字。

の増加を見てゐる。かくて莫大な額に達する赤字を補填する方法として公債消化の問題が極めて重大性を帯びてきた。而して現在イタリヤは赤字補填のため主として流動公債の發行に依存し、且つ殆ど完全に強制消化の方法を採つてゐることは重要視される。長期の確定公債の消化方法としては

(一) 不動産所有者に對して五分利公債を強制的に保有せしめる(一九三六年一月公布の所謂ノン・リカレント・タックス)ことによつて約五七億リ (二) 一九三五年九月、三分利半償還公債を舊五分利統一公債に借替へることによつて五八億八千萬リレの現金を得たほか、新規應募額約九億リ (三) 民間の外貨全買上の際、代金支拂に代えて四分利九ヶ年期限の國庫證券を交付し、これによつて約二五億リ

No. 4 1940/41年度豫算 (單位100萬リ)

Table with 3 columns: Category (歳入, 歳出), 40年度豫算, and 對前年増. It details various income and expenditure items.

資料: A. G. 1941.

3 税制 イタリヤ税制の基礎的特色は直接税よりも間接税が中心となつてゐることである。一九三九一四〇年度税収に於ける兩者の比は直接税三〇・四、間接税六九・六である。この特色はイタリヤ經濟力の貧弱を反映し、國民大衆の直接負擔加重となるのみならず、物價昂騰に直接關係するものにして、増徴の技術的困難を加重してゐる。

4 國債 ファツシヨ政權確立後、内國債總額は一九二二年六月末の九二八億リレから二八年六月末には八六四億リレにまで減少した。然るにその後は再び増勢に轉じ、殊に世界恐慌の影響を受けて歳計が赤字を示すに伴ひ、國債も亦漸増しつゝあつたところ、尨大な東阿遠征費を支辨するため急激な國債増發となり一九三五年九月末には内國債總額は一、〇七〇億リレの多額を算するに至つた。その後内國債の額については統計の發表がないため明瞭でないが、一般會計における國債費の急激な増大から推してなほ一層の膨張が考へられる。國債の膨張中注目すべきは流動公債の飛躍的増加である。

C 幣 制

1 概観 一八六二年八月の法律によりフランスの貨幣制度に準據し、「フラン」貨と同様に純分千分の九百とする金貨、並に五リラ銀貨を法貨とし、純分千分の八三五とする小額銀貨を定めるに至つた。しかるに第一次大戦後、世界的な通貨の混乱に際會し、リラ價も低下したので一九二七年二月二日の勅令を以つて、平價切下げが行はれた。即ち、リラ貨は従来の三分の一に切り下げられ、その結果、金輸出及び金兌換が解禁されるに至つた。その後、一九三一年の經濟恐慌の波に襲はれ、遂にイギリスが先づ第一に金本位制を停止するに及び、イタリアもこの影響を免れることを得ず、金本位制停止の方策には出でざりしも爾來嚴重なる爲替管理制を採用し、僅かに金本位制離脱を免れてゐる状態であつた。一九三六年九月二日フランスがフランの平價切下げを行ふや、イタリアも直にこれに倣つて同年一〇月五日平價切下げを行ひ、リラ紙幣は一ポンドに對し約九三リラ、一ドルに對し一九九リラに安定せしめられた。この新リラの含む金純分は〇・〇四六七グラムで、舊平價に對し四割九厘の切下げに當る。

2 貨幣の種類 一リラ(Lira)は一〇〇センチシミ(Centesimi)である。貨幣は金貨では二〇リラ、五〇リラ、一〇〇リラの三種、銀貨では五リラ、一〇リラ、二〇リラの三種、ニッケル貨では二〇センチシミ、五〇センチシミ、一リラ、二リラの四種、青銅貨

No. 5 ニューヨーク對伊爲替相場 (1ドルにつきリラ)

Table with columns for years (1937, 1938, 1939, 1940) and average exchange rates (平均) ranging from 5.0470 to 5.2607.

では五センチシミ、一〇センチシミの二種である。また銀行券は五〇リラ、一〇〇リラ、五〇〇リラ、一、〇〇〇リラの四種が流通してゐる。尙伊エ戦争以來一〇リラの政府紙幣が流通してゐる。この一〇リラ紙幣は一〇リラ及び二〇リラ銀貨の回収に代つて發行されたもので、最高額一三億五千萬リラまで發行出来ることになつてをり、一九三八年二月三十一日までは全部流通界から引揚げられる管である。銀行券並びに政府紙幣は金または外國貨幣と交換することが出来ず、また輸出も禁止されてゐる。エチオピア征服に伴つて新帝國の鑄貨が一九三六年九月三日及び一九三七年九月二三日の兩勅令によつて發行された。新帝國の鑄貨は右に述べたと同一名目を有する青銅貨、ニッケル貨及び銀貨より成り、外に五〇リラ及び一〇〇リラの金貨がある。イタリアの紙幣發行高は國際聯盟統計報によつて、一九三四年末の一三・四五億リラまで、漸減の一途を辿つて一三・四億七千七百萬リラに急激に膨張して、一九三七年末には一七四・六八億リラ、一九三九年末には二四四・三二億リラに達した。

D 金 融

1 概観 イタリアは一九三五年一月一八日以來國際聯盟の經濟制裁をうけ、東阿遠征費を始め他の經費を賄はんとし、東阿外債募集が全然不可能に陥つたので巨額の經費はすべて國內の資金を以て充當せねばならなかつた。然しイタリアの蓄積資本は由來甚しく貧弱であつたため、法定準備率の停止、金買上値の引上にも拘らず金保有高は急激に減少した。これに對應する手段として政府は民間資金の動員、在外債權の收用、外國證券の收用、對外クレジットの強制買上、イタリア通貨の國外持出制限、紙幣の輸出禁止、金の固有等を連續的に強行し、一方對内的には金融機關の改革に乗り出した。即ち、恐慌時代に危殆に瀕せる金融關係を救済する爲に一九三一年に創設された政府貸付機關たるイタリア産業復興協會(I. R. I.)、イタリア信用協會(I. M. I.)はイタリア諸銀行に莫大なる貸付を行つたが、この過程を経て銀行は實質的に政府の獨占するところとなつた。かくて政府は一九三六年三月銀行法の大改正を行ひ、その結果イタリア銀行は個人の所有を禁止され、自治的構成は停止され、同行株式は貯蓄銀行公共銀行(政府によつて完全に統制されてゐる銀行)、保險會社の所有するところとなつた。また一切の信用操作は「貯蓄保護、信用實行検査委員會」をして統制せしめ、ムツソリーニ首相の統轄下に置かれた。金融當局は新規の分類を行ひ、ナポリ銀行、全國労働銀行、トリノ・サンタバウロ協

No. 6 中央銀行勘定 (單位100萬リレ)

Table with columns for years (1937年末, 1938年末, 1939年末) and categories (紙幣流通高, 金外保國計, 準備率, 割引高).

會を「公共機關」とし、且つ三大商業銀行即ち、イタリア商業銀行、イタリア信用銀行、ローマ銀行は政府の完全な統制下に置かれた。

2 銀行 イタリア銀行の金保有高は漸減の一路を辿り一九四〇年三月二〇日現在に於て二、六〇二億リレとなつた。一九三四年まで一三一億リレを示した紙幣流通高は一九三五年に至りてりら貨再評價後一六三億リレと急増、その後國家の支出増大に伴つて更に増勢を續け、一九三九年末には二四、四三二億リレに達した(この數字には金額不明の一〇リラ政府紙幣流通高を含んでゐない)。然るに一九四〇年三月二〇日現在の紙幣流通高は二二、六四三億リレに減少したがこれは主

として最近發行された約一四、〇〇〇百萬リレの大藏省證券に負ふとされてゐる。貸付及割引高の動きも亦政府の經濟的活動を反映し、即ち貸付高の減少は一九三六年の不動産所有者に對する強制公債發行に歸せられ、割引高の増大は全く政府の農産物買上政策や短期國庫證券に對する割引等によるとされる。

中央銀行以外の信用機關は次の六種に分れる。先づ公法的信用機關と呼ばれるものはナポリ銀行、シチリア銀行等五行である。次は國民銀行で、現在はミランに在るイタリア商業銀行、ゼノアに在るイタリア信用銀行及びローマ銀行がこれに屬する。第三は普通銀行並びに信用機關でこの中には有限責任の協同組合銀行も含まれる。第四は貯蓄銀行、第五は動産を擔保として貸付を行ふ施設、第六は組合員が無責任を有する協同組合施設として設立された農業銀行である。而して一九三七年末における二、七〇七の信用機關の總預金額は三八、〇五四百萬リレで、その資本金及び諸積立金は八、〇八七百萬リレである。

3 保險 一九三三年四月二九日の勅令によつて生命保險事業は國營保險局にその他政府の免許を受けた内外の保險機關によつて營まれてゐる。國營保險局の支店はイタリア各州、植民地及び外國に在る。一九三八年における同局の保險契約高は二、五七七、〇〇〇件に上り、その中保險金額は一七、三七四、二〇〇千リレ、終身年金は八五、六〇〇千リレに達した。

4 郵便貯金 イタリアの郵便貯金は世界的不況の中にも漸次増加して一九三四年末に

No. 7 郵便貯金 (單位100萬リレ)

Table with columns for years (1929年末, 34, 35, 36, 37, 38, 39.1月, 2, 3, 4, 5) and amounts (金額) ranging from 11,644 to 29,862.

資料:— M. B. S.

E 生 産

1 概観 イタリアは他の列強に比して國民經濟的發展が著しく立遅れたためその産業の構成に於ても農業を主とし、工業は一般の後進國がさうであつた如く、纖維・食糧等を主とする輕工業に依存してゐた。しかも、この國は國土狹小、資源貧弱といふ不利な自然的條件の下に置かれ、そのため農業を主要産業としながら食糧の自給自足が出来ず、また國內工業原料が著しく貧弱なため工業的發展も甚だ困難であつた。殊に鐵・石炭の如き重要原料の缺乏はこの國の重工業的發展に對する一大障礙となつた。ファシスト政府は夙に食糧増産運動を開始し所謂「小麥戰爭」や「完全閉鎖」等によつて相當の成果を收めた(尤もこのため他の穀物や畜産の減少を招來することが屢々あつたが)、工業生産力の擴充

はフアシスト・アウタルキ政策の最も重要な地位を占めてゐる。このため政權獲得の初期から種々の保護助長策が施されてゐたが、殊に伊エ戦争とこれに續く軍備擴張時代に於て著しく促進せしめられた。これは主として従來の輕工業中心から重・化學工業中心への轉換に努力が集中された。その對策としては、主要産業部門に對する國家の廣汎な直接的參與によつて行はれた。國家は重工業、造船業、大銀行等に参加し、これら企業は政府の持株は恐慌期中に政府の手に移つた他の企業の手と同様に工業再建機關(I. R. I.)の手に總括され、これによる企業統制が行はれてゐる。(企業整理の過程に於て、政府の手に入つた株式のうち、直接軍事的意義を有しないものは反對に個人資本の手に賣却された。而して前述の如く工業生産力の發展に對つて最大の障礙は國內原料の不足である。それ故アウタルキ政策は先づ原料の自給に努力を拂はねばならない。かくて代用原料の使用と並んで、國內及び植民地の鑛産資源の開発探査が熱心に行はれた。この結果工業、特に重・化學工業は目覺しい躍進を續け、従來の輕工業に對して重・化學工業部門の比重は著しく高まつた。尤もイタリヤの場合アウタルキは國內生産不可能な物資の輸入能力の強化の點からも考慮すべきであり、この點我國の場合と同じく輸出産業(主として輕工業製品)の振興も同時に考慮されねばならない。斯かる巨大な任務を遂行するためアウタルキ最高委員會が組織されてゐる。なほイタリヤは參戰前、戰略的原料及び食

No. 8 工業生産指數

(1928年=100)

	總指數	纖維工業	冶金及 金屬工業	製紙工業	建築工業	動力工業	鑛山業	化學工業
1929年	109.2	107.7	104.6	106.8	139.6	106.5	—	—
1934年	87.3	73.6	76.7	120.5	136.0	125.5	—	—
1937年	108.7	83.7	130.1	150.0	95.9	154.6	127.8	133.2
1938年	107.5	83.0	133.2	142.6	90.6	157.3	135.0	129.9
1939年	123.1	88.6	147.8	157.2	121.2	176.8	142.3	162.5

資料:— C. S. I. 1940.

糧のストック増大のため大なる努力を拂つた。この結果英佛紙はイタリヤのストックが尤大な量に達してゐると報じ、これは四〇年度一杯の需要のみならず、四一年の大部分の需要を充足するに足ると傳へられてゐたが、參戰後殊に四〇年末頃には英米紙にはイタリヤの原料の枯涸が強調されてゐる。

2 工業 イタリヤの工業は第一次大戦によつて漸くその發展の端緒を得、その後世界恐慌につづく再軍備擴張時代の進行と共に工業活動は活潑となり、特に軍需工業は熱心な再編成の下に著しい進歩をとげた。一九三九年の工業生産總指數(一九二八年=100)は別表(No. 8)の示す如く二三・一に達し、前年度に比して一四%増加した。イタリヤ工業組合長官の説明によれば、一九三四年より三八年までの工業生産指數は三五%の上昇を示し、そのうち建築事業が一四%低下し、絹工業は不動のまゝであるに對し、機械工業は八八%、化學工業は五〇%、鑛山業は四〇%、動力工業は三五%、製紙工業は三四%、金屬工業は二四%、纖維工業は一六%の上昇率を示した。かくの如き軍需産業の發展は一九三九年に於て更に顯著であり、この結果イタリヤの工業各部門の比重は従來の輕工業中心から重・化學工業中心へ移行しつゝある。

重工業發展の指標を各種生産物生産高に於て示すと別表(No. 9)の通りである。一方主として民需品生産部門たる輕工業の衰微を示すと次の如くである。即ち綿絲生産高は一九二九年の二二〇(單位一、〇〇〇噸、以下同じ)から一九三八年の一七八八、オリヅ油生産

No. 9 主要工業原料生産高 (單位1,000噸)

	1929年	1934年	1938年
力炭	9,185	11,884	15,108
塊塊	1,005	783	2,353
ルミ	678	521	863
ニユ	2,122	1,832	2,307
ム	7.3	12.8	25.8
鉛	15.8	24.9	23.7
酸ト維	23	45	48
織シ	1,308	1,239	1,721
メ造	97	4,092	4,587
セ人	31	51	127
ベ	21	126	415

資料:— I. I. F. 1939, 企劃。

備考:— * 單位百萬キロワット、** 輸入石油より精鍊せるもの。

高は同期間に三一から一六五へ、砂糖生産高は四〇五から三二一へ、煙草製品は三三から三〇へとそれぞれ減少してゐる。

電力生産は三九年度一七〇億キロワット時で四〇年度には一九〇億キロワットに上る豫定である。鑛塊産高は層鐵法から鑛石法に移行を試みてゐる爲三九年度には稍々減少したが四〇年度には五〇〇萬噸に達する筈である。アルミニウムは三九年度の三五、〇〇〇噸に對し四〇年度は四〇、〇〇〇噸であつた。セルロース生産高は四〇年度は三九年度の三倍となり、一〇萬噸に達した。各種人造纖維の生産高は三九年度には一四、〇〇〇萬噸を越え、四〇年には一五、〇〇〇—一六、〇〇〇萬噸に達する豫定である。かくの如く原料生産

No. 10 原鑛採掘高の發展 (單位1,000噸)

	1939年 1—7月	1940年 1—7月	増産率
石炭	1,040	1,211	16.5%
無煙炭	53.5	88.0	64.5%
褐炭	532.6	1,009.2	89.5%
鐵鑛石	493.4	650.9	32.5%
黃鐵鑛	561.4	604.2	7.6%
水銀	103.5	147.9	42.9%
ボーキサイド	193.8	313.9	49.5%

資料:— E. 1941. 3.

の増大と軍需工場的發展にも拘らず、幾多の重要部門は戰時需要のみならず、平時國內需要からも相當に立後れてゐる(後述参照)。

3 鑛業 イタリヤは重要鑛物資源に恵まれず、殊に石炭、鐵、石油が極めて貧弱なために工業の發展が著しく阻害されてゐることは前述した。國內に於て完全、若くはそれに近い需要を充足するものは硫黃(世界第二位)、鉛、水銀(世界第一位)、ボーキサイド、黃鐵鑛位のものである。また大理石の産出が豊富である事はこの國の美術及び建築の發達に偉大な貢獻をなした。鑛産物の缺乏は戰時に於ける軍需工業の基礎を甚だ脆弱ならしめる所以であり、このため増産に必死の努力が拂はれてゐることは別表(No. 10)によつて明らかである。それにも拘らず幾多の重要工業の需要を充足するためには尙大きな懸隔がある。即ち石炭は一九四〇年の生産高約五〇〇萬噸(このうち工業生産に利用し得るものは、その二一%にすぎない)であるに對し需要高は最低一五〇〇萬噸と見積られる。鐵鑛輸入高は國內産高の約三分の一に達し、この外層鐵輸入高は鑛塊生産高の二五%を占めてゐる。石油に至つては更に貧弱である。イタリヤの平時石油需要量は約三三〇萬噸であるが、これに對して一九三八年の生産高は國內産一・三萬噸、アルバニア一・二萬噸にすぎない。銅産高は三九年度に於て需要高四萬噸に對し僅か四、七〇噸内外であつた。

4 農業 農業はイタリヤの産業中最も主要な地位を占めてゐる。全土の七割は農業地で全人口の四割は農民である。一九三八年度の耕地面積は七〇、五四八、一三一エーカーで、森林面積は一四、四四七、五七九エーカー、牧草地面積は二一、九八九エーカーである。この國の自然は農業に適してゐるにも拘らず國土狹少、人口稠密等のため食糧の自給が出来なかつた。國民の常食たる小麦は一九二五年以後の所謂小麦闘争(Battaglia dei Grani)と稱される小麦増産運動や、完全開墾(Bonifica integrale)の結果相當な成績を収め、一九二一—二五年平均に比し一九三三—三七年平均は約三四・六%の増産を見た。併しこの反面小麦以外の若干の農作物及び畜産は屢々減産の傾向を見せた。注意すべきはこれらの増産運動が奨励金交付を支柱として行はれた結

No. 13 卸賣物價指數 (1929年=100)

Table with 2 columns: Year (年), Index (指數). Rows for 1934-1939 and months 1-7.

資料:—S. Y. B. L. N. 1940

たものである。組合による物價統制は或種の分野では成功した。それまで絶えず上昇を示して来た農産物の價格は一定され、一九四〇年末には家賃、地代も制限を受けるに至り、運輸並に公共事業は國營となり、地方官廳またその賦課金の制限を餘儀なくされるに至つた。又小賣物價の統制に關し、諸種の條例が制定せられ、臨時當局から賃銀引上の命令も出たがその額は一般に僅少であつた。併し大體に於て組合による統制は失敗に歸した。特に輸出業者は輸出貿易に於て補助金によつて償ふことを得なかつた損失を國內消費者に對して物價を引上げることによつて償つた。また貿易統制の結果、あらゆる障害を乗り越えて入つて来た輸入品は業者によつて闇値で販賣される機會が多かつた。かくて組合の統制にも拘らず物價は漸騰し、一九三九年のリラ下落以來はじめて一般的値上を命ずるの必要を生じた。その値上は一割とされたが、一九二九年を基準とする生計費指數は、一九三四年に於ける七四・四より戰爭勃發時には一〇三・九と約三割上昇し、全價值水準は約五割上昇してゐる。しかも戰爭後更に半歳にして物價

は更に二割騰貴したと云はれる。この様な發展の結果イタリアの物價對策は新段階に入り、一九四〇年初頭、新たに物價、コスト、賃銀相互の均衡の全面的檢討を目指して廣汎な權限を有する關係各省の委員會が組合省内に設置された。委員長は組合大臣で各委員は各經濟省首腦部、軍需品製造監理官、各雇傭主組合及各労働者組合の各組合長から成り、價格統制が組合の手から政府の手に移つたことを示してゐる。

G 外國貿易

1 概観 イタリアの外國貿易は好況時代に輸入二百億リラ、輸出一五〇億リラを突破してゐた。然し世界經濟恐慌により輸出入とも大激減して、一九三三年には輸入七三億リラ、輸出五九億リラに減退した。またイタリアの貿易の特徴は年々多額の輸入超過を示してゐることである。而して恐慌以前においては移民送金、海運収入、觀光收入等によつてこの入超は償はれて来たのであるが、恐慌の進行とともにこれらの収入が激減したため、イタリアの國際收支は急激に悪化し、金準備、外國爲替の著減となつた。恐慌以來

下落を辿るリラ貨を安定せしめ、併せて貿易收支の均衡を圖り、年々莫大な輸入超過を減少せしめる爲貿易統制は不可避となつた。かくて政府は輸入防遏のため屢々關稅引上を決定し、更に一九三三年九月二八日には爲替ダンピング税を設定する權限を政府に附與し、次いで一九三四年に入り政府は輸入禁止制當制を採用するに至つた。しかも尙貿易状況悪化の大勢を阻止するを得ず、これがため更に一九三五年二月一九日以降殆んど全輸入品に對して大藏省の特許を必要とする旨公布し、緊急の必要に應じ制限せんとする對策に出た。併し資源の乏しいイタリアは軍需關係産業の原料を中心に多額の原料輸入の已むなき一方、輸出は織維工業品並に農産物製品を主としたため、低賃銀國との競走に陥り、その發展は期待されなかつた。かくのごとく對外貿易が悲觀すべき状態にあつたとき、イタリアは一九三五年一〇月對英戰爭に突入し、ために同年一月國際聯盟五十餘ヶ國の經濟制裁をうけ、貿易の受けた打撃は甚大であつた。經濟制裁下におけるイタリアは依然として原料品輸入の必要に迫られたため、その減少は到底望めなかつた一方では、輸出は僅か塊、洪、獨等少數國に限られたので勢ひその不振を免れなかつた。これがためイタリアは内には資源の一段の活用、輸入原料代用品の増産に努力を傾ける一方、對外的には貿易相手國として經濟制裁國から制裁非加盟國へと重點の移行をはかつた。また貿易均衡を維持するため輸入を輸出の高さにまで抑壓する必要上貿易、爲替の双方に互つて各種の統制策

No. 11 主要鑛產物 (單位 噸)

Table with 3 columns: Year (1937年, 1938年), Mineral Name (e.g., 鐵, 錫, 鉛), and Quantity.

資料:—S. Y. B. L. N. 1940.

果、從來の土地關係に何等の變化を與へず、むしろ完全な資本的發展を阻害したことである。一九四〇年度の小麦收穫高は七、一〇〇萬キントルで、平年作以下であつた。この不足分は玉蜀黍の非常な豊作によつて國民の營養問題を補ふことが出来る(玉蜀黍をパンに混入して)。この外、米、馬鈴薯は前年に比較して豊作であり、甜菜も豊富であつたので、砂糖生産高は増加する見込みである。一方春季に於ける天氣不良のため野菜、果實類は大打撃を受けた。

イタリアの食糧バランス上の最大の弱點は動物性脂肪及び肉の不足である。これら食品の消費規定が戰爭勃發するや最先に實施されたのはこの理由によるものである。【畜産】一九三八年三月三十一日現在の家畜數は馬七九一、二〇頭、驢馬七九六、三九〇頭である。

No. 12 主要農産物生産高 (單位 百萬ドツペルトン)

Table with 10 columns: Crop (e.g., 小麦, 玉蜀黍, 米), and Production (1936年, 1937年, 1938年, 1939年, 1940年).

備考:— * 單位百萬ヘクトリツトル。(1)は概數。

にイタリアの價格水準は徐々にあつたが確實な上昇を示してゐた。これは主としてアウタルキー政策に歸因するが、また財政的逼迫と急激な増税とがその上昇に更に拍車をかけたのである。アウタルキー生産の物資は徹底的な國家保護(關稅、配當保證、獎勵金等)の下にコスト採算上必要なだけの高價格を容認されてゐる。かくて一九三八年末まで續いた國際物價の低調も國內物價水準の上昇を阻止することが出来ず、従つて國家としては物價及び賃銀の兩方面に互つて廣範圍な統制を行ふ必要を生じた。イタリアが本格的物價統制に乗り出したのは一九三五年三月フアシスト黨常設物價統制委員會が設置されてからで、伊エ戰當時經濟的包圍攻撃に抗して、當時まで同業組合の聯絡委員會に委ねられてゐた物價政策は黨自身の手に移された。その目的は生計費の不當な上昇を抑止し、國內物價の激變を防止することであつた。この努力は多量に消費される國家的重要物資に對して集中され、政策の基調は今日も變らないが、物價問題がいよいよ複雑化するにつれて、それは到底黨の物價統制委員會の手に負へなくなつたので、一九三七年四月、物價統制は再び組合協同體(中央協同委員會)の手に移された。この中央協同委員會は協同組合全國評議會を母體とし、組合大臣を會長に仰ぎ、二二の組合協同體代表者と政府官吏とによつて構成され

F 物價

1 概観 今次歐洲大戰勃發前の數年間にイタリアの價格水準は徐々にあつたが確實な上昇を示してゐた。これは主としてアウタルキー政策に歸因するが、また財政的逼迫と急激な増税とがその上昇に更に拍車をかけたのである。アウタルキー生産の物資は徹底的な國家保護(關稅、配當保證、獎勵金等)の下にコスト採算上必要なだけの高價格を容認されてゐる。かくて一九三八年末まで續いた國際物價の低調も國內物價水準の上昇を阻止することが出来ず、従つて國家としては物價及び賃銀の兩方面に互つて廣範圍な統制を行ふ必要を生じた。イタリアが本格的物價統制に乗り出したのは一九三五年三月フアシスト黨常設物價統制委員會が設置されてからで、伊エ戰當時經濟的包圍攻撃に抗して、當時まで同業組合の聯絡委員會に委ねられてゐた物價政策は黨自身の手に移された。その目的は生計費の不當な上昇を抑止し、國內物價の激變を防止することであつた。この努力は多量に消費される國家的重要物資に對して集中され、政策の基調は今日も變らないが、物價問題がいよいよ複雑化するにつれて、それは到底黨の物價統制委員會の手に負へなくなつたので、一九三七年四月、物價統制は再び組合協同體(中央協同委員會)の手に移された。この中央協同委員會は協同組合全國評議會を母體とし、組合大臣を會長に仰ぎ、二二の組合協同體代表者と政府官吏とによつて構成され

No. 17 1938 年度主要國別貿易高 (單位: 100 萬リレ)

Table with 4 columns: Country, Import, Export, and Balance. Rows include USA, UK, France, Germany, Italy, etc.

資料: L.N.I.T. 1939

かくて戦争はイタリアをして原料獲得貯蔵の對策に出でしめた。大戦勃發の最初の六ヶ月間に於ける舊蘭印よりの錫輸入は前年同期の一四三應に對し、一三三應であつた。ゴムの輸入は戦争當初は減退したが、四〇年一月二月に於ては三九年同期の三倍に達した。石油の輸入は三八年の一、一五五千應に對し、一九三九年一月七月のみで一、四七五千應であつた。

鐵道によるものは僅々三七%に過ぎない。かくてドイツ側資料によれば、イタリアは參戰と共に原料輸入は六〇%、半製品輸入は三五%、食料品輸入は三〇%方の減退を示した。戦時下に於けるイタリア貿易はこの減少をドイッ、東南歐諸國及びドイツ占領諸國との貿易擴張によつて補はなければならぬ。併しこの貿易相手國の轉換は既に戦前から開始されてゐる。別表に見る如く、最近一〇年間にイタリア貿易に於けるドイッ及び東南歐諸國の比率は、輸入に於ては二・六%から三五・八%へ、輸出に於ては二二・九%から二七・三%へと増加した。然るに米、英、佛の比率は、輸入は三五・九%から一九・九%へ、輸出は三〇・三%から一七・八%へと減少してゐる。イタリアにとつて決定的意義を持つてゐるのは全面的對獨經濟強調である。四〇年度の獨伊貿易總額は三九年度に比し五〇%の増大で、これは主としてドイッの對伊石炭供給の増大並に一般的物價昂騰によつてゐる。ドイッは毎月一〇〇萬應の石炭を供給するほか、戦前に於ては機械、器具、鐵、鋼、鉛、金屬製品、セロロイズ、各種電氣器具、加里肥料その他數多の商品の對伊供給國であつた。一方イタリアの對獨供給物資は蔬菜、果實、米、葡萄、大麻、絹絲、人絹、水銀、硫黃等である。一九三八年度にドイッはイタリア全農産物輸出の五五%を買占めたが、四〇年一月に締結された獨伊農業協定はこの方向に劃期的な巨歩を踏み出すものと解される。イタリアの東南歐諸國からの輸入は三九年一月七月に約三七%増加したが、これは

主としてルーマニア、ハンガリー及びユーゴスラヴィアからの輸入の増大により、トルコ、ブルガリア、ギリシアからの輸入は若干減少した。四〇年一月八月のユーゴの對伊輸出額は六八五萬デナールと推定され又ユーゴの輸入中に於けるイタリアの比重は三九年九月の一・七五%から四〇年六月の一四・二%に高まつた。イタリアの對ルーマニア輸出は四〇年後期に於て、一四%増加した。ルーマニア石油の四〇年度中の對伊供給高は月約三萬應であつた。ブルガリアの對外貿易に於けるイタリアの比重は三九年度の六・六%に對し四〇年度は一四%に達した。三九年度に於けるイタリアの對ハンガリー輸出は三八年に比して三五%の増加を示し、ハンガリーよりの輸入は一〇%の増加である。四〇年前期に於ては輸入は一層増大し、輸出は若干減少した。

H 交通運輸

1 概観 イタリアの自然的條件は古くより國內交通發達を阻害してゐることが甚しい。即ち、北方にはアルプス山脈が蟠り、半島の中央部をアペニン山脈が縦走してシシリ島に及んで居り、平野と云つては僅かに北イタリアのポー河流域とローマ附近にあるのみで、他は多く山地から成る。従つてその交通網が中央ヨーロッパ先進諸國より著しく劣

を一層強化した。既に一九三五年一月一日には本格的戰時貿易管理令を公布し同月八日より實施して聯盟の經濟制裁に對抗したが、更に一九三六年一月には貿易及び爲替管理令を新設して貿易並に爲替の一元的統制を行つた。經濟制裁が一九三六年七月一日撤廢されるやイタリアは各國との間に通商協定を次ぎ次ぎと締結したが、こゝにおいてイタリアのつた政策は最惠國條款主義を捨て、嚴密な互惠主義への轉向であつた。

第二次歐洲大戰はイタリアに對して新情勢に對應する外國貿易の再編成なる困難な問題を提起した。その一は原料供給の確保の問題でその二は海上封鎖に對處すべき貿易相手國の轉換の問題である。前者については非交戰時代原料輸入の飛躍的増大によつて將來の輸入減退に備へるの策に出た(後述主要輸出入品の項參照)。後者についてはドイッ、バルカン諸國及びドイッの占領諸國との貿易擴張の線に沿つて進んでゐる(後述主要貿易相手國の項參照)。

輸出額は一〇、八〇二萬リレ、輸入總額は一〇、二九七萬リレで、イタリアとしてはここ十數年來始めての輸出超過である。尤もこの數字の中には植民地との貿易が含まれて居り、これを控除すれば輸出總額は八、四五三萬リレ、輸入總額は一〇、〇二一萬リレとなり、差引一、五六八萬リレの入超であるが、これは前年度の入超額三、〇一五萬リレに比すれば著しい好調である。

No. 14 最近の輸出入額 (單位: 100 萬リレ)

Table with 5 columns: Year, Total Import, Colonies Import, Total Export, Colonies Export. Rows for 1934-1939.

資料: C. S. I. 1940-XIX

No. 15 輸入品類別表 (單位: 100 萬リレ)

Table with 6 columns: Category, Foreign 1937, Foreign 1938, Colonies 1937, Colonies 1938. Rows for Food, Materials, etc.

No. 16 輸出品類別表 (單位: 100 萬リレ)

Table with 5 columns: Category, Foreign 1937, Foreign 1938, Colonies 1937, Colonies 1938. Rows for Food, Materials, etc.

備考: No. 15, No. 16ともS.H.W.

%、半製品及び原料品二九・九%の順である。農業及び輕工業を主要産業とするイタリア産業構成の當然の反映である。

つてあることも争はれない事實である。然し最近、ファシスト政府は、産業振興の目的の下に、且つ失業救済をも兼ねて、大々的に交通機關の整備に努力して来た結果、現在ではその發達は目覚ましいものがある。

2 道路 一九四〇年二月末現在に於ける道路全長は二〇四、五六六軒(二二六、八三〇哩)で、そのうち國道は二一、四五六軒、縣道は四六、五〇〇軒、市町村道は一二六、八〇〇軒、自動車専用道路は五一〇軒である。自動車専用道路の發達は極めて著しく、國內到るところ大都市を連絡する専用の自動車道路が設けられ、その速力も無制限で、イタリア交通機關における自動車の地位は益々重要となつてきてゐる。

3 鐵道 イタリアの鐵道史は一八三九年ナポリとボルテイチとの間に僅か五哩の敷設をみたのに始まる。一九三九年六月三〇日には鐵道全長は二二、二五二軒に及び、そのうち、一六、九八一軒は國有鐵道である。一九三七年八月一日における國有鐵道の収入は四、二七八、二二二、二九六リラ、その經費は四、〇六八、五二五、四四九リラに上る。鐵道電化計畫は着々と進められてゐる。鐵道電化は近年におけるイタリアの最も重要な傾向であるが、これは單に觀光のためのみでなく、この國に缺乏する石炭の節約を主眼としたもので、また軍事上の目的も兼ねて達成を期してゐる。

No. 18 航空統計

Table with 4 columns: Category, 1937, 1938, 1939. Rows include 航空路(軒), 飛行距離(軒), 旅客數(人), 小包及郵便(軒), 新聞紙(軒), 小荷物(軒), 貨物(軒).

資料:— C. S. I. 1940—XIX.

四一千噸、またその積荷總噸數は一三、七五九千噸、うちイタリア船積荷一二、五五三噸、外國船積荷一、二〇六千噸である。

5 航空 民間航空路は極めて發達してゐる。ローマを中心として東西南北の主要都市を連絡し、また國內のみならず諸外國及び植民地にまで航空路を延ばしてゐる。

6 自動車 自動車數は一九三八年現在、三八九、〇〇〇臺と見積られる。イタリア製自動車の特徴は高速度に堪へ得る事であると言はれる。その代表的なものはフィアットである。

V 社會

A 總論

ファシスト革命の主な目的の一つは、所謂社會問題としての特に労働問題の解決にあつたが、革命後ファシスト政府は組合統制制度による労働問題の解決を期し、革命前より存してゐた資本家結合たる工業總聯合(又は聯盟とも稱す)と、革命前社會黨又はカトリック黨労働組合に對抗して組織せられたファシスト労働組合總聯合との間に相互的に兩者のみ唯一正當なる資本階級および労働階級代表者なる事を約させ、茲に「ファシスト國家」サンジカリズムを確立したが、右契約に基き、一九二六年四月三日の法律を以て、労働及資本家團體の全國に互る調整及組織資格を定め且つ労働裁判所を設置し、更に一九二七年四月二一日、ファシスト大評議會の決議を以て労働兩者の準據すべき「労働憲章」を發し、漸次、協同組織の具體的實現を計つて来たのである。そして同年、從來の經濟省なるものを廢止し、協同組合省をそれに代つて設置し、一九三〇年に労働兩者側の意見を聴くべく全國協同組合評議會 (Consiglio Nazionale delle Corporazioni) の構成を見、一九三四年二月には生産の各部門に於ける労働協同のため組合統制機關設置法を公布した。なほ、労働憲章は全部にて三〇ヶ條に互り新イタリア組織の基礎的宣言として重要なもので、同憲章は「イタリア國家は目的をもつ一個の有機體組織であつて、それにより各個人、集團

B 社會構成

は國家を形成するものである」と國家を規定し、また労働の解釋に就いては、「労働とは、有機的、實行的、智識的、手工的の各組織形態の下に於ける社會的の一大義務である」と定義してゐる。

1 職業關係 イタリアに於いては農業人口(漁業人口を含む)が壓倒的多數であり、一九三六年の國勢調査によれば全職業人口の四八・二%を占めてゐる。これを一九三一年の四六・三%と比較すると一・九%の増加を示してゐる。農業人口に次ぐものは工・鑛業人口にして、一九三六年には二九・三%で一九三一年の三〇・四%に比し稍減少してゐるが依然として第二位である。次いで商業人口の八・二%、官吏(軍務を含む)の四・四%、船舶、交通業人口の三・九%が主なるもので、その他家庭従業者が三・六%といふ比較的多い率をもつてゐる。一九三一年に比較して最も著しい變動は自由職業者で、三・三%であつたものが〇・七%に激減してゐることである。なほ一九三一年の國勢調査による職業別人口數と一九三六年のそれによる職業別人口數に就いて特に注目する點は、一般人口が四一、一七六、六七一人より三三、七二八、四〇六人に減少せるにも拘らず、職業人口は一七、四四二、四〇〇人に對して却つて一八、三四五、五四七人に増加を示してゐることである。

No. 19 産業別労働人口

Table with 2 columns: Industry, 人口. Rows include 農業, 工業, 鑛業, 漁業, 林業, 畜産, 製造業, 商業, 交通業, 運輸業, 情報業, 衛生業, 教育業, 娯楽業, 其他.

備考:—1936年の國勢調査による。

C 労働

1 概観 農業では八、七五六、〇七五人中所謂労働者の位置にある小作人は二、三六七、二四七人で二七%に過ぎないが、工業は七一・八%を労働者が占めてゐる。一九三六年四月二一日國勢調査による産業別従業者人口を挙げれば次表の通りである。

2 労働条件【賃銀】恐慌時代を通じてイタリヤ労働者の賃銀は数次に互つて引下げられた。併し一九三五年に入り軍需工業を中心とする諸産業の活動が旺盛となるとともに賃銀は漸次昂騰に轉じ、一九三七年六月には殆ど一九二九年の水準に回復した。物價の急速な昂騰に鑑み、當局は一九三七年五月に各産業に互り月額一、五〇〇リレ以下の俸給、賃銀に對して一〇%—一二%の引上げを命じ、六月には官吏三〇萬人に對する八%の増俸を決定したが、其後一九三九年三月に至り遂に約一割の賃銀引上を命ずるに至つた。斯様な値上げにも拘らず、物價昂騰に伴ふ生計費の上昇は賃銀の上昇を凌駕しつつある。一九三九年の生計費指數は一九三五年に比して約四〇%の上昇であるに對し、同期間の賃銀指數は約三四%の上昇である。

No. 21 生計費指數 (1928年=100)		No. 20 賃銀指數 (1928年=100)	
年	指數	年	指數
1935	77.5	1935	84.3
1936	83.5	1936	89.5
1937	91.7	1937	100.5
1938	99.1	1938	107.6
1939	103.6	1939	117.6

備考：一兩者ともC.S. I. 1940—XIX.

3 失業 ムツソリーニ首相はその政權獲得以來大々的に土木事業を起し、地方産業開發を積極的に行つて、イタリヤ國民經濟の打開及び失業者救済に努力して來た。即ち一九二二年一月より一九三二年一月までの間に約二百七十億リラに上り、このうち七十億リラは土木事業省に、約百億リラはその他の省における土地改良事業に割當てられた。然るに世界的經濟不況の影響下に労働者の就業状態は年々悪化の勢を辿り、一九二九年平均の失業者數三〇萬人は一九三三年平均の一〇一・八萬人にまで増大した。その後は再軍備時代を通じて漸次失業者の減少を見、殊に伊エ戦争による工業活動の急激な増大、その他戦時人員需要に従つて失業者は加速度的に減少した。反對に就業者數はこの間著しい上昇をみ、一九二九年平均の就業者數を一〇〇とする一九三七年平均の指數は一〇四・五と遂に一九二九年を突破するに至つた。而も一九三九年に入つては就業者數は益々増加

No. 22 就業者指數 (1929=100)	
年	指數
1932	78.5
1934	82.9
1935	94.0
1936	94.9
1937	104.5
1938	110.7
1939	102.3
1	106.4
2	111.6
3	112.0
4	123.3
5	124.2
6	

資料：S.Y.B.L.N. 1939/40

九二九年當時を上廻るの好調を示してゐる。但し工鑛業労働者の就業數が増加したのに反し、公共事業及び土地開發方面の労働者層備數は減少した。即ちその日々従業人員數は一九三五年の二六萬一千人から一九三六年には二四萬一千人と減少し、更に一九三七年六月には二一萬七千人に減少した。

D 社會施設

ファシスト政府の社會事業は精神的及び肉體的の兩方面を含み、前者はドボ・ラヴォロの事業であり、後者は社會救護事業である。こゝには後者についてのみ述べる。社會救護事業はその運用上より、労働者の緊急状態を救済せんとする「援助」と労働者の健康保持を目的とする「準備」の二方面に分けて考へることが出来る。この準備の方面を擔當する機關としては國立ファシスト社會擁護協會 (Istituto Nazionale Fascista Per La Previdenza Sociale) があり、これは社會救護事業の中央機關で、勞働憲章第二六條及び第二七條に基いて設立されたものである。同條によるとファシスト政府は傷害保險の完備、母性保險の改善と擴張、全疾病保險制度への第一歩としての職業病及び結核に對する保險、失業保險の完備、青少年労働者のための特殊養老保險制度の採用等を遂行することになつてゐる。「援助」方面の事業として實際治療を擔當する機關として國立社會援助局 (Patronato Nazionale Per I'Assistenza Sociale) が設けられてゐる。この外社會救護團體としては貧民救済に當つてゐるファシスト黨の援助事業部、青少年訓

練運動の團體であるバリラの社會施設が數へられ、貧困な小學兒童のため奨勵金を支給する國立小學校共濟團、孤兒を救済する孤兒救濟制度も完備してゐる。而してこれら救濟機關の事業中母性保護、結核豫防、各種の病院、療養所の設置は注目すべきである。尙ほ母性及び幼兒に對する保護費は、一九三九年度に於て一三三・三四千リラに達してゐる（一九三七年度は一三三・〇三三千リラ一九三八年度は一三三・一九八千リラ）。又主要衛生施設としては、マリリア、トラホーム豫防施設と並んで結核豫防施設がある【結核豫防施設】結核豫防の主旨に添ふ機關としては、結核豫防府縣聯合、國立社會豫防施設ファシスト協會の二個の團體を有し、右のうち結核豫防府縣聯合はその任務として、第一に結核の治療及救済に活動する外一般的豫防機能を有するものである。また豫防施設協會は結核患者の治療、肉體的更生教育、恢復の任務を有する。これら機關の活動は、豫防治療施設としての府縣、市町村各々の補助團體、イタリヤ赤十字、母性幼兒保護國民事業部、戦争不具者保護救濟國民事業部、全國戰團聯合、國民ファシスト黨補助事業團體（夏、冬の轉地訓練）等の諸活動等の相俟つて完全を期せられるものである。なほ結核豫防イタリヤ全國聯盟は凡ゆる結核豫防分野の中央調整會なるものを構成し、これをその豫防目的達成に必要な財源の調達に備へ又國際會議に於いては此の社會病と闘ふべく國民力養成の總合的組織機關として代表するものである。

VI 文化

A 總論

古代ローマの世界帝國はその領域に於て、地中海を中心とする從來の總ての世界を包括した如くに、文化に於てもエジプト、バビロニアに始まる所謂古代東方諸國の文化、エーゲ海を中心としたヨーロッパ文化の源流、質的な意味で古今に絶する希臘文化及びその東方との交流に於て生じたヘレニズム文化の總てを容れて茲に紀元一世紀アウグスツスの治下を絶頂とするローマ文化を形成した。ローマ文化はギリシア文化、キリスト教文化と並んでヨーロッパ文化の中心たるべき存在であつたが、ギリシア文化の獨創性に比し、その實際的面への効果に於て高く評價されるべきものであつた。西ローマ帝國滅亡後、中世を通じてローマ法王の絶對的權威の下にあり、あらゆる學問も凡て「神學の奴婢」たる位置を甘受しなければならなかつたが、十字軍の結果起つた東方との貿易によりイタリヤ諸都市の空前の發達はイタリヤをして一五・六世紀を中心とする「ルネッサンス」の世界的光輝の本舞臺たらしめ、再び世界文化の指導者として近世の開幕を告げたのである。その後國內の政治的分裂と列強の干渉とによつて衰運に向ひ、新航路の發見」による打撃は決定的であり文化も漸く頹廢衰微に向つた。しかし一八七〇年イタリヤ統一完成後一九二二年ムツソリーニによる新興ファシズム文化政策確立にいたつて、現在は三たび古代ローマ文化

の傳統の繼承發展、世界文化のファシズム的創造が唱へられてゐる。かくの如く、イタリヤの文化は幾度か古典主義の洗煉をうけつゝ、今日にいたつたもので、今後の問題もかつての世界文化の源流たる古代ローマ文化の遺産を如何に現代に發展させて行くかである。ファシズム政府はあらゆる文化の面にわたつて嚴格な文化統制を行ひ、古代ローマの世界史的觀念、風土的に統一せられた綜合體制、民族的發展を目標とする行動を原則として文化をファシズム的綜合に導き、遂には古代ローマの文化理想の再創造にまで導かんとする。

イタリヤ文化の理想は正に「バックスマ・ローマ」の復活でなければならなかつた。しかし近代國家としてのイタリヤの出發が一八七〇年に過ぎない事實は、石油と鐵の時代である現在と相結んでイタリヤの資源的貧困を自覺せしめると共にその打開を著しく困難ならしめてゐた。古代ローマに立返ることがイタリヤ人の等しく理想とするところであるが、久しく政治的統一を缺いたイタリヤにとつて、そしてその統一された時に於て、世界史的舞臺は大西洋或は太平洋に移り、ヨーロッパ内に於てさへ獨英佛等列強に對處するたにイタリヤは自ら機會主義を執らざるを得なかつたのである。かゝる事情は文化的領域にも反映して、少くともムツソリーニ出現以前に於て古典的文化を除いてそこは國民自らがイタリヤの文化を發見することは困難であり、滔々たる西歐的機械文明の流れはイタリヤ半島を蔽うて多くの社會問題を惹起せしめ

一方に思想的混亂と個人主義的敗北主義は、第一次大戦に當り三國同盟の一員たりし...

ヴェーリーの統一の必要の觀念及びヴェーコのイタリヤの社會生活の精神的觀念を復活し、これ等の諸觀念はマッテイニ、デイオベルテイ...

んでファシスト政治の偉大なる功績を國民一般の腦裡に深く滲透せしめ、新しき世代への確乎たる國家理念の植付けによつて「バツカ...

ファシストはファシズムをしてその文化の最終目的即ち主題たらしめんと欲し、他の一派はファシズムをして文化を促進する手段たらしめんと欲した。...

イタリアがドイツと結ぶに至つたのは當然の現象であつたが、日獨伊三國樞軸の確立によつてその相互間の文化的交渉また繁きを加へ、日本文化史の講演(アウリツツ)、日伊交換教授、日本友の會の設立、日伊交換教授、...

獨自な哲學的發展は現れるに至らず、一九世紀へかけてフランスの影響最も強く、カントの影響もガルトツ等にて見られる。一九世紀における國家の統一への要求の増大と共に、光榮あるローマ帝國への追慕は民族的自覺の一の手段として哲學者達によつて取上げられ、その代表者たるジョベルテイ(Joberti)...

ようとし、イタリアの場合その独自の哲学を生む契機となつた。即ち絶対精神の方向に於てクロチエ、自我の立場を代表してジェンティレを生んだのである。クロチエは世界を精神と解し、精神の発展過程の中に全歴史を認識する。そして精神は直観、概念、経済及び倫理の四つの段階に於て辯證法的に發展するとする。彼の歴史哲学は歴史が益々精神的全體性となることを目的とするといふ意味に解してゐるが、この歴史的世界に於て自由と必然とは不可分に結合され、個體は全體の中で運命的に規定された一の特種である共ず、個人は高次の精神の客観的世界である共同體のためにより高い生活をなすべきであり、個體は全體に對する關係に於てのみ價値を持つてゐる。かゝる見解はフアンズムの政治理論と共通點を持ち、彼によつてイタリアの特殊な傳統が明かにされたのであるが、その政治的自由の原理は一九一九—二三年のイタリアの危機に際してフアンズム精神と相別れなければならなかつた。ジェンティレも等しくドイツ觀念論の影響を受け、また哲學の唯一の根本原理として同様に精神を主張するのであるが、主知論的立場を棄て、意識の個々の形態の存在を認めず、凡ては根源形式としての超越的的自我から出發するものとし、行爲と活動とによつてのみ眞の實在なものを理解し得るとする。シエンティレはクロチエの思想を政治的理念に導いた使命を持つ。凡ての個體はその全能力を擧げてこの全體のために能動的に奉仕されねばならぬ

い。此くてジェンティレの哲學はフアンズム運動の精神を代表する。一方權力としての人間、非合理的であると同時に超合理的である人間を説くエヴォラの所謂魔術的觀念論、生の概念化を排斥し、主知論に反對するアツパニヤノの非合理主義的觀念論、その他マツジの批判的觀念主義、デ・サルロの心理的レアリズム、二元論的立場にあるキオケツテイ、トマス派としてのボナヴィノ(Bonavino)の流れなどがフアンズム國家道徳の間にあつて現實的、行動的な思想活動を行ひつゝある。

2 自然科學 ギリシア時代及び所謂レニズム期に於て自然科學は大いに發達したとはいへ、いはゞ自然哲學の時代と見るべく、またイタリア半島と直接重要な交渉を持つものではなかつた。ルネッサンス期以後に於て中世の神學的權威に對する合理的精神の昂揚は科學的探究と相待つて實證的知識を要求するに至り、自然科學の確立を生むこととなつたが、尙そこに先づ研究されたものは曆法を確實にするための天文學的知識、建築等に必要とされる力学に關する知識及び錬金術並びに醫藥に就ての知識であつた。しかして古代の概念的な研究方法に對して新しい自然研究の方法としての實驗的意味を發見したのはレオナルド・ダ・ヴィンチであり、ブルノ(Bruno)、ガリレオ、カンパネラ(Campanella)等の自然哲學に對しガリレイ(Galileo)はコペルニクスと共に自然科學の始祖となつた。勿論それまでもコロンブスの新大陸發見に重大な役割を演じたトスカネリ(1397—1482)の如き

天文學者(醫を業とし地理學者でもある)、醫者として物理學者としてまた詩人として知られるフラカストロ(1483—1553)、文藝復興期の數學者であり自然哲學者であるカルダーノ(Cardano)等も現れたが、ガリレイの後天文學にマルティニ(1618—1663)、カッシーニ(1675—1742)、ブッファ(1746—1820)、數學にサツケリ(1667—1733)、非ユークリッド幾何學の先驅者、リカッティ(1716—1784)絕對微分學の創始者リッチ(1785—1851)、化學にカニツァロ(1786—1810)、精神病理學のロンブローゾ(1836—1909)等があるが、イタリアが最も光彩を發揮するのは物理學である。"Mach's intuition"で知られるボルタ(1781—1845)原子説の基礎を築き、その假説によつて有名であるアヴォガドロ(1776—1856)、ホルビンノ効果を發見した文相或は蔵相として聞えたコルビノ(1876—1937)があり、マルコーニ(1874)及びフェルミ(Fermi)は特に有名である。マルコーニは一八九五年H・R・ヘルツの電磁波を利用して通信装置を發明し、翌年イギリスに渡つてその特許を得、一八九九年始めてイギリス海峡を隔てた無線通信に成功し、一九〇一年には大西洋を隔てた通信に成功した。一方鑛石檢波器、圓板放電管を發明し、一九一九年ノーベル物理學賞を授與された。原子物理學者として聞えるフェルミはローマ大學の教授であつたが、一九四〇年その夫人がユダヤ人である理由からアメリカへ渡りコロンビア大學にある。一九二六年デイラックと獨立に新しいフェルミ・デイラック統計法を立て、有名となり、三四年ラリセ

ルカ・シエンチファイカに中性子による人工放射能を發表し、又ベータ線放射能についても功績があつたが、三八年ノーベル物理學賞を授けられた。フェルミの弟子のセグレ(現在カリフォルニア大學)、また同じ物理學者のポンチコロボ(現在南米)、ラセツチ(現在ケベック大學)等も何れも故國を去り、現在イタリアにあるのはアマルデイだけで、イタリア物理學の寂寥さは如何ともし得ない。

3 社會科學 マキアヴェリ(Machiavelli)の君主論、ローマ史論などは近代國家學、政治學、史學の典據となつた。一八世紀に出たヴィコは當時一世を風靡したデカルト哲學に反對し、人間進歩の理論を唯物論的に解明して政治、民族心理學、社會科學の原理を示した。

また一般に犯罪を社會的事象として分析する犯罪社會學の發達著しく、ロムプロソフを中心としてフェルリ、リスト、シゲレ、グアツカロ等を出す。經濟學者にロリア、コセンチーニがある。社會科學體系の構成者として最も重要なパレートは「一般社會學」に於て自然科學的方法による社會分析を試み、社會の一般的普通形態と現象的事象とを區別する。アリツロ・ラブリオリはサンザカリスト的理論に走り、その他社會民主主義者たるエンリコ・フェリ、社會黨の指導者たりしコンスタンチノ・ラザリがあり、一方ジェンティレ等の行動主義的理論がある。

「イタリア國家は本質的に組合國家である」以上フアンズム即ち組合國家でなければならぬが、この場合の國家權威に關して、國家

が高い意味の有機體であり精神的・現實的存在であることに就いて現代のイタリア社會科學の重心があることは明かである。ジェンティレを始め國家の權威を精神的に解釋することはフアンズムに共通な考へ方であり、且つ理論の統制が行はれてゐる以上少くともイタリア内部に於てかゝる見解に對する批判は豫想されなかつたが、同時に注意すべきことはイタリア國民の誇りとする古ローマ的ないしはカトリック的傳統の強固な存在である。古くはローマ帝國の理想から「君主統治論」に於けるセント・トーマスの政治思想、「帝政論」に於けるダンテのローマ帝國復活論と帝王制度の近世的解釋、「君主論」におけるマキアヴェリイの現實政策、グロテウス、ブーフエンドルフ一派の自然法理論やヴィコ及びクオイコの思想的貢獻及びマツティニの影響は何れも見逃し得ない一聯の重要な事實であるが、フアンズム權威觀の成立に當つてこれ等の影響は見逃し難いものがある。殊に全體と部分との關係に於て、國家の公益を國民の共同善として兩者を本質的に同一化せんとするのは巴にスコラ哲學によつて爲されたところであり、いはゞ中世の自然法への復歸を意味するやうであるが、事實は所謂ヨーロッパ的觀念から隔絶してゐたイタリアにとつて、復歸にあらずしてその傳統的な一潮流と解釋すべきである。また國家の統制が如何に強化されたにしてもイタリアの場合、その世界觀を裏付けるカトリック的要素も見逃し得ないものがある。ソレルのサンデイカリズムとムツリーニのフアンズムとの關係は屢々指摘され

るところであるが、この二人の結び付きはカトリック的な原理に基くものだともいはれてゐる。一八世紀後半に於てイタリア學派と呼ばれたダヴァンツァティ、セラ、モセタナリを先驅としガリアニ、ベツカリヤ、ヴェリを代表とする一經濟學派が存在した。體系の樹立者といふ意味に於て近世のイタリアに偉大な經濟學者を缺いたことは事實であるが、ガリアニの心理的經濟價值論はチエルゴイ等の上に大きな影響を及ぼすに至つたもので、一九世紀の心理的價值説も彼なくしては存在し得なかつたらうとされる。かゝる光榮が一九世紀及び今までの二〇世紀のイタリアに出現しないからといつてこれを否定することも、また今後現れないと云ふことも出来ないのである。

C 藝術

1 音樂 古くはトレミーの音樂理論に關する著述が現れたが、キリスト教の公認(三二三年)以後音樂は次第に盛んとなり、六世紀頃には所謂グレゴリ旋法に基くグレゴリ聖歌なるものが現れた。その後ネーデルラント樂派等の影響によつて對位法の研究、進歩を見たが、文藝復興期に於て一大進展を見るに至つた。ヴァイタルト、ドナート等を中心とする所謂ヴェネチア派はフェスタ、パレストリナによつて代表されるローマ樂派と對立してはれるが、前者の進歩的庶民的なるに對して後者は保守的貴族的であつて、教會と結び付いた後者は一七・八世紀を通じて長く維持せられるに至つた。一六世紀末から音

樂界の新しい方向はギリシア劇の復興を企圖して劇との交渉に於て現れ、リヌツチーニの「ダフネ」(五九四)、及び革命的作家として知られるモンテヴェルデ(1607-1643)の「オルフェオ」(一六〇七)によつて所謂歌劇が開始され、この傾向はサン・カジャール歌劇場の設立(一六三七)によつて促進され一般庶民間に普及せらるゝと共に今日に於けるイタリア歌劇の世界的優位を確立する遠因となつた。以後イタリア音楽は單に宗教音楽に於てのみならず、ヴェネツィア、コレリ等の出現と相待つて一七世紀のヨーロッパを支配するに至つたが、一八世紀以後獨逸にその中心の移ると共に専ら歌劇に重點がおかれ、スカラツティ(1659-1732)を第一とするナポリ楽派の活躍はヨーロッパ各國へ多分の影響を與へたのである。一八世紀末からイタリア歌劇自身の偏向と共に次第に衰微に向ひ一九世紀に入つては逆にドイツ歌劇の影響乃至フランス様式の支配を免れ得ざるに至り、ロッシニー(「ワイルヘルム・テル」(一八二九)、「セザイラの理髪師」(一八一六)を代表作とする)ベルリオーニ、ドニゼッティの出現もこの大勢を如何ともし得なかつた。イタリア歌劇の再生はヴェルディ(1813-1901)の努力であつた。一八三八年處女作「オベルト」によつて好評を博したヴェルディは「リゴレット」(一八五二)、「イル・トラヴァーテ」(一八五三)、「椿姫」(一八五三)によつて無比の名聲を得、「アイダー」(一八七二)、「オテロ」(一八八七)によつてその名を不朽ならしめ、初期作品に於けるロッシニー等の影響を脱して

イタリア歌劇に清新な近代的生命を吹込んだのである。その後レオン・カヴァツコ(1858-1910)、「道化師」ガザが代表作、ブツチーニ(1858-1944)、「ラ・ボエーム」(「トスカ」)「蝶々夫人」が代表作、「カヴァレリア・ルチチカーナ」で知られるマスカリーニ等が現れた。

現在はフアジズムの下に全國的にイタリア音楽復興が叫ばれ、アルツツチ、カセルラ、マリビエロ、ビゼッティ、レスピーギ、ブツチーニらの新理論が現れたが、これ等の音楽運動と共に民謡運動の盛んなことも注意される。一九一六年創設を見た國民音楽協會は現在新音楽團體(Corporazione dello Musica Nuova)となつてゐる。

2 美術【繪畫】古代ローマの文化的偉大さはその獨創性にあるのでなく、實用性に求められ従つて繪畫自身も文藝復興期に至るまで特に傑出したものを見ないが、それまでを大體四期に分け得る。

【ローマ古典期】前七百年より三百年盛んなりし古典藝術で、ギリシア美術の延長と見られ、エトリヤ美術として知られる。

【キリスト教時代】(三〇〇—一〇〇〇年)カタクスの中に一世紀以來潜伏せる初期繪畫は三—三三三キリスト教公認後俄かに發達す。モザイク、フレスコのものも多く、嚴肅壯麗なるもの、ローマ、ラヴェンナに多く残る。

【ロマネスク時代】(一〇〇〇—一二五〇年)海外貿易大いに發達し、ビザンチン帝國は第二黄金時代に入る。ビザンチン藝術の影響大である。ニコラ・ピサノを出す。

【ゴシック時代】(一二五〇—一四〇〇年)眞のイタリア繪畫の漸く現れて来る時期である。「イタリアの最初の畫家」と稱されたフィレンツェのチャマッハ(1290-1320)、その弟子ジョット(1266-1337)に至り、舊套を全く脱却する。

文藝復興期の繪畫とは通常フラ・アンジェリコ以後、一七世紀始めまでを指す。マサッチョ、マルティノ等を経て、ジョットの後をうけたジョットテスク派の一五、六世紀に跨がる全盛期はゆるラファエル前派で、ポツティエリ・フィリッポ・リッピ、ギルランダイヨ等を出す。更にレオナルド・ダ・ヴィンチ(1480-1530)出るにおよんでルネッサンスの黄金時代に入り、ミケル・アンデエロ(1475-1564)、ラファエル(1483-1520)出てこゝに三巨匠の鼎立時代となる。

他方さきにマンテーニヤ、ベルリオーニによつて開かれたヴェネツィア派も復興初期にはジョルジョネを出し、更にティツィアーノ(1477-1576)、ティントレット(1511-90)、ヴェロネーゼ(1528-88)の三大家を輩出しよく前三者の域に迫つた。一七、八世紀に入つて美術史上の所謂アカンツァに陥るが、一八世紀にいたつて美術の復興が稱へられ、セガントーニ(1658-1709)、ホルディノを出す。二〇世紀初頭マリネツティの主張による未來派の傳統打破運動も大戰によつて終結を告げる。現在フアジズムはそれを克服して新古典主義に移り、新國民藝術の發生による過去の光榮ある再現を待つてゐる。フランス近代畫の影響を受けたモディリアーニ(1884-1920)

超現實派のキリコ(1888—)を有する。

【彫刻】古代ローマ期に於て宮殿その他土木建築の盛大だったのに伴つて彫刻に於ても相當の進歩を見せたが、ギリシア的な創造性を現すに至らず、その後もキリスト教との結びつきによつて寺院建築に隷屬したに過ぎなかつた。一三世紀に入つて南部イタリアに古代彫刻復活の運動が起り、ニコラ・ピサノ(1250-1280)を出し、その子ジョヴァンニ・ピサノ(1250-1338)、その門人アンドレア・ピサノ(1273-1349)に至りルネッサンスの機運が興つた。ドナテロ(1386-1466)、ヴェロツキオ(1435-88)を経て古今最大の巨匠ミケル・アンヂェロは復興の大成者としてその絶頂に位する。一七、八世紀におよんで彫刻界も衰微し、ベネチーニ(1638-1680)、カノヴァ(1757-1822)を出すのみであつた。一九世紀から現代に至り、未來派の運動は更にフアジズムの國民彫刻運動となつて再び古典様式復興の機運に向ひつゝある。

戦時下のイタリアに於て美術展覽會は各地に開催されてゐるが、その中でも重要なのは二年毎にミラノで開かれる彫刻の展覽會である。

3 建築

古代ローマ文化の實用性はその世界的權勢に後援されて「大理石のローマ」を建設し、エトルリア人より傳へられたアーチとギリシア建築の三様式を採入れることによりその壮大な公共事業を営んだ。軍國ローマを思はせる凱旋門、紀念碑、各皇帝によつて設立されたフォーラム、劇場、闘技場、水道、或は浴場等も今日に於ては遺址たるに過

ぎないが、ローマ帝國の衰亡後興つた初期キリスト教建築は、イタリア・ビザンチン建築を形成し、サンタ・ボリナール寺を代表作とする。六世紀以後一〇世紀まで八世紀の小さな動きを除いてイタリアは全くこれといふ活躍を見せなかつた。一世紀に入り、イタリア諸都市の富強は建築にも反映し、ピサの大寺をその最高作として、フィレンツェのサン・ミナト寺、バヴィエラのサン・ミケレ寺、ヴェロナのサン・ツエノ寺等一三世紀にいたるまでイタリア・ロマネスクは絢爛の美を放つ。一五世紀におけるイタリア・ゴシックはロマネスクにゴシック的要素の附加した程度に過ぎず要するにロマネスクの繼續である。ミラノの大寺、ヴェネツィアのドツカレ、カドローの宮殿、フィレンツェ、シエナの大寺、アッジジのサン・フランチェスコ寺等がある。一五、六世紀より復興期に入り、フィレンツェにブルネレスコ(1377-1446)出てビデイ宮殿、サン・ロレンツォ寺を造るほか、アルベルティ、ミケラツツォが出る。さらにブラマンテ、ミケル・アンヂェロ出でサン・ピエトロ寺をその代表作とし、ヴェネツィアにはロンバルド、スカモツィ、バラディオ等が出てカブラ宮殿等をつくる。一七世紀に至つてベルリオーニを出し、バロック・ロココ時代に入り爛熱の域に達するが、其後復興期の幕を開けて全く不振に陥り、現代に至るまで僅かに一九世紀末サツコニによるヴェイクトル・エマヌエーレ二世の記念碑あるのみである。

【現代の建築】マリネツティの未來派運動

は建築に最も大きな影響を與へ、フアジズムの古典復興の機運と合して新しい形式による一鋼鐵の、メカニズムの、動力的、速度の「建築」が稱へられてゐる。ポロニアのスタディアム、Foll Porviro の新建築、ローマの全國フアシスト勞動組合總聯合會館はその例である。また總工費八億リレを以て建設にとりかかつたローマ大停車場の工事は戦時下に於て着々進行中である。

4 文學

古くは紀元一世紀前後、ローマ帝國下に於けるラテン文學の黄金期に於てヴァルギリウス、ホラチウス、リヴィウス等を生んだが、所謂イタリア文學の發生はダンテ(1265-1321)によるものである。その「神曲」は中世紀のトマス神學の完全な藝術化として中世紀文學の最高峯をしめると共に、イタリア語で書かれた作品として國民文學復興の上に重要な意義を持つてゐる。つづいてペトルカ(1304-1374)の「抒情詩集」、ボツカチオ(1373-1375)の「デカメロン」を経て復興期に移り、その精華はアリオスト(1474-1533)の長篇敘事詩「怒れるオルランド」となつて開花する。その後一時耽美に陥つたルネッサンスに再び健全な古典主義精神を復活、結實させたのはタツソ(1544-1596)の敘事詩「救はれたるエルサレム」である。

一七世紀となつてマリノ(1569-1625)の「アドーネ」に代表される愛欲的異端文學が興るが一八世紀に及んで再び古典主義精神復活し、自然牧歌的詩の振興を目ざす「アルカーディア學會」設立され、パリーニ(1729-1790)をその代表的詩人とする。その後、漸次

No. 1 イタリア學校概況 (1937-38)

I 初等學校

Table with 3 columns: 育兒學校 (Public/Private), 數 (Number), 教師數 (Teacher Count), 生徒數 (Student Count).

II 公立中等學校

Table with 6 columns: 數 (Number), 教師數 (Teacher Count - Male/Female), 生徒數 (Student Count - Male/Female/Total).

III 國立大學

Table with 7 columns: 創立 (Established), 學生數* (Students), 教師數** (Teachers), 創立 (Established), 學生數* (Students), 教師數** (Teachers).

備考: * 1938-39. ** 講師を含む。資料: - S.Y.B. 1941.

4 中等教育 「ギムナジウム」(Gymnasium) 古典學校(Liceo classico)...

卒業者を收容する中等職業完成學校(三年) さらにこの卒業者に専門的實業教育をあたへる乙種實業學校(二、三年)...

四部類に分つと共に幼年期少年期に概當する (一)に就ては、更にこれを(一)七歳まで、(二)八-一七歳、(三)一七-二二歳、(四)二二-七歳まで、(五)七歳までに細分、國技たる蹴球を中心に國民體位の向上に努めてゐる。

G 風俗 戰時に於てイタリア國民の生活は、この國が戰前已に最も有たざる國であつた事實によつて當然豫想されるさうに大きな變化を受けなければならなかつた。

No. 2 イタリアの戦時食料統制

(一月一人當り、單位瓦)

Table with 4 columns: 品目 (Item), 第一期 (1st Period), 第二期 (2nd Period). Rows include 脂肪類 (Fat), 糧粉類 (Grain), 砂糖 (Sugar), 肉及肉製品 (Meat), 菓子 (Confectionery).

備考: 第一期(開戦一1941.2). 第二期(1941年3月以後) *バターは100瓦. **スパゲツテイー1,500瓦. 米-300瓦. メリケン粉-200瓦.

對しては月當りスベゲツテイ六百瓦増加を認める等必ずしも一律的なものではなかつた。

九月一三日二〇リレ以上の一切の買物は禁止され、また九月二日の法令を以て病人及び小兒用ビスケットを除く一切の菓子の製造が禁止されたが、九月二七日の閣議は本年度小麦の收穫が豫定量に達せず、昨年度に比し五

生活一般に關してはガソリンは素より、電力及びゴムの節約のため一般にタクシーに代り馬車が使用せられると共に四年一月一日より馬車は羅馬市内電車、バス、無軌道電車に代り、また映画館は午後一時半まで、料理店は同一〇時、劇場は同九時までと定められ、電気ストーヴ、瓦斯ストーヴの使用も禁止された。七月シーズンに入ったオベラ界は活況を傳へられたが、燈火管制のため午後より開演となり戦時を痛切に感じさせてゐる。

新聞

一九二二年ファシスト政権確立以來政府は言論統制を目的として新聞に對する統制に力を注ぎ反對派新聞を弾壓する一方、ファシスト機關紙を各地に發刊して旺にその勢力を扶植した。かく一九二五年以來數次にわたる言論取締令強化の結果、現在反政府新聞は全

No. 3 イタリア主要新聞概況

Table with 4 columns: 新聞名 (Newspaper Name), 發行地 (Place of Publication), 主筆 (Editor), 筆名 (Author). Lists various Italian newspapers like Giornale d'Italia, Lavoro Fascista, etc.

資料: Political Handbook of the World. 1941.

I 郵便 一九三七八年に於て取扱通郵郵便物二七〇〇、八七五千通、一九三八年六月末に於て郵便局數一、三九六であり、同じく電信線六六、七四八軒、同線條五五、四五三軒、電信局數一〇、〇四四局、電話線四四〇、一七一軒、加入者數四二四、〇七九(人口

九月四日、イタリア交通省は戦時郵便規則として下記諸項を禁止した。即ち(一)繪葉書の發送、(二)封筒中に全景を寫した寫眞、新聞切抜、煙草、白紙、白封筒、切手、紙幣等の封入、(三)日本語、英語、支那語を含む二ヶ國語以外の言葉の使用。以上は戦時防諜の目的に出でたものと推定される。

線電信に關しては局數一六、取扱語數五、〇三〇千、一方陸上無線局に於ては二〇、二〇八、〇六〇語に及んだ。 尙一九四一年五月、滿洲國との直通無線電信が開通されることとなり(滿洲電報とイタロ・ラジオ會社に於て經營される)一六日その開通式が舉行された。 3 ラジオ イタリアのラジオ事業はファシスト組合國家の統制の下に運営されてゐる。現在放送權は準公共團體たるイタリア放送會社(EIAR)の手に委任され一九二七年から二五年間の期間で權利を讓渡されてゐる。この放送團體の作成するプログラムはその約二五%までが政府企劃の宣傳放送で主として講演、會議の實況放送、ニュース、兒童向けの特別放送などである。その他のプログラムも全くファシズム統制下にあり、農村放送、學校放送に力點がおかれて國民のファシスト的教育を眼目としてゐる。又プログラムは政府企劃たる否とに不拘、あらかじめ當局の檢閲を必要とする。イタリアの放送事業は從來他國に比して發達がおそかつたが、ファシズム政府の積極的努力によつて最近著しい進歩をとげ、一九三八年に於て局數合計二五、電力總數五〇三 KW に達し、聽取者數も漸く一〇〇萬(人口千人當り二三・〇)に及ぼんとしてゐる。最近設立されたローマ市近郊サンタ・パロム(人口二五〇 KW)放送局は放送圈三、〇〇哩に及ぶと云はれる。 海外放送について見れば、一九三四年一月アラート・スメラルドに短波送信所、電力總數三五三 KW を設け、其後中波開現在

No. 4 イタリヤ主要雑誌一覽

Table with 4 columns: 誌名 (Magazine Name), 傾向 (Tendency), 編者 (Editor), and 刊行 (Publication). Lists various Italian magazines like 'Echi e Commenti', 'Illustrazione Italiana', etc.

資料: - Political Handbook of the World, 1941.

J 文化施設

海外放送に用ひられる局數五をも動員して、ヨーロッパ及び西に於ける殆んどすべての國語のほか...

イタリアに世界史研究上缺く可からざる無限の遺跡、藝術品を發し、ファシスト政府の保管政策の完璧と相俟つて無数の輸出禁止の國寶を有する。

3 文化團體

イタリアアカデミーは選拔された六〇人の終身會員よりなり、(一)倫理、歴史、(二)物理、數學、自然科学(三)文學、(四)藝術の四部門にわかれて各分野の高...

VII 自然

A 總論

イタリアの自然は(一)アルプス山脈の南斜面、(二)ロムバルディの沖積平野、(三)アペニン褶曲山脈とその斜面、(四)シシリ、カル...

B 地勢

1 山系 北方國境地方に最高峰グラッパ山脈(Gran Paradiso)を含むアルプス山脈...

C 氣候

アルプスの山脈は北方の氣候的防壁ともなり、爲に氣候温和で「ヨーロッパの樂園」とも稱せられるが北部は一般に大陸性氣候を示し、寒暑の差が激しい。

D 面積・人口

イタリアの總面積は一一九、七六四方哩で、一九三六年四月二日の國勢調査による總人口四二、九九三、六〇二人、人口密度一方哩につき三五九人である。

No. 5 人口増加

Table with 3 columns: 1月1日 (Date), 人口 (Population), 10年間の増加率% (10-year increase rate %). Shows population growth from 1816 to 1941.

備考: (1)2月10日(2)6月10日(3)國勢調査(4)12月1日(5)4月21日(6)12月31日(7)リビアを含む(8)12月31日。

等の政策を以て極力人口増加を計つてゐる。「移民」イタリアは世界屈指の移民國で年々四〇萬位の移民を海外に送つてゐるが、ファシスト政府樹立後は、人口増加を計るため嚴重な移民制限を行ひ、爲に移民の數は激減した。

No. 6 主要都市人口 (1936年4月21日現在)

都市	人口	都市	人口
Bari	196,747	Milano	1,115,848
Bologna	269,687	Napoli	865,913
Brescia	123,332	Padova	138,709
Cagliari	106,649	Palermo	411,879
Catania	244,972	Ravenna	81,886
Ferrara	119,265	Reggio di Calabria	119,804
Firenze	322,535	Roma (1)	1,155,722
Genova	634,646	Taranto	117,722
La Spezia	106,119	Torino	629,115
Livorno	124,963	Trieste	248,379
Messina	192,051	Verona Venezia	264,027

備考：(1)1940年2月1日現在の人口は1,327,000。
資料：S. Y. B. 1941。

一〇人、一九三七年五九、九四五人、一九三八
年六一、五四八人である。一九三八年歸還せる
移民は三六、八九二人である。

E 植民地

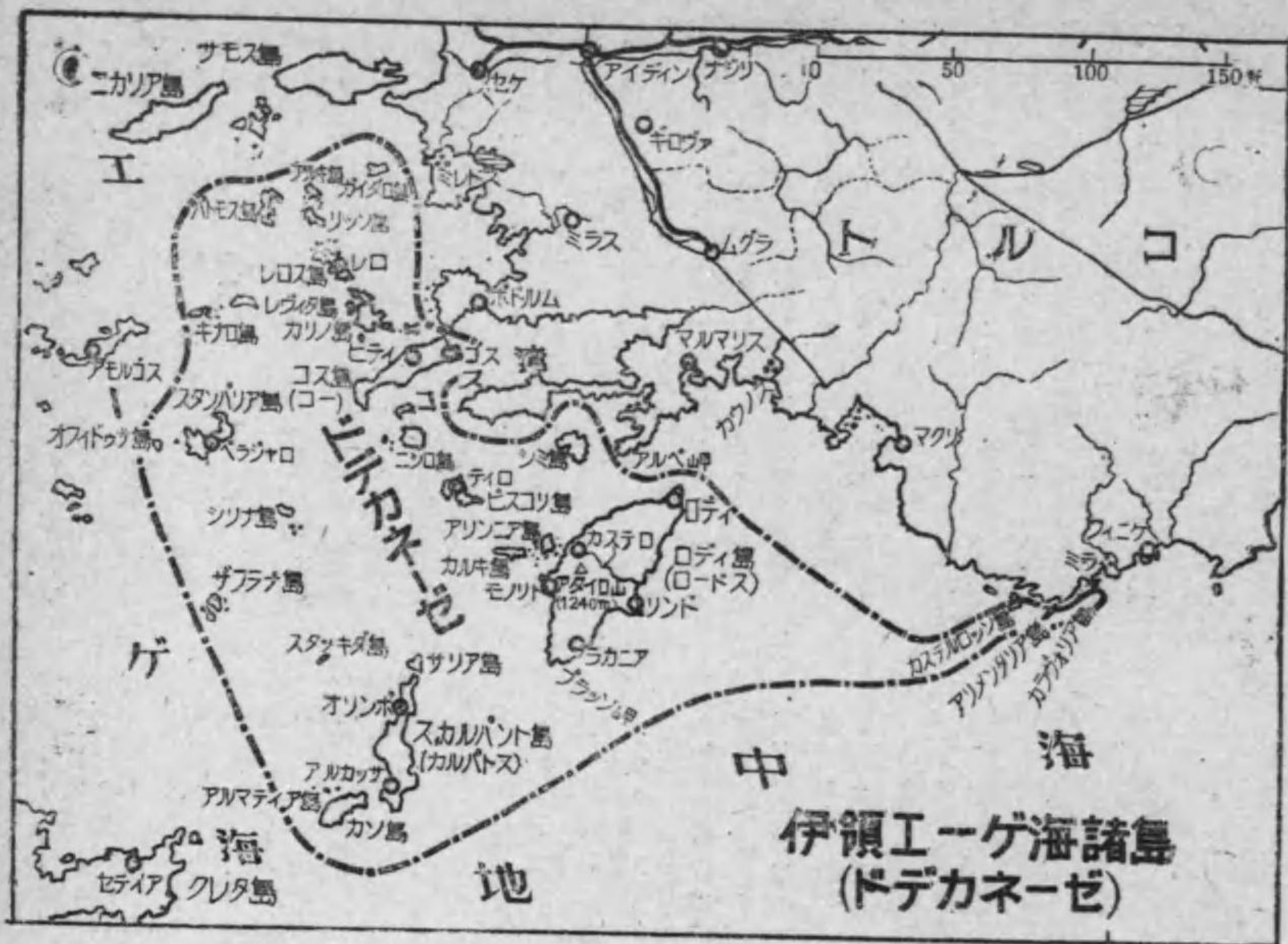
伊領リビア、伊領エーゲ海諸島、サセノ
島、伊領東アフリカ、アルバニアのほか今大
戦に於て舊ユーゴスラヴィアの一部であ
るスロヴェニア(ルビアナと改稱す)を編入
す。この他天津にイタリア租界がある。

F 都市

農業国であるので都市の發達は比較的遅
れ、一九三六年度に於て人口一〇〇萬を超え
る都市は二市、五〇萬一〇〇萬は三市、一
〇萬一五〇萬は一七市、五萬一〇萬は四三
市、一萬一五萬は六六二市である。

—参考文獻—
A.S.I.: Annuario Statistico Italiano. Roma.
C.S.I.: Compendio Statistico Italiano. Ro-
ma.
Annuario di Politica Internazionale. Roma.
Commercio di Importazione e di Esportaz-
ione Nell'Anno. 1938. Roma.
Frank (L.R.), Les Etats de l'Econo-
mie Fasciste Italienne. Paris, 1939.
Andrew (R.G.), Through Fascist Italy. Lon-
don, 1935.
Ashton (E.B.), The Fascist: His State and
His Mind. New York, 1937.
Battino (R.), Les Doctrines Juridiques
Contemporaines en Italie. Paris, 1939.
Bortolotto (G.), Storia del Fascismo. Mi-
lan, 1938.
Canepa (A.), L'Organizzazione del P.N.F.
Palermo, 1939.
Christopoulos (G.), La Politique Exterie-
ure de l'Italie Fasciste. Paris, 1936.
Croce (B.), Storia d'Italia del 1871 al 19-
15. Roma, 1928.

Doren (A.), Italienische Wirtschaftsgeschichte
Vol. I. Jena, 1934.
Enzinger (P.), The Economic Foundation of
Fascism. London, 1939.
Field (G.Z.), The Syndical and Corporative
Institutions of Italian Fascism. New York,
1938.
Loianno (L.), Le Corporazioni Fasciste.
Milan, 1935.
Poggiani (C.), Italia Mineraria. Rome,
1929.
Schmidt (C.T.), The Plough and the
Sword: Labour, Land, and Property in
Fascist Italy. 1938.—The Corporate State
in Action: Italy Under Fascism.
1939. (New York.)
Vernon (K.T.), The Story of Italy. Lon-
don, 1939.



伊領エーゲ海諸島 (ドデカネーゼ)

144 伊領エーゲ海諸島

ISOLE ITALIANE
DELL'EGEO
(英—Aegean Islands)
(獨—Agäisches Inseln)
(佛—Iles Egée)

I 歴史 伊土間のトリポリ
戦争中、一九一二年イタリアはエ
ーゲ海諸島を占領した。ローザン
ヌ條約 (Treaty of Lausanne) によ
つて、トルコはカステルロッソ島
と共に、エーゲ海諸島の主権をイ
タリアに譲渡した。斯くてローザ
ンヌ條約は一九二四年八月六日
に至り効力を發せ、伊領として現
在に至つた。なほ一九二〇年にイ
タリアはギリシアにエーゲ海諸島
譲渡を一度認め、一九二二年に至
りその譲渡を否認した。

II 政治 一九二二年の占領
以來、イタリアの軍政が施された
が、一九二〇年八月七日に至り、
總督を任命して民政を行ふこと
になつた。總督は行政上の首腦者
であつて、伊外務省の監督に服す
る。總督の権能はロードス島 (R-
hodes) 以外の小島に於ては、コス
島 (Cos) 政府の管理者 (Regent)

及五名の委員が代表する。五名の
委員はレロ (Lero) カリムノ
(Calimno) シニウ (Siniu) ス
カルメント (Sca-paro) カステ
ルロッソ (Castelrosso) の諸島に駐
在する。

現總督—Ettore Bastico (一九
四〇年一月二十七日任
命)

首府—ロードス

【軍備】エーゲ海諸島は二個大隊
より成る一個聯隊の歩兵が守備
し、一個大隊はロードス島に一個
大隊共に小さな島々に技隊を派遣
してある。イタリア海軍はロード
ス島に鎮守府を置き、エーゲ海諸
島に散在する諸部隊及びレロ島の
ポルト・ラゴ (Porto Tago) 海軍
根據地が鎮守府に從屬する。

III 經濟 財政一九三三—
三三年度の豫算は四八百萬リ

で、そのうち國庫補助金は三〇百萬リレである。【金融】イタリア銀行、ローマ銀行、シリア銀行其他が營業し、通貨はイタリア貨幣が流通してゐる。度量衡は一般にメートル法が使用されてゐる。

【生産】ロードス島及びコス島の農業はよく發達してゐる。兩島とも有名な葡萄の産地で、またオリヴ、タバコ、オレンドネその他果實、野菜が栽培される。主要工業は東洋絨緞、燻詰葡萄酒、オリヴ油、美術陶器、タイル等の製造である。なほカリムノ、シミイ、カステルロッソの諸島では海綿採取が盛んである。

【貿易】工業製品や食糧品を主としてイタリア、エジプト、トルコから輸入し、主要工業品を主としてイタリアに輸出する。一九三八年の輸入總額は一五七、四二二千リレ、輸出總額は二一、八五二千リレである。貿易と共に商業もよく發達してゐる爲海上交通は蒸汽船によつて頻繁に行はれてゐる。鐵道はないが運輸は行き届いてゐる。

IV 社會・文化 住民の大部分はギリシア人でトルコ人、ユダヤ人がこれに次ぐ。イタリア人は極く僅かである。本諸島は古來地中海文明の繁榮した地方に接近してゐる爲、文化的にも社會的にも概して發達し、一般植民地とその趣を異にしてゐる。教育もかなり發達してゐる。

V 自然 本諸島は一四の島より成り、全面積は一、〇三五平方哩で總人口は一四〇、八四八人(一九三六年)である。ギリシアとト

面積・人口 (1938年12月31日現在)

	面積	人口
Rodi	1,412.0	56,744
Calchi	30.3	759
Calino	128.2	15,287
Caso	69.4	1,602
Castellos	11.5	1,510
Coo	288.7	16,464
Lero	71.5	8,269
Lisso	17.4	844
Nisiro	48.0	2,833
Patmo	57.1	2,272
Piscopi	64.3	1,081
Scarpanto	306.0	8,107
Simi	63.6	4,228
Stampalia	113.6	1,485
總計	2,681.6	121,485

備考：一面積は平方尺、人口は軍隊を除く。
資料：一Annuario Statistico Italiano. 1939.

ルコとの中間、地中海上に散在し、その位置は軍事上重要性を帯びてゐる。一九三六年の主要都市人口は次の通りである。
首府ロードス二七、四六六人。カリノ(Carino)一五、二四七人、コス九、八五二人。
——参考文献——
Annuario Statistico Italiano. Roma.
Compendio Statistico Italiano. Roma.

145 ヴァチカン市國

CITTA DEL VATICANO
(英—Vatican City)
(獨—Vatikan-Stadt)
(佛—Cité du Vatican)

I 歴史 法王ピウス九世(Pius IX)に至るまで約一千有餘年間、短期間の中絶はあつたが、ローマ法皇は中央イタリアの約一萬六千方哩の土地に對する世俗的支配權を握つて來た。然るにイタリア統一と同時に全領はイタリア國王に併合され、次いで前法王ピウス一世(Plus X)に至るや、ムッソリーニ首相との間に完全なる了解が成立し、終に一九二九年二月一日のラテラン諸條約(Lateran Treaties)の締結となり、長い間紛糾し續けて來たところの所謂「ローマ問題」は落着を見て來た。この條約は法皇の完全なる世俗的支配權の下に一小獨立國となつた。

II 法皇 ローマ法皇(Roman Pontiff)は教權及び俗權の完全なる支配權を握つてゐる。政權に於ては、法皇は位階上單なる一僧正(Bishop)に過ぎないが、その權限は神權によつて全カトリック教徒の中心たるべきものとする。法皇は七〇名の樞機員(Cardinals)より成る樞機院(Sacred College of Cardinals)によつて輔佐せらる。法皇の下にローマ法皇廳(Curia Romana)あり、全世界のカトリック

教會を統制する。法皇の最も親しい輔佐役として國務長官(Secretary of State)が任命せられ、法皇廳の内閣總理大臣の任務を行ふ。またヴァチカン市國の世俗的一般政府は法皇に對して直接且つ單獨に責任を負ふ總督(Governor)によつて執行せらる。法皇は樞機員の互選によつて選舉せらる。
現法皇—ピウス二世(Pius XII)
現國務長官—Cardinal Luigi Maglione
一九三九年三月一日任命。

III 政治 ヴァチカン市國の基本的法律は一九二九年六月に公布されたもので、ヴァチカン市國又はローマ市内に居住する樞機員極めて少數の高位聖職者、數名の高級官吏、ヴァチカン市國總督等ヴァチカン市國に職を奉じてそのうちに居住する人々のみである。一般ヴァチカン市民はすべて職を退いたならば直ちにヴァチカン市國の國籍を喪失する。主權は法皇にあり、完全なる立法權司法權、行政權が行使される。事務的行政事項は一個の俗人たる總督によつて統轄せらる。總督は法皇に對して直接且つ單獨に責任を任ずる。最高顧問(Counselor General)行政會議(General Council of Government)書記官長(Secretary General)が置かれ、多數の官吏によつて輔佐せられて行政を掌る。

IV 經濟 法皇廳はそれ自身の貨幣を持

つてゐる。一九三〇年一二月に至り、六〇年間中絶せられてゐた法皇廳貨幣(Papal coins)が再び發行せられるに至つた。五センチシメ及び一〇センチシメ青銅貨、二〇センチシメ及び五〇センチシメのニッケル貨、一リラ、五リラ、一〇リラの銀貨、その他百リラの金貨がそれである。ヴァチカン市國とイタリア政府との特別協定(一〇年間有效)によつて、兩國の貨幣はいづれにおいても通用することとなつてゐる。然しヴァチカン市國が發行し得る青銅貨、ニッケル貨、銀貨の限度は如何なる年においても百萬リレを越えてはならないと規定されてゐる。

V 文化 ヴァチカン市にはサン・ピエトロ大聖堂及びヴァチカン宮殿の如き建築的に見ても極めて優秀な建物があり、内部に藏されてゐる有名な美術品はルネッサンスの精華である。圖書館には五萬の古寫本、六千の初期活版書、七〇萬の圖書が收められ、最も貴重な學術上の圖書が蒐集せられてゐる。その他世界における最大の古美術が蒐集せられてゐる博物館、各國語の活字を有する印刷所、天文觀測所等がある。

VI 自然 ローマ市内のヴァチカン丘陵上に位し、その全面積は僅かに一〇八・七エーカー、人口は一、〇二五人にして、面積並びに人口においても世界最小の獨立國である。この法王領はサン・ピエトロ大聖堂及び附屬建築物と、その前面の大廣場と、ヴァチカン宮殿及び附屬建築物並びにその庭園とに盡きてゐる。

I 歴史概観

原住民はケルト族の一種なるアイラ人 (Irish) とスコット人 (Scott) で、ローマ人はイベルニア人 (Ibernia) と呼ぶ。五五年ケイザルのブリタニア征伐から史上に現れ、五世紀にキリスト教傳來、以後國內紛争相繼ぎデンマーク人の侵入に苦しむ。一世紀初にブライアン・ボル (Brian Boru) 國內を統一クロンタフにデンマーク人を破る。一七二二年に至りイングランド王ヘンリー二世に征服され、ノルマンの諸侯が君臨、僅かにペール (Pale) のみアイルランドの勢力に留る。一五四一年ヘンリー八世はアイルランド議會によりアイルランド王の位に即き、新教を傳ふことにおいて舊教徒たるアイルランド人は迫害を受け、一六四一年以來屢々舊教徒の叛亂が起り、一八二九年の舊教徒解放法により不當壓迫は緩んだが、イギリスの經濟上の重壓は依然として續いた。

一八〇七年頃から自治運動が起り、これが緩和のためのグラッドストーン内閣提案の自治法案はイギリス上院において敗れ、アイル

ランドにはシンフェン黨運動起り一九一二年にアスキス内閣は自治案を再提出した。歐洲大戰中、一六六の復活祭にアイルランドに叛亂起り遂にイギリス自治植民地たる位置を取得、北部アルスター地方は北部アイルランドと稱し、自治法による政府を作る。一九一九年アイルランド議會開設、獨立宣言をなす。この間英國議會は一九二〇年新アイルランド自治法を通過、更に一九二二年アイルランド新憲法を制定し、一九二二年二月、アイルランド自由國建國される。その後長年にわたり英本國との間に抗争を續けて来たが、一九三七年二月二十九日人民投票による新憲法を發布、ここにアイルランド自由國はエール共和國として内政に完全なる獨立を得た。

第二次大戰の勃發はエールに困難なる課題を投げ掛けた。憲法上から云へば、新教的でもあり英國とも利害を共通にする親英的北アイルランドの六州は、エール憲法に服すべき地域である。ここにおける戦争状態の發生は當然エールの中立を困難ならしめるものであつた。他方においては獨立運動の急先鋒であつた非妥協的アイルランド共和軍 (I. R. A.) は、大戰勃發と共に英國の凡ゆる屬絆を断ち切らんとし、特に一九三九年のクリスマス、キーダにはダブリンのフェニックス・パークの武器庫を襲撃して、武器彈薬を奪取し、各地に不穩の形勢を示した。既に一九三九年初頭の I. R. A. の騒擾や、戦争の逼迫

に鑑み、緊急全權法案の提出と共に治安維持に關する諸法令が施行されて来たが、それらが無力を曝露したため改正法によつて強化されねばならなかつた。大戰勃發と共に、ドイツ公使はダブリンに留り、英國はダブリン政府設立以來最初の使節マフイー (Sir John Maffey) を派遣した。彼の肩書は單に「エールにおける英國代表」であつた。

II 元首

共和國元首は大統領であつて、國民の直接投票により選出された大統領は、首相の進言により議會を招集し、解散する權限を有し、公布法律に署名し司法官及び議會の指名により首相、各閣僚を任命、國防軍の最高指揮權を有する。且つ最高法院に對して法案の法的審議を命じ、また議會の申請により法案を國民投票に問ふ權限をも有する。

【現大統領】ダグラス・ハイデ博士 (Dr. Douglas Hyde) 一九三八年五月四日、新憲法に基きエール共和國初代大統領として當選同六月二五日就任。著名な著述家で、任期は七年である。

III 政治

A 總論 一九一六年の獨立宣言を経て一九三七年の新憲法により、内政上の獨立を得たが、對外關係では依然として英國に從屬し、通商、財政、國防の諸問題においては一九三八年四月二七日英國との協定が成立した。これよりさき一九三六年一月、アイルランド議會は憲法を改正して總督廳を廢止し



あらゆる国内の機関からキング(英國皇帝)の名を抹殺すること及び對外國の場合のみキングを英帝國の首長と認めることを決定、一九三七年四月三〇日、アイルランド自由國は國名をエールと稱することになりエールは絶對獨立で民主主義國なる旨を宣言、二院制の議會制度を確立し、參議院の輔佐を受ける大統領に全權を與へることになった。大統領選挙は國民の直接投票によるもので英國皇帝の指圖を受けない。これによりアイルランドは獨立國としての國家的地位が確立せられたものである。大統領の下に内閣、議會、司法裁判所、地方政府があり、夫々の職務を分掌する。

戦時體制 一九三九年二月八日の議會に提出された緊急全權法案(Emergency Powers Bill)、叛逆法案(Treason Bill)および國事犯法案(Olfence Against the State Bill)は大戦の勃發をみるに及んで、何れも通過された。全權法案は、政府に事態に對應する廣汎な權限を與へ、法律は直ちに實施を見るに至つた。國事犯法案は、ルトレッサ法相が第二議會で説明したところによれば、I.R.A.の取締が目的であり、同法に基づく法令は、I.R.A.類似の組織を非法法組織と見做し、叛逆法案は政府に反對派統制の手段を與へた。財政體系の編成替を別とすれば、國防組織の整備が急がれ、九月二日供給省、國防調整省の新設が宣言され、A.B.兩級の豫備義勇軍、豫備將校の動員を見、沿岸監視勤務は義勇軍によつて開始された。空軍がこれに協力し、沿岸防備のための海上部隊が編成された。全權法に基づいて、戦争状態のために義務遂行不能

に陥つたものを救済する法案の發布が、労働黨側から提案されたが、政府はこれを拒否し、裁判所令(Enforcement of Court Orders)によつて事態に即應する旨を明らかにした。英國の本土防衛軍に類似の防護團(Local Security Force)が民間から募られ、一九四〇年九月四日には、英國の地區制度に類似した。それぞれ一、二州からなる八つの地區が定められ、地區司令官(Regional Commissioner)が任命された。

首都 ダブリン(Dublin, Baile Atha Cliath)人口四六八、一〇三人(一九三六年四月二六日現在)。

B 行政 行政權は大統領に屬する内閣によりて執行される。内閣は首相(An Taoiseach)、首相代理(An Tairiste)外に五名乃至一三名の閣僚より成る。

【現内閣】 一九三八年六月三〇日成立、三九年九月二日改組の現内閣の顔觸れは次の如くである。

首相兼外相兼文相	Fannon de Valera
首相代理兼藏	Sean T. O'Calligh
商工相	Sean MacEntee
相注	Gerald O. Boland
農相	Dr. James Ryan
國防調整相	Frank Aiken
土地相	Thomas Derrig
國防相	Patrick Butlerige
厚生相兼地方行政相	Oscar Traynor
國防相	Sean F. Lemass
供給相	Patrick O'Caolithe
交通相	

C 立法 共和國國民議會は大統領及び

上院(Senad Eireann)、下院(Cioll Eireann)より成り上院は定員六〇名、下院は一三八名である。下院議員は成年男女の投票により選出されるが、上院は總員六〇名のうち一一名は首相任命、六名は大學より選出、残り四三名は五つの分野よりの職能代表者中より夫々選出される。

【現議會】 一九三八年六月一七日施行の總選挙においてはデ・ヴァレラ首相の率あるフィアンナ・フェイル黨が前回より九名を増して七七名となり下院に絶對多數を占めた。他の黨派はアイルランド統一黨が三名減、労働黨四名減、中立が二名減。

D 司法 司法權は憲法に従ひ且つ一九二四年の裁判所條例(Courts of Justice Act)によりて執行される。司法裁判所は最高法院(Supreme Court)、高級裁判所(High Court)刑事控訴院(Court of Criminal Appeal)中央刑事裁判所(Central Criminal Court)巡回裁判所(Circuit Court)、地方裁判所(District Court)等である。一九二四年の裁判所條例は一九三六年重要な修正が行はれた。

E 地方行政 行政上二七の郡(Counties)と四の市邑(County boroughs)に分れて居り各郡、市邑には夫々郡會、市邑會がある。郡會及び市邑會は二、三の例外を別として三年毎に選挙される。

F 政黨 現在の大戦下における政治勢力は、デ・ヴァレラの中立派、アルスター地方のクレーガウオンの親英派(Craigavon 'loyalists')、米漢系サンデカリストや社會主義者を含む非妥協的なI.R.A.、反ナチ的共

和主義者、および未組織の農民労働者に分けられる。オ・ダフイー將軍のフアツシスト的書シヤツ黨は現在では非合法的となつた。

G 外交 戦争勃發後エールの動向は英國防衛の見地からも重要視されたが、英國と友好關係を維持しつゝ、獨力で中立を計ることがエール外交政策の基調をなしてゐる。

H 軍備 國防軍は三つの基本的組織より成り、これ等のものは正規軍 (Regular Force) 豫備軍 (Reserve Force)、義勇軍 (Volunteer Force) の三つ、いづれも各種の兵科を有し、一九三九一四〇年における正規軍は、士官六七一名、下士官二、〇六一名、兵卒五二〇一名、志願兵五、七五四名であつた。

IV 經濟

A 總論 アイルランドは一二世紀のイギリス領有以來、久しく經濟的に抑壓せられた。主要産業は農業で、一九世紀の後半においてもなほイギリスの土地貴族 (Landlord) がアイルランド人の耕作地を理由無く收奪し土地を奪はれた多數の農民は悲惨な状態に置かれた。二〇世紀初頭においては飢饉と北米への移民により約五〇年間に入百萬から四百萬に半減これに加へて英本國の利益に抵觸する牧羊業、毛織工業、紡績業等は徹底的な重税を加へられて來たが、大戰後獨立運動の成功とともに事態は漸次改良されつゝある。

B 財政 歳入の最大なものに關稅で、毎年歳入總額の三分の一に近く、所得稅及び内國消費稅がこれに次ぐ。一九三八年のイギリスとの通商協定により關稅收入は多少の減

少を見、これを収益稅の増收、その他によつてカバーすると見られる。歳入の最大なもの

No.1 最近の豫算 (單位 100 萬ポンド)

年次	當座會計	歳入		歳出		入出超
		歳入	債還	歳出	債還	
1937/38. IV.	當座會計	31.2	—	32.1	0.4	-0.9
	資本會計	3.2	3.0	3.5	2.2	-0.3
1938/39. IV.	當座會計	31.9	—	32.1	0.5	-0.2
	資本會計	20.1	19.9	19.1	8.2	+1.0
1939/40. IV*	當座會計	32.4	—	34.4	.	-2.0
1940/41. IV*	當座會計	33.8**	—	33.8**	.	—

備考: 歳入の数字は、行政收入 (Appropriation-in-aid) を差引いたもの。債還は、當座會計の場合には減債基金割當高を示す。*は暫定数字。**は推定。

資料: S. Y. B. L. N.

のは農業省費で、總額の二割以上を占め、教育費の一割五分、恩給費の一割等がこれに次ぐ。公債額は一九三九年三月三十一日現在においては

【農業】 一九三九年における主要農産物の生産高は小麦二五五、二八〇噸、燕麥五三九六三六噸、馬鈴薯二、九九八、四八〇噸その他で、戦争状態に對する強制耕作令によつて、耕地面積は全可耕地面積の六分の一から五分の一へ増加した。一九三九年六月から一九四〇年までの間に、小麦作面積は一九・六%、燕麥作面積は二六・九%を増加し、穀物作面積の増加は二九・三%であつた。同期間に馬鈴薯作面積は一五・六%、甜菜のそれは五・一%の増加を見た。

【畜産業】 一九三九年六月一日現在における家畜数は牛四、〇五七、三三八頭、羊三、〇四七、八一三頭、豚九三〇、九〇七頭、馬四四五、一四八頭、家禽一九、五五一、二一一羽である。

【水産業】 漁業は國土の四隣が海にして、イギリス本國の消費市場を控へてゐるため盛んに行はる。一九三九年において、漁船は汽船一〇隻、發動機船四二一隻、帆船六五五隻、ボート一、五九四隻、合計二、六八〇隻で、漁夫は七、四三〇人に上る。一九三九年度に於て陸揚げせる主要魚類の價格は沿海魚一五五七八ポンド、遠海魚四〇、八二一ポンド、貝類三七、一八一ポンドである。

F 外國貿易 最近とみに増加し、入超の増大を見つゝあつたが、第二次大戰下の輸入の減少によつて、一九四〇年九月一十一月には初めて出超を示した。だが他方において貿易外收支のバランスは、相當悪化しつゝある。主要輸入品は石炭(輸入總額の八%)、機械(七・五%)、小麦(七・三%)等で、主要輸出

No.2 最近の輸出入額 (單位 100 萬ポンド)

年次	輸 入		輸 出		
	輸 入	輸 出	輸 入	輸 出	
1938	41,405*	23,879	41,405*	23,879	
1939	43,181**	26,627	43,181**	26,627	
1940	37,035	33,040	37,035	33,040	
1941	I	2,893	2,250	2,893	2,250
	II	2,371	1,691	2,371	1,691
	III	2,570	1,980	2,570	1,980
	IV	2,344	2,157	2,344	2,157
	V	2,466	2,284	2,466	2,284
	VI	2,234	2,230	2,234	2,230

備考: 数字は總額を示す。*は再輸出を含まない。**は再輸出を含まない。資料: M.B.S.L.N.

品は家畜(輸出總額の四〇・五%)、ラード(九・五%)、ビール(九・三%)、バター(九・一%)等である。

輸入の主要相手國は大英帝國、合衆國、印度およびカナダで、輸出の主要相手國は大英帝國、北アイルランド、ドイツおよび合衆國であつた。なほ一九三八年における對日輸出は五萬三千圓、對日輸入は三三萬四千圓(うち綿織物二〇四萬三千圓)に上つた。

最近の輸出入は次表の如し。

G 交通・運輸 一九三七年末において第一級鐵道は二、八五四哩その他四四哩である。一九三九年度においてアイルランド各港に入港せる船舶は一一、九〇三隻、八、二七二隻、二四五、〇四五噸に上る。これ等の船舶のうち、イギリス船が第一にして、アイルランド船、アメリカ合衆國船、ドイツ船これにつぐ。

V 社會 アイルランドは、農業を基礎

六、一四三・八萬ポンドであつた。

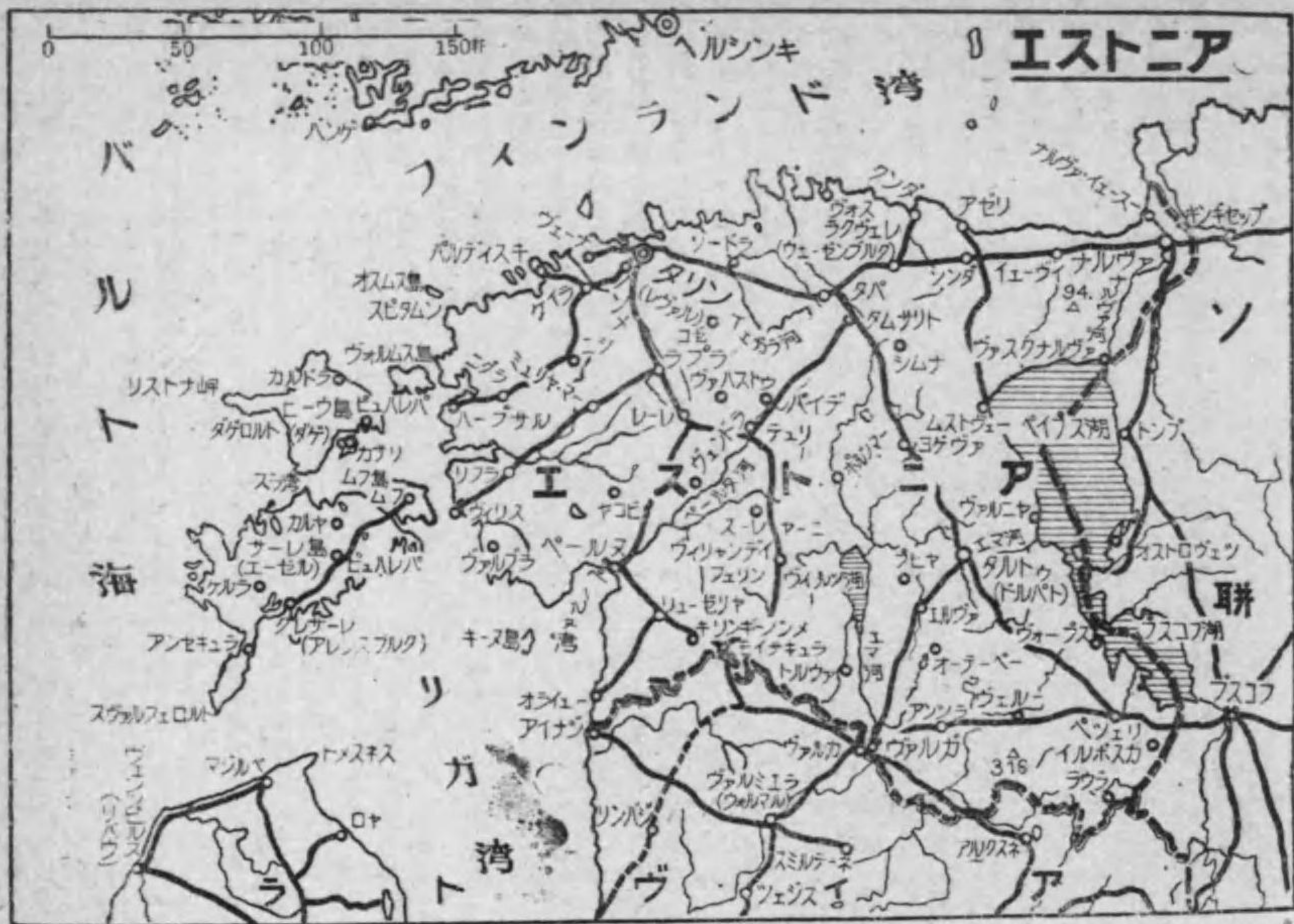
C 幣制 貨幣單位はアイルランド・ポンド (Irish Pound) で、イギリスのポンド貨に等しい。金屬貨幣の外に二種の紙幣が発行せられてゐる。即ち法定紙幣と整理銀行紙幣とである。一九四一年六月末における紙幣流通高は一九、八〇〇、〇〇〇ポンドに上る。

D 金融 アイルランド銀行 (Bank of Ireland) は一七八三年の創立にかゝり、アイルランド最大の銀行である。その資本金は二七六九、二三一ポンド、準備金は三、一八〇〇〇ポンド、預金(政府の勘定を含む)は三三、九九〇、〇〇〇ポンド(一九四〇年四月一七月平均)である。その他、ヒバニーアン銀行 (Hibernian Bank)、ケルスター・レインスター銀行 (Kilminster and Leinster Bank)、アイルランド州立銀行 (Provincial Bank of Ireland)、王立銀行 (Royal Bank)、アルスター銀行 (Ulster Bank)、北部銀行 (Northern Bank)、シティ銀行 (National City Bank)、國立銀行 (National Bank) 等を主として、最後の銀行はロンドン清算銀行である。一九四一年六月末の商業銀行預金(當座預金を含む)總額一三一、八〇〇、〇〇〇ポンドであつた。

E 生産 農業及び牧畜業が主要業であり、水産業も四隣海に面し、頗る活潑に行はれ、畜産にも相當恵まれてゐるが、未だ十分開發されてゐない。工業はイギリスのそれに比較すると國の東北部を除いて、その發達は極めて微々たるものであつたが、デ・ヴァラ政權の國內工業振興策とその金融上の援助とにより一九三七年度における工業化は或る程度の成功を見た。

とし小農經營が最も主で、全國の三分の二がそれによつて支配されてゐる。この經營の小作はすべてアイルランド人によつてなされ地主はもとイギリスの貴族或は資本家であり大土地を所有し、更にこれを細分してアイルランド人の地主に貸つけてゐた。特に一八世紀末からは立法的にアイルランドの農業、商業は抑制され、このために幾多の大量的な北アメリカへの移住が數々に互つて行はれた。その後アイルランド民族運動は労働運動と合流して次第に濃厚となり、イギリス自由黨のグラッドストーンの終生の努力を伴つてその共和自治制は實現されるに至つた。このイギリスの自治領たるドミニオンは、その大土地所有に對してもかなり大なる變化をもたらしアイルランド農民は従来の桎梏から解放されんとしてゐる。而も一方アイルランド民族資本の發展は、こゝに近代國民經濟的發展をもたらし、労働階級は、労働組合會議を組織し、更に労働黨と労働組合とを合體せる全國的労働團體を結成せんとしてゐる。しかし自治國建設以來は、その政治的側面よりも經濟的問題に重點を置き農民階級との協調のもとに國內産業開發が計畫された(なほ、民族獨立運動については本年鑑昭和十五年版を参照せられ度し)。

VI 文化 アイルランド人はケルト系の民族で、浪漫的、空想的にして而も長く英本國のために壓迫せられてゐたために熱烈な反抗心を有し、これ等のものは劇や文學によく表現せられて



147 エストニア

ESTONIA
(英—Estonia)
(獨—Estland)
(露—Estonie)

I 歴史・政治 エストニア人は早くよりフィン族又はウラル・アルタイ族の好戦部族とし史上に現れ、フィンランド人とは共にツラン系として同族である。一三世紀デンマーク、ドイツの侵入を受け一六世紀中葉にはスエーデンに侵略されスエーデン領となる。しかし北方戦争の結果、エストニアはロシアに割譲せらるゝに至つた。その後ロシア革命と時を同じうして一九一七年一〇月、エストニアにソヴェート革命政府が樹立されたが、一月ドイツ軍の占領するところとなり、一九一八年三月三日第一次エストニア共和国が成立した。ドイツ帝政没落するや、同年一月第二次ソヴェート政府が樹立されたが白衛軍はフィンランドの軍資金及び義勇兵とイギリスよりの軍隊と武器とを得て勢力を挽回し、一九一九年一月遂にエス

トニア革命政府は敗退、二月、憲法會議が召集され、エストニア共和国の獨立を宣言し、一九二〇年二月ソ聯により獨立を承認され、又二年一月列強の承認するところとなつた。一九三六年に至つて新憲法制定のため國民議會が召集され、三七年九月新憲法の公布を見、一九三八年一月より實施せられた。首都はタリヌ (Tallinn) にあり、立憲共和国の行政權は大統領にあり、その任命にかゝる國務大臣より成る内閣によつて執行される。立法權は二院制の議會 (Riigikogu) にあつた。ソ聯、ドイツ等の強國の間にある弱小國エストニア共和国はその成立當初よりの特殊關係から親英政策によつてソ聯邦に對し、一方フィンランド及び他のバルチック諸國と提携して自己の安全を保

ある。古來より傳説や神話をこのみ、文學的傳統はイギリスより古く、天才的な藝術家を輩出してゐるが、常に被支配者の立場にあつたため優れた近代的文化を創り出すことは出来なかつた。このため國民の文化的水準低く地方の農民は未だ藁屋根と土で作つた家に住み、舊教を信じてゐる。しかし知的なる鋭敏さに富み、バーナード・ショウの批判、その反抗的な思想、社會主義的自由主義、ワイルドの耽美思想、あるひはフアラティイその他の急進的の革命思想、或はイエーツ、シンク等の神秘思想、ジョイスのフロイド主義的な自我意識の克明な分析法は常に近代イギリス思想に對する積極的な脅威と刺戟と優越を表示してゐる。
【宗教】 現在信仰の自由は認められてゐるが新教的なアルスター地方を除けば大部分はカトリックである。一九三六年四月施行の國勢調査によれば全人口二、九六八、四二〇人のうちカトリック (Catholics) 二、七三三、九二〇人、監督教會 (Protestant Episcopates) 一四五、〇三〇人、長老教會 (Presbyterians) 二八、〇六七名、メソヂイスト (Methodists) 九六四九名、その他一一、七五四名である。
【教育】 無月謝にして、國民學校 (National School) において行はれる。アイルランド自由國 (Suaoria Eireann) の建設以來、アイルランド語はすべての國民學校の最も基本的學課と成るに至つた。約一一、三〇〇人の教師が既にアイルランド語を教授する資格を與へられてゐる。
ダブリン大學 (University of Dublin) は一

五九一年に創立、所謂トリニティ大學 (Trinity College) と呼ばれてゐる。またアイルランド國立大學 (National University of Ireland) は一九〇九年ダブリンに創立される。
【言語】 インド・ヨーロッパ語族のケルト語派 (Celtic) に屬するアイルランド語である。八世紀頃から文献を有す。一六世紀頃から英語の移入を見る。近代にはアイルランド語を使ふものは約五八萬人で、このうち二〇萬位が純粹のアイルランド語を語ると云はれる。

VII 自然

アイルランド島は大ブリテン島と共にブリテイッシュ群島を構成し、その西方にある。中央部はシャノン河の大平原で農作に適し海洋性氣候で氣温適度、然し年中雨多く、夏はC一六度で北へ減じ、冬はC四度で東へ減ずる。植物は繁茂し、緑島の稱がある。島面の形状は波状に起伏した平野で、大部分は土地が隆起してゐるが、一部は荒蕪たる平野をなし、湖沼が多い。島の半ば以上は開拓され、農作物に適するが、大部分は湖沼、河川、砂地等に蔽はれてゐる。また風光明媚で比較的恵まれた自然の條件を有するに拘らず、各方面の發達が遅れてゐるのは、全く多年に亘るイギリスの政治的抑壓によるものである。
【面積・人口】 エール共和国の總面積は六八、八七七方呎あり、人口は一九三六年四月の國勢調査によると二、九六八、四二〇人である。人口密度は比較的粗で一方呎四三人に過ぎない。人口密度の最も密なる地方はダブリン、コーク地方及びウオーターフォード

(Waterford) 地方である。住民はケルト系の種族が大部分を占め、アングロ・サクソン系の種族は僅かである。海外移出入民の數は一九三九年において、移入民三九二人、移出民七六七人であり、一九三八年においては、移入民一、二六一人、移出民一七五一人であつた。
【都市】 首府ダブリンを第一とし、その外ウエックسفオード (Wexford)、ロスレア (Roslino)、ウオターフォード (Waterford)、クインズタウン (Queenstown)、ノーク (Cork) ライリック (Limerick)、ゴールウェイ (Galway) 等がある。ダブリン市の面積は七六方呎、人口四六八、一〇三人 (一九三六年國勢調査) である。

一 参考文献

Statistical Abstract, Dublin.
Curtis (E.), History of Ireland, London, 1938.
長壽吉「アイルランド自由國」昭和一五年

持せんと努力し來つた。その後國際情勢の變化に伴ひ國際聯盟は無効化し、これら無力な小國は英佛陣營にも加はり得ず、僅かに中立政策の堅持を聲明し得るにすぎず、チエコ問題後ドイツの要求によつてメーメルを返還せねばならなくなり、更に獨ソのポーランド攻撃と兩國間の分割後はソ聯邦は公然と三國に強壓を加へて來た。而してこれは先づ、レニングラード及びクロンシュタット港の死命を制する地位にありフィンランド灣を扼するエストニアより初められた。一九三九年九月二十九日ソ・エ相互援助條約が調印されたが、その直後締結せるエストニアとラトヴィアとの間の相互援助協定は、さきのソ・エ相互援助條約の精神に反し、ソ聯の安全を脅威するものであるとの口實の下に、一九四〇年六月十七日エストニアに進入、同年八月六日にはエストニア・ソヴェエト社會主義共和國として名實共にソ聯邦に編入された。一九四一年六月二日獨ソ開戦を機としてエストニアに反ソ叛亂が勃發したが、七月にはドイツ軍がエストニアに至り、ソ聯軍を掃蕩し、エストニアはドイツ軍の占領するところとなり、一九四一年一月には、エストニアを含む舊ソ聯領占領地約五〇萬方里をその管轄地とするドイツ東邦省(ベルリン)が設置され、その長官にアルフレッド・ローゼンベルグが任命された。この東邦省はボルシェヴィズムの政治、經濟、文化組織を覆し、歐洲新秩序の一翼として管下地域の全般に互り、統一的指導を行ふものである。

II 經濟【總論】エストニアは帝政時

代ベテラグランドに對する食糧供給地であり、且ターリン及びナルヴァは海港としてのみならず工業中心地としても重要な地位を占めてゐたのであるが、戦争、革命、内亂のために破壊され、エストニア經濟の再建は眞に困難を極めた。就中財政難に苦しみ、遂に國際聯盟の援助によつて財政改革を行ひ、外國資本の輸入によつて危機を切り抜け、經濟再建に向ふことができた。

ソ聯領に編入されて以來、この國の經濟は漸次ソヴェエト化されて、ことに都會では資本のソヴェエト化は地方にまで未だ及んでゐなかつた。ドイツ軍占領後はドレスナー銀行が東邦省管轄内のリガ(ラトヴィアの首都)に商業金融銀行を設立し、ソヴェエト化された經濟の個人經營化に、金融方面から協力することを目的とした。ついでコンメルツ銀行、ドイツ労働銀行がリガに支店を設け、バルト三國等舊ソ聯のドイツ化に協力してゐる。また軍費支辨のみならず占領地における補助通貨の發行、通貨金融秩序の恢復、金融資金の貸付をも行ふドイツ信用金庫もリガにおかれ、東邦省管下エストニアの通貨、金融、生産の秩序建設に協力してゐる。

【通貨】現在ドイツの軍票が流通、交換比率は、一〇ルーブルが一マルクである。
 【生産】エストニア經濟の基礎をなすものは農業及び酪農業であり、林業が之に次ぐ。最近は工業の發展著しく、一九三九年における工業生産指數(一九二九年=一〇〇)は總指數一五八、生産財一九六に達してゐる。ま

た一般礦物資源には恵まれてゐないが、片油岩(オイル・シエール)の豊富なる埋藏量あり、石油採取が盛である。エストニアの耕地面積は二、六八三、二五九エーカー、即ち全國總面積の二四・九%に當る。作物にはライ麥、燕麥が壓倒的に多く、大麥、小麥が之につぐ。草原地は二、一八六、〇五四エーカー即ち全國總面積の二〇・三%、牧場は一、七七四、六九七エーカーにて、同じく一六・四%を占め、畜産業發達の條件は十分である。一九三八年、エストニアには二七七の製酪工場あり、その八八%は協同組織で、バターは同國第一の輸出品であり、輸出總額の二〇%を超える。森林面積は二、三二四、一四一エーカー、全國總面積の二一・四%を占め、主要産業の一をなしてゐる。木材、パルプ、新聞用紙、セルロース等は同國の最重要輸出品である。工業の中で最も有望なものはオイル・シエール採油業でその生産高の増加も一九三六年六三、四五八、一九三七年一一、九〇八、一九三八年一五〇、〇〇〇と驚異的躍進を示してゐる。

一 參考文獻

- The Baltic States: ... Estonia, Latvia, Lithuania. Prepared by the Information Department of R. I. I. A. London, 1939.
- Chambon (H.C.), La Republique d'Estonie. Paris, 1937.
- Meunier (J.), Histoire des Pays Baltiques. Paris, 1934.



オランダ

HOLLAND

(英—Netherlands)
(獨—Niederlande)
(佛—Pays-Bas)

I 歴史 上代オランダはバタヴィア人、フリース人が住み、ローマに征服さる。後フランク王国に属し、王国分裂後はドイツ帝國に隸屬、第一四世紀にブルグンド公に統一され、後ハプスブルグ家に合せらる。一四五世紀は經濟的に最も發達し、工業、海運、漁業、農業等は大いに盛んとなる。一五五五年オランダはスペインに属す。一五六六年遂にその專制主義に反抗、オレンジ公ウイリアムを首領とする獨立戦役が起る。一五八八年に聯邦共和國を作り、オレンジ家が統治機關を世襲す。商業資本の繁榮時代には、ポルトガルの海上權を繼承し、世界的に大植民地を獲得す。一七世紀の中葉には全歐第一の富國となる。フランス革命の時フランス革命軍により占領され、その世襲的諸機關は廢せられて一七九五年にはバーク共和国が設立さる。一八〇六年ナポレオンはこれを廢して王國となし、一八一〇年フランスに合併さる。

一八一三年ライプチヒ戰後、オランダの自由が宣言され、ウイリアムが即位、一八一五年舊オーストリア領ネーデルラント王國と稱して、ウイリアム一世が國王となす。一八三〇年ベルギー革命のため分裂し、オランダ王國とベルギー王國の二國となり、オランダとルクセンブルグとが統一された。一八四八年二月革命のためオランダは憲法改正に決し、自由主義憲法が、一八四八年に發布さる。一九一四年世界大戰には嚴正中立を守り、國內の鬭争は中止され、戰爭の初期は經濟は隆盛となつたが、經濟封鎖のために經濟恐慌の中に没し、最近安定の域に達した。

一九三九年九月の獨對英佛戰爭勃發に際し中立を宣言したが、一九四〇年五月ドイツ軍の侵入するところとなり、女王並にオランダ政府はイギリスに亡命、飽くまで抗戦を表明した。オランダ本國はドイツ軍によつて占領され、五月一八日ヒットラー總統はオランダにおける統治權行使に關する總統布告を發し、オランダ地帯を國家委員の下に管理せしめることとした。

II 元首 【女王】ウイイルヘルミナ・ヘレナ・パウリネ・マリア女王 (Wilhelmina Helena Pauline Maria, 一八八〇年八月三十一日誕生 先王ウイイルヘルム三世 Wilhelms III の女にして、一八九〇年一月二三日先王崩御の後を受けて王位を繼承す。一九四〇年五月ドイツに敗れ、イギリスに避難す。

III 政治 【總論】ドイツ占領前——一八一四年の民主的憲法により二院制の議會が設立せられ、一九一七年以來男女平等の普通選舉が施行せられ、行政權は國王にあり、立法權は國王と議會との兩者にあつた。司法權は一九三四年一月一日より大審院によつて行使されることになつた。

【ドイツ軍占領以後】一九四〇年五月一八日オランダにおける統治權行使に關する總統布告によりオランダ地帯國家委員 (Rechtsoverheid) が設置され、ザイス・インクアルトが任命された。同國家委員は總統に直屬し最高行政權を有し、その定むる諸規定の實行及び行政の執行に際してはオランダ官廳を利用し得る。軍事統治權はオランダにおけるドイツ軍總指揮官に依り實行せられ、同指揮官(軍政長官)は國防軍の三長官同様その軍事上の任務の遂行及び軍隊の安全に必要な措置を命ずるの權限を有する。なほオランダの法律は軍の占領に障害とならざる限り效力を有する。

國家委員はオランダの高級官吏、地方長官、市長、警察官を任命し、或ひは罷免する權限を有して居り、次の四人の委員 (Centraalkommissie) に輔佐せられてゐる。

經濟 Frischboeck
勞働 Schmidt
治安 Rauber (St. S. Gruppenthver)
文化 Wimmer

なほオランダの地方長官(知事)はドイツ人の輔佐を受けてゐる。

【政黨】オランダの政黨は比例選舉の結果小黨分立してゐて、政界は極めて複雑してゐた。政黨の大體の分野はその右翼を爲すものは現在の第一黨たるカトリック黨を始めとし

して、ウイリアム一世が國王となす。一八三〇年ベルギー革命のため分裂し、オランダ王國とベルギー王國の二國となり、オランダとルクセンブルグとが統一された。一八四八年二月革命のためオランダは憲法改正に決し、自由主義憲法が、一八四八年に發布さる。一九一四年世界大戰には嚴正中立を守り、國內の鬭争は中止され、戰爭の初期は經濟は隆盛となつたが、經濟封鎖のために經濟恐慌の中に没し、最近安定の域に達した。

選挙が施行せられ、行政權は國王にあり、立法權は國王と議會との兩者にあつた。司法權は一九三四年一月一日より大審院によつて行使されることになつた。

【ドイツ軍占領以後】一九四〇年五月一八日オランダにおける統治權行使に關する總統布告によりオランダ地帯國家委員 (Rechtsoverheid) が設置され、ザイス・インクアルトが任命された。同國家委員は總統に直屬し最高行政權を有し、その定むる諸規定の實行及び行政の執行に際してはオランダ官廳を利用し得る。軍事統治權はオランダにおけるドイツ軍總指揮官に依り實行せられ、同指揮官(軍政長官)は國防軍の三長官同様その軍事上の任務の遂行及び軍隊の安全に必要な措置を命ずるの權限を有する。なほオランダの法律は軍の占領に障害とならざる限り效力を有する。

反革命黨、キリスト教歴史黨の三大政黨がある。このほかフアシスト黨たる國民社會黨、左翼を爲すものは社會民主黨、自由黨、自由民主黨の三大政黨であつた。その他共產黨がある。オランダにおいては殆んど常に右翼が優勢にして、政權はその掌中に握られてゐた。ドイツ軍占領後もオランダの政黨はなほ存在するが、強力な労働者黨は解散せしめられた。有名なオランダ・ナチスのロスト・ヴァン・トニンゲンは社會主義委員會を組織し、今一人のオランダ・ナチス有力者ヴァンデルベルグは労働戦線に似た労働組合運動の長官に任命せられた。オランダ・ナチス運動の指導者はムツサート(Mussert)である。

【外交】一九四〇年五月一日日獨蘭交戦のやむなきに至つたが、開戦後數日を経ずして本國の大半を占領せられ、政府機關は五月四日ロンドンに移され、イギリス依存主義を以て飽くまで對獨抗戦を宣言してゐる。ドイツ軍占領下の本土においては五月九日以来軍政を施かれ、その外交權はドイツによつて接收された。即ち七月一五日後はオランダに關する政治的條件は悉くドイツ外務省において取扱はれてゐる。

IV 經濟 【總論】 從來オランダ經濟の基本的部分は、植民地ならびに海外との通商に負うてゐた。すなはち、その工業は原料の主要部分を海外よりの輸入に俟ち、製品の販路もまた海外を主とする。オランダの農業は、その肥料を海外より輸入しなければならなかつたし、有名な酪農業は海外の飼料に依存しなければならなかつた。そしてオランダ

の仲繼貿易は國民經濟の重要な地位を占め、豊かな資源を持つ蘭領東印度諸島は、年々數千萬ギルダーを本國の國民所得に加へてゐた。かくて戦争による世界經濟の混亂、分解はオランダにとつて極めて重大な影響を及ぼすものであつた。

オランダ降伏以後、ドイツのオランダ經濟再編成に對する方針は、出来るだけ従来の經濟生活を混亂せしめぬ様にして、漸次ドイツ的統制經濟に移行せしめようとするにあつた。先づナチスによつてオランダ經濟のキイ・ポイントが握られ、ドイツから多くの専門家が派遣されたが、このうちにはザイス・インカートの輔佐役として前オーストリア蔵相ハンス・フィツシュニェックが加へられてゐた。そして先づ各省より集められた最高委員會に、直接經濟上の諸責任が與へられ、「經濟協力委員會」の議長とし、もと國際通商局長であつた Eerkhaar van Vinsingen が任命された。ドイツのライヒ管理局 (Reichskontrol) と同一機能を有する管理局 (Rijk-bureau) が設けられて、石油、石油製品、陶器業、纖維、羊毛、貿易、戰時食料品、烟草、スクラップ等に關する管理が行はれた。

【幣制・外國爲替】 オランダの基本貨幣は一〇グラム純分〇・九〇〇、金六・七二〇グラム、純分〇・九〇〇、金六・四八グラムを含有する。銀貨の單位はグールドンにして全重量一〇グラム、純分〇・九四五、銀一・四五グラムを含有する。法貨は金貨及び一八七五以前に發行した銀貨である。オランダの貨幣單位はグールドン (Guilder)、ギルダー

(Guilder) 又はフロリン (Florin) と呼ばれ、一〇〇セント (Cent) より成る。現在流通してゐる銀貨は一〇、二五、五〇、一〇〇、二五〇セントの五種類で、銅貨は〇・五、一、二・五セントの三種、ニッケル貨は五セントの一種である。一九三六年九月二六日金本位を停止した。ドイツ軍がオランダを占領するやドイツ信用金庫券(ドイツ幣經濟の項参照)が従来の通貨とともに流通した。しかし正常な取引關係が回復されると、七月初に至つてドイツ當局者はオランダ銀行と協定國內に流通してゐた信用金庫券をグールドン券と兌換し、現在支配手段としては専らグールドン券が流通してゐる。信用金庫券とオランダ通貨の交換比率は一オランダギルダー一・五ライヒマースルクである。

銀行券の流通高は一九四〇年一月には一、五五二億ギルダーとなつたが、この數字は一九三七年平均の一・八倍である。金保有高は一九三九年に入つて四四七億ギルダーを減じて一、〇一四億ギルダーとなり、外國爲替保有高も、四百萬ギルダーから二百萬ギルダーに減じた。このうち金保有高は四〇年七月には一、二〇〇億ギルダーとなつたが、以後再び減少傾向を見せてゐる。

一九四〇年二月から爲替管理が行はれた。【金融】 オランダ銀行は私立であるが、紙幣發行權を有する唯一の銀行である。同銀行は他の一般銀行と同様の營業を成し國內主要都市にはすべて支店を有してゐる。流通行程にある紙幣の五分の二は準備金を必要とする。オランダ銀行の資本金は二千萬ギルダー

である。同銀行は國庫金、國立貯金局、その他各機關の現金を保存する。一九三八年におけるオランダの私立銀行二六八行でその預金總額は五六、二四四萬ギルダーであつた。銀行の他に郵便貯金局があり、その預金額は六七八七八萬ギルダーであつた。一九三九年にはメンデルスゾーン銀行の破産等の混亂を生じたが、全體としてはよく困難に耐へ戦時状態に入つた。一九四〇年末の商業銀行預金七五四百萬ギルダー、貯蓄銀行預金は三六一百萬ギルダー、郵便貯金は四八四萬萬ギルダーであつた。なほ亡命オランダ政府はその金所有高をロンドン、ニューヨークへ移管した。金はオランダ信用機構上何らの基礎をなしてゐない。それにも拘らずグールドン相場が安定してゐるのはオランダが外國爲替市場から完全に切り離されてゐるためであつた。

【生産】 オランダには山地無く、すべて低地で沼澤地及び堤防、その他を占める不耕地面積は全體の二三%に上る。最も大なる部分を占めるのは牧場の三八%、耕地の二七%とする。森林は僅か七%強に過ぎない。以上の如くオランダの總面積の約七〇%近くが農牧業に占められてゐる。その主要産業は農業と牧畜業とであつて、礦物資源には乏しく、石炭の採掘及び鐵工業は二〇世紀に入つて漸く始められた。しかしオランダには古くから織物業、陶器製造、製絲業があつて、手工業から機械工業への轉換は他の國々よりも遅れたが、一九世紀の末葉に至つて「工業化」が可能なり進み世界大戦によつて急速に進展した。造船所及び機械工場は一九一三年の三か

No. 1 主要農業生産 (單位1,000キントナル)

		1938	1939
小麦	イ	4,338	4,165*
	鈴	1,405	1,460*
大麦	イ	5,511	6,035*
	鈴	4,465	4,492*
燕麥	イ	28,428	30,000*
	鈴	1,909	2,176*
糖	(1)	103.0	108.4*
タバコ	(1)	124.9	120.6*
バナナ	(2)	49,913	51,682*
ミルガリン	(1)	71.4	71.0*

備考:-(1)1,000噸 (2)1,000ヘクトリツトル、*印は推定數字ないしは暫定數である。資料:-S.Y.B.L.N.

ら一九三九年の二一に増加し、同期間に化學工場は九から一五に、株式資本は七四四萬フロリンから六六七七萬フロリンに高まり、オランダ諸企業は總投下資本の三〇%は工業が占めた。オランダの人絹工業、マルガリン其他食料工業は世界的である。ゴム、製

No. 2 鑛工業生産 (單位1,000噸)

		1938	1939*
人	絹	9	11
セ	メ	456	541
パ	ル	105	108
褐	炭	2,095	2,183
石	炭	13,488	12,861
亜	鉛	25.3	20.5

備考:-*印は推定數ないし暫定數。資料:-S.Y.B.L.N.

業は原料不足のため多少縮小されねばならなくなつたが、ドイツは他のヨーロッパ諸國からの原料供給についてはドイツと同一の條件の下に提供されることを保障したと云はれる。牧畜業も海外からの飼料輸入不可能のため國內飼料による程度にまで縮小されざるを得なくなつた。オランダ農業中新事態に容易に適合し得るものは園耕で、オランダの園耕生産物はドイツへ流れこんでゐる。【物價】 オランダの物價は恐慌期の低調を續け、一九二九年を一〇〇とする卸賣物價指數は、三九年に七三・九であつたが三九年九(以下一、五三七頁へ續く)

■ 經濟 【財政】 北アイルランドの租税の大部分はイギリス本國の當局により課せられ、徴收される。本國政府は一定の控除をなし、残額を北アイルランド大蔵省 (Northern Irish Exchequer) に回送する。聯合大蔵省委員は一名のイギリス大蔵省の代表、一名の北アイルランド大蔵省代表及び國王の任命する一名の委員長とから成立し租税を割當てる。北アイルランド議會は獨立の課税権を有するが、關稅、内國消費稅、組合利得稅、資本利子稅等は除外される。一九四〇—四一年に於ける豫算歳入は一三、八四〇、〇〇〇ポンド、豫算歳出は一三、七〇〇、〇〇〇ポンドに達した。

【生産】 北アイルランドの主産業は農業である。農産物は小麦、燕麥、大麥、ライ麥、豆類、馬鈴薯、蕪菁、甜菜、キャベツ等が産出され、一九三八年度に於ける收穫高は燕麥二八、七〇四噸、馬鈴薯七一、三六九噸、蕪菁三二、〇四九噸、亞麻四、〇三六噸、牧草八二四、九八九噸に上る。

畜産業—一九三九年一月に於ける家畜數は牛七〇〇、五六四頭、羊五五、二六二頭、豚五六五、七二六頭、家禽六、〇三八、〇〇一羽が數へられる。

鑛業—一九三七年に於ける主たる鑛物の生産高を擧ぐれば火成岩四六一、八一三噸、砂岩二七、八〇〇噸、白堊一九二、三七六噸、粘土二二、一六四噸、石膏一〇、六六〇噸、石灰石六二、四二八噸等となる。一九三七年におけるこれ等の鑛物採掘に従事する人員は、總計一、九四九人に上る。

工業—主要な工業はリンネル製造と

船舶建造であり、兩者ともベルファスト (Belfast) を中心として居る。リンネル製造には約七萬人の人員を使用し、八七四、〇〇〇の紡錘と二八、〇〇〇の織機とを備へて居る。一九三八年中にイギリスから輸出されたリンネルの價格は五、四八〇、〇〇〇ポンドに達するが、その殆んど全部が北アイルランドから産出されるのである。ベルファストの造船所は約一五、〇〇〇人の人員を使用し、毎年の建造能力は二〇〇、〇〇〇噸を突破してゐる。

IV 社會 ジェームス一世がイン格蘭ド及びスコットランドの新教徒をアイルランドの北部アルスターの地に移してより、アイルランド舊教徒の叛亂が相次いだ。一九二一年に至り、アスキス内閣は第三回アイルランド自治法案をイギリス議會に提出したが、保守黨は之に對し反對を表明し、アルスターのイギリス人は激烈な反對運動を起して中央政府に反抗した。而してアルスターの義勇兵とアイルランド愛國義勇軍との間には流血の慘事をさへ見るに至つた。然しながら大戰の勃發にこの闘争は一時中止することとなり、戦後遂にアイルランドは獨立して自由國の地位を得た。元來アイルランドには多くケルト系のアイルランド人が居住して居るが、前述の如く北アイルランド一帯には新教徒のアングロ・サクソン系イギリス人及びその混血族が多いため、戦後アイルランドが獨立して自由國となつたに拘らず、北アイルランドは依然として、大ブリテンと同じく、王國に安んじて居る。然し第二次歐洲大戰勃發後アメリカ兵の

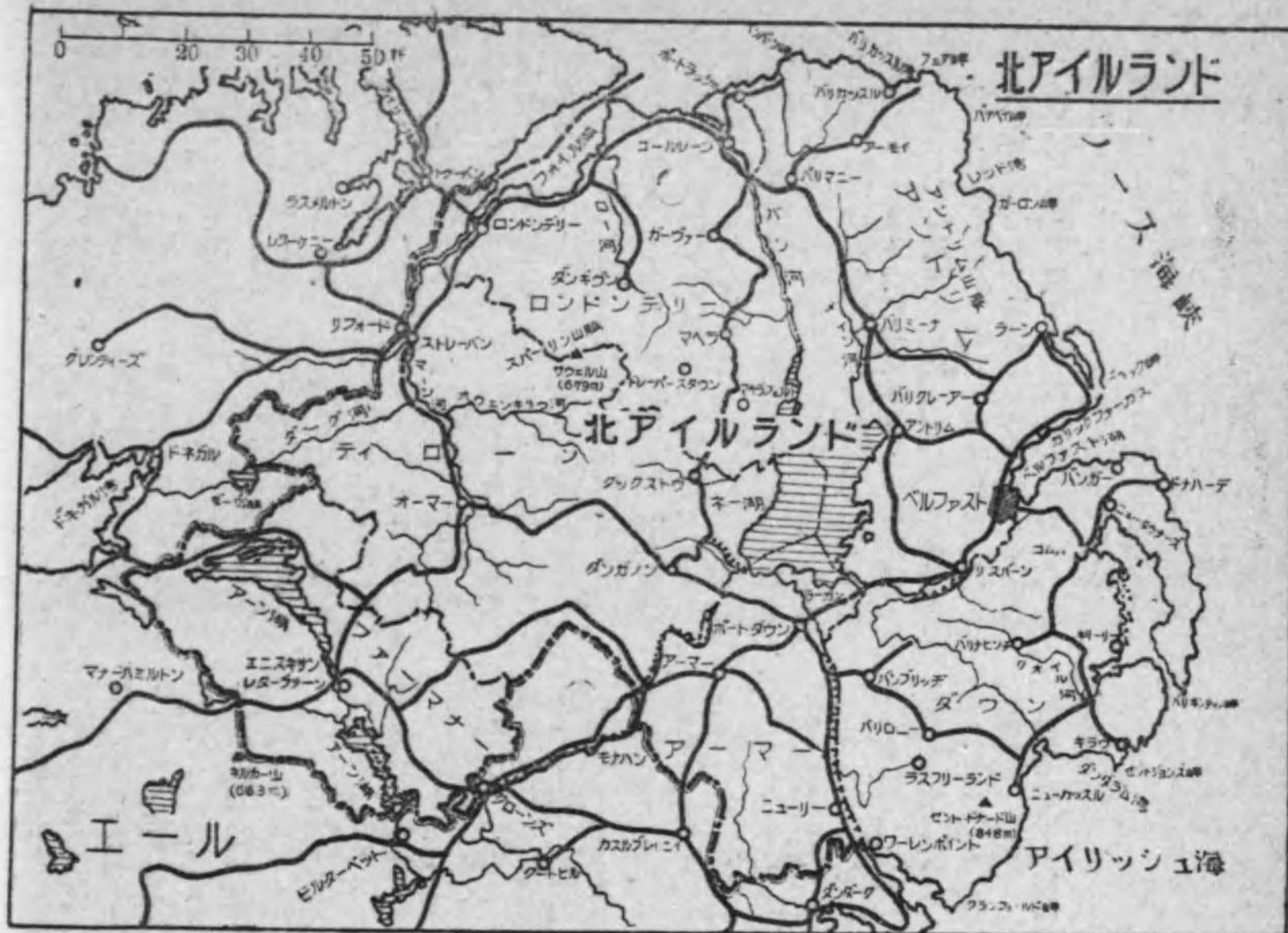
進駐と相俟つて反英運動を激化するに至つた。

V 文化 【宗教】 一九三七年の調査による北アイルランドの宗教別人口はローマ・カトリック四二八、二九〇人、プロテスタント・リリアン三九〇、九三一人、プロテスタント・エビスコペリアン三四五、四七四人、メソヂスト五五、一三五五人、その他五九、九一五人にして、總計一、二七九、七四五人である。

【教育】 學校はベルファストにクワイーンズ大學 (Queen's University of Belfast) があり、その他中等學校が七五校、工藝學校が六四校、工藝指導所が六六ヶ所あり、公立小學校が一、六九一校ある。

VI 自然 北アイルランドはアイルランドの北東部を占め、アルスター (Ulster) の三州を除いた残りの二市、六郡より成つてゐる。氣候は暖流に浴するため北に偏してゐるにかゝらず比較的暖かく、降雨量も多い。面積は水面積を除き三、三三二、二五一エーカー、一九三七年の推計人口は一、二七九、七五三人である。

—參考文獻—
Ulster Year Book. Belfast.
Mansergh (N. J.), The Government of Northern Ireland. London, 1936.



149 北アイルランド

NORTHERN IRELAND

(屬—Northernland)
(稱—Irlande du Nord)

I 歴史 北アイルランドはアイルランド自由國と同じく、一、二世紀頃より漸次アングロ・サクソン族の侵入するところとなつた。宗教的壓迫以外に新教徒の利益のために廣範圍にわたる土地の沒收を遂行したが、土着の舊教徒は、壓制を排除せんとして一六四九年、一六八九年、一七九八年叛亂を起し、一八二九年には遂に舊教解放令が發布されることになつた。一九二〇年イギリス議會を通過せしめる條令は南アイルランド (Southern Ireland) 二六郡と北アイルランド (Northern Ireland) 六郡とに別々の議會を設けることを規定し、一九二一年二月六日のアイルランド・イギリス本國間の條約は、境界委員 (Boundary Commission) を設置し、北アイルランドに、一九二〇年の條令による獨立を持續する自由を與へ

た。

I 政治 一九二〇年アイルランド政府條令 (Government of Ireland Act) は、一九二二年に至り、アイルランド自由國條例 (Irish Free State Act) によつて修正されたが、この條令に基づいて北アイルランドは獨立の議會と政府とを有つことになつた。議會は上下兩院より成り立法を司る。政府は議會に對し責任を有し、政治の衝に當る。議會及び政府の上には總督 (Governor) がある。總督は國王を代表して北アイルランドを統治する。總督の任期は六ヶ年である。

現總督—アバコーン公 (Duke of Abercorn) 一九二二年二月八日任命され、一九二八年及び一九三四年の二回にわたり再任命さる。

首府—ベルファスト (Belfast)

ギリシア

HELLAS

(英—Greece)
(獨—Griechenland)
(佛—Grèce)



I 歴史 紀元前二千年頃よりギリシア半島を中心とする地中海沿岸地方にギリシア人の氏族(Phratrias)部族(Philes)が散在してゐたが、前一千年の頃ドーリア人の南下、アイオリア人、イオニア人等の先住ギリシア人の東方発展が一段落をつけ、夫々の土地に定住した。之等のものは次第に多数の東方的都市(Polis)を形成し、部族の共有農耕地は個人の私有へ發展、貨幣經濟の發展は更に貿易、商業の發展となり、貴族たる大地主に代つて富裕な商工業者が政治的勢力を代表する様になつた。ついで前六百年代には僭主(Pyrrhos)の出現を見る。前四九〇年、ペルシア戦役に勝利を得るや、アテネは前四七八年デロス同盟の盟主となり、廣汎な奴隸制的古代國家の基礎の上にヨーロッパ古代文化の本流を創出した。その後、アテネとスパルタの對立起り(ペロポネソス戦役)ギリシア諸市は著しく衰退し、前三三八年にはマケドニアに征服され、こゝに世界的マケドニア國家が樹立されギリシア文化は東方文化と融合し、所謂ヘレニズムの時代が招來されたが、此間ローマの

勃興あり、遂に紀元前一四六年にはローマの一州となつた。ローマ帝國も紀元四世紀に東西に分裂ギリシアは東ローマ帝國即ビザンチン帝國の一部となつた。一三世紀に入つては十字軍の西歐封建國に分割され、トルコのビザンチン帝國征服後はその一州と化した。その後ヴェネチア共和國が盛んとなり、ギリシアの附近の諸島を占有、トルコと抗争したが敗れ、一五〇三年ギリシアは完全にトルコに征服されたが、一九世紀初頭以來トルコ帝國の衰頹を機としてギリシア獨立革命運動が起り、英露佛の援助によつて一八三〇年ギリシアは獨立するに成功した。獨立後列強は常にギリシアに干渉して王の廢立、政府の更迭をなし、希土戰爭の敗北及び財政の破綻は益々ギリシアを列強に從屬せしめた。世界大戰には聯合軍に投じ戦後平和條約にて舊ヨーロッパの大部分を取つたが、一九二二年ケマル軍に大敗、ヨーロッパトルコの一部を保有するに止まつた。一九二四年三月ギリシアは共和制を樹立其後も國內の動搖は絶えず、事毎に王黨たる保守派と共和制を支持する自由派とは對立し、遂に一九三五年王統派の革命となり、一時鎮壓せられたるも同年一〇月コンデリス陸相のクーデターにより、ゲオルギオス二世の歸還を決定、漸く一月二五日こゝに二年振りに帝政の復活を見た。

II 政治 ギリシアにおいては一九三五年に共和制が廢止され、帝政の復活を見、ゲオルギオス國王の下にメタクサス首相の事實上の獨裁が行はれ、これより一九四〇年までの五年間にギリシアは政治經濟軍備に互り諸般の革新的施策の實現に營々と努力し、バルカン半島の戰略的重要地點を占める獨立國家たる地位を漸次強固にしつゝあつた。然るに今次世界戰爭勃發し、ギリシアは中立を標榜しつゝも、傳統的の英佛依存のゆきがかりから、遂に一九四〇年一〇月にイタリヤと開戦した。この戦争においてギリシアは果敢に擧國抗戦し、ために戦局は一時膠着状態におちいつた。かゝる時に當りギリシアは有能な指導者メタクサス將軍を失ひ(一九四一年一月没)、後繼内閣の組織に迅速圓滑を缺いて内政は一層不安定となり、對外的にも英國側から得た援助は決して満足すべきものではなかつた。他方一九四〇年夏以來ドイツはルーマニアブルガリア等に兵を進め、満を持して機至るを待つてゐたが、四一年四月ユーゴスラヴィヤを鐵袖一觸のうちに屠つた餘威をかつてギリシアに進撃、これまた三週間にして屈服せしめた。この敗戦によつてギリシア國王および閣僚はクレタ島に遁竄し、英希聯合軍による抗戰繼續を呼號したが、翌五月のクレタ島に對する獨軍の攻撃を支え得ず、遂に同島を脱出し、ギリシア政府は事實上潰滅した。一方國內にふみとどまつたギリシア軍首領部は對獨降服條件を受諾すると共に、コラコゲル將軍を首班として親獨の新政權を樹立した(四月末)。新首相コラコゲル將軍は國民

にメッセージを送り、國王蒙塵後の抗戦の無意味、對獨伊提擧と時局收拾の能力ある政府樹立との必要を懇へ、同將軍がギリシア諸將星の同意を得て新内閣を結成した所以を表明した。ついで政府はギリシア全軍の動員を解除し(五月)、また一切の軍人および一般國民に對し當局の許可なくして出國することを禁止し、違反者は財産を沒收する旨布告した(九月)。

かくてギリシアはいまや對英依存を清算し他のバルカン諸國と共に樞軸側に立つて世界新秩序建設に参加し、國家再建に努力しつつある。
註一九四一年五月クレタ島を脱出したギリシア舊政府は、同年九月に前外相エマヌエル・ツィテロスを首班とする亡命政府をロンドンにおいて組織した。閣僚は左の如し。
首相兼外相(前外相) ツィテロス
副首相兼海相(前同) サケルラリウ提督
陸相 ギミトラカキン
空相(前同) ニコライデス將軍
蔵相 ギアルザアロツソン
労働相(前農相兼労働相) ギミトラス
【行政・立法】一九三六年メタクサス將軍の獨裁開始以來、首相は形式上國王の命によつて内閣を組織し、獨裁的に行政權を行使した。立法の分野においても議會は存せず、法令は勅令の形で發布され、政黨は禁止されてゐた。一九四一年四月對獨降服後においても國王權の消滅を除けば、行政立法とも從來同様と見るのが妥當であらう。

現内閣は前項記載の如くコロコグル將軍を首班とする軍人内閣であるが、閣員氏名は不詳である。

【軍備】國民皆兵、徵兵制を施す。服務年齢二一―五〇歳。一九四一年四月の對獨降服以前の兵力は、平時六萬五千乃至八萬五千、戰時約五〇萬。飛行機四〇〇乃至四五〇機。海軍は戰艦一(一萬二千噸級)、巡洋艦二、驅逐艦一〇、水雷艇一三、潜水艦六、總計四三、一五六噸であつた。
對獨伊戰における海軍の損害(一九四一年五月ギリシア亡命政府發表)は驅逐艦三隻、補助艦艇三〇隻に上る。

【財政】一九三九―四〇年度通常豫算の歳入は一四、〇一五萬ドラクマ(以下同じ)、歳出は一四、六五四(差引不足六三五)、一九四〇―四一年度のそれは歳入が一四、六五四、八五一、歳出が一五、五一四(差引不足六六三)である。世界戰爭による國家財政の逼迫のため適當な増税が必要になつた。三九―四〇年度に比し四〇―四一年度は歳出入とも増加し、歳出増は一層大きい。他方公債収入は三九年一月から一月までに前年に比し少し減じた。更に同年を通じ政府は外債の四〇%、内債の七五%の契約義務を履行した。
【國債】一九三八年二月三一日における公債は五二、一四一、九三一、三八〇ドラクマでそのうち金貨公債三二、〇六九、八四五、八七九ドラクマ、紙幣公債一三、八三七、六三三九六〇ドラクマ、流動公債九九〇、九二一、二四三ドラクマ、諸債務五、二四三、五三〇、二

No.1 財政統計 (單位百萬ドラクマ)

年度	歳入	歳出
1929-30	9,855	9,847
1930-31	10,342	10,333
1931-32	10,241	10,234
1932-33	8,676	8,674
1933-34	9,748	10,400
1934-35	10,498	11,320
1935-36	10,813	11,165
1936-37	11,184	12,794
1937-38	16,094	15,467
1938-39	14,519	15,106
1939-40	14,015	14,654
1940-41	14,851	14,514

資料:- S.Y.B., M.B.S.L.N.

九八ドラクマ、これら債務に對する公債費は一九三九年三月三一日に終る會計年度において二、一九四、四七二、一一五ドラクマに上る。
【幣制】本位貨はドラクマ(Drachma)で純金〇・〇一九五二六三四グラムを含む。ドラクマは一〇〇レプタ(Lepeta)に當る。流通ニツケル貨には一〇レプタ、二〇レプタ、五〇レプタの三種及び一ドラクマ、二ドラクマの二種あり、他に銀及びニツケルで造られた五ドラクマ、一〇ドラクマ、二〇ドラクマの三種の貨幣がある。
【金融】國立銀行(一八四一年創立)は紙幣發行權を許されてゐたが、一九二八年五月一二日の法令により、同年五月一四日より發行權はギリシア銀行に移された。一九三九年二月三一日における紙幣流通高は九、四五三萬ドラクマ、金準備四、二二三萬ドラクマに上る。一九三六年末のギリシア國內の銀行は二九、預金總計一七、三七一萬ドラクマ、資本金總計一九、七〇百萬ドラクマである。

2.0N 主要農産物 (単位千キント)

Table with 9 columns: Year (年度), Wheat (小麦), Barley (大麦), Rye (ライ麦), Oats (燕麥), Buckwheat (玉蜀黍), Tobacco (煙草), Cotton (棉), Wine (葡萄酒). Rows show data from 1929 to 1939.

資料:—S.Y.B.L.N.

【生産】農業を基本産業とし、人口の半は農業に従事してゐるが、国内の山嶽的性質のため耕地面積は国土の二二%に過ぎない。...

に産し、オリーブも多く、耕作面積約三八〇、〇〇〇ヘクタールで、一九三八年におけるオリーブ油産額一〇二、八〇五噸、價格にして二、二三三萬ドラクマに上る。果樹の栽培も多...

No.3 最近の輸出入 (単位1,000ドラクマ)

Table with 3 columns: Year (年度), Import (輸入), Export (輸出). Rows show data from 1929 to 1939.

資料:—S.Y.B.

【交通運輸】道路は總計八、四四〇哩に上る。一九三六—七七年に鐵道は全長一、六六八...

【度量衡】一九二〇年以降メートル法が公用される。IV 社會 人口密度は一方科につき四九...

【労働者数の一七八%】が工業に従事し、それらの大多数は建築労働者、大工、石工、靴工であるが、しかし約一〇萬の織物工、四萬五千の冶金工、四萬八千の煙草および巻煙草工が存在してゐる。生活水準は一般に云つて隣邦諸國よりかなり高い。

【文化】【宗教】一九二八年の國勢調査によれば各宗教の信者数はギリシア正教五、九六一、五二九人、カトリック三五、一八三人、プロステタント九、〇〇三人、マホメット教二二六、〇一七人、ユダヤ教七二、七九一人、その他の宗教一六二二人。一八六四年の憲法によりギリシア正教が國教であるが、他の信仰も自由である。

【教育】七歳から一二歳までの児童に対しては義務教育になつてゐるが、この法律はまだ地方にはよく行互つてゐない。一九三六—三七年における幼稚園数は六四五、小學校は八、一五九校、中學校四〇八校、商業學校五一校、商船學校四校、農學校一九校、農業實習學校五校、第二級農學校六校、神學校七校、行政學校三、士官學校九校、士官實習學校九校、海軍兵學校一校、下級海軍兵學校一六校、飛行學校三校、社會事業學校六校及び技術職業學校五八校等があり、高等教育としてはアテネに國立大學(一八三六創立)とカポデイストリア大學があり、サロニカに一校ある。その他、高等農學校一、高等商業學校一、美術學校一、私立高等政治學校一などがある。【通信】一九三七年一月三一日における電信線は二三、九七六杆、局數五、三七八に上る。

る。一九三七年における都市電話線一、二二七杆。都市間電話線一一、〇九杆。加入者數三八、四二七、局數三七である。なほ一九三七年末における郵便局數は一、三六八局に上る。

【自然】バルカン半島の最南端にあり沿岸一帯は所謂沈降海岸で、多くの入江と無数の島嶼がある。海岸線甚だ長く、中央部には西北からコリント灣、東南からエギナ灣が迫つて其の間は極めて狭い地峽をなし、又無数の島嶼のうちでは東岸のエウボイア、クレタが最も大である。エーゲ海南方の一群の諸島はキクラデス諸島と云ひ、そのうちサントリンは火山島である。氣候は比較的温和で所謂地中海性氣候をなし、アテネの一月平均気温は八度二、七月平均は二六度八、年平均一七度二である。雨量は少く年量三九四程度、冬に多く夏に少ない。低地にはマラリア病が発生する。

【面積人口】全面積は一二九、八八〇方キロメートル、即ち五〇、一四七方哩に上る。うち本土四一、三二八方哩、屬島八、八一九方哩である。一九二八年の國勢調査の結果、男子は三、〇七六、二三五人、女子三、一二八、四九人、うち都市人口が三三%を占める。一九三八年一月三一日の人口概算は七、一〇八、〇〇〇人に上る。

【都市】都市人口は、一九二八年の國勢調査によれば、全人口の約三分の一、即ち農村人口の六七%に對して三三%を占める。最大都市は首府のアテネ(Athens)にして、人口三九萬、それに次ぐ都市はピレウス(二八萬)

一九三七年八月にテサロニキと改稱されたものサロニカ(二三萬)等がある。

参考文献

- Annuaire Statistique de la Grèce.
Colinas (G. N.), La Grèce Economique.
Brussels, 1930.
Crawley (G. W.), The Question of Greek Independence. Cambridge, 1930.
Morgenstern (Henry), I was sent to Athens. New York, 1930.
【日本語文献はブルガリアの項を参照されたい】

151 クロアチア

CROATIA

(獨—Kroahtian)
(併—Croatie)

I 歴史 第一次歐洲大戰の結果、クロアチアは舊オーストリア・ハンガリー帝國から分離され、セルビア族、スロヴエン族その他の諸民族と共にユーゴスラヴィア國を形成した。最初はセルブ・クロアイト・スロヴエン國と稱す。このうち戦勝者であるセルビア人は新國家の支配權を掌握し、セルビア中心の中央集權制を以て他民族を壓倒せんとした。セルビア人は一九一九年國王を中心とする集權的獨裁制を樹立し、徹底的なクロアイト抑壓の手段に出たが、この獨裁制も一九三四年國王が暗殺されるに及んで崩壊し、民主主義的線に沿って行政組織を改革しクロアチアには多少の自由が與へられることとなつた。併しこの程度の譲歩では到底クロアチア人の満足を得ず、マチエツク博士を首領とするクロアイト反對派は終始一貫反政府的立場をとり、言論並に出版の無制限なる自由並にクロアチアに對する完全なる自治を要求した。かくて遂に一九三九年八月二四日兩者の間に協定が成立し、クロアチア人は夢寐にも忘れ得ざりし自治權を獲得した。このとき雖

を接するかの如く歐洲大戰が勃發し、突如として起つたユーゴのクーデターは獨伊軍侵入の導火線となつた。ユーゴは潰滅せられ去就に迷ふマチエツク博士を置去りにしてクロアチアは親樞軸派の手によつて獨立の宣言が行はれた。

II 政治 ドイツ軍のユーゴ進撃に呼應して、クロアチア郷土軍首領アンテ・パベリツチ(當時イタリヤに亡命中)はラジオを通じてヒトラー總統とクロアチア獨立に關する協定を成立せしめ、獨伊の援助の下に一九四一年四月一日獨立の宣言を行ふと共に首都をアグラムに定む。かくてパベリツチは急遽歸國し、四月一七日次の如き額振れを以て新政府の組織を完了した。

III 經濟 農牧が主要産業で總人口の四分の三がこれに従事する。全地域の約四六%が可耕地で、そのうち約八割は耕地、葡萄園、菜園である。一九三八年クロアチア州の農業生産は甜菜六一、〇〇〇噸、ニガナの根(コーヒ一代用品)一三、〇〇〇噸、大麻九七、〇〇〇噸、亞麻四、七〇〇噸、大豆六五〇噸、蕎麥一二〇噸、ホップ二四噸。主要鑛産物としては、年産五七萬トンの褐炭のほか、石油(ユーゴ一石油産額の八三%)、天然ガス(年産一〇〇萬乃至二六〇萬立方米)、鐵、黃鐵鑛等である。工業は大部分自國産の原料に加工する程度の食料品工業、織維工業、木材工業等を主とするが、舊ユーゴ一の中では最も發達してゐた。

IV 文化・社會 クロアイト人はセルビア人、スロヴエン人等と同じく南スラヴ系の民族であるが、地域的にオーストリア・ハンガリーに接し、且つ永年同國から政治的支配を受けた關係からその受け入れた文化はゲルマンの色彩が濃厚で、特にその藝術は舊ユーゴスラヴィア中比肩を見ない。この點セルビア人が多年トルコの支配下にあつて野生的であるのと大いに異り、又これが兩民族の融合を困難ならしめた。言語はバルカン・スラヴ語であるがその中にドイツ語やイタリヤ語が混入してゐる。宗教は大部分ローマ・カトリック教を奉ずる。

V 自然 獨立宣言後、伊・獨・洪及びセルビア等の隣接國との間に國境劃定が行はれた結果、ドイツ側の發表によれば面積は一五、一三三平方千米で、人口は七、〇八〇、六二九人と報せられる。

152 サン・マリノ

SAN MARINO

(獨—San Marino)
(併—Saint-Marin)

I 歴史 イタリア半島中部に位するヨロツパに於ける最も古き獨立共和國たる歴史を有し、その獨立は一二九一年に至りローマ法王廳により正式に承認されるに至つた。一九世紀の後半に至り現イタリア王朝が半島を統一した時にも、このサン・マリノ共和國だけは其の獨立が尊重され、兩國間に修好條約が締結された。またイギリス、ベルギー、オランダ、アメリカ合衆國の諸列強とも亡命者送還條約(Extradition Treaty)を締結してゐる。

II 政治 政體は共和制である。大統領は Capitani Regenti と呼ばれ、毎年二人宛六ヶ月の任期をもつて大評議會によつてその議員中より選出せられ、共和國のすべての國務を總攬する。大評議會は立法院にして、國民の一般投票により選出された六〇名の議員より構成される。議員の任期は九ヶ年にして三年毎にその三分の一が改選される。一般行政は六ヶ月の任期を有する二名の大統領によつて執行せられ、大統領は「經濟委員會」(Congresso Economico di Stato)、「司法委員會」(Co-

gresso dei Magali)、「労働委員會」(Congresso degli Studi)、「軍務委員會」(Congresso Militare)等の大統領任命の各委員會によつて補佐せらる。大統領は重任を許されないうが、三ヶ年後には再選を妨げない。また裁判はイタリヤ市民たる司法官が置かれて、これにあたる。國防は一六歳—五五歳の健康なる男子がこれにあたり、但し教師と生徒とは例外とする。またイギリスに自國の代表者を派遣して獨立國の體面を維持せるも政治及び經濟の各方面において多くイタリヤ政府の保護を受けてゐる。

III 經濟 【財政】一九三八—三九年度の歳出入バランスは五、四七四、六三七リレで一九四〇年度は六、〇〇九、九一九リレと見積られてゐる。その歳出の四分の一乃至五分の一は毎年教育費に支出され、また鹽及び煙草の消費税、及びイタリヤ政府の關稅償還金とが、サン・マリノ共和國唯一の主要財源を成してゐる。

【貨幣】サン・マリノ貨幣はイタリヤ及びヴァティカン市のそれが一般に流通してゐる。サン・マリノ共和國發行の貨幣には五リレ、一〇リレ、二〇リレの三種の銀貨がある。また郵便切手も自國のものを使用してゐる。【産業】同國の主要産物は葡萄酒及び家畜を主とし、テイタノ山(Mount Titano)からは建築用石材が多く産出し、輸出せられる。【交通】また交通機關としては一九三二年

六月、アドリア海に面するイタリヤ都市リミニ(Rimini)よりサン・マリノ市まで、約二〇哩の間に電車が開通するに至つた。

IV 社會 貴族、商人、農民の三階層より構成されてゐる。支配層は勿論少數の貴族で、商人及び農民は殆んど政治に關與することが出来ない。この國の憲法によれば、大評議會は、この三階層より平等に構成せらるゝことを定められてゐるが、既に過去長い間選舉も行はず同國の政治は完全に貴族の掌中に握られ古代の貴族の寡頭政治が現在そのまゝ行はれて來てゐる。併し人口の増加、教育の普及および現代思想の影響のため、最近この國においても貴族政治は少なからざる困難を感じて來てゐる。

V 文化 教育は比較的進歩し、數個の小學校と、その他、高等學校が一校設けられてゐる。民族、言語、宗教もすべてイタリヤと同一である。宗教は極めて盛んでサン・マリノ市に數個の舊教の寺院が建てられてゐる。また新聞紙はすべてイタリヤ新聞である。VI 自然 イタリア半島の北部、アドリア海リミニ市より南方二〇哩の内地にあり、その北部國境を四度の緯線が通過してゐる。國内はすべて山岳地帯で、アペニン山脈(Apenine Mts.)の支脈が蟠まり、その最高點は九〇〇米以上に達する。地質は一般に下部が白堊紀、上部が第三紀漸新統に屬する。サン・マリノの國境線の全長は二四哩、その全面積は三八方哩で、一九三九年九月におけるその全人口は一四、五四五人にして、一方哩の人口密度は三八三人に上る。

ジブラルタル

GIBRALTAR

(獨・領—Gibraltar)

官吏議員を以つて構成される。裁判所は、治安裁判所 (Magistrate's Court) 及び高等法院が一つづつ設けられてゐる。ジブラルタルは海軍根據地であり、軍略上非常に重要な位置を占めて居る。軍港は奥深く、面積は約四四〇エーカーである。

【現知事】 General Lord Gort, V.C. 一九四一年四月二六日任命。

【現植民長官】 Lt-Col. Hon. A. E. Beattie

【現植民長官】 一九三七年度は歳入一九九、七二五ポンドに對し、歳入二〇七、六二八ポンドを示す。歳入の主なるものは關稅收入であり、歳出の主なるものは俸給費である。

【金融】 貯金局 (Government Savings Bank) は、一九三八年末現在、五、四七〇人の預金者と三、一三、〇〇〇ポンドの預金を有する。その他、金融機關は私立銀行五行を數へる。

【幣制】 法律上の通貨はイギリス本國と同じであるが、スペインの通貨も流通を見る。一九一四年大戦勃發以來、紙幣が同時に地方政應によつて發行されてゐる。一九三八年末現在の通貨流通額は二二五、〇〇〇ポンドに上る。

【外國貿易】 港の貿易は主として中繼貿易であり、入港する船舶には石炭を供給する。酒類、タバコ、自動車用輕油及び香水類には輸入税が課せられる。

【交通・通信】 一九三八年度にジブラルタルに入港せる船舶は四、七五二隻、一三、七七

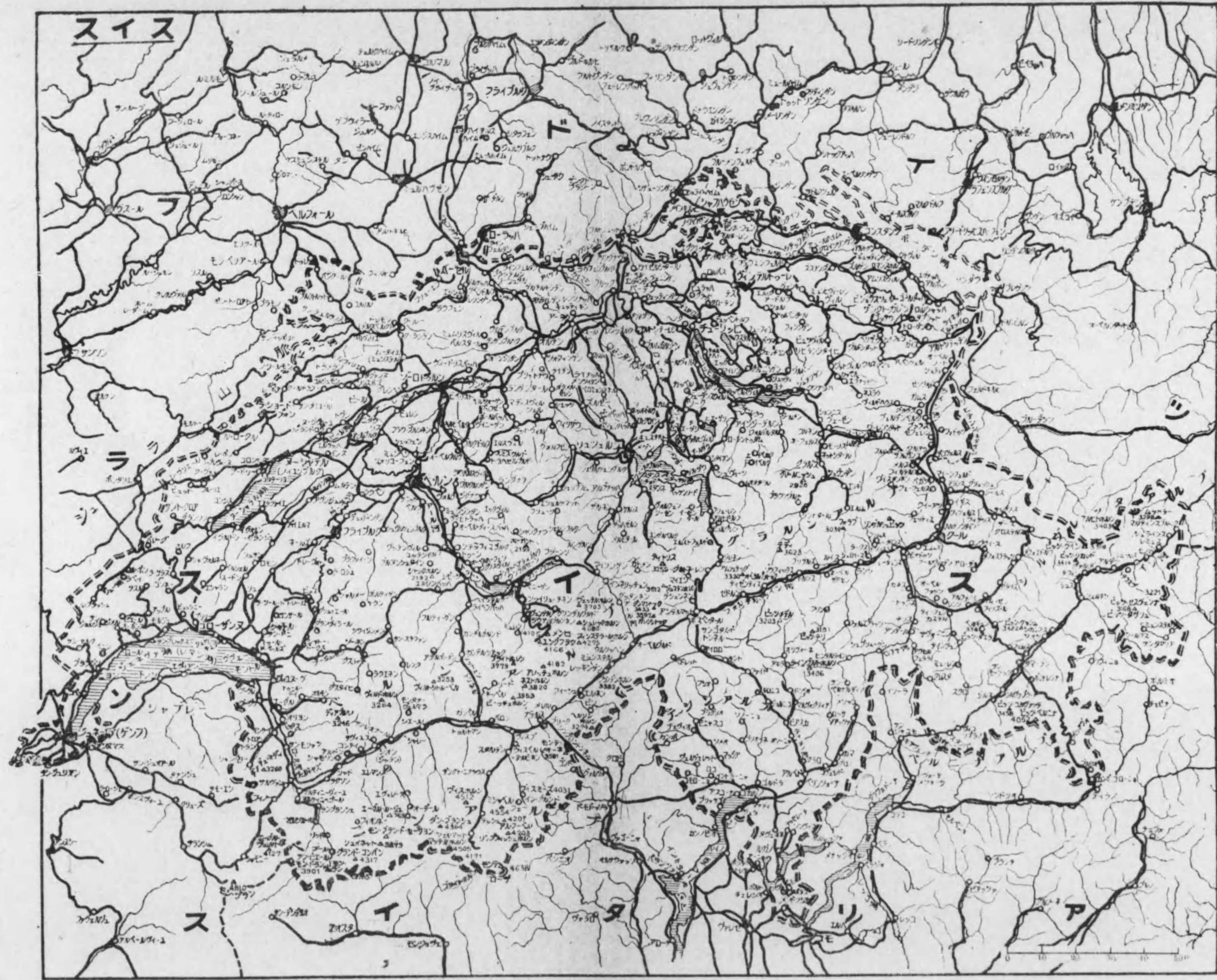
二、三二二噸にして、出港せる船舶は四、七四四隻、一三、七四八、九七八噸である。また自動電話があり、東方電信會社 (Eastern Telegraph Company) は一電信局を有つて居る。イギリスとの間には毎日郵便船送が行はれ、海底電信は大陸、タンジール、地中海の東方諸港、イギリス等との間に設けられてゐる。

IV 社會・文化 ジブラルタルはイギリス海軍の地中海の咽喉部を占める極めて重要な要塞都市にして、殆んど全く軍事的意味において存在の意義を持つてゐる。その人種別は支配民族たるイギリス軍人を除き極めて少數にして、多くスペイン、イタリア人でアフリカ土人も少くない。その定住民の宗教は大部分ローマ・カトリックである。プロテスタントの寺院が一つと、ローマ・カトリックの教會が四つあり、この兩者への補助金は年五〇〇ポンドに達する。五歳から一四歳までは義務教育が施される。イギリスの私立學校が數校設けられてゐる。政府が補助金を支給して居る小學校は二三校あり、そのうち一校はローマ・カトリックの小學校である。中等學校は四校を數へる。

V 自然 ジブラルタルはスペインの南端にある都市にして又要塞である。大陸とは長さ一哩半、幅半哩の地峽によつて連絡し、スペインとイギリスとの境界には中立地帯がある。ジブラルタルの面積は一・八七五方哩あり、總人口は、一九三一年の國勢調査によると、二一、三七二人に上る。一九三九年一月一日における定住民數は二〇、三三九人と概算される。

I 歴史 一五世紀にグラナダ王國 (Kingdom of Granada) へ併合される迄、ジブラルタルの地はムーア (Moors) 人の領土であつた。スペインの王位争ひの戦争に乗じ、一七〇四年七月二四日、イギリス・オランダの聯合軍はルツク (George Rooke) の下に、スペインからジブラルタルを奪取した。次いで一七一三年に至りジブラルタルはイギリスに讓渡された。スペインは一七〇五年秋及び一七三六年の兩度にわたり、フランスの援助を得て、ジブラルタルの奪還を企てたが成功せず。一七七九—八三年に互つて再度の攻圍を續けた。然しながら攻圍軍は非常な痛手を蒙り、一七八三年二月六日に至り、遂に攻圍を解いた。

II 政治 知事 (Governor) は軍司令官 (Commander-in-Chief) を兼ね、行政參事會 (Executive Council) が之を輔佐する。行政參事會は、總督の次位にある陸軍實戰將校 (Combatant Military Officer)、植民長官 (Colonial Secretary)、検事長 (Attorney General)、財務官 (Treasurer) 及び知事の選出三名の非



三六年度の両度にわたり、フランスの援助を得て、ジブラルタルの奪還を企てたが成功せず。一七九一―八三年に互つて再度の攻圍を續けた。然しながら攻圍軍は非常な痛手を蒙り、一七八三年二月六日に至り、遂に攻圍を解いた。

Ⅰ 政治 知事 (Governor) は軍司令官 (Commander-in-Chief) を兼ね、行政参事會 (Executive Council) が之を輔佐する。行政参事會は、總督の次位にある陸軍實戰將校 (Combatant Military Officer)、植民長官 (Colonial Secretary)、検事長 (Attorney General)、財務官 (Treasurer) 及び知事の選出三名の非

他、金融機關は私立銀行五行を數へる。
【幣制】 法律上の通貨はイギリス本國と同じであるが、スペインの通貨も流通を見る。一九一四年大戦勃發以來、紙幣が同時に地方政廳によつて發行されてゐる。一九三八年末現在の通貨流通額は二二五、〇〇〇ポンドに上る。

【外國貿易】 港の貿易は主として中繼貿易であり、入港する船舶には石炭を供給する。酒類、タバコ、自動車用軽油及び香水類には輸入税が課せられる。
【交通・通信】 一九三八年年度にジブラルタルに入港せる船舶は四、七五二隻、一三、七七

校が數校設けられてゐる。政府が補助金を支給して居る小學校は二三校あり、そのうち一校はローマ・カトリックの小學校である。中等學校は四校を數へる。

V 自然 ジブラルタルはスペインの南端にある都市にして又要塞である。大陸とは長さ一哩半、幅半哩の地峽によつて連絡し、スペインとイギリスとの境界には中立地帯がある。ジブラルタルの面積は一・八七五方哩あり、總人口は、一九三一年の國勢調査によると、二一、三七二人に上る。一九三九年一月一日における定住民數は二〇、三三九人と概算する。

スイス

CONFEDERATION SUISSE

(英—Switzerland)
(獨—S. Schweiz)
(佛—Suisse)

I 歴史 一三世紀末ハブスブルク家に對する農民の反抗同盟が組織され、この同盟は一六四八年には神聖ローマ帝國より獨立した。一八世紀労働集約的な織維、時計等のマニファクチュア資本家は農民と共にヘルヴェチック同盟を作り一七九八年ヴァーイトは獨立してレマン共和國を建設す。一八〇三年、ナポレオンの干渉は遂にスイスをフランスの同盟國たらしめて統一、一八一五年のウィーン會議によつて全國二州よりなる共和的な永久中立國となつた。一八四八年には新憲法制定により中央集權が確立を見、以來國際的には永久中立の下に工業發達し全歐の政治的進歩主義、自由主義の代表國となつた。第一次世界大戦には絶對中立を宣言、平和主義の下に世界で自由主義的立憲政治の最も發達した國家を稱す。戦後國際聯盟本部がジュネーヴに置かれてゐた。第二次大戦勃發にさいし、再び中立を守つてゐる。

II 政治 現行憲法は一八七四年改正にかゝるものであるが、主權は人民にあると同時に各州夫々獨立し、立法、司法、行政權を

賦與されてゐる。従つてスイス聯邦の憲法改正は聯邦議會乃至は直接人民投票に依つてをり、地方分權制を呈示してゐる。そのデモクラシーはこの地方分權に由因するものであり、聯邦政府 (Bundesrat) は聯邦議會 (Bundesversammlung) より選ばれる七名の議員により構成され、大統領及び副大統領は聯邦議會により選出される。

外相 Marcel Pilet-Golaz (急進民主黨)
司法・警察相 Edward von Steiger (農民・労働者・中産階級黨)
軍務相 Dr. Karl Kobelt (急進民主黨)
農・工相 Dr. W. Stampfli (急進民主黨)
選・鐵相 Dr. Enrico Celio (カトリック保守黨)

り、一九四〇年六月、獨逸休戦後、スイスが全
 體主義國に包圍せらるゝや、大統領の権限強
 化により新政治體制への方向を明らかにする
 と同時に一月に至つて聯邦政府令により共
 産黨の合法性は失はされた。

【外交】 一八一五年、ウィーン會議にて永
 世局外中立國となり、その外交關係は最も平
 和主義を徹底せるものであつた。また一九一
 九年のバリ會議の結果、ジュネーヴに國際聯
 盟の本部が設立された。各國の關係者がこの
 本部に活動し、國際外交の焦點をなした。第
 二次大戰勃發に際しては即日嚴正中立を發表
 したが、その中立は全體主義國の利害と一致
 し、諸弱小國の如き悲劇的運命を辿らなかつ
 た。

・なほ、獨逸休戦後一九四〇年八月獨逸通
 商協定成立し、更に一九四一年九月にはクロ
 アチアとの間に通商協定が成立してゐる。
 【軍備】 國民皆兵の義務兵制を採用し、
 聯邦は九師團區に分たれ、電團三、師團九、
 旅團七（獨立旅團四、山嶽旅團三）、空軍一
 に編成される。一九三九年における現有兵力
 は基幹一二、三四六名、徵集兵二一、六九五
 名、現役及び豫備一六一、三八一名である。
 一九四〇年、ギザン國防軍總司令の名におい
 て召集令が發せられた結果、約六五萬の兵員
 が動員せられた。

【經濟】 一六、七世紀頃すでに絹布、
 木綿、時計等の手工業が發達してゐたが、未
 だ一九世紀の初までは、これら手工業の散在
 せる農業國であつた。然るに一八四八年の革
 命によつて共和國となり、漸次工業の發達、
 かる状態にも拘らず、スイスは工業國として
 英、白、獨と肩を並べてゐる。即ち労働集約
 的な時計工業は世界に冠たるものがあり、工
 業人口は總人口の五割を占め、農業は僅か
 に二割五分を占めるに止まる。

工業一九二九年における工場数は八、五
 一四で、時計製造は工業の重要な部門にな
 つてゐて、一九三九年における時計輸出数は
 一九、八七三、〇〇〇個、一九三八年に醸造所
 五九あり、ビールの生産高四六、九四二、七
 八〇ガロンである。又一九三八年における刺
 繡工場の Sewing Machine 使用数は八四九臺
 手縫機は八九四臺に上る。

【物價】 生計費は戦前の水準より二五%上
 昇した。特に輸入燃料の價格の騰貴は著しい。
 一九四一年五月の卸賣物價指數は一九三九年
 七月に比し、七一%騰貴して居る。併し通貨
 及び預金はさしたる増加を示さず夫々二一%
 八%(二月)の増加である。

【貿易】 一九三九年八月までスイスの外國
 貿易は増加の傾向を示したが、戦争の勃發は

最近の輸出入
 (單位千フラン)

年度	輸 入	輸 出
1935	1,283,304	821,960
1936	1,266,262	881,633
1937	1,807,166	1,286,850
1938	1,606,902	1,316,572
1939	1,889,358	1,297,577

資料 - S.Y.B.

都市の成長と共に經濟的自由主義の時代に入
 る。しかし國內に於ける鐵、石炭の缺如はス
 イスの工業を労働集約的な局面に局限せしめ
 ることとなり、マニユファクチュアの状態に
 停滞することとなつた。

【財政】 スイス聯邦政府の財政は、専らア
 ルコール税、徴兵免役税、關稅等により支持
 され、一九四〇年度歳入總額五一三・二百萬
 フランのうち四〇六、九三四、七一〇フラン
 に上り、約八割を占める。これに對し歳出は
 五八四・三百萬フランで收入不足を示してゐ
 る。國防費は特別會計に計上され、之を賄ふ
 べく二三の新税が設定されんとしてゐる。例
 へば國防税で、各州が各自に資本及び所得
 に課税し、之を聯邦政府へ移讓するのであ
 る。

その他政府は増税を考慮し、徴兵免役税を
 二倍にする事が決定され、更に所得税、資本
 税、戰時利得税、賣上税および爲替平衡資金
 への課税によつて同じ目的の資金が確保され
 てゐる。
 國債一聯邦の公債は鐵道公債を除いて、一
 九四〇年一月一日に二、二三七、五七五、〇
 〇〇フランに上る。その他流動公債が四八七
 五・一七、一七九フラン、總計二、七五、〇
 九二、一七九フラン、鐵道公債を加ふれば五
 八四一、三九六、五二九フランに達する。
 【幣制】 貨幣單位はフラン(Franc)で、一〇
 ラッペン(Rappen)或はサンティム(Centimes)に等しく、純分は一九三六年九月二六
 日、二九〇・三二二五ミリグラムより一九〇
 ミリグラムと二一五ミリグラムの間に低下さ

貿易の状態をも一變させた。原料食料の供給
 を確保する措置が必要となり、輸出は著しく
 減退した。平年スイス貿易は輸入超過ではあ
 るが、海外投資の利子及び旅行者運輸業の收
 入によつて、貿易差額は順調であつたが、戰
 後は利子収入なく、運輸業の不振により國際
 收支の逆調は蔽ひ得ない状態にある。
 【主要輸出入品】 輸出品の首位を占めるも
 のは時計、機械、綿製品、絹製品等である。一
 九三八年における輸出額は時計二四一、三二七、
 〇〇〇フラン、機械二〇五、八八一、〇〇〇フ
 ラン、綿製品一〇九、〇七八、〇〇〇フ
 ラン、絹製品八七、〇五七、〇〇〇フランであつ
 たが、戦争勃發の年たる一九三九年には、夫
 夫一九五、六七七、〇〇〇フラン、二〇〇、〇
 八九、〇〇〇フラン、一〇三、二九二、〇〇
 〇フラン、八五、五三一、〇〇〇フランに減
 じてゐる。主要輸入品は鐵材、鋼材、穀物、穀
 物等で、一九三九年における輸入額は鐵材一
 七九、七〇二、〇〇〇フラン、鋼材二〇八、
 七二二、〇〇〇フラン、穀物一七八、八二三
 〇〇〇フランに上つた。貿易相手國はドイツ
 フランス、イタリヤ、イギリスを主としてゐ
 た。

【交通】 主要道路は一〇、二〇〇哩ある。
 鐵道全長三、二一八哩(電車及び索條鐵道を
 除く)あり、國有鐵道は次第に電化され、一
 九三五年の初頭において通常軌道の電化され
 た箇所一、三一三哩ある。水路には(マジオ
 ーレ湖を除いて)一九三八年に一三會社によ
 つて經營される船一〇三がある。航空路は次
 第に發達し、一九三九年(八月月間)には輸

れた。金貨には二〇、一〇の各フラン、銀貨
 には五、二、一、〇・五の各フラン、ニツケル
 貨には二〇、一〇、五の各サンティム、青
 銅貨には二、一の各サンティムがある。紙
 幣には二五、二〇、五の各フランがある。

【外國爲替】 歐洲大陸諸國の通貨が獨逸統
 制下に入るや、スイス・フランに對する米國
 の凍結令適用を恐れて在米資金は本國に還流
 し、かくてスイス國立銀行の爲替準備金は増
 大する一方スイス・フランに對する買物殺倒
 し相場は一九四一年初め二三・二二セントと
 一九四〇年五月の二二・二五セントに比し恢
 復し始めた。なほ、同銀行はフラン賣りによ
 るドル預金の増大を懸念しフラン賣りを抑制
 して商業目的のみに限定するに至つた。

【金融】 在米資金の本國還流はスイス國立
 銀行の爲替準備金を増大し、一九四〇年六月
 の三九百萬フランから一九四一年末には一
 二七六百萬フランに達した。一九四〇年一二
 月末に於ける國立銀行の營業狀態は、金準備
 二、一七三、二〇三、五〇二、金爲替九九七
 八七一、七八五、割引一四九、二九〇、〇〇
 〇、立替四五、四〇〇、六フラン、銀行券
 流通高二、二七三、三八五、七二五、有價證
 券八六、三五四、八八三、預金一、七八、〇
 六四、五一六である。なほ割引歩合は一九四
 一年五月三分半から三分に引下げられた。
 【生産】 國内の大部分が山岳であり、且つ
 雨の過多、山岳的氣温等々のため農業には適
 しない。工業は極めて發達してゐるが多くの外
 國の原料に依る。鑛産物に恵まれず、動力資
 源としては水力電氣が唯一のものである。か

送旅客数は二八、三三一名、貨物三九二、〇
 〇〇噸飛行距離一、一八九、九一三に上る。
 IV 社 會 農民を本來としたスイスは次
 第に手工業の發展を見、特に世界大戰以後は
 世界金融界に重要な地位を占めるに至つた。
 戦後の國際經濟銀行、國際聯盟本部の設立は
 軍隊をも著しく増大せしめた。一九三〇年の
 人口の職業比率は、農業二五%、工業四八
 %、商業一九・一%、其の他七・九%で、全
 國は殆んど工業的労働者が多數であり、特に
 時計工業は最も大なる労働者数を有してゐ
 る。なほ人種的にはドイツ人は全部の約七割
 を占め、フランス人、イタリヤ人、ユダヤ人
 がこれに次ぐ。

V 文 化 世界の公園としてのスイスは
 工業的藝術を有し、また思想的にはラテンと
 ゲルマンの美しき調和を表現する。ルソーの
 自然に對する要求は全くスイス風物によるも
 のであり、アマエル、セナンクールの作品は
 この風土の必然的産物である。風景美、健康
 なる高原、湖畔、山嶽またウィンター・スポ
 ーツの發達をもたらし、ホテル、呼吸器病の
 療養所、クラブの著しき發達を示す。國人の
 勤勉にして技術的才能に富めるために機械的
 の工作にすぐれ、また農民藝術にも興趣深き
 製作をなし、また時計製造はその技術の繊細
 巧緻なることを以て世界に冠絶する。

【宗教】 スイスにおいては信教の自由は絶
 對的に且つ完全に認められてゐる。一九三〇
 年一月一日の國勢調査による住民の主要宗
 派別を見るに、プロテスタントは二、二三〇
 三〇三名(全人口の五七%)、ローマ・カトリ



ツク一、六六六、三五〇名(四一%)、ユダヤ教一七、七九三名(〇・四%)である。

【教育】 スイスの教育行政はその聯邦制が發達してある結果地方分權制が行はれてゐるすべての州(Canton)においては初等教育は無月謝である。大學は七校を數へる。即ち一四六〇年創立の Basel、一八三三年創立の Zurich、一八三四年創立の Bern、一八七三年創立の Genève、一八九〇年創立の Lausanne、一八八九年創立の Fribourg、一九〇九年創立の Neuchâtel の七校である。

【新聞】 最も有力な新聞はジュネーヴにおいて發行されてゐる Journal de Genève である。同新聞は自由民主黨 (Liberal Democratic Party) に屬し、これに次ぐものに Neue Zürcher Zeitung がある。

W 自然 スイスは、東に獨逸オーストリア、西にフランス、南にイタリア、北にドイツの諸國を廻らし、ヨーロッパの略々中央に位する。その山岳の地形ならびに氣温は農業に適せざるも工業よく發達し、またその國際交通路の重要地點を占めること、風光の明麗な點など、よく國際的政治組織の中心としての自然的條件をそなへてゐる。

スイスは全く羣岳、山地によつて構成される。北にはユラ山脈 (Mts of Jura) が、東々北より南東に向つて走り、南にはこれと平行してアルプスの連山が雄大な峻峯を巒表に突出して居る。この兩者の間には平野が横がり全國の平均高度は九八〇メートルに達する。ヨーロッパ第一の山岳國である。

【氣候】 氣候は土地の高低によりて非常に

相違し、特に氣温の差は甚だしい。山上は四時雪に蔽はれ、氷河懸り、非常に寒冷であることは云ふまでもない。低地は冬期三ヶ月を除けば、同緯度の他國と比較して氣温は低いが、酷烈と云ふ程ではない。比較的高い谷地は乾燥して晴天が連續する。ダヴォス・プラツツ (Davos Platz) は、この故に、寒氣は強いが肺患者の療養地となつてゐる。地中海よりアルプスを吹き上つた風がその北面に吹降るや、所謂フエーン (Föhn) 即ち雪喰ひとなり積雪を融かし、氣温を高め、又著しく乾燥せしめる。

【面積・人口】 一九三〇年二月一日の調査によると、スイスの總面積は一五、九四四方哩あり、人口數は四、〇六六、四〇〇人である。人口密度は一方哩につき二五五人となる。一九三九年一月一日の推定人口は四二〇萬人である。

【都市】 一九三〇年二月一日の主要都市の人口は次の如し。チューリッヒ (Zürich) 二四九、八二〇人 (一九三三年には三一三、六〇〇人)、バール (Basel) 一四八、〇六三人、ジュネーヴ (Genève) 一四二、八二二人、首府ベルン (Bern) 一四二、七八三人、ローザンヌ (Lausanne) 一七五、九一五人。

—— 参考文献 ——

Annuaire Statistique de la Suisse. Bâle.
 Statistique du Commerce de la Suisse avec l'Étranger. Berne.
 Journal Statistique et Revue économique Suisse. Bâle.
 Handbuch der Schweizerischen Volkswirtschaft. Zürich, 1939.
 Baedeker's Switzerland. London, 1938.
 Gagliardi (E.), Geschichte der Schweiz. Zürich, 1937.
 Hirrlinger (M.), Die Schweiz. Bern, 1938.
 Lampert (U.), Kirche und Staat in der Schweiz. Freiburg, 1937.

スエーデン

SVERIGE

(英—Sweden)

(獨—Schweden)

(佛—Suède)

I 歴史概観

ゴート人、スウェード人の古代ゲルマン種族を祖とし、バルチック海に貿易が發達すると共に史上に活動し始めた。ハンザ同盟の出現までゴットランド島のヴィスビー市が商業貿易の中心地となり、一世紀にはキリスト教が盛んとなる。一〇六〇年イングリングル王家倒れ、スウェルケル家が統治、一三世紀の中葉フィンランドを征服す。十字軍に出陣し、國內二分、デンマーク、ノルウェーは分離す。一二四八年にカトリック教を國教とし一四世紀に入るや強大なハンザ同盟に對立するためにスエーデンとノルウェーとは共同、更に一三九七年にはデンマークの女王マルガレタによつて三國が支配さる。

一七世紀に入り、カール九世ルテラ教會を基礎として國勢を統一す。なほバルチック沿岸を征服、エストニアをロシアより奪ふ。一六一一年グスタフ・アドルフが即位、三〇年戦役起るやフランスと結びドイツの新教諸侯を援け、バルチック海を制し、舊教軍を撃破、四八年のウエストファリア條約にて

ドイツ領土を確保、ドイツ國會に出席し、北方の最強國となる。七年ナポレオンに接し、ノルウェーを合併す。以後兩者の工業貿易の進展は海外市場のために全く對立するに至る。一八六六年に憲法を改正、一九〇五年ノルウェーは獨立す。大戦中は好況にめぐまれ、大戦後は世界恐慌とロシア革命のために國內に不安となる。子の後漸次安定に向つてゐるが、國內に豊富な鐵礦資源を有しバルト海に戰略的位置を占めるスエーデンは、ヒットラー・ドイツの東歐進出の後方標的となる危険を感じ、北歐諸國及びイギリスとの友好關係の維持に努めて來たが、今次大戦においては、極力北歐主義と中立政策を標榜してゐる。

後ナポレオンに接し、ロシア遠征以後は聯合國に走り、ノルウェーを合併す。以後兩者の工業貿易の進展は海外市場のために全く對立するに至る。一八六六年に憲法を改正、一九〇五年ノルウェーは獨立す。大戦中は好況にめぐまれ、大戦後は世界恐慌とロシア革命のために國內に不安となる。子の後漸次安定に向つてゐるが、國內に豊富な鐵礦資源を有しバルト海に戰略的位置を占めるスエーデンは、ヒットラー・ドイツの東歐進出の後方標的となる危険を感じ、北歐諸國及びイギリスとの友好關係の維持に努めて來たが、今次大戦においては、極力北歐主義と中立政策を標榜してゐる。

II 元首

皇帝グスタフ五世 (Gustaf V) 一八五八年六月一日誕生、一九〇七年二月八日、父王オスカー二世 (Oskar II) の後王位を繼承す。一八八一年九月二〇日、バーデン大公フリードリッヒ (Friedrich, Grand Duke of Baden) の女で一八六二年八月七日誕生のヴァイクトリア姫 (Princess Victoria) と結婚す。ヴァイクトリア皇后は一九三〇年四月四日崩御

グスタフ五世はベルナドッテ家 (Maison Bernadotte) の第五世の君主にして、一八一〇年八月二一日、議會によつてスエーデン王朝の繼承者に選ばれ、一八一八年二月五日、カール十四世 (Carl XIV. Johan) の名の下の王位に就けるボンテ・コルダオ公スルナマツタ (Marshal Bernadotte) の曾孫である。

皇太子 グスタフ・アドルフ (Gustaf Adolf, Duke of Södermanland) 一八八二年一月二一日誕生、一九〇五年六月一日コンノート公アーサー (Prince Arthur, Duke of Connaught) の女で一八八二年一月二五日誕生のマーガレット・ヴァイクトリア姫 (Princess Margaret Victoria) と結婚、ヴァイクトリア皇太子姫は一九二〇年五月一日死去す。更に一九二三年一月三日、一八八九年七月一三日誕生のハットヘルクのルイズ姫 (Louise, Princess of Battenberg) と結婚す。

第三王子 ウイルヘルム公 (Prince Wilhelm, Duke of Södermanland) 一八八四年六月一七日誕生、一九〇八年五月三日、ロシアのバウル・アレキサンドロヴィチ大公 (Grand Duke Paul Alexandrovich of Russia) の女で一八九〇年四月一九日誕生のマリヤ・パヴロヴナ (Grand Duchess Maria Pavlovna) と結婚、一九一四年三月一七日離婚す。

III 政治

A 總論 嘗て一七世紀に於て威名を馳せたスエーデンは今日立憲君主政體の下に堅實な議會政治を行つてゐる。現政體確立の翌一八一〇年の議院法によれば、議會は貴族、僧侶市民及び農民の身分的代表機關であつたが

幾多の變遷を経て一九〇九年普通選挙實施後は近代的民主主義の傾向の中に議會政治の發達を見るに至つた。皇帝は法文上の諸種の權限を有するが、民意の伸長に注意が拂はれてゐる。

【憲法】 立憲君主國スエーデンの憲法は一八〇九年に確立せられ、三權分立主義に基礎附けられたものであつて、所謂四基本法には(一)一八〇九年の制定にかゝる歐洲最古の憲法、(二)一八六六年の議院法(一九〇九年より一九二一年にかけて修正された)、(三)一八二〇年制定の皇位繼承法、(四)一八二二年制定の出版自由法より成る。現行憲法によれば、スエーデン立憲君主國は皇帝獨り之れを統治し、皇位は皇位繼承法の定むる所によりベルナドッテ王朝(House of Bernadotte)の男系之れを繼承す。皇帝は外交大權、宣戰媾和の大權、陸海軍統帥大權、官制大權、官吏任免大權、議會解散權、榮典授與大權および行政大權、司法大權を有し立法大權は皇帝及び議會に屬す。

【首府】 ストックホルム(Stockholm)一九四〇年一月現在の人口は、五八・三六萬人、面積一四三平方方里。

B 行政 行政權執行は責任内閣これに當り、皇帝は閣員一二名よりなる閣議においてのみ行政權を執行し得るのであつて、皇帝の決議は國務大臣の副署により初めて效力を有す。しかし右の決議が憲法違反の場合には國務大臣は副署を拒否する權限を有す。國務大臣は議會に對し責任を有し、議會は各委員會を通じて政府を監督する。内閣の首班は總

理大臣にしてその下に國務大臣九名、無任所大臣二名を置く。

【現内閣】 一九三九年一月二三日に組閣されたP. A. ハンソンを首班とする社會民主黨六名、農民黨三名、保守黨二名及び人民黨二名の聯立内閣の顔觸は次の如くであるが社會民主黨の讓歩による右翼諸派の進出と親英派のサンドラー外相の辭任が注目される。

- 首相 Per Albin Hansson
- 外相 Christian E. Günther
- 蔵相 Dr. Ernst Johannes Wigforss
- 厚相 Gustaf Möller
- 國防相 Per Edvin Sköld
- 法相 Karl Gustaf Westman
- 農相 A. Pettersson-Brantsorp
- 文相 G. H. Andersson
- 通商相 Gösta A. Bagge
- 經濟相 J. F. Dornö
- 無任所相 Hermann Eriksson
- 無任所相 K. E. Rosander
- 無任所相 T. E. N. Bergquist

C 立法 立法權は國王と議會(Riksdag)にあり、議會は第一院(Rösta Kammeren)第二院(Andra Kammeren)の兩院より成り、兩院の權限は同一にして、一九二一年より比例代表制を採用し、一九二一年より婦人參政權が實施さる。租税及び豫算に關しては議會のみ決議權を有し、皇帝は單に發案權を有するにすぎない。租税及び豫算案に對する兩院の一致を見ざる時は共同投票行はる。一八〇九年の憲法によれば議會は貴族、僧侶、市民農民の四階級の代表機關であつたが、一八六

六年四階級制を廢止、普選、比例代表法による二院制を採用す。通常議會は毎年一月一〇日召集せられ、兩院議長は一九二一年迄は皇帝の任命に拘つたが、現在は院内選挙によつて決定す。兩院共議長一名、副議長二名である。議會の權限は立法關與權、決議權、上奏權、監督權、租税決定權、豫算決議權にして議會は開會毎に一定の會計検査官を任命し、各省會計を検査せしむ。

- 【現議會】 一九四〇年九月の總選挙により選出された議會の上下兩院の議長及び各政黨の勢力關係は次の如くである。
- 上院議長—Johan Nilsson (保守黨)
- 社會民主黨 七五名
- 保守黨 三五名
- 農民黨 二四名
- 人民黨 一五名
- 共產黨 一名
- 合計 一五〇名
- 下院議長—August Sävström (社會民主黨)
- 社會民主黨 一三四名
- 保守黨 四二名
- 農民黨 二八名
- 人民黨 二三名
- 共產黨 三名
- 合計 二三〇名

D 司法 司法權は全く政府より獨立し大法官(Justiceminnen)と檢事總長(Attorney-General)とによつて運用せられる。

【大審院】 最高裁判所にして最高行政裁判所と共に皇帝の司法權を委任される。大審院長は王室の法律顧問官である。大審院は皇帝

の任命する判事二四名以上より成り、通常三部に分ち各部共七名以上の判事より成る。大審院に提起せられるすべての上告事件は大審院において裁判せられる以前に大法官廳(司法大臣が議長)において審理せられる。

【控訴院】 全國を三控訴區に分つ。現在はストックホルム市のスヴァ控訴院、ヨンチョーピング市のヨック控訴院、マルメー市のスコーネブレキング控訴院の三つである。控訴院は數個の部に分たれ、院長、判事、陪席判事より成り、控訴院判事は皇帝の任命にかかるとする。

E 地方行政 スエーデンの地方行政は原則として地方分權主義を採用し、全國を二四縣(Län)及びストックホルム府に分ち、各縣に知事、ストックホルムに總督を置く。知事及び總督は皇帝によつて任命され、且つその就任者は大體前大使、前公使等の高官を任命する定めである。

F 政黨 現在第一黨は社會民主黨(Social Democratic Party)に、之れに次を保守黨(Conservative Party)、共產黨(Agrarian Party)、社會黨(People's Party)。

【社會民主黨】 立憲的社會労働黨にして第二インターナショナルに屬す。外交政策においては國際平和の立場に立ち、國際法の發達を助成すること、内政に於ては産業管理の民主化、國教會の廢止、國內改革、社會保險、失業保險等をその綱領とする。

黨領袖—Per Albin Hansson (首相、黨首)、G. Möller (厚相)、P. E. Sköld (國防相)、E. Wigforss (蔵相)、Harald Akorberg

【保守黨】 君主主義を確守し、外交的には國際法と國防強化による戰爭防止、内政的には生産の私有制確保及び労働の自由を主張して、労働組合的傾向に對立し、商工業の發展とその保護を要求する。キリスト教的青年教育に深く關心を有す。

黨領袖—G. A. Bagge (文相)、J. F. Dornö (商相)、Martin Skoglund

【人民黨】 舊自由黨二派の合同したもので一般農民、中商工業者を代表し、國際聯盟の支持、軍縮の促進、男女平等權、トラストの統制、農民への土地の賦與等の政綱をかかげる。

黨領袖—Gustaf Andersson (通相)、T. Bergquist (無任所相)

【農民黨】 保守的にして農民の政治的、經濟的利益を擁護し、農業税、農村税の引下、地方自治制促進を標榜す。

黨領袖—Axel Pettersson-Brantsorp (農相)、Prof. G. G. Westman (法相)、Petrus Gränsblom

【共產黨】 第三インターナショナルに屬す黨領袖—Sven Jahnberg

【社會黨】 共產黨フラクションを有する社會民主黨左翼よりなる。但し第三インターナショナルには参加せず。

黨領袖—Nils Flyg

G 外交 スカンディナヴィア・ブロックにオスロー・ブロックの加盟國であるスエーデンは汎スカンディナヴィア主義に一貫して、第二次大戰前ドイツからの不侵略協定締結の申出を拒否した政府は大戦勃發後も四國元首會議において嚴正中立を聲明し、ソ芬紛争に當つては北歐三國外相會議を開催して再び中立維持を聲明した。なほその後一九四〇年七月、ドイツとの間に通商協定を締結し同年八月ルーマニアと、九月ソ聯と、一〇月ヘルギーと通商協定を結んでゐる。

H 軍 備 徴兵制度で二〇歳乃至四五歳の二五ヶ年の兵役義務あり、一五ヶ年は現役次の一ヶ年は豫備役である。陸軍の平時兵力は四個師團編成で歩兵聯隊二一、騎兵聯隊四、砲兵聯隊一〇(うち野砲聯隊七、要塞砲聯隊一、高射砲聯隊二)、工兵大隊三、通信聯隊一、輜重兵大隊四、經理中隊三を有し、他にアツパー・ノーアランド及びゴットランドに駐屯軍を配置する。空軍は一九三六年に編成され、航空七、飛行學校一、航空士官學校一、空軍大學一、特別飛行學校一、空軍工廠一より成り、軍用飛行機二六〇機、練習飛行機八〇機を有する。動員し得る兵力は一九三八年においては二、七〇〇名を數へたが、一九三九、四〇年には三、五〇〇名に上つた。

一九三九年における艦隊勢力は主力艦八隻、建造中のもの二隻、總噸數五五、四五五噸、巡洋艦三隻、一〇、六五五噸、驅逐艦一五隻、建造中のもの一隻、一一、一七〇噸、母艦五隻、七、九七〇噸、一〇〇噸以上の哨戒艇二隻、三、三二八噸、一〇〇噸以上の掃海艇四隻、一、四七五噸、潜水艦一五隻、建造中のもの五隻、一〇、〇六五噸で、他に解除艦艇二六隻、一一、四五八噸を有し、總計一一

一、五七六噸に上る。

IV 經濟

A 總論 國民經濟の發達—一九世紀の七〇年代に農業より工業への轉換を見るに至り、世界大戦によつて近代的經濟機構の決定的發展を見た。即ち大戦中スエーデンは中立を守り、交戦國に對する商品供給國として、冶金、金屬加工、木材加工、製紙、パルプ等の諸工業は水力電氣の利用と相俟つて勃興し、製品の海外輸出が盛んに行はれるやうになつた。殊にマツチ工業の發展が目覚しく、スエーデン・マツチ・トラストは全世界のマツチ工業を支配してゐる一方、國內でも銀行、鑛山、木材、金屬加工工業を一手に收めてゐる。世界經濟恐慌の際には、ポンドに追随して一九三一年金本位を離脱し、一九三三年ポンドにリンクして、スタールリンド・プロツクのFとして通貨の安定を回復した。以來産業振興策が奏效して、生産の増加、外國貿易の進展を中心として回復は目覚ましくなつた。

【最近の情勢】 しかし乍ら國內市場の發展の上に巨大な重要性を有する輸出について見れば、輸出總額は生産の増大に伴はなかつた。そして近年益々顯著となつてきたアウタルキーの傾向は、今次大戦の勃發と共に、拍車を加へられた。しかし一九四〇年四月九日までは、スエーデンの經濟に生じた變化は比較的限られたものであつた。獨軍のノルウェー侵入を劃期として輸出の否全體の貿易の急激な凋落が國內市場の荒廢を惹起し、それは西歐市場との連絡が遮断されたことによつて重要工業原料の缺乏を招來した。かくて貿易

の轉換と統制經濟の導入が試みられたのである。

【統制經濟】 スエーデンは、前大戦の際にも中立國貿易の蒙つた攪亂の影響を受けて、苦境に立ち、物資の配給その他の統制を行つたが、獨軍のノルウェー進出、獨ソ戦にもとづく本格的な戦火の擴大と北歐貿易への波及などの事情の下で、スエーデンの經濟機構における國家統制の役割は、嘗てなかつたほど増大した。産業委員會は、益々廣汎な範圍にわたつて私經營の利害の調整と、商工業企業層との摩擦なき労働體制の確保に乗り出した。しかしながら、中央集權的な全面的統制經濟機構は導入されず、反對に、國家の干渉にも拘らず、私的企業團體の優位は不動のものであつた。種々な制度のモザイクの上に立つてゐる凡ゆる統制經濟と同様に、スエーデンの經濟體制も、歴然たる脆弱性にその悩みを持つてゐる。即ち、一方に於ては、極めて價重な價格統制に依る自由價格形成への干渉や、租稅政策に依る戰時利得の抑制が行はれつつあるに對して、他方に於ては私經濟的勢力が牢固たる地位を占めて對立してゐる。嘗てスタールリンド・プロツクの一翼をなし、何れの國よりも先づ英國に依存して來たスエーデンの今後の經濟的發展は、就中國際情勢の動向に依存してゐる。特に、戦前の外國貿易において聯合主國に次いで第二位にあつたドイツとの關係の調整は、好むと否とに不尙、決定的な重要性を持つに至つた。

B 財政 スエーデンの財政は、他の列強に比して頗る餘裕のあるもので、一九三一

三二年度を除き年々歳入超過を示してゐたが、かかる靜穩は、第二次大戦の勃發と、戦火のスカンヂナヴィアへの波及に依つて破られた。一九三九—四〇年度においては、歳出入總額それぞれ一七・六一〇億タロネおよび一七・六二億、一〇萬タロネの歳入超過を豫定せられてゐたが、ソ芬戦および特にノルウェー戦における國際的地位の急迫は、同年度三・八億の緊急豫算の追加編成を餘儀なくさせ、三・七九億の赤字を生ぜしめ、また四〇—四一年度においては、歳出入總額それぞれ一七・六三四億タロネおよび一七・九一にして、戰時利得の吸収を意圖する戰時課税を主因とする歳入増加によつて通常豫算における二・三五七億の赤字を示したが、八億の緊急支出を通算すれば、五・六四三億の赤字であつた。かくて一九三七—八年度一三・六六億、一九三八—九年度一九・六六億と、通常支出中において増大し來つた。國防關係經費は、一九三九—四〇年度においては、全支出の二九・五%（緊急支出を含む）を占めるに至り、四〇—四一年度においては、實に全支出の四九%に上ることとなる。一九四一—二年度の歳出入は、それぞれ一八・八九億および二〇・八二億と推定される。

かかる軍事費の膨脹に規定される國費の増大に基づいて、漸増しつつあつた國債總額は四〇—四一年度において、一躍一〇億タロネ方増加し、三六・二五億に達するに至つた。増加は特に浮動公債に於て著しくあつた。一九四一年一月末現在の國債總額は五・五九八億タロネで、うち浮動公債一八・四四

億である（なほ本年鑑一九四一年版一、一七二頁統計表参照）。

【豫算制度】 豫算は、通常會計と、國有企業や土地財産に關する資本會計とに分けられ財政年度は七月一日に始まり翌年の六月末日に終る。

【主要歳入】 一九四〇—四一年度について見るに稅收入が七三%を占め（うち所得稅その他のみで二九%）であるが、國民の租稅負擔は他國民に比して軽い。

【主要歳出】 歳出總額の一割を越えるものは國防費、内務省費、文部省費であるが、國防費の増加は、近年頗る著しいことは、前述の如くである。

C 幣制 【貨幣制度】 貨幣單位はスエーデン・クローネ(Swedish Krona)で、一クローネは一〇〇ヘン(öre)で、邦貨〇・五三七圓(平價換算)に等しい。即ち約一八クローネ一六ヘンが一ポンドに等しい。二〇クローネ金貨は純分九〇%の金、重量八・九六〇五七二グラムにして、純金八・〇六四五グラムを含有する。クローネ銀貨は重量七・五グラムにして、純分八〇%の純銀六グラムを含有する。ニッケル貨は一九二〇年以來鑄造せられるに至つた。紙幣には五、一〇、五〇、一〇〇、一〇〇〇クローネの五種がある。

D 外國爲替 【概観】 一九三三年三月クローネは、一ポンドに對し一九・四〇クローネでポンドにリンクされ、以來この相場維持が一貫した方針となつてゐたが、第二次大戦勃發以後まづ金の取引が制限され、續いて一九四〇年二月二四日金本位制離脱となつた。

No. 1 外國爲替

(月平均)	U.S. セント
1939年(年平均)	23.99
1940年(")	23.80
1941年	
1	23.83
2	23.83
3	23.82
4	23.83
5	23.84
6	23.84

資料:— M.B.S.L.N.

爲替管理は四〇年四月以降實施されてゐる。

【對米相場】 スエーデン・クローネの最近における對米相場は、第一表の如く、強調を示してゐる。

E 金融 スエーデン國立銀行たる「リクスバンク」(Riksbank)は完全に國家の所有に屬し、議會選出、任期三年の理事によつて經營される。但し總裁は國王によつて任命せられる。同銀行は議會の監視の下に置かれ、その資本及び準備金はその定款によつて確定せられ、その銀行券發行權はその金銀保有高と内外の流動資産とによつて決定せられる。然し實際の銀行券流通高はこの制限に遙かに達しない。一九四一年一月末の銀行券流通高は、一五・五一億タロネ、金保有高は四・三三億、外貨資産八・五九億である。

一九四〇年一月現在で株式銀行は二八行を數へるが、發券銀行は一九〇三年二月以來リクスバンクを除いては存在しない。一九四一年一月末の預金總額は四九・二二億タロネ(うち手形勘定一一・三六、當座預金二六・八三、一覽拂二・四五、貯蓄預金八・

五八であつた)一九四一年九月末の貯蓄銀行預金總額は三六・六二億、郵便貯金總額は、七・一二億である。

F 生産 スエーデンは北部山岳地方に世界に冠絶する良質の鐵礦を産し、かつ豊富なる電力資源、森林資源を有し、大戦以前の好條件のもとにパルプ製紙等の工業、化學工業、金屬工業の急激な發達を見るに至つた。製鐵事業は從來石炭を有しないため國內には不振であり、鑛石のまゝ輸出されてゐたがこれも最近國內において相當の發達を見ている。農業人口は全有職人口の六五%（一九三〇年）を占め、水産業、林業も有名である。殊に總輸出額の半額以上が木材、パルプ及び紙等の林業關係の産物により占められてゐるのを見ても、林業はスエーデンの國民經濟上重要な役割を爲してゐることが明かである。

【農業】 耕地面積(菜園および果樹園を除く)は、三、七三一、〇〇〇ヘクタールで、全國土の約九・一%を占める。乾草用地がその四五%を占め、燕麥耕地が一・八%、小麥耕地が〇・九%、以下雑穀、ライ麥、馬鈴薯の順で、作付面積は分類される。一九三九年度の收穫高は(單位千トン)、乾草五、一二一、飼料二、三四八、甜菜一、八九九、馬鈴薯一、八六八、燕麥一、二八四、小麥八五四、雜穀五九六、ライ麥三七八、大麥二五〇であつた。穀物の總價格は、一九三八年一、一四〇百萬タロネ、一九三九年一、二二八百萬タロネであつて、農産物は、主要輸出品をなす。農場數四一八、六四四の規模から見た構

No. 2 農場規模

規模	農場数
2ヘクタール以下	111,325
2-20ヘクタール	271,461
20-100ヘクタール	33,564
100ヘクタール以上	2,294

備考：—1937年秋の農業國勢調査による。
資料：—S. Y. B. 1941.

成は、第二表の如くである。

【畜産業】この國の主産業ではないが相當盛んに行はれてゐる。全國土の約二・四%に當る一、〇一九、〇〇〇ヘクタールが天然牧場で、一九三七年の農業國勢調査による家畜数は馬六三三、二七六、牛二、九八六、二六七羊三三三、三二四、山羊四一、二七二、豚一四二四、九三五に上る。

【林業】スエーデンにおいて、林業は農・工業と共にその主要産業を成してゐる。一九二七年の農業調査によれば、森林面積は全國土の五五%にして、如何にスエーデンが林業に恵まれてゐるか明かである。森林面積は二二、一八一、二〇〇ヘクタール、總木材保有量は、一、四一七百萬立方メートルと推定される。一九三九年一月九月における木材及び紙の輸出高は三、七〇〇萬クローネであつた。

ける一九三八年の漁獲高は一七、八〇四、〇〇〇クローネであつた。

【鑛業】スエーデンの鑛業は古くからこの國の主産業を爲し、鉄鑛製造に石炭が使用されるに至らなかつた産業革命以前には、ヨロップにおける最大の鐵生産國であつた。石炭の缺乏は、ラップランド(Lappland)の山岳地方の豊富な鑛山が今日原料鑛石の採掘のみに止まらざるを得ない理由を物語るものである。最近その豊富な水力電氣を利用して鐵を製鍊せんとする試みは好成績を得たるも未だ充分なる發達を見ない。また製鐵業は漸次盛んとなりつゝあるがその燃料たる石炭は多く輸入に仰ぐ。一九三八年の鐵鑛石の採掘高は一三、九二八(千トン)、輸出高は一二、六八五で、粗鋼生産高六六七、九〇九(トン)、うち九四、四七三が輸出された。

【工業】スエーデン工業の最近の發達は目覚ましいものがあり、最も重要な製材工場はボスニア灣(Shit of Bohus)の沿岸各地に發達し、軟鐵及び鋼鐵の製鍊は古くから中部スエーデンに盛んである。鉄鑛の製造は、サンドヴィケン(Sandviken)ドムナルヴェト(Donnarvet)ウツボホルム(Utholms)フアゲルスタ(Fagersta)を主とする。またこの地方における乳脂分離機、撥球装置、燈臺用機械、電話機、發動機、各種電氣、機械等の製作は極めて盛んで優秀な製品を生産する。陶器製造はグスタフスベラゲ(Carlsberg)に、硝子製造はコスタ(Kosta)及びオレフォルス(Orefors)に盛んに行はれ世界市場において、その製品の廉價を認

められてゐる。スエーデンにおいては木材を原料とせる各種工業は極めて重要で、一九三八年に於て、製材工場は一、六八一、その従業員は三三、八〇五人、その生産額は二八、四四五、〇〇〇クローネに上る。木材加工工場は、一、七〇一、その従業員は二五、三七七、その生産額は一七六、〇一八〇〇クローネに上る。パルプ製造工場は九七、その従業員は一八、八四〇、その生産額は四一〇、六八〇、〇〇〇クローネに上る。製紙工場は七二、その従業員は一七三二七人、その生産額は二二二、四一九、〇〇〇クローネに上る。

スエーデンの全工場(鑛山を含む)は一九三八年には一八、六三一にして、使用動力は五、八三三、〇〇〇馬力、工場労働者總數五四二、八四八人である。

【貿易】一九三三年以來スタリリグ・ブロッツに編入されてゐたスエーデンの貿易は、四〇年四月九日を劃期として重大なる轉換期に入つた。戦前のアウタルキー化傾向の上で、輸出に於ける英國の地位は一九三七八年度に於て、偶然一九二九年の水準(四一・二五%)に一致したが、しかもなほ三九年度(九月まで)に於ては、三・一二億クローネで、第一位であつた。それに對してドイツは、一九三七年及び特に三八年において、二九年の水準を超えて、それぞれ一六%及び一八%であり、特に輸入に於ては、ドイツより一八%のものが、總輸入價額の約二四%を占めてゐた(Sveriges officiella statistik, Handel, 1938, S. 31, 32).

No. 3 貿易と生産

	輸 入				工業生産	
	1,000,000 スエーデン・クローネ				1929=100	
	1940	1941	1940	1941	1940	1941
1 月	257.9	126.4	168.6	84.9	160	133
2 "	167.1	77.8	115.1	46.9	159	133
3 "	149.5	106.7	140.1	87.4	158	131
4 "	238.1	176.7	104.4	111.7	148	131
5 "	197.3	177.0	80.4	133.2	134	130
6 "	136.4	127.2	86.2	135.5	134	129
7 "	139.9	117.9	91.9	115.0	133	125
8 "	123.1	136.2	97.3	129.8	133	125
9 "	147.4	159.7	106.1	137.9	131	128
10 "	139.4	164.7	102.9	128.0	133	129
11 "	155.2	.	123.9	.	134	.
12 "	149.2	.	120.9	.	134	.

備考：—貿易は Kommerziella meddelanden 生産は Industriförbundets meddelanden, Stockholm. による數字但し、*印は、季節的變動一部修正。
資料：—M. B. S.

しかるに獨軍のノルウェー侵入と共に、西歐との貿易は遮断され、第三表の示す如く、大戦勃發以前から増加してゐた貿易額は、四〇年五月以降決定的に減少した。さらに、白蘭を始めとして、ノルウェー及び中歐諸國がドイツの勢力圏内に入つたことは、當面の問題として、貿易再建のための對獨調整を極めて重要な問題とした。機械、鋼鐵工業の維持、再建は、特に機械工業の重要な顧客たるフィンランド及びノルウェーとの通商協定に依つて、また一般的に、ルーマニア及び白

蘭との通商條約及びソ連通商協定を通じて、(外交の項参照)新たな政治的方向を持つ貿易振興政策が行はれた。

【主要輸入品】一九四〇年度の輸入總額二、〇〇〇・五(百萬クローネ)中、鑛石および金屬(その製品を含む)が六七九・三、機械および車輛が四三九・七、織物皮革ゴム(その製品を含む)が三七一・四、農業畜産物(主として英國より)が三〇四・二、化學藥品染料が一七六・二であつた。

【主要輸出品】一九四〇年度の輸入總額

No. 4 卸賣物價指數

月 別 平均	1935=100	
	1939 (平均)	1940 (平均)
1939 (平均)	115	146
1940 (平均)	149	154
	158	160
	162	165
	169	170
	171	173
	173	174
	175	175
	176	176

資料：—M.B.S.L.N. No. 12, 1941.

物 價 既に見た如く(本年鑑、前年度版、一、一七五頁参照)、輸入品價格の昂騰に拍車を加へられた、準戦時再編成に基づく物價の上昇は、一九四〇年度後半に顯著となつたが、第四表に示される様に、一九四一年を通じてその勢は少しも衰へなかつた。一九四〇年一〇月に始る一ヶ月間に、卸賣物價は約一八%方上昇した。この期間の生計費

の上昇は、一三・三%であるのに鑑みて、依然として輸入品価格の昂騰が重要な地位を占めてゐることが窺はれる。

【交通】【道路】スエーデンは位置的に北に偏在し、その北部は北極圏内に属してゐるため、不生産地帯も多く、人口も概して稀薄で、従つて交通網も発達してゐないが、隣國ノルウェーと比較すれば遙かに完備した交通網を持つてゐる。一九三九年一月一日現在における全國の道路延長は五三、七八七哩に上る。

No.5 生計費指数 (1939年9月=100)

Table with 3 columns: 月別平均 (Monthly Average), 総指数 (Total Index), 食料品 (Foodstuffs). Rows include 1939 (average), 1940 (average), and 1941 (monthly data).

助(一九三九年において九〇〇、〇〇〇キロメートル)の下にエー・ビー航空輸送会社(CAB Aerotransport)によつて行はれてゐる。一九三九年において、同社に属する航空機の飛行全長は二、七五一、〇〇〇キロ、輸送乗客数は四三・四二九人に上る。

人、ラップ人を数へるのみである。本来農業國であつたが、次第に工業が盛んとなり、五〇年前には全人口の五二%が農民層であつたが一九二九年には三八%に減少し、工業人口は三二%に増加、次いで一九三〇年には逆に工業人口が五三%に増加した。農民の土地所有は二乃至二〇ヘクタールを所有するものが六〇%を占め、二ヘクタール以下が二八%である。一般に社會的文化は均等に成長し、生活は安定した状態にある。

No.6 労働事情

Table with 3 columns: 月 (Month), 就業指数 (Employment Index), 失業** (Unemployment). Rows include 1939 (average), 1940 (average), and 1941 (monthly data).

ある。他の宗派はローマ・カトリックの四、七六三名、ユダヤ教六、六五三名、その他一、四九九名に上る。

【工場統計】による製造工業及び鉱山労働者、一九三九年9月=100。就職希望者数、単位1,000人。資料：—M.S.B.L.N. 彼の豊富な百科全書的認識は特異な生活と思想により、近代的なる自然主義文學から、神秘主義思想にまで展開し、小説、劇、詩、史書、思想科學等文化の全面的問題に及んだ。女流作家セルマ・ラゲルレーフはその地方色豊かなヒュムニスティックな作品で一九一〇年ノーベル賞を得、詩人グスタフ・フリヨードングの宏大なる詩構は深刻なる宗教問題に進んでゐる。同じく詩人アクセル・カールフェルトは死後一九三二年にノーベル賞を與へられるなど、スエーデン文學は抒情的一面に特質を有してゐる。現作家には、リッドマン、ヘルグマン、ジッセルツ、ヒヨグベルグ、デッドリングなどがある。

【航空】スエーデンの航空輸送は政府の補助(一九三九年において九〇〇、〇〇〇キロメートル)の下にエー・ビー航空輸送会社(CAB Aerotransport)によつて行はれてゐる。一九三九年において、同社に属する航空機の飛行全長は二、七五一、〇〇〇キロ、輸送乗客数は四三・四二九人に上る。

VII 自然

【總論】スエーデン(Sweden)はヨーロッパの西北部、スカンディナヴィア半島(Scandinavia)の東斜面を占める。西北部より西部にかけてはノルウェーと境を接し、北東はトルネア川(R. Tornea)によりてフィンランド共和国と接する。東部より南部一帯はバルチック海(Baltic Sea)及びその一部たるボスニア湾(Gulf of Bothnia)に面し、西南はカテガット海峡(Kattegat)及びズント海峡(Sund)を隔て、デンマークに對する。北緯五五度を以て南端とし北極圏内に属するスエーデンは一年を通じての活動に適せず、その自然的條件は、農業の近代的發展には不適當であるが豊富な森林と、至る所に得られる高落差による水力發電、鐵の埋藏等によつて工業國としての發展が運命づけられてゐる。又地域的に海をもつて中央ヨーロッパと隔離されてゐることは、政治的に汎スカンディナヴィアの他、人民黨系には首府發行の Afon-ladet; Dagens Nyheter; Stockholm-Tidning; n-Stockholm Dagblad, ケーナホルグ發行の Göteborgs Handels-och Sjöfartstidning; Göteborgs Posten; Morgonningen; 六紙、農民黨系にはアルメ發行の Skånska Dagbladet の一紙を数へる。また急進的なものとして共産黨系の新聞に首府發行の Ny Dag と社會民主黨の Folkets Dagblad 社會民主黨の Social Demokraten との三紙あり、またサンチカリストの機關紙たる Arbetaren がある。

イア主義を主張する一つの要素となつてゐるとも見られる。

B 地勢 【海岸】東海岸の北半分は小屈曲が甚だ多いが、これは多く氷河によつて作られた峡灣である。河川が土砂を運んでこの海岸は遠浅となり、百年に約一メートルも陸地が海上に伸びるとの事である。東海岸の南半分よりファルステルボ (Falsterbo) に至る間は著しく海岸線の屈曲に富み、就中ストックホルム州はその最たるもので島嶼、小灣が無数にある。

【地形】スエーデンの地は一帯に高原性を呈する。海岸近くは低地をめぐらしてゐるが、ノルウェー及フィンランド國境に至るに従ひ、土地は段々に隆起する。地勢上スエーデンは北部ノルランド (Norland)、中部スウェーアランド (Svealant)、南部ゴトランド (Gotland) の三地方に分けられる。

【河湖】スエーデンの河川と湖沼とは密接の關係を有し、兩者は結合されてゐる。スエーデンの河川及び湖沼は非常に多く、大體東方に注ぐ北部の水系及び南部の水系とに分けられる。南部水系には大なる湖沼が多い。

C 氣候 南部地方は比較的温和で、ノルウェーの南部地方とあまり變りないが、北方に行くに従ひ次第に大陸的性質を帯びる。これは西にスカンディナヴィア山脈があつて大西洋との間を隔絶し暖流の影響がないからである。年平均気温はメッド海峽にては七度、ストックホルム (Stockholm) にては五度六分、北方ハランダにては〇・五度となつてゐる。冬季は各地とも寒く且つ長い。ス

トックホルムすら冬季四ヶ月間は氷點下にある。東方ボスニア灣は結氷期長く殆んど海洋としての役目を果さない。

【雨量】スエーデンでは雨量は同じくスカンディナヴィア山脈に妨げられて、甚だ少ない。ノルウェーの年降雨量が二千耗以上に達するに反し、ストックホルムの年降雨量は約四三〇耗の程度に過ぎない。雨量は夏秋の候に多く、八月が最も多い。一月、二月、三月は降雨の最も少い期間である。中部以北は非常に乾燥する。

D 面積・人口 一九四〇年初めにおける面積は四四八、九五三平方、人口は六三三、四一三〇三人で、密度は一方料につき一四人となつてゐる。スエーデン人は大部分、アーリヤン系に屬するスカンディナヴィア族である。その他の種族としては一九三〇年においてフィンランド人三、四二七人、ドイツ人三、一八八人、ノルウェー人二、四二〇人、デンマーク人二、〇四一人、ロシア人一、七六〇人、アメリカ合衆國人八〇五人、イギリス人三六三人その他二、四七一人、合計一六、四七五人であつた。

E 都會 都市人口は一八六〇年には全人口の一・一%に過ぎなかつたが、一九三八年には全人口の二五・六%、二、三三七、三六二人となつた。一九四〇年初頭において人口一〇萬以上の都市は、首府ストックホルム(五八三、六二二)、ゲーテボルグ(二八〇、六〇二)、マルメー(二五四、二七〇)の三市に過ぎない。

—参考文献—
Statistisk årsbok för Sverige, Stockholm.

Sveriges officiella Statistik, Stockholm (一九一一年以降)

Statistiska meddelanden, Stockholm. (一九一二年以降)

Kommerciella meddelanden, Stockholm. (一九一四年以降)

The Swedish Economic Review, Quarterly, Stockholm. Sveriges Riksbank (中央銀行年報、一九〇八年以降)

La Suède ancienne et moderne, Stockholm, 1937.

The Northern Countries in World Economy, 1939.

Cole (Margaret) and Smith (C.): Democratic Sweden.





ノルウェー及びフィンランド國境に至るに従ひ、土地は段々に隆起する。地勢上スウェーデンは北部ノルランド (Norland)、中部スウェーランド (Svealand)、南部ゴトランド (Gotland) の三地方に分けられる。

【河湖】スウェーデンの河川と湖沼とは密接の關係を有し、兩者は結合されてゐる。スウェーデンの河川及び湖沼は非常に多く、大體東方に注ぐ。北部の水系及び南部の水系に分けられる。南部水系には大なる湖沼が多い。

○氣候 南部地方は比較的温和で、ノルウェーの南部地方とあまり變りないが、北方に行くに従ひ次第に大陸的性質を帯びる。これは西にスカンディナヴィア山脈があつて大西洋との間を隔絶し暖流の影響がないからである。年平均気温はゴトランド海峡にては七度、ストックホルム (Stockholm) にては五度六分、北方ハバランダにては〇・五度となつてゐる。冬季は各地とも寒く且つ長い。ス

三〇三人、總數は一方に二、一四人となつてゐる。スウェーデン人は大部分、アーリヤン系に屬するスカンディナヴィア族である。その他の種族としては一九三〇年においてフィンランド人三、四二七人、ドイツ人三、一八八人、ノルウェー人二、四二〇人、デンマーク人二、〇四一人、ロシア人一、七六〇人、アメリカ合衆國人八〇五人、イギリス人三六三人その他二、四七一人、合計一六、四七五人であつた。

E 都會 都市人口は一八六〇年には全人口の二・五％に過ぎなかつたが、一九三八年には全人口の二五・六％、二、三三七、三六二人となつた。一九四〇年初頭において人口一〇萬以上の都市は、首府ストックホルム (五八三、六二二)、ゲーテボルグ (二八〇、六〇二)、マルメー (一五四、二七〇) の三市に過ぎない。

— 参考文獻 —
Statistisk årsbok för Sverige, Stockholm.

スペイン

ESTADO ESPAÑOL

(英—Spain)
(獨—Spanien)
(佛—Espagne)

I 歴史

古代にはイベリア人が住み、前千百年頃にフェニキア人が移住、八世紀にはギリシアの植民者が定住、六世紀頃ケルト人が来住し、二四〇年頃には南半島がカルタゴの領地となり、第二フェニキア戦役以後はローマ領となる。四百年頃西ゴート族が王國を建て五八五年に全半島を平定。七一〇年アラビア人が北部以外全半島を占領した。七五五年カリフ王朝が立てられ、一〇世紀その文化は最高潮となる。一一世紀以來國勢次第に衰退、北方からキリスト教徒南下し回教徒を破り、一四九二年にサラセン帝國は亡ぶ。十字軍遠征はスペイン貴族の統一をなし、地中海貿易の發展を來し、カタロニア等の都市は繁榮した。コロムブスの北米航海(一四九二年)を支持し、アメリカ植民地を開拓して世界の最強國に發展した。併しこれも國內の經濟的發展に利用されず、却つて國內は疲弊し、一五一九二一年の全國的大叛亂を來した。一五六七

七三年のネーデルラント革命はスペインの海上權に致命的打撃となり、フィリップ二世はイギリス征服を企て八八年「無敵艦隊」は覆滅され、その世界政策は全く挫折國勢衰ふ。更にスペイン繼承戦役(一七〇一—一四)にイギリスにジブラルタルを奪はれ多くの植民地、ベルギー地方等を失つた。一九世紀の初め半島戦争が勃發し、一三年ジョセフ退位、フェルナンド七世即位して專制政治を布く。この間アメリカのスペイン植民地は續々獨立し、又米西戦争が勃發し一八七三—七五年には軍艦の叛亂によつて第一次共和國が成立、一八九八年西インド及び太平洋植民地を失つた。

世界大戦中は中立を宣言し一時軍需工業勃興したが、一九一九年モロッコ遠征後國內大いに騒然となり二三年九月三日リゲエラはクーデターを斷行し、リゲエラの獨裁政府成立。二七年に國民議會が創立され二九年國王は新憲法制定、立憲君主國となる。

一九三〇年、世界恐慌の波に襲はれ一月から二月に全國的革命運動勃發し、遂に三年第二次スペイン共和國成立し、七月一四日共和國憲法發布さる。其恐慌は益々深刻となり、三年には猛烈なアナキストの武装蜂起が行はれた。同年九月アサーニア内閣瓦解、フアッシストの勢力が伸びたが三四年一月レルス内閣の成立と共に反フアッシスト運動が成長した。三六年の選挙に人民戦線が壓倒的勝利を得、アサーニアが左翼聯立内閣

を組織、この間右翼の甦起準備が進められ、一九三六年七月一日遂にフランコ將軍等の活動となつた。

II 元首

共和制覆滅後の元首は、統領を意味するカウデイリョ(Caudillo)にして、立法行政機關の最高權限を有し、カウデイリョ統率下の單一政黨たるフアラシオン政黨が代表機關たる國民會議を設け、政府閣員はカウデイリョが國民會議員、政治局參議員及び黨書記長中より指名してこれを組織する。

【現統領】フランシスコ・フランコ(Carol III. Francisco Franco) 一九三七年二月二日、正式に統領(エル・カウデイリョ)としての宣誓をなす。

【首都】フランコ政權は政府組織以來ブルゴスを首都(一九三四年二月三日現在四三、四四五人)とせるも、動亂は終焉し新政府の確立を見たので一九三九年一月九日首府をマドリッド(人口一、〇四八、〇七二)に移轉する旨發表した。

III 政治

A 總論 スペインは中世的内容を持つ近代國家であり國內的矛盾はヨーロッパにおける國際的矛盾と關聯して世界大戦後も絶えざる革命と反革命とをくりかへして來た。一九三六年、三九年の内亂はその結論であり、二元化された對立物の正面衝突であつた。共和制覆滅後のフランコ政權下に於いても嘗ての共和政府の内訌にも見られたスペインの封

建的地方分権が再現し、政治的、社会的統一に對する障礙として、フアランへ黨内部の利害對立に拍車を加へて居るが、國內少數民族の地方割拠がその根本原因であることはいふまでもない。かかる事情は、國內の經濟的疲弊と相俟つて、今次大戦に於ける中立政策を決定せしめたが、佛敗戦後に獨軍占領地域が國境に接するに至つたことは、スペインを繞る英獨伊の争覇に於けるドイツの優位の基礎を實現し、黨内親獨派の勢力を増大せしめた。しかし外國の經濟的援助を必要とするスペインは、その點で英米に接近の可能性を持つて居り、且つドイツとしても、佛敗戦後はスペインの輻軸側に於ける參戰を期待するよりも、封鎖線を越える門戸として寧ろその中立維持を要する可能性が多いので、その中立的地位は、なほ當分の間は變更なきものと思はれる。

B 行政 一九三九年八月一〇日に成立した現内閣は、フアランへ黨改組法による一黨治國の原則に基づき黨政治局參議員、黨國會議員及び黨書記局長より閣員が統領により任命されることになつた。即ち黨が人民に代つて政府を組織するわけである。なほ政府諸省は簡略となり、統領の獨裁は強化されてゐる。即ち、日獨伊三國同盟成立後の情勢に對應し、佛敗戦に基づく獨西關係の緊密化を實現するため、一九四〇年一月一七日フアランへ黨總裁にしてフランク統領の義弟たるスニエル内相がJ・ベイグベデル外相に代つて外相に就任、内相後任にソング前内務次官を、またラストラ商工相に代へるにカルセ

ラー前フアランへ黨バルセロナ支部長を以てし、重要な内閣改造を行つた。改造と同時に、閣議の權限を縮小し、法令はすべてフランク統領の署名に依つて效力を發生することとしたので、獨裁權は著しく強化されるに至つた。

尙同年一二月月上旬に至つて、閣内保守派のロベズ藏相、ベンフメア農相、ベナ公共事業相を罷免して、これ等各省を廢止し、その所管事務を一括して、商工省に統一することになつたが、一九四一年五月一九日更に内閣を改造して先に廢止せる諸省を復活し、フアランへ黨改組によるフアランへ黨書記長のフランク統領に代つての黨總裁就任を機會にカスチリオ總裁は無任所相となつた(閣員については本年鑑前年版参照)。

C 立法 動亂終焉前に於ては、イタリヤの例に倣ひフアンスト大評議會があり、評議員五〇名を以つて組織され、其の下に二〇の國民評議會があつた。一九三九年八月五日のフアランへ黨改組法の發布に依り、立法機關の確立を見るに至つた。之に據ればカウヂイリヨ及政治局議長の下に中央議機關を設置する。而して其の構成は、フアランへ黨の各機關代表一〇〇名より成る。何れにせよフランク將軍の獨裁下に在ることにおいて變りはない。各改組法に基き同年九月中央代議員を銓衡し、一二日附官報を以つて其の額滿を發表した、此の中には新生スペインの文武高官が悉く網羅されてゐる。なほ一九四二年七月に至り、國民議會が新しく設けられ、統領による任命議員、フアランへ黨國民協議會議

員及びフアランへ黨々員より構成された。
D 司法 司法權は、一大審院(Tribunal Supremo)、一五地方裁判所(Audiencia Provincial)、五〇州裁判所(Audiencias Provinciales)、五五四第一審裁判所(Juzgados de Primera Instancia)、九三五一市裁判所(Juzgados Municipales)によりて行はれてゐる。

E 地方行政 各州は自治體の聯合によつて構成され、各自治體は政府により任命された「理事團」(Ayuntamiento)を有す。理事團は政府が任命した「市長」(Alcalde)によつて司會される。大都市では數名の「副市长」(Tenientes de Alcalde)が設けられてゐる。なほ、各州は州會を有してゐる。
F 植民地行政 カナリア諸島及びバlear諸島は本國の一州として特殊の行政機關(Cabildo Insular)を有してゐるが、その他のアフリカ植民地—リオデ・オロ、アドラル、ボ、アノボン、コロスコ、大小エロベイ—is 副總督と秘書官長により補佐される總督により統治され、地方行政區劃として、Demarcacionesを有し、地方長官は植民地軍を統率する。

G 政黨 内亂勃發前には十有餘派の政黨が分立して居たが一九三九年八月五日、内亂の一應の終焉と共に、政府は官報を以てフアランへ黨改組法を發布現役以下在郷軍人に至る軍部勢力をも黨へ包含して、一黨治國の制度を確立、全體主義體制を整備した。フアランへ黨 (Fulgencia Española Tradicionalista y de las J. O. N. S. — ホーンスは、サンヂ

カリスト行動派國民委員會の略字)は、フランクの下に、スニエルが總裁として、閣僚を始め顯官、財界、教育界、文化人を問はず、スペインに於ける著名の人々を、その組織下に置く獨裁黨である。

フアランへ黨の最高代表機關は、國民協議會であつて、第二回會議は一九三九年九月九日開かれ、その定員數は七五名から擴張されて、一〇〇名となつた。同時に權限も擴大され、立憲主義諸國の議會に代るべき相貌を示しつつある。黨の統制機關及び政府の諮問機關として、スニエルの統裁する黨政治局 (Politica de F. E. T. y de las J. O. N. S.)は、無任所相三名が副議長及び書記長となつて居るが、内閣改造に伴ふ無任所相の減員に基づき、自動的に議長の統一的獨裁權が強化されるに至つた。

H 外交 第二次歐洲大戦に際してスペインの採つた中立政策は、いはば餘儀なくされた途であつた。戰爭に參預するに足る國力を持たなかつた計りでなく經濟的再建のためには、スペインは主要投資國たる英、米、佛に依存せねばならない。一九四〇年一月九日マドリッドに於て調印された佛西協定、三月一九日發表の英西通商條約及び戰時通商協定や、八月七日發表を見た、一部現金、一部棉花を以てする一、三七五萬ドルの對米借款、まゝ内亂勃發後政府に接收された一億ドルの在西米國權益の回復(國際電信電話會社に國內の施設支配及び營業權提供 New York Times, May 2, 1940.)等が、それを表明する。かかる事情は、財界を中心とし、教會に支援

される保守的親英米派の政治力として、フアランへ正統派と對立する。このフアランへ正統派のナシヨナリストと、教會に支援された保守的親英米派の對立は、一九四一年六月二四日英國の對スペイン石油供給停止を契機とするフアランヒストの英國大使館襲撃事件を繞る黨と政府内部の不統一により明るみに出で、六月二八日には英國側サミュエル・ホーア卿の訪問となり、七月二日には英國政府との間に圓滿妥結し、一九四一年度第三四半季分の石油の供給を受けることになつたことを政府は公表してゐる。然るに、同月の二二日には、フアランへ黨ザレンシヤ支部大會に於いて黨書記長ホセ・ルイス・アレックスは、(一)スペインはもはやその國土の何れの一隅にも外國國旗の飄るを容認し得ない、(二)金權政治國のスペイン援助の空手形には最早騙されてはならないと演説し、更にジブラルタルの失地回復、英米との連撃切斷を強調してゐる。なほ一九四〇年一月一七日の獨軍報道班の入國等が北佛の占領地帯を通じて行はれ、國際管理都市タンジール占領のクイ・デターは、佛降伏に先立つて海軍援護の下に、六月一四日、西領モロッコから進駐せる機械化部隊、騎、砲、高射砲隊の無血占領に依つて行はれ、同日外務省から發表され四一年二月英西タンジール協定成立によりスペインのタンジールに於ける特殊權益が容認された。

I 軍備 【陸軍】 内亂終結後に於けるスペイン陸軍の再建は、一九三九年七月に始まり、三九年八月海、空軍省を含めての中央軍政機構の再編成を見て國防委員會と共に、

最高參謀部が創設され、兩者は統領の指揮下に屬することとなつた。

新國軍の兵力の詳細については、なほ公表されて居ないが、舊陸軍は補助部隊を加へて、將校、下士官および兵士の總數約一二・一萬の兵力を有して居り、モロッコ軍總兵力は、約三・四萬であつた。一九三六年に於ける、半島、バlear及びカナリア諸島ならびにアフリカの陸軍に對する最大豫備兵力は、一四・五萬であり、軍事費の數字が約一〇億ペセタが計上されて居た。なほ、一九四〇年八月以降、二ヶ年間の兵役が義務制となることになつた。

【海軍】 スペイン海軍の現有勢力に就いては、會ての所屬艦艇の若干のもの、現狀に關する正確な情報がなく、そのあるものは、再び就役して、現在はドックに於て修理中である。第二次大戦勃發後、特に西部地中海に於ける制海權の確保を企圖し、その經濟的、財政的困難を克服して、一九三九年一月二四日、新たな大建艦計畫を發表した。同計畫の内容は、三・五萬噸級戰艦四、一・五萬噸級巡洋艦一四、潜水艦一四、その他四より成り、その完成には一〇年を豫定されて居るが、その一部は、同計畫發表當時に於て、フェロル・デル・カウデイリヨ市造船所に於いて建造中であつた。大建艦計畫は、スペインの地中海制權に對する強力な楯となるばかりでなく、アフリカ政策の遂行に對して巨大な背景をなすものと期待されて居る。

定的な数字はないが、内亂中獨伊から優秀機が多數輸送され、一九三九年一月一日現在に於て現役勢力約四千機と推定された。

III 經 濟

A 總論 【經濟史】スペインの商業資本は地中海貿易と共に發達し、アメリカの發見後その頂點に達した。一六世紀には新大陸の著しい部分と太平洋及び大西洋上の諸島を獲得し、世界的植民帝國となつた。然るに植民地よりの富の流入は商品流通を活況に導いたが、經濟の牧羊、鑛山、採掘への偏奇は、スペイン經濟を植民地型となし、民族工業は織維、製紙等の若干の輕工業に限られ、手工業の範圍を多く出でなかつた。なほ詳しくは本年鑑昭和十五年版参照。

【内亂後の經濟】内亂中には、嘗て一應の自給性があつた物資の生産も激落を現示したが、オーエルダア(Huelva)の銅、黄鐵鑛の生産も、四〇年にはフルに回復し、鑛業及び鋼業も比較的急速に再建された。特に鐵鋼業に就いて、三月一三日政治研究所開所式に於けるラストラ商相の演説に依れば、活動中の熔鑛爐数は、三九年八月の八基から四〇年三月の一五基に増加し、三月現在に於て鋼材一〇〇萬噸、鋼製品七五萬噸の年産能力あり、月別一・五—二萬噸の鐵鋼輸出餘力を有するに至つたが、一九四〇年に於ける鐵鋼生産高は五八—三三萬噸、鋼塊七八—七千噸に達し、何れも一九三〇年以來の最高記録を示してゐる。さらに一九四一年に至つては製鐵工場の擴張計畫が政府により計畫されてゐる。

された。イタリヤに對する負債は、二五ヶ年償還で五〇億リラ、一九二四年から支拂が行はれて居り、對獨負債額は未だ決定的に評價されて居ないが、可成の部分輸出商品に依つて支拂はれて居るので、對伊負債に比して僅小であると思はれる。今日まで、スペインは、獨力で信用、貨幣問題の解決に努力して來た點は、注意されねばならず、斯様に樞軸國側の援助の得られない立場に對して、英米側の働き掛けが効果的となり得る事も、注目を要する。一九四〇年に於て、八月七日の合衆國輸出銀行からの借款、アルゼンチンからの小麦四〇萬噸に對するクレジット、スタトリング・プロッタからの再建資材輸入資金二〇〇萬ポンド(一〇ヶ年償還)の對英借款は、その經濟的意義のみでなく、政治的意義に於て尠からざる示唆を與へるものである。三九年三月に創設された信用金庫が、地方自治團體に再建資金のクレジットを與へ、その資金は主として内債募集及び封鎖資金(Blocked Accounts)の解放に依つて供給された。

豫算の一部は、道路工事、灌漑その他の再建資金に當てられたが、四〇年一月九日に明らかにされた再建計畫の第二年度に於ては、かかる資金の總額は、約二五億ペセタであつた。なほ、一九四〇年六月末に於ける外債總額は一、二〇〇、〇〇〇、〇〇〇ペセタに上る。C 幣制 一ペセタ(Peseta)は一〇〇センチモ(Centimos, Centimo)であつて、その貨幣價值は戰前のフラン貨と同様である。即ち九ペンス半にして、二五・二二ペセタが一ポンドに當つてゐる。その交換價值は

No.1 爲 替 相 場 (單位U.S.セント)

Table with exchange rates for various periods (1939 average, 1940 monthly) and corresponding values in U.S. cents.

備考:—1939年2月までマドリッド及びブルゴスに於て異なるペセタ建値があつた。資料:—M. B. S. L. N.

【ヨーロッパの産額の五〇%】水銀、黄鐵鑛(この兩者の採掘高は世界一である)及び銅(ヨーロッパの産額の二五%)の著しい埋藏量を有するが、外國資本の支配下にある。またスペインは七百萬馬

政府の懸命の努力にも拘らず、大戰後平價に回復したことがない。現在使用せられてゐる金貨は五、一〇、二〇、二五ペセタの四種類で、銀貨は一、二、五ペセタと五〇サンチム(四種類)である。金銀貨共に戰前のフラン貨と同重量且つ同質である。一九〇八年の法律を以つて、政府は現在一般に流通してゐる五ペセタの廣造貨幣の回収に努力してゐた。現在スペインは理論的に云へば金銀兩本位制を採用してゐる。金と銀の比率は一に對するに一五・五である。然し貨幣のうちでは五ペセタ貨のみが法貨として強制通用力を有してゐる。

E 金 融 【概観】スペインの中央銀行はスペイン銀行(Bank of Spain)である。一九二一年二月末日を以つて同行と政府間との契約が終了し、一九二二年一月一日より新契約が有效となるに至つた。それに依れば政府は或る程度まで銀行の純利益金の分配に與ることが出來、その紙幣發行權は向ふ二五ヶ年間、即ち一九四六年末まで延期せられた。且つ銀行の資本金は一五〇、〇〇〇、〇〇〇萬ペセタより一七七、〇〇〇、〇〇〇萬ペセタに増額された上、二五〇、〇〇〇、〇〇〇萬ペセタまで増額することを許された。營業狀況ならびに民間金融機關についての詳細は判明しない。一九四〇年六月二〇日における紙幣流通高九、二六三萬萬ペセタ。

D 外國爲替 三九年三月以降統一されたペセタは、嚴重に管理されて居たが、八月には爲替管理局が設けられ、第一表の如く、四〇年五月以來對米九・一三セントに維持されるに至つた。一九二九年を一〇〇とすれば、現在の建値は三六・七である。

B 財 政 財政に關しては、一九三六年七月以降何等の發表を見なかつたが、一九四〇年八月六日に至つて、初めて聲明が行はれた。この期間に於ける支出累計は、約一二〇億ペセタであるが、收入累計は僅かに三七億ペセタに過ぎず、赤字累計八〇億であつた。この赤字は、一九三九年四月までのスペイン銀行の前貸七六億と、同銀行に於けるフランコ政府側のクレジットの利用に依つて補填

る。しかしながら全面的な再建計畫の上から見れば、カタロニアおよびバスク地方の工業の集團化を阻止せんとする政府の意圖は、阻礙され、バスク重工業はその鐵鑛床から引離され得ず、當面の問題としては、カタロニアの輕工業を分散せしめんとして居るが、第一に金融問題と絡み合つた原料難と、第二に労働力不足の深刻化とに依つて、經濟再建の着實なる進行は望み薄である。しかし、一九三八年の勞働法、一九三九年三月一日より施行されるに至つた家族補助法および一九三九年三月内務省管轄下に設けられた國民復興信用金庫(Instituto de Credito Para la Reconstruccion Nacional)により建築、工業、農業、商業、鑛業等に融資が行はれ、更に労働力不足に對するために一九三九年五月六日國民復興賦役法(Prestacion Personal para la Reconstruccion Nacional)が公布せられ、スペインに居住する一八歳より五〇歳の男子は、年に一五—三四半季迄は各四半季毎に四日、第四半季は三日の賦役に従ふことを強制せられ、更にこの賦役は一五日間の賃銀を支拂ふことにより免除されることになつた。なほ一九三九年一月七日には甚大な破壊を蒙れる地方自治體に於ける非常收用權がTate del Estado に與へられることになつた。

として生産業務に奉仕する。縱斷的組合は權威と秩序を有し、上から下まで任命による。各組合のトップは國民指導者が指揮し、彼を任命せる大臣に責任を負ふ。生産、賃銀、價格及び内外商品の配給は統制され、法律上新工業の創設には政府の許可を要する。次に、農業の復興振りをみるに一九四〇年の小麦收穫は一九三一—三五年の年平均に對して三五%下廻り、農業は極めて荒廢して居る。食糧増産の見地から、歸農が奨励され、一九四〇年一月の開拓法は、理論的には自作農地創設を規定して居るが、三月六日には、三二年一月一五日の共和主義農業改革法(三六年の農民蜂起に依つて發効)に依つて奪はれた土地を、前所有者に返還すべき旨を規定する等の政治的制約に阻まれて、離村傾向が激化した。一九四〇年三月、マドリッドのペソ割當量は一日二五〇瓦に増加されたが、五月以來半減され、一二五瓦となつた。その他あらゆる食料品に切符制が布かれてゐる。なほ、一月初旬、フランコは、荒廢地農民救済の爲に、約二億ペセタを貸與する旨を發表した。

力の電力資源を有してゐるが、この水力の利
用は極めて僅かである。スペインの工業は世
界大戦中約四倍に發展したが、戦後、主要工
業生産國の世界市場乗り出しと共に發展のテ
ンポは急低下した。

【農業】スペインの耕作可能地は全國土一
二四、六一五、六六九エーカーの八七・七%即
ち一〇九、三五八、七三一エーカーに上る。こ
のうち實際に耕作せられてゐるのは約三七、
〇〇〇、〇〇〇エーカーで全國土の三〇%に
過ぎず、耕作可能地の五七・七%は放置され
てゐる。この主要原因は土地所有の封建的形
態にあるもので、スペイン農業の後進性は此
處に出發する。主要農作物は輸出の基礎をな
す園藝と葡萄酒醸造業であつて、兩者は南部
のアンダルシア及び地中海沿岸に盛んであ
る。その他の主要農作物は小麦、大麦、燕
麥、ライ麦、玉蜀黍、米、等々で、オリヅ、
エスパルト、亞麻、大麻、豆粕、甘藷、玉葱
などの産が多い。尙、一九二一年以來烟草の
栽培が盛に行はれるに至つた。一九三五年に
おける小麦生産高八五、九九四(千cwt)大
麥四二、二六五であつた。

【畜産業】主として北部高原に行はれ、殊
に羊の飼養は盛んで、七〇〇萬頭に及び、
世界でも有数の羊毛の産地である。これ等の
羊は多は暖い低地に、夏になれば寒冷な高地
に移動せしめて飼育してゐる。その他、山羊、
牛、豚、馬等を主とする。また鶏の飼養も盛
に行はれてゐる。一九三五年における家畜飼
養数は馬七九六、八〇〇頭、騾馬一、五〇九、
六〇〇頭、驢馬一、一九九、四〇〇頭、牛四、二

る。スペイン工業の特色を要約すれば(一)
鑛山業の發達が著しいこと、この製品は石
炭を除き大部分輸出される。(二)加工工業に
おいて織維工業が首位を占める。(三)中小企
業及び家内工業が優勢で大工場は殆んど外國
資本の占有するところである。(四)主要工業
は主としてカタロニア或はバスクの如き僻處
の地に集中されてゐること、以上の四點に
ある。

た。その他の輸入品として石油及びその製
品、ゴム、織維工業原料品、バルブ、玉蜀黍、
その他の植民地物産等を挙げ得る。
一九三九年五月三〇日の國民協議會に於
いて、フランコは、第一次大戦を除いて極め
て長い期間スペインが入超を續けて來たこと
を指摘しつゝ、かかる状態は内亂勃發以來、
大量の武器輸入と、輸出産業の荒廢と、共和
政府に依つて中央銀行に加へられた週期的な
襲撃とに依つて、極めて深刻なものとなつて
居る事を明らかにした。
三九一四〇年は、貿易再建の第一歩であつ

No. 3 卸賣物價指數
(1913=100)

	卸	賣
9936(年平均)		97
1937C		111
1938C		125
1939C		128
1940C		162
	2	182
	3	185
	4	191
	5	197
	6	198
	7	202
	8	206
	9	207
	10	207
	11	207
	12	207

資料：—M. B. S. L. N.

No. 4 鐵鑛石輸出高
(單位 1,000 噸)

1937	848
1938	1,145
1939	1,200

備考：—Boletin Minerioに依る數字。

資料：—Iron & Coal. 1940. 9. 13.

No. 5 最近の輸出入
(單位千ヘクタ)

年度	輸 入	輸 出
1928	3,004,991	2,183,478
1933	836,633	673,042
1934	855,044	612,534
1935	879,300	588,200
1936	505,703	543,803
1937	344,259	192,745
1939*	317,699	207,733

備考：—*4—12月。

【外國貿易】内亂前は、銅鑛、鐵鑛、世
界第二位の産出のある水銀、鉛、亜鉛、黄鐵
鑛および硫黃に就いて、可成りの餘剰輸出量
があり、重要農産物の輸出品として柑橘類、
オリヅ油、馬鈴薯があり、バスク鐵工業の
原料資源としてのアストウリアの石炭の不足
を補ふ爲に年約一〇〇萬噸の石炭輸入があつ

たが、生産恢復の著しかつた鑛業に就いて見
れば、鑛石輸出額は第四表の如くであつた。
尙鐵鑛石主要輸出港はビルバオで、大戦勃發
後對獨取引は杜絶するに至り一九四〇月四月
迄は對獨輸出が回復し始め、また對英佛輸出
の増加著しく、ビルバオ港五月の出港運鑛船
一九隻は全部英國に向けられてゐた。

三三、七〇〇頭、羊一七、三五八、一〇〇頭、山
羊四、六六一、二〇〇頭、豚五、一九五、六〇〇
頭であつた。
【鑛業】スペインは極めて鑛産に豊富な國
である。鐵はビスカヤ(Vizcaya)、サンタ
デル(Santander)、ナヴァイエド(Oviedo)ナ
デル(Navarra)、フェルヴァ(Huelva)、およ
びセヴィラ(Sevilla)等に産し、多く鑛石の
まゝイギリスに輸出し、銅はセヴィラ、コル
ドバ(Cordoba)フェルヴァ等に、石炭はオヴ

イェド、レオン(Leon)、ロナ(Rovana)、ダ
アレンシア(Valencia)、エルドバ等に、鉛鑛
はムルシア(Murcia)、モン(Cuenca)、アル
メリア(Alicante)に産する。その他、亜鉛、
アプスアルト、水銀、硫黃、錫、燐灰土、硫
化鐵鑛、マンガン、銀、岩鹽、ウオルフラム
等の鑛物の産出が多い。一九三四年に於て
鑛山業に従事してゐる労働者は男子一二二、
四八七人、女子三、五二一人、一八歳以下の
少年少女七、〇二二人である。また同年に採
掘せる鑛物の總価格は四六三、
三四一、二三六ヘクタに上る。
鑛山の數は二、四〇五である。

No. 2 鑛工業生産統計
(單位 1,000 噸)

種 別	1935	1936	1937	1938
電力(1)	3,300
炭鑛	7,017
鐵鑛	1,240	960	460	1,180
鉄鋼	355	225	130	450
銅	580	287	100	470
鉛	30	26	28
鋅	11.6	9.3	10.2	12.0
錫	66.2	42.0	27.0
亜鉛	70.6	46.6	30.0
鉛	33.3	35.0	20.0
鋅	7.6	7.8	5.3	7.7
亜鉛	1.3	0.7	0.3
ニウム	1,226	1,460	1,450
モニウム	1,000	900	1,000
鉄	1,226	1,460	1,450
銀

備考：—Statistical Year-Book of the League of Nations,
1938/39。(1)單位は 100 萬 kwh.

*は工業製品。

【工業】鐵と石炭とを多量に
産出し、且つ利用可能な水力が
豊富なるにも拘らず工業は未だ
盛に行はれてゐない。技術も極
めて低くその生産組織は遅れて
ゐる。たゞ各種工業のうちで最
も發達してゐるのは紡績工業と
製紙工業とである。紡績工業は
主にカタロニア州(Catalonia)
に發達してゐる。一九三三年に
おいては、六〇、八四六の織機
(うち六一四六は自動織機)及び
二〇、四〇六の編物機が使用さ
れてゐる。また毛織工業も行は
れ、二七四、八〇〇の紡錘と、
六七〇〇の織機が動かされて
ゐる。製紙工業も盛んで約一六
五工場によつて行はれてゐる。
このほか二七のガラス工場があ

まつて居たスペインにとつて、軌道、道路、車輦、自動車等が内亂において蒙つた被害の影響は、甚だ大きい。交通機關の損害評價は、三六年から三九年迄に四〇%と見積られる。鐵道資材は三〇%が破壊され、軌道は比較的迅速に復舊が進行して居るが、車輦は四〇年五月までには、復舊に手を付けた程度である。従つて若し國內の工場にのみ頼らねばならぬとすれば、前途遠慮であらう。現存車輦の有效な利用は、大部分單線であるために望まれず、トラックもそれに代るだけはない。自動車工業に至つては、改めて創り出さねばならぬのである。

【鐵道】一九三三年における鐵道の全延長は、一三、六一九軒にして、うち廣軌一、五二六軒、狹軌二、一三六軒であつた。その他、電線は二、〇九三軒を數へる。一九四一年二月一日以降スペインの鐵道はすべて國有民營となつた。元來スペインの鐵道は戰略的理由によりフランスのそれと相異らしめられ、乘客は國境驛に於いて乗り換へねばならない。なほ、鐵道會社は政府の補助を受け、鐵道大臣の統制を受けてゐる。鐵道運賃は極度に高く、且つ線路の敷設は産業の必要からでなく、封建的虚榮、政治的策略等に基くものであつたし、鐵道密度も百平方軒に就て三・二軒に過ぎない。

【船舶】一九四〇年一月一日現在におけるスペインの商船は、汽船九二二隻、一〇七四、八四五噸。スペインの主要なる海港はバルセロナ (Barcelona)、バルブオ (Bilbao)、カディス (Cadix) である。一九三五年に於ける

るスペインの各港に入港せる船舶は三二、一四九、〇九〇噸にして、うち一〇、二〇八、三二〇噸はスペイン船にして、全體の約三分の一を占める。また出港せる船舶は二八、一四五、二〇〇噸にして、うちスペイン船は九、六九八、七〇四噸である。

【航空】バルセロナ、カディス間及びブルゴア、カナリア島間に航空郵便が開始されてゐる。最近、新航空輸送會社が設立され、ラス・パルマス (Las Palmas) とサンタ・クルス・デ・テネリフェ (Santa Cruz de Tenerife) 間の空輸を開始する筈である。その他フランスのツールーズ (Toulouse) とカサ・ブランカ間 (Casablanca) の定期航空路が、スペインのアリカンテ (Alicante) に途中着陸してゐる。

【度量衡】一八五九年一月一日以來、スペインにおいてメートル法が正式に採用を見るに至つた。然しメートル法の外に次の舊スペインの度量衡が一般に使用されてゐる。クイマンタル (Quintal, 一一二・〇四常衡ポンド (lbs. avoirdupois))、リブラ (Libra) 一〇・一四常衡ポンド、アロク (Arroba) 一三・〇五イギリス・ガロン (Gallon) (酒類)、アロベニ (Alibeni) 二・七五イギリス・ガロン (油類)、スクアア・クアラ (Cuadra Vara) 一・〇九グアラ (Vara) 一・一ヤード、フアナガ (Fanega) 一・五イギリス・ブツシヘル

IV 社會

部は「カシク」として地方の土豪となり、地方の暴君であつた。

【民族關係】スペインは大別して四つの民族からなつてゐる。即ち歴史的に他民族を支配して來たカスチリア人 (約一、五〇〇萬人) と少數民族としてのカタロニア人 (四七〇萬人)、ガリシア人 (二二〇萬人)、バスク人 (七〇萬人) がこれである。これら地方人は古くから自然的に隔離せられ各々孤立した生活を續けてゐるが現在においてもなほ割據の氣風を殘してゐる。就中最も重要な地方はカタロニア地方で、經濟的にスペインの中樞をなしながら少數民族として政治的には冷遇せられてゐた。即ち此處は全農産物の二〇%を産しバルロセナ港は全スペインの商取引の二五%を手につけ、全纖維工業の九〇%、化學工業の五〇%、製紙の二〇%、全スペイン企業業の二五%をこの地方に集中してゐる最も進歩した地方であるに拘らず、民族的不平等、民族言語の禁止、民族文化の抑壓等々異民族として、極めて冷淡に取扱はれて來た。プリモ・デ・リヴェラの獨裁になる民族運動の大彈壓に見るごとく、右翼は常に民族の自治に反對し、左翼は民族自治を要求して來た。且つまたカタロニアは昔より労働運動の盛んなところで、古いバスターニン主義の傳統があり、民族問題とからまつてカタロニアの重要な政治問題と化してゐた。一九三一年四月の共和國宣言と共にこれら三地方の獨立問題が提出されたが、民族的壓迫の社會的基礎には何等觸れることなく、單に憲法上の權利として認められたに過ぎなかつた。

【階級關係】地主階級は百ヘクター以上一〇萬ヘクターまでの耕作所有者を包含する。全耕地面積の約は地主の手にある。地主の最上層をなすものは「グランド」で封建諸侯出身の大土地所有者であり、農業改革後もなほ一州を領有することがめづらしくなかつた。この外資本家、貴族出身の地主があり、全體として教會はスペイン最大の地主である。スペインにおける土地所有關係は著しく不均衡にして、僅か七千人の所有面積は全面積の半に達する。スペインの資本主義は比較的發達を遂げてゐるため資本家の力は極めて強い。且つ地主及び貴族階級が例外なく本來的のスペイン人であるに反し、資本家の民族的構成は一様でない。最も産業の發達したカタロニア地方では、資本家は壓倒的にカタロニア人である。そのうへスペインの資本家は一様に地代を收得してゐる。中農と貧農とはスペイン人口の最大部分を占めるが正確な統計は無い。現在農業獨立人口總數 (婦人を含まず) を約五、二〇〇、〇〇〇人とすれば、このうち地主および富農約二〇萬、中農及び貧農約三〇〇萬、農業労働者約二〇〇萬と推定される。農業労働者の一部は南スペインの全然土地を持たぬ、眞の農業労働者であり、一部はガリシアからの出稼労働者、他の一部は零細な土地を有するか、あるひは小作人であるところの土着の農業労働者である。この外に乞食同然の極少數の農僕がある。概してこれらスペイン農民の生活程度は話にならぬ程低かつた。労働者數は約二〇〇萬と推定される。その地理的分布は極度に不均等であり、

A 社會構成 【身分關係】スペインでは封建的身分關係が未だ非常な勢力を有してゐる。即ち貴族、僧侶、軍人、官僚等がこれである。貴族は内亂勃發前まで二萬乃至三萬を數へ (全人口の五百分の一)、主として土地所有者―地主としての生活をし、國家の高位高官を占めてゐた。この貴族は全土の五一・一%を私有し、スペインの經濟的發展を著しく阻害してゐたものである。僧侶はスペインにおいて特別重要な役割を果してゐる。幾多の宗教上の階級をもつカトリック教會は、いかなる人間よりも強く、いかなる貴族或は彼等の全部よりも強力であり、專制君主よりも權力があり、軍隊よりも普遍的な機關であつた。同時に教會は最大の地主、工業家、銀行家、教育者、金貸でもあつた。即ち教會はスペイン國富の半を有し、その政治的代辯者を通じて直接國政に參與し、國內で最も完備した宣傳機關を有してゐる。それは最も訓練された強力な特權階級である。次にスペインの身分關係で特色あるものは軍人である。將校、特に上級將校の數は非常に多く、一九三一年には軍隊總數一〇五、〇〇〇人に對し將官一九五名、佐官五、九三八名、尉官五、二八一名、青年將校五、七〇七名であつた。そのうへ豫備役には將官四八七名、佐官四〇七名があり、同年度には兵卒各五三八名に對して現役將官一名、兵卒各六名に對して將校一名と云ふ割合であつた。彼等は「フンター」を形成し一大勢力をなしてゐた。最後にスペインの官僚群も亦他國に比し著るしい政治的勢力をなしてゐた。上部は貴族によつて占められ下

【階級關係】地主階級は百ヘクター以上一〇萬ヘクターまでの耕作所有者を包含する。全耕地面積の約は地主の手にある。地主の最上層をなすものは「グランド」で封建諸侯出身の大土地所有者であり、農業改革後もなほ一州を領有することがめづらしくなかつた。この外資本家、貴族出身の地主があり、全體として教會はスペイン最大の地主である。スペインにおける土地所有關係は著しく不均衡にして、僅か七千人の所有面積は全面積の半に達する。スペインの資本主義は比較的發達を遂げてゐるため資本家の力は極めて強い。且つ地主及び貴族階級が例外なく本來的のスペイン人であるに反し、資本家の民族的構成は一様でない。最も産業の發達したカタロニア地方では、資本家は壓倒的にカタロニア人である。そのうへスペインの資本家は一様に地代を收得してゐる。中農と貧農とはスペイン人口の最大部分を占めるが正確な統計は無い。現在農業獨立人口總數 (婦人を含まず) を約五、二〇〇、〇〇〇人とすれば、このうち地主および富農約二〇萬、中農及び貧農約三〇〇萬、農業労働者約二〇〇萬と推定される。農業労働者の一部は南スペインの全然土地を持たぬ、眞の農業労働者であり、一部はガリシアからの出稼労働者、他の一部は零細な土地を有するか、あるひは小作人であるところの土着の農業労働者である。この外に乞食同然の極少數の農僕がある。概してこれらスペイン農民の生活程度は話にならぬ程低かつた。労働者數は約二〇〇萬と推定される。その地理的分布は極度に不均等であり、

B 労働 内亂後の中心の問題は、労働力の不足と失業の増加との絡み合ひである。一〇〇萬に垂んとする政治犯在監者があり、夥しい熟練労働者が國外に去つたことは、農村に於ける深刻な労働力不足と重工業労働力の缺乏の原因である。三九年二月の政治責任法と四〇年一月の制限大赦令に依つて、共和政府を加擔したことが自己の無智に由來することを認めた者の釋放を行つたのもその對策の一つで、一月には在監者二五萬と公表された。同月二日の法令は、恩典の範圍を一年一ヶ月以下の受刑者に擴大、また六年以下の將校たる受刑者が多數釋放された。他面都市失業者は、輕工業の不振と土地政策の反動的結果として増加し、公表された資料に依れば、三月には四八萬であつたが、事實上一〇〇萬を超えるものと推定されて居る。かゝる事態に對して政府は、囚人の一労働日を二日の拘禁に代へることを認め、また労働組合を廢止して、労働の義務と權利を高唱し、施食、母子保護院、救病院を始め、住宅問題の改善等に努めて居る。なほ、三九年七月を一〇〇として、發表せられるに至つた生計費指數 (マドリッド) を掲げれば、別表の如くである。表に見る如く昂騰は食料品に於て顯著である。

No. 6 生計費指数 (1939=100)

	総指数	食料品
1940(年平均)	178	215
1941. 1	209	267
2	215	278
3	220	283
4	223	288
5	228	294
6	228	294
7	230	296
8	237	307
9	244	317

資料：—M. B. S. L. N.

V 文 化

A 總論 スペインは古代ローマ時代から、中世紀のサラセン文化時代を経て、東方諸國文化の影響が極めて濃厚であった。特にその民族がムーア人、アフリカ人等の混血により、其南方的情熱文化を高めた。その史上世界國家として雄飛した時代、マドリッドの宮廷貴族文化は正に歐洲最高の精華であった。その美術に見るグレコ、ヴェラスケス等の華麗、ドン・キホーテに示される人生問題の深刻なる批判、またカルデロン、ヴェーガの戯曲に示される人生哲學は、いづれもスペインの獨自なるものであると共に、世界文化の上に燦然と輝くものである。「一九八年代の作家」の文學的勃興は、近代における目ざましきスペインの文化發展を表はすものである。すで

に幾度かの政變を続け、また國力はひどく衰亡したが、なほその文化は世界の中に強力なる影響を與へてゐる。

B 宗 教 一九三一年二月九日發布の新共和國憲法により、スペイン共和國は何等の國教を有するものでない旨の宣言が正式に發表され、信教の自由は完全に認められるに至つたが、新政府の下に於てはカトリック教が國教と定められてゐる。住民の大部分はローマン・カトリック教會に屬す。

C 教 育 一九三〇年の國勢調査によれば、人口の四七・二二%は読み書きの能力を有し、そのうちで、読むことのみが出来るものは〇・九四である。その他、四五・四六%は読み書きの能力を有せざる人口である。而して残りの七・三二%は六歳以下の小兒人口である。これを見てもスペインはヨーロッパ地方において最も教育程度の遅れた地方であることが證明される。なほ、全國は大學を中心にしての教育區に分けられ、一九三五年には國民學校四二、七六六、生徒數四、七二〇、二六〇を數へ、中等學校は一一一、生徒數一三〇、七五二を數へた。大學は八あり、學生數三一、九〇五を算する。革命後教育が重要視され一九三九年一月學生組合(S. E. U.)が提議されたが、この組合は五〇〇、〇〇〇の學生を數へるだらうといはれてゐる。

VI 自 然

A 總論 スペインはヨーロッパ大陸の西南端に突出せるイベリア半島の先端部を占め、一小海峡を隔ててアフリカ大陸と對峙

し、東は地中海に面し、北はフランスとピスカヤ灣とに接し、西はポルトガルと大西洋に面してゐる。その自然を概観して一言に盡せば、スペインは全土高原性を呈し、海岸線は單調にして沿海の出入極めて少く、河川は多く急流にして大河に乏しい。且つ氣候は地中海沿岸地方に殊に悪く、またその内地の高地に至つては乾燥甚しく寒暑の差が著しく、従つて氣候は概して良好ではない。國內の地勢も國內の統一に極めて不便である。多數の山脈はこの國を未だ鐵道や自動車道路によつて十分に連絡されてゐない孤立した州に分離してゐる。アラゴン、カタロニア、カスチリア、バスク、ポルトガル、ナヴァラは數世紀にわたつて獨立してゐた國家であつた。且つ又ピレネー山脈はヨーロッパとの交通を遮断してゐた。即ちその峠はアルプスの峠よりもはるかに高いのである。アフリカはピレネー山脈の向より始ると云ふ言葉の示すごとくそれはヨーロッパよりもむしろアフリカの地形である。スペイン産業の立ち遅れは封建的格の強さにもあるが、その古きものを長く保たしめた自然的制約にもよるものである。

B 地 勢 【山脈】 イベリア半島はほとんど全部が高原地帯にして、數條の山脈が東西に走つてゐる。北方のフランスとの國境上にピレネー山脈(Pyrenees)があつて半島の頸部を爲し、その延長實に四三〇軒におよぶフランスとの交通を妨害してゐること少くない。この山脈の西に續いてこれと一直線を爲して西走する山脈にカンタブリア山脈(Cantabrian Mts.)がある。この山脈はその終點の

北方ピスカヤ灣方面において斷崖となり海に迫り、西方に走つては海邊に出入多からしめ、所謂リアス式海岸を形作る。またカンタブリア山脈と略々並行して南方にグアダラマ山脈(Guadarama)あり、その南にトレード山脈(Toledo)あり、またその南にセルモレナ山脈(Serranera)があり、いづれも略々東西に走つてゐる。尙南方地中海邊にはシエラ・ネヴァダ山脈(Sierra Nevada)があつて、半島の南縁を形成し、その西南はジブラルタル海峡を涉つて、アフリカのアトラス山脈に連り、その北東は地中海中に現はれてバレアレ諸島となる。

【河川】 スペインの河川は地勢上大河なく、且つ水量少く、地勢不良のため交通に便を與へない。地中海斜面の河川の主要なるものはエプロ河(Ebro)のみである。大西洋斜面の河川にはドウロ河(Douro)、タホ河(Tago)、グアデアアナ河(Guadiana)、グアダルクイヴル河(Guadalquivir)等を主とするも、最後の河川を除く他の三河川はいづれも下流はポルトガルに入る。またピスカヤ灣に注ぐ河川はいづれも小にして取り上げていふべきものは無い。

C 氣 候 スペインの氣候は大陸的で夏多氣温の差が極めて著しい。スペインは氣候的に見て次の三つに分けることが出来る。即ち、第一は西部海岸地方で、この國の最も氣候の良好な地方を成し、比較的氣候温和で、地勢上の關係から雨量は極めて豊富である。第二は地中海沿岸一帯の地方で、アフリカの熱風が烈しく吹き氣候は非常に不良で、産業

の發達を阻害してゐること著しい。第三は内部の高原地帯にして、空氣極めて乾燥して寒暑の差殊に甚しく、雨量も少く、大陸性氣候の代表的なものである。要するにスペインの氣候は全體的に見て概して不良にして、その産業の振はるる一大原因を爲してゐる。

D 面積・人口 スペインの大陸面積は一九〇、〇五〇平方哩であつて、バレアレ諸島(Baleares Islands)及びカナリア諸島(Canary Islands)を含める總面積は一九六、六〇七平方哩に上る。一九三九年三月におけるその概算人口は二五、二四〇、九七一にして、人口密度は不生産地が多いため概して小で、一・二八・三人である。従つてスペインの人口密度は他のヨーロッパ諸國に比較する時極めて小にしてフランスの半ば以下で、殊に山地に粗にして北東部及び南西部に密である。

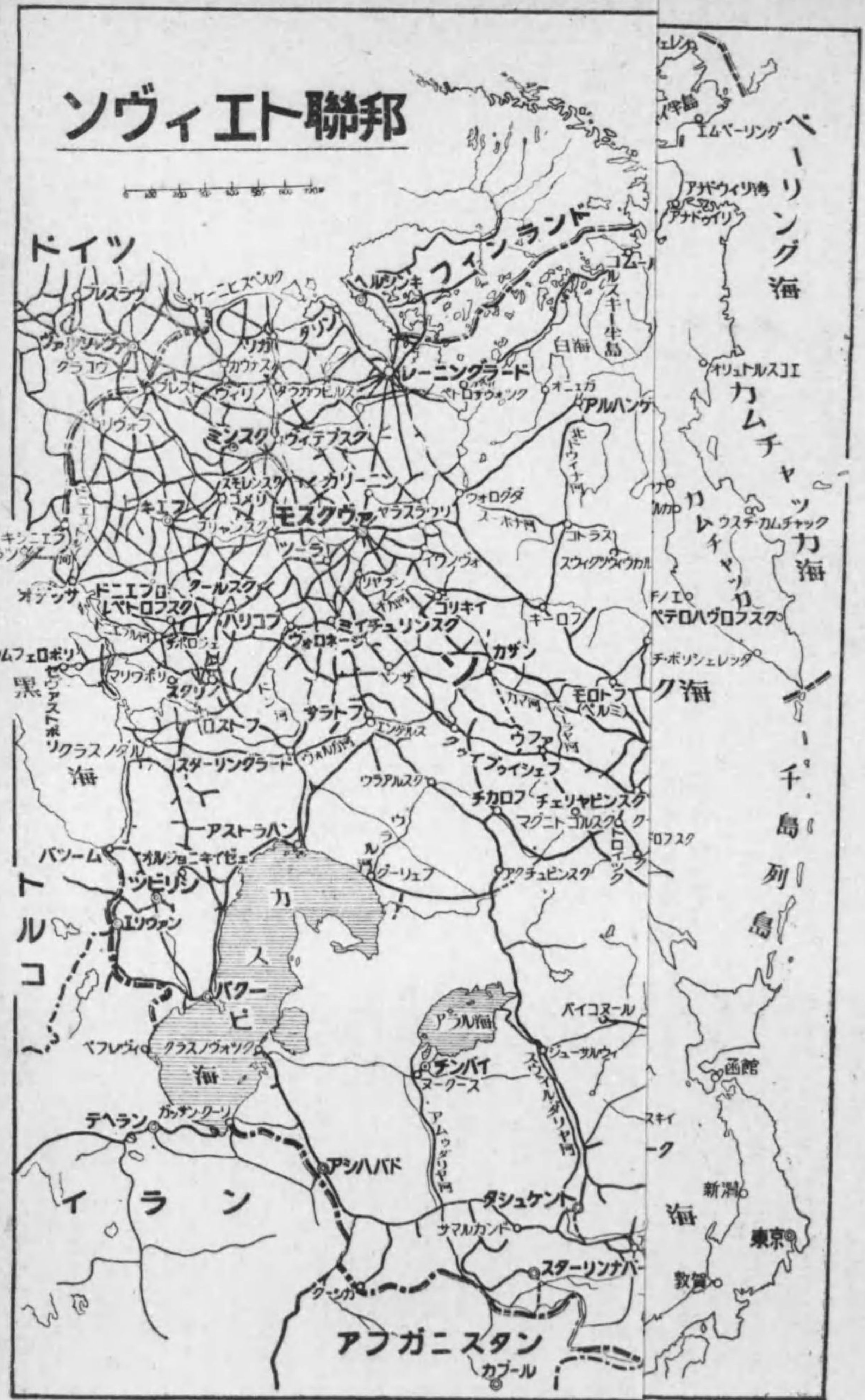
E 住 民 スペインの先住民はケルト系のイベリア族(Iberians)で、石器時代に既に北アフリカより移住してゐたが、同系のヨーロッパ人が移住して來てこれと混血した。そのうち、ラテン系のフェニキヤ人、ギリシア人、カルタゴ人、ローマ人等が多くこの地に植民し、その支配的住民となるに至つた。これと同時に北方よりチュートン族が南下し來たり、次でアラビア族がアフリカより侵入して來て、これ等の各民族が混血して現在のスペイン人及びポルトガル人を形成してゐる。

F 主要都市 スペインにおける人口一〇萬以上の都市は一九三四年十二月三十一日の調査によれば次の一〇市を數へる。バルセロナ(Barcelona)一一、一四八、一一九八。首都マド

リッド(Madrid)一、〇四八、〇七二人。ヴァレンシア(Valencia)一、三五一、八〇二人。セウイラ(Sevilla)一、二三八、七二七人。アラガ(Málaga)一、〇三三、八四四人。サラゴサ(Zaragoza)一、〇八九、〇六二人。ビルバオ(Bilbao)一、七五、八九八人。ムルシア(Murcia)一、六六、三四一人。グラナダ(Granada)一、二四、六八〇人。コルドバ(Córdoba)一、一七、九一九人。

一 参 考 文 献

- Anuario Estadístico de España.
- Boletín Del Centro de Investigaciones Económicas o Laboratorio de Estadística.
- Adams (A.), Economic Conditions in Spain.
- Department Overseas Trade Report, No. 606 London, 1938.
- Arangues (P. de), Le destin de l'Espagne, Paris, 1938.
- Aunos (E.), L'Espagne Contemporaine, Paris, 1939.
- Campomar (C.), La Revolution espagnole vue par une République. Paris, 1937.
- Christiansen (F.), Das spanische Volk, Seine wahres Gesicht. Leipzig, 1937.
- Konetzke (R.), Geschichte des spanischen und portugiesischen Volkes. Die grosse Weltgeschichte, Band 8.) Leipzig, 1939.
- Mannell (F. E.), The Politics of Modern Spain. London, 1938.
- Vilaplana (A. R.), Burgos Justice: A Year's Experience of Nationalist Spain. London, 1938.



ソヴィエト聯邦

セルビア

(英—Serbia)
(獨—Serbien)
(佛—Serbie)

I 歴史 セルビアはダニエーブ河以南の地を占め、西はボスニアモンテネグロ及アルバニアと境し、東はブルガリア、南はギリシアに面する。面積は約九、五萬方里である。六三八年スラヴ族のセルビア人がこの地に入り地名の起源をなす。一〇四三年東ローマ帝國より獨立。一三八九年コソヴォの戦後からトルコに從屬したが一四五九年には完全なトルコの屬州となる。一八世紀初一時オーストリア領となつたが、すぐトルコの壓政に苦しむ屢々修讞を蒙つた。一八〇五年トルコの壓政に抗し獨立運動が起り、一八一二年プロカレストの和議の後に獨立戦争が再發し、一八一二年トルコの主權の下に自治を承認されるに至る。一八六七年トルコの守備兵は全くセルビアより撤退、一八七八年列國よりセルビアの完全な獨立が承認された。

II 政治 一九四一年四月ユーゴスラヴィア占領後セルビア駐屯ドイツ軍司令官フエルスター將軍はセルビア地方占領地帯の國民生活の再建と安定化を目的とする行政委員會を結成した。

内務委員 ミラン・アシモヴィッチ
教育委員 リスト・ジョジツク
司法委員 ムムシロ・ジコヴィチ
通信委員 ドウシヤン・ハンテイチ
公共事業委員 スタニスラウス・ジョシフオヴツチ

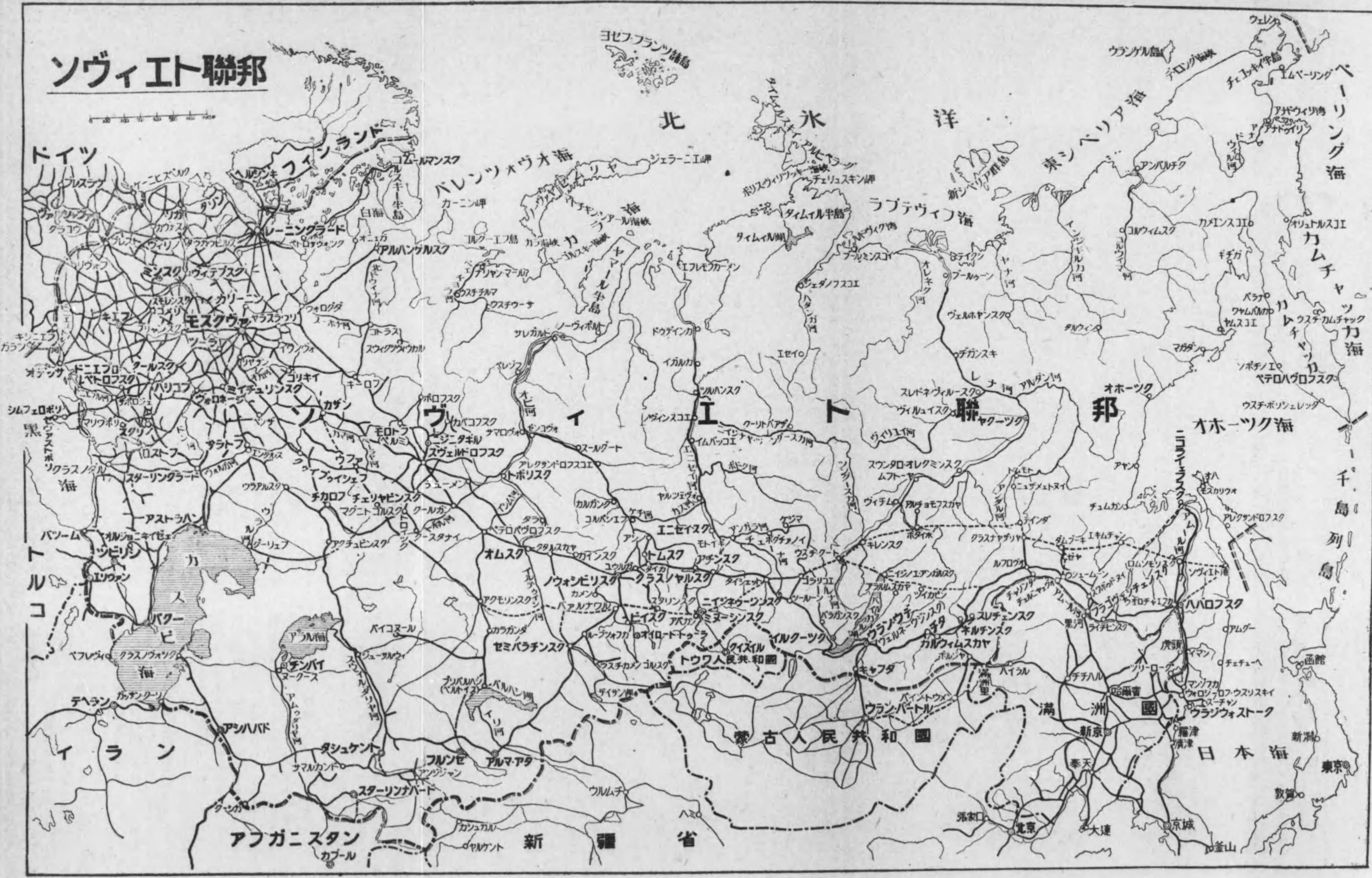
イア國を作つた。今次ユーロツバ大戦に際しバルカン半島は英獨の角逐場と化した。ドイツの西部戦線における勝利とそれについで獨軍のルーマニア進駐は東南歐諸國への壓力を強め、獨軍の對勃進駐直後の一九四一年三月二十五日ユーゴは三國同盟へ参加したが、この問題を廻り、從來から醸されてきたセルブ人とクロアチア人の抗争は俄然悪化しセルブ人の軍人によるクーデターとなり、夫と共に反獨運動が熾烈となり、四月五日遂にドイツ軍はユー・希兩國へ進攻を開始した。四月一八日ユーゴは無條件降伏をした。かくてセルブ人のユーゴ支持配は終焉し、クロアチアは獨立し、ダルマチア沿岸地方は伊領となり、ブルガリアはニツシエおよびスコプリ以西を、ドナウとタイス河の三角地帯はハンガリーへ、バナート地方はルーマニアへ割譲され、その他の部分はセルビアとしてドイツの軍政下におかれた。

經濟 獨・ユ戦争によつて舊ユーゴスラヴィア銀行が機能を停止したため、同國の經濟は極度に難澁した。ドイツ軍當局は占領當初應急的金融措置としてライヒ信用金庫をベルグラードやアグラムに設立し、臨時發券銀行として機能せしめたが、一九四一年六月セルビア・ドイツ軍司令官はセルビアの金融を整理し、産業界の復興を促進するため中央銀行の組織を布告した。新中央銀行は資本金一億デナールで、その總裁には元ユーゴスラヴィア國立銀行總裁が推され、同行の通貨、金融事業運営に關してはライヒスバンク理事を委員長とする委員會が指導、協力することとなつた。新中央銀行の活動開始によつて、セルビア地方のライヒス信用金庫は閉鎖となつた。新セルビア・デナール貨は舊ユーゴスラヴィア・デナールと等價で交換されるが、他の主要通貨との交換比率は、一米ドル一五〇デナール、一スイス・フラン一・二デナール、一グラムの純金との交換率は五五・八デナールである。

經濟委員 ドウシヤン・レチサ
またドイツ外務省の代表として一九四一年五月三日ヒットラー總統はペンツラ公使を任命。同代表はセルビア・ドイツ軍司令官に直屬する。

参考文献
Statistique Generale d'Etat, Annuaire Statistique No. 10, 1938-39, Belgrade, 1939.
Almanac of the Kingdom of the Serbs Croats and Slovenes, Zagreb.
Temperley (H. W. V.), A History of Serbia, 1917.

ソヴィエト聯邦



に抗し獨立運動が起り、一八二二年ブカレストの和議の後に獨立戦争が再發し、一八二二年トルコの主權の下に自治を承認されるに至る。一八六七年トルコの守備兵は全くセルビアより撤退、一八七八年列國よりセルビアの完全な獨立が承認された。

一九一四年サラエボ事件によりオーストリアはセルビアに宣戦を布告、ヨーロッパ大戦勃發の端を開いた。戦後はモンテネグロ、ボスニア、ヘルツェゴヴィナ、スロヴェニアを合せセルビア國王の下にユーゴスラヴ

政治 一九四一年四月ユーゴスラヴィア占領後セルビア駐屯ドイツ軍司令官フエルスター將軍はセルビア地方占領地帯の國民生活の再建と安定化を目的とする行政委員會を結成した。

内務委員
教育委員
司法委員
選信委員
公共事業委員
スタニスラウス・ジョシフオヴツチ

は舊ユーゴスラヴィア・ディナールと等價で交換されるが、他の主要通貨との交換比率は、一米ドルに五〇ディナール、一スイス・フランに一ディナール、一グラムの純金との交換率は五五・八ディナールである。

参考文献
Statistique Generale d'Etat, Annuaire Statistique No. 10, 1938-39, Belgrade, 1939.
Almanac of the Kingdom of the Serbs, Croats and Slovenes, Zagreb.
Temperley (H. W. V.), A History of Serbia, 1917.

158 ソヴェート聯邦

(英・獨-U. S. S. R.)
(佛-U. R. S. S.)

I 歴史概観

ダニエーブ、ドニエストル、ドニエプル、ドン、ヴォルガ等の諸大河が貫流する豊饒なる沃野は古來諸民族を牽引し、現在ロシアの主要民族たるスラヴ民族は紀元二世紀頃カルパチア山脈の北部に散在し原始的な農業牧畜及狩獵を營んでゐたが、四世紀の民族大移動の波に流されて東方への移住を開始した。しかしてドニエプル流域は、古來北西ヨーロッパと東南ヨーロッパとの商業的取引の仲繼地をなし、この商業資本、奴隷輸入商人のノルマン・ワリヤグ族はスラヴ民族の上に始めて支配者、「公」Knyazとして現る。一般に八六二年、ワリヤグ族の首領リウリツクのノヴゴロド城を以てロシア建國とす此の奴隷制都市文明に致命的打撃を與へたのは一〇九五年「十字軍遠征」とタタール族(鞏韌)の侵略で、古典的「都市」の衰退と農村經濟への轉換を促進し、奴隷制度と農奴制度の抱合たるウオチーナ(領地)制の全盛とな

る。一四七一年イワン三世モスクワに統一的モスクワ帝國建設、畏帝イワン四世(一五三三—一八四年)タタールの支配を脱し、東ローマ帝位の後繼者として皇帝(Dark)と號す。「莊園所有者」(ドヴォリヤンストウオ)と商業資本は舊支配階級たる「領主」(ボヤール)を倒し「莊園」(ボメステイ)制度を確立し、前二者を基礎として絶対王制ツァーリズム殆まる。一六一三年ミハイル、ロマノフ王朝を始め、次代アレクセイ帝は法典に農奴制を確立し、それを機としてステパン・ラージンの農民反亂勃發す。ピョートル三世(一七六一—二年)エカテリナ二世(一七六二—九六年)の時代に農奴制爛熟し、農奴制内におけるマニユファクチュア發達す。東亞千島占領、ポーランド分割、クリミア占領等侵略政策の伸張は商業資本の成長を早む。此期ブガチョフの一大農民運動の他無数の農民暴動があつたが一八二五年デカブリスト(十二月黨員)は農民の支持なしに軍事的變革を企圖し、これを契機に四〇年代よりナロードニキの革命運動が發展し、その先頭にチエルヌイシエフスキイ立つ。露土戦争(一八五四—一八六一年)の敗北による軍事的必要と相俟つて農奴解放を必至たらしむ。期待された農奴解放(一八六一—二年二月)は農奴制の妥協的解消、雇役とカバールへの道に過ぎなかつた。再びナロードニキ運動昂揚し(一八六〇年代—一七〇年代)、アレキ

サンデル二世暗殺さる。反動の「八〇年代」を越えて九〇年代は資本主義急速に發展し産業資本確立す。労働者運動興り、レーニン一派、後のボルシエヴィキのヘゲモニー漸次確立す。

ニコライ二世の東亞侵略は遂に日露戦争(一九〇四—五年)を惹起、敗戦はデスポテイズムに對する民衆の憎惡と共に第一革命(一九〇五年)勃發す。斯くて政府は同年憲法を發布、ブルイギン國會をば開催、次いで一九〇六年ストルイピンの農業改革行はれ農業のプロシヤ型發展への道拓かる。一方、革命運動には大弾壓を加へ八年以後は反動時代來るこの頃ロシア資本主義は金融資本へ轉化する。ついで世界大戦に参加してドイツに敗れ、國民生活の極端な窮乏化は戦争とツァーリズムに對する反抗を激化し第二革命(一九一七年二月)となりロマノフ王朝倒壊し、臨時政府と共にモスクワ、ペテルグラードその他にソヴェート成立す。續いてケレンスキイ臨時政府顛覆し、一〇月レーニン等のボルシエヴィキは第三革命(同年一〇月)に成功、プロレタリア獨裁樹立。内亂の終結を俟つて二年新經濟政策を斷行、二四年レーニンの死後スターリンによつて一國社會主義の傾向は益々強化され、第一次、第二次五ヶ年計畫を完了して、第三次五ヶ年計畫に入り、幾多の困難を豫期せられつゝも、社會主義建設に努め來つた。

II 元 首

ソヴェート聯邦最高會議議長 ソ聯邦は世

界の他の國にみられる如き元首なるものはな
れに當る。現議長はカリニン (Mikhail Kalin
in) 一九三七年一月二日選
出。

III 政治

A 總論

1 政治史 一九一七年一月七日におけ
る所謂「十月革命」の成功後モスクワにソ
ヴェート政府が組織され、レーニン議長となる
新政権は共産主義に立脚せる政治經濟政策を
實施し外に對しては白衛軍と列強の軍事的干
渉に對する應戰、反革命軍の鎮壓を行ふこと
もに内對しては八時間労働法令、ロシア内
諸民族自決權の宣言、労働者の生産管理に關
する指令、戰爭行為停止勸告、土地の社會化
(國有の上での農民への土地分配) 一切の銀行
の國營銀行への統一を行つた。大戰に續いて
内亂の頻發は極度の疲弊と食糧不足に襲はれ
一八年末より戰時共産主義政策の採用を餘儀
なからしめた。

二二年三月の黨大會はスターリンを黨書記
長に選任す。同一二月ソヴェート社會主義共
和國聯邦ソヴェート大會開催され、ソ聯邦設
立の宣言、並に聯邦に加入する諸共和國の條
約を發表す。加入國はその後増加し三六年末
の新憲法により一、一の社會主義共和國の聯邦
となつた。この間、ポーランド、エストニア
以下の諸國は獨立して資本主義的共和國を形
成した。

等は現在殆んど姿を消し、ソ聯社會の基本的
階級は労働者及びコルホーズ、ソフホーズ農
民となつた。新憲法によれば、ソ聯邦の政治
的基礎は労働者代表議員ソヴェート之を構成し
全權力は労働者代表議員ソヴェートによつて代
表せらるゝ都市及農村の労働者に歸屬す。ソ
聯邦の經濟的基礎は生産要具および手段の國
家的所有形態と協同組合コルホーズの所有の
形態に依存する。

【聯邦國家機構】 聯邦は之等の權力を有し
その中に數多の地方、州、自治共和國、自治
州を含む左記ソヴェート社會主義共和國の自
由意志結合に基きて成立す。即ち、ロシア、
ソヴェート社會主義共和國(以下國名だけ)、
ウクライナ、白ロシア、アゼルバイジャン、
グルジア、アルメニア、トルクメニヤ、ウズ
ベク、タチク、カザフ、キルギス、カレロ
・フィン、モルダヴィヤ、リトワ、ラトヴィ
ヤ、エストニア以上一六ヶ國である(四一年
六月)。聯邦構成各共和國は「民族自治」のス
ローガンに従ひ、ソ聯邦より自由脱退の權利
を保留され、其の特殊事情を考慮し且つソ聯
邦憲法に適合せる各自の憲法を有し、その主
權はソ聯邦憲法第一四條に規定せられたる範
圍に於てのみ制限せられ右範圍外に於ては聯
邦構成各共和國は國家權力を自主的に行使
す。

【國家機構】 ソ聯邦國家權力の最高機關は
ソ聯最高會議で、聯邦會議と民族會議に分れ
此の國唯一の立法機關にして、兩會議は平等
の權力を保有し聯邦最高會議幹部員を選出す
同幹部會は聯邦最高會議閉會中の最高機關に

一九二四年二月英伊を先頭に資本主義諸國
正式にソ聯邦を承認す。二五十七年再建の準
備時代を通過しソ聯産業は大體戰前の水準に
復活したので、此の實績の上に二七一年より
第一次五ヶ年計畫を實施す。二七年一月二
全聯邦共産黨第一五回大會開催、農業コルホ
ーズ化、小農民經濟の大集團的生産の軌道へ
の移行決定、この方向に反對せるブハリン
・イルイコフ等反對派の没落を齎した。三〇年
未産業黨陰謀事件起る。ソ聯に於ける第一次
五ヶ年計畫の成功は二九年に始まる世界經濟
恐慌の進行と並行して對外的軋轢を激化した
がソ聯は集團安全保障體制擁護の爲進んで三
四年九月國際聯盟に加入す。

既に一九三三年一月から始められた第二次
五ヶ年計畫は國際危機の逼迫化につれ國防工
業の強化、赤軍並に赤色海軍の強化を必至と
した。獨逸の進出に直面して一九三五年五月
佛との間に、ついでチエコとの間に相互援助
條約締結す。同年一〇月コミンテルンは反戰
反ファシズム統一戰線術を激發しスペイン、
佛、支那に人民戦線を擁護す。この國際ファ
シズムに對する攻勢と共に國內の對立者を
「人民の敵」の名の下に大々的に肅清し、三六
年八月ゾグエフ、カメネフ等の合同本
部事件、翌年一月のビヤトコフ、ラデツク等
の並行本部事件、同年六月トヘチエフスキ
等の赤軍首腦部の反ソ陰謀、三八年二月のブ
ハリン、イルイコフ等の右翼トロツキスト・
ブローツクの反革命事件等々を惹起した。この
肅清工作の最中三五年七月よりスターリンを
起草委員會議長として草案せる新憲法が一九

して權限は第四九條に規定さる。ソ聯邦最高
會議は兩院合同會議に於てソ聯邦政府即ちソ聯
邦人民委員會會議を組織す。各人民委員は世界
の他の國の大臣に相當する。聯邦構成共和國
の國家權力最高機關は聯邦構成共和國最高會
議にして共和國唯一の立法機關であり、同會
議は構成共和國政府即ち人民委員會會議を組織
す。この構成形態は自治ソヴェート社會主義
共和國についても同様。國家權力の地方機關
として、地方、州、自治州、管區、區、市及
村に労働者代表議員ソヴェートあり、當該地域
の労働者により選出さる。

またソ聯邦に於ける裁判は聯邦最高裁判所
を最高機關とし構成共和國最高裁判所、地方
州裁判所、自治共和國自治州裁判所、管區裁
判所、人民裁判所及ソ聯邦特別裁判所があり
一般人民に陪審員の参加を保障さる。

3 憲法 現行憲法は俗に「スターリン」
憲法と呼ばれ、一九三五年七月スターリンを
起草委員長として草案に取かゝり一九三六年
一月五日制定さる。新憲法の特色は先づ、
ソ聯邦の社會主義制度が明確に法文化され、
國家權力の最高機關として聯邦ソヴェート大
會に代つて聯邦會議と民族會議よりなる聯邦
最高會議が設置され、構成共和國が舊七ヶ國
より一ヶ國となり、選舉制度が平等、直接
秘密選舉制度へと民主主義化されたことであ
る。同憲法は一章一四六條に分れ、第一章

において主權ならびに社會主義的社會機構を
第二章において聯邦國家機構を、第三章にお
いて聯邦國家權力の最高機關たる聯邦最高會
議ならびに同幹部會を、第三章において聯邦

三六年一月第八回全聯邦特別ソヴェート大
會にて採擇された。

三八年九月黨定共産黨史を制定し國內及び
黨内の組織的思想的統一に努力し、同年より
第三次五ヶ年計畫を實施す。一九三九年三月
の第一八回黨大會に於いては「第三次五ヶ年
計畫」によつて國民の文化的生活的水準の向
上を目指すと共に、着々國家機關の整備を行
ひ、第二次歐洲大戰勃發の危機迫るや、從來
の方針を一擲する獨ソ不可侵友好條約の締結
による一大外交轉換を行つて、對ソ共同戰線
の危険を除去して英獨開戦に導き、漁夫の利
を收めて、着々隣接諸國を蠶食して遠大なる
計畫を夢みつつあつた。

即ち領土の方面に於いては、一九三九年一
〇月東ポーランド占領地ウクライナ、白
ロシア兩共和國への編入の後を受けて四〇年
三月フィンランドよりの割讓地をカレリア自
治共和國と合しカレロ・フィン新構成共和國
を設立し、六月ベッサラビア及び北ブゴイ
ナを回復して、八月にはモルダヴィヤ新構成
共和國を創設、更にバルト三国のソ聯邦編入
を行つて、ソ聯邦加入共和國の數は從來の一
より一躍一六に増加すると共に、近々一年
足らずの間に、合計四六二、七〇〇平方呎の地
域と二、三〇〇萬の人口を増大した。かかるに
一九四一年六月二日の獨ソ戰勃發後、これ
らのものは直ちに喪失し、獨軍の進撃に會つ
て多大の危機に當面してゐる。

2 統治機構 【ソヴェート權力】 ソ聯邦
は労働者及農民の社會主義國家であり兩次五
ヶ年計畫の遂行によつて資本家、富農、商人

構成共和國々々權力の最高機關たる構成共和
國最高會議ならびに同幹部會を、第五章にお
いては聯邦國家行政機關たる人民委員會會議を
第六章において聯邦構成共和國人民委員會會議
を、第七章において自治ソヴェート社會主義
共和國國家權力の最高機關たる自治共和國最
高會議を、第八章において國家權力の地方機
關を、第九章において裁判所および検事局を
第一〇章において人民の基本的權利および義
務を、第十一章において選舉制度を、第十二
章において國章國旗および國都を、第十三章
において憲法變更手續を、それら規定して
ゐる。なほ同三六年憲法の變更はソ聯邦最高
會議の兩院(聯邦會議および民族會議)にお
いて各三分の二を下らざる多數をもつて採擇
せられたる決議によつてのみ行はれる。

4 首都 モスクワ (露 Moscow, 英
Moscow, 佛 Moscou) 一九三九年一月一七日
における人口四、一三七、〇一八人、新憲法第
一四五條にソヴェート聯邦共和國の主都とし
て規定せられ、現在一〇ヶ年計畫の再建が行
はれてゐる。獨ソ戰の進展に伴ひ、ドイツ軍
の壓迫によるモスクワの危険が迫るとともに
ソ聯邦政府は一九四一年一〇月中旬、政府の一
部(主に外務人民委員部)及び外交團のタイ
プシエフ移轉を行ひ今日に至つてゐる。

B 立法

1 概観 前記の如く最高の國家權力機
關はソヴェート聯邦最高會議である。同會議
は憲法第一四條に基きソヴェート聯邦に歸屬
する一切の權限を行使する(但し憲法の規定

に基きソヴェート聯邦各機關即ち聯邦最高會議幹部會、聯邦人民委員會聯邦人民委員部の權限に屬する事項を除く。ソヴェート聯邦の立法權は聯邦最高會議がこれ行使する。聯邦最高會議(任期四年)は聯邦會議及び民族會議の兩院より成り、兩院とも二年一回召集される。

聯邦最高會議代議員の總選舉は新選舉法に依り一九三七年二月二日始めて施行された。人口一六、九〇〇萬人に對して有権者九、四一三萬餘人、比率五五・七%で低い。投票率は壓倒的好成績の九八・六%で、聯邦會議代議員中、出身別に見ると労働者二四七人(四五・三%)、農民三〇人(三・七%)、七割近くは四〇歳以下の青年層で、ソヴェート青年の現政權に對する信頼を現はしてゐる。民族會議は民族的特殊利益の代表者として五四民族から選出され總數五七四人中、労働者二一八人、農民二〇〇人である。

【聯邦會議】人口三〇萬につき代表一名の割合をもつてソヴェート聯邦市民により選舉される。現聯邦會議員は五六九名、うち共產黨員四六一名、非黨員一〇八名である。
現聯邦會議議長 A. A. Andreyev
副議長 T. D. Lysenko
立法委員會議議長 D. M. Levonch-enko

外交委員會議議長 A. A. Zhdanov
豫算委員會議議長 I. I. Sidorov
【民族會議】聯邦各共和國より二五名、各自治共和國より一名、各自治州より五名、各民族管區より一名の割合をもつて聯邦各共

和國、トルバエフ(キルギズ共和國)、クレーン(カレロ-フィン共和國)、ワレンス(エストニア共和國)、キルヘンシュテイン(ラトヴィア共和國)、パルクス(リトワ共和国)、プロフコ(モルダヴィア共和國)。

C 行政

ソ聯邦國家權力の最高執行及處分機關はソ聯邦人民委員會にしてソ聯邦最高會議(又はソ聯邦最高會議幹部會)に對して責に任じ且つ報告の義務を負ひ、その權限は憲法第六八條に規定さる。ソ聯邦は資本主義諸國に於けるが如き内閣制度は持たぬが、聯邦人民委員會は事實上これに相當す。

1 聯邦人民委員會 ソヴェート聯邦國家權力の最高執行行政機關は聯邦人民委員會である。同會議は聯邦最高會議に對して責任を負ひ且つ報告の義務を有つ。人民委員會は現行法規に準據し或はその實施のため各種の決定命令を發布し、その執行を統制する人民委員會の權能は次の如し。

(イ)全聯邦各人民委員部、聯邦共和國各人民委員部の事業並びにその統制下にある各種經濟及び文化諸機關の事業を統制指導す。(ロ)國家經濟計畫、國家豫算を實現し信用通貨制度を強化する方策を講ず。(ハ)公安を維持し國家の權益を擁護し、市民の權利を保護する方策を講ず。(ニ)諸外國との關係につき一般的指導を爲す。(ホ)毎年兵役に召集すべき市民數を決定、全國軍の構成の一般的方向を指示す。

聯邦人民委員會は聯邦最高會議に依り

和國、自治共和國、自治州及び民族管區の市民により選舉された代表をもつて組織される現民族會議員は五七四名、うち共產黨員四〇九名、非黨員一六五名である。民族別はロシア人一四六名、ウクライナ人三四名、アゼルバイジャン人三四名、ジョルジア人三三名、アルメニア人三〇名、ウズベック人二六名、カザク人二四名、トルクメン人一七名、キルギス人一七名、タジク人一六名、白ロシア人一五名、タタル人一五名、ユダヤ人一五名、ドイツ人九名、カラムイク人九名、オセット人九名、殘餘の一二五名は三八民族に屬する。

現民族會議議長 N. M. Sivenik
副議長 Tsh. A. Asanova
副議長 A. M. Leviski
立法委員會議議長 P. A. Furkin
外交委員會議議長 N. A. Bulgahn
豫算委員會議議長 I. S. Khokhlov

2 聯邦最高會議幹部會 最高會議閉會中の最高機關は聯邦最高會議幹部會にして、その權限は第四九條に規定す。最高會議幹部會は、聯邦會議、民族會議の兩院合同會議に於て選出され議長一名、副議長一名、書記長一名、會員二四名を以つて構成し、副議長は各共和國最高會議議長が當る。

【最高會議幹部會の權限】ソ聯邦最高會議幹部會の權限は憲法第四九條に規定されてゐる。
即ち(イ)ソ聯邦最高會議を召集す(ロ)ソ聯邦現行法律の解釋を與へ、幹部會令を發す(ハ)ソ聯邦憲法第四七條に基きソ聯邦最高會

組織され聯邦人民委員會議長一名、同議長代理數名、國家計畫委員會議長一名、國防委員會議長一名、聯邦各人民委員、國立銀行理事會議議長一名、藝術委員會議長一名、高等學務委員會議長一名より成る。
聯邦人民委員部——人民委員部は一九四〇年四月、電氣工業人民委員部及びセルロイズ製紙工業人民委員部を分割新設し、一〇月國家統制人民委員部、一九四一年一月さらに國家保安人民委員部、三月護謄工業人民委員部を創設し、一九四一年五月末現在に於ける人民委員部數は四二を算するに至つたが、獨ソ戰勃發直後、再び國家保安人民委員部を内務人民委員部に合併せるため、現在の人民委員部數は四一である。

聯邦人民委員部は「全聯邦」人民委員部乃至「聯邦及び共和國」人民委員部の二種とす。
(イ)「全聯邦」人民委員部は直接又はその任命せる機關を通じて全領土に關する所管行政部門を統轄し、國防、海軍、外務、外國貿易、交通、通信、海洋船舶、河川船舶、石炭工業、石油工業、發電所、電氣工業、黑色冶金、有色冶金、化學工業、航空工業、造船工業、彈藥、兵器、重機械製作、中機械製作、一般機械製作、工作機械製作、セルロイズ製紙工業、ゴム工業、建設、調達の各人民委員部より成る(所謂單一人民委員部)。

(ロ)「聯邦及び共和國」人民委員部は聯邦共和國の同名人民委員部を通じて所管行政部門を統轄し、食料、工業、漁業、肉、乳工業、輕工業、纖維工業、林業、農業、穀類

議を解散し且新選舉を指定す(ニ)自己の發意又は聯邦構成共和國一國の要求により人民投票を行ふ(ホ)ソ聯邦人民委員會會議及共和國人民委員會會議の決定及命令にして法律に合致せざる時は之を廢止す(ヘ)ソ聯邦最高會議の會期より會期に至る期間ソ聯邦人民會議長の提意により個々のソ聯邦人民委員を任免す但し右に付てはソ聯邦最高會議の事後確認を得可きものとす(ト)ソ聯邦勳章を授與し名譽稱號を授く(チ)恩赦の權を行使す(リ)ソ聯邦武裝力の最高司令官を任命し更迭す(ヌ)ソ聯邦最高會議の會期に至る期間ソ聯邦に對する軍事攻撃の場合または侵略國に對する共同防衛の國際條約上の義務履行の必要ある場合戰爭狀態を宣布す(ル)總體的若しくは部分的動員を宣布す(レ)國際條約を批准し(ワ)外國に於けるソ聯邦全權代表を任命し(カ)幹部會の下に駐劄する外交代表者の信任狀及び解任狀を受理す。

【現聯邦最高會議幹部會議長】カリーニン(Mikhail Ivanovich Kalinin)、ロシア共和國選出。
【現聯邦最高會議幹部會議長代理】(各構成共和國最高會議幹部會議長一六名(四一年六月現在)バダエフ(ロシア共和國)、グレンチュー(ウクライナ共和國)、ナタレーウイチ(白ロシア共和國)、ノスモフ(アゼルバイジャン共和國)、マハラエフ(グルジア共和國)、ベヒヤン(アルメニア共和國)、アムンベルグ(トルクメン共和國)、アファンバエフ(ウズベク共和国)、シヤガダエフ(タジク共和国)、カザクバエフ(カザフ

畜産、國營農場、財務、商業、内務、司法保健、建設材料工業。國家統制の各人民委員部より成る(所謂複合人民委員部)。
【現人民委員會】各委員の顔觸れは次の通りである(一九四二年四月五日現在)。
聯邦人民委員會議長 スターリン

Table listing various departments and their heads, including Foreign Affairs (Litvinov), Defense (Zhukov), Finance (Kaganovich), etc.